

『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換

# 2025年度 単位互換履修生 募集要項

(2025年4月22日時点)

岡 山 大 学

吉 備 国 際 大 学

岡 山 県 立 大 学

倉 敷 芸 術 科 学 大 学

岡 山 学 院 大 学

く ら し き 作 陽 大 学

岡 山 商 科 大 学

山 陽 学 園 大 学

岡 山 理 科 大 学

就 実 大 学

川 崎 医 科 大 学

中 国 学 園 大 学

川 崎 医 療 福 祉 大 学

ノートルダム清心女子大学

環 太 平 洋 大 学

美 作 大 学

# 目 次

1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について .....	1
2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目) .....	2
3. 出願方法について .....	2
4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について .....	3
5. 開講科目一覧.....	4
6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」.....	12
7. 各大学提供科目 .....	17
(1) 岡山大学 .....	18
(2) 岡山県立大学.....	72
(3) 岡山学院大学.....	84
(4) 岡山商科大学.....	89
(5) 岡山理科大学.....	136
(6) 川崎医科大学.....	162
(7) 川崎医療福祉大学.....	170
(8) 環太平洋大学.....	178
(9) 吉備国際大学.....	182
(10) 倉敷芸術科学大学.....	193
(11) くらしき作陽大学.....	205
(12) 山陽学園大学.....	215
(13) 就実大学 .....	228
(14) 中国学園大学.....	253
(15) ノートルダム清心女子大学 .....	264
(16) 美作大学 .....	302

## 付属資料・・・事件・事故報告書

### ※ 「所属大学」と「科目提供大学」

この要項では、学生にとって自分が在籍している大学を「所属大学」、その学生を単位互換履修生として受け入れ、授業科目を提供する他大学を「科目提供大学」と呼びます。

## 1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について

### (1) 制度の概要

この単位互換制度は、『大学コンソーシアム岡山』参加大学で協定を結ぶ岡山県内16大学間において互いに学生の受け入れを行い、それぞれの科目提供大学等において修得した単位を所属大学等の正規の単位として組み入れる制度です。

この制度を利用して他大学で履修する学生は、「単位互換履修生」と呼びます。

### (2) ねらい

異なる専門分野を持つ大学等の間において、制度的・恒常的な交流を行うことを通じて視野が広く行動力のある人材を養成することを期待しています。

### (3) 参加大学

- |              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| (1) 岡山大学     | (10) 倉敷芸術科学大学                   |
| (2) 岡山県立大学   | (11) くらしき作陽大学                   |
| (3) 岡山学院大学   | (12) 山陽学園大学                     |
| (4) 岡山商科大学   | (13) 就実大学                       |
| (5) 岡山理科大学   | (14) 中国学園大学                     |
| (6) 川崎医科大学   | (15) ノートルダム清心女子大学<br>(女子のみ受け入れ) |
| (7) 川崎医療福祉大学 |                                 |
| (8) 環太平洋大学   | (16) 美作大学                       |
| (9) 吉備国際大学   |                                 |

### (4) 履修できる科目

「5. 開講科目一覧」(4ジ～)に記載されている科目(本人の所属大学の科目を除く)ただし、科目によっては科目提供大学により履修制限を行う場合があります。

### (5) 履修できる単位数

所属大学等の定めに従ってください。

### (6) 単位認定

大学設置基準第28条及び各大学等の定めに基づき、所属大学等の正規の単位として認定されます。

### (7) 授業料について

単位互換に関する授業料は無料で、それぞれが所属大学に納入する授業料がこれに充てられます。ただし、科目によっては実習費等の実費を徴収することがあります。

### (8) 出願資格

3. の参加大学等に在籍する学生で、所属大学等の許可を得た学生

### (9) その他

履修期間中は、各科目提供大学の定める範囲において、図書館等の施設を利用することができます。

## 2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目)

大学コンソーシアム岡山の単位互換科目には、2つの授業形態(遠隔授業・対面授業)があり、科目一覧及びシラバスに、どの形態で行われるかを表示しています。授業形態により履修のための手続き等が異なるため、「4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について」を参照してください。

### (1) 遠隔授業科目

他大学の授業を所属大学の講義室等から、オンライン(双方向ライブ型, オンデマンド型)で受講する。

- ・ 授業時間は、科目提供大学の時間割に従います。
- ・ 授業の内容によっては、他の授業形態も組み合わせて実施することがあります。

### (2) 対面授業科目

科目提供大学の講義室で行われている授業を、その大学に向いて受講するもの。

## 3. 出願方法について

### (1) 申込受付期間及び受付窓口

所属大学の担当窓口で、所定の期間内に出願書類を提出してください。

なお、所属大学で選考を行うことがありますので、担当窓口で指示を受けてください。

所属大学名	担当窓口	申込受付期間
岡山大学	学務部 学務企画課	<b>前期受付： 2025年3月3日(月) ~4月8日(火)</b>  <b>後期受付： 2025年7月1日(火) ~9月24日(水)</b>  ※所属大学の担当窓口受付時間中に限ります。  科目提供大学によっては、この他の時期に受付を行うことがあります。 「7. 各大学提供科目」(P.5~)で確認してください。  また、所属大学等によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
岡山県立大学	教学課 教務班	
岡山学院大学	学務課 教務係	
岡山商科大学	教務課	
岡山理科大学	教学支援部 教務課	
川崎医科大学	事務部 教務課	
川崎医療福祉大学	事務部 教務課	
環太平洋大学	教務課	
吉備国際大学	スチューデントサポートセンター 教務部 教務課	
倉敷芸術科学大学	学務部 教務課	
くらしき作陽大学	教育企画部 教育支援室	
山陽学園大学	教務部 教務課	
就実大学	教務課	
中国学園大学	教務課	
ノートルダム清心女子大学	学務部 教務係	
美作大学	教務課	
※岡山医療専門職大学・新見公立大学の学生は履修できません。		

### (2) 出願書類

#### ① 単位互換履修科目履修願

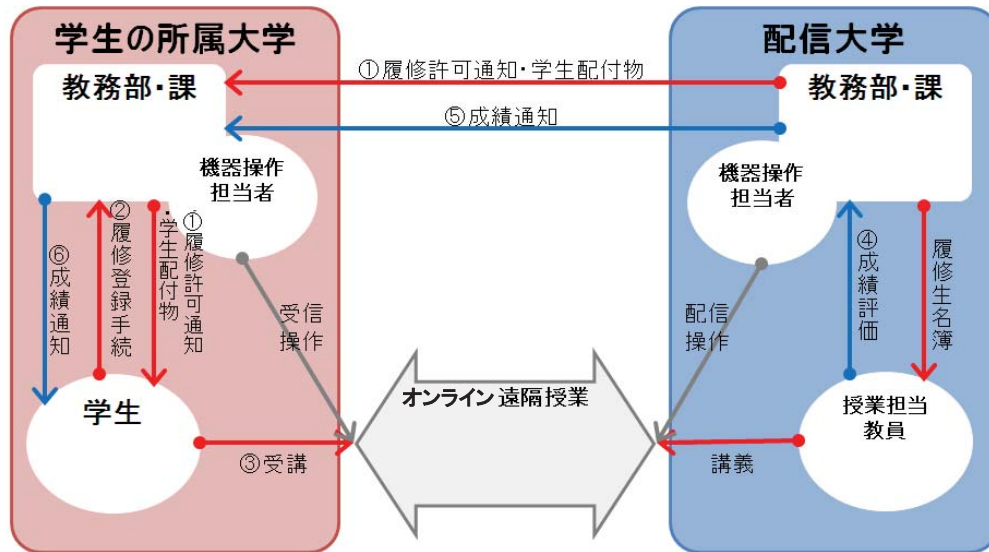
#### ② 学生証等用写真(カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入してください。)

必要枚数は、科目提供大学により異なります。

「単位互換履修科目履修願」下部の指示を読んで提出してください。

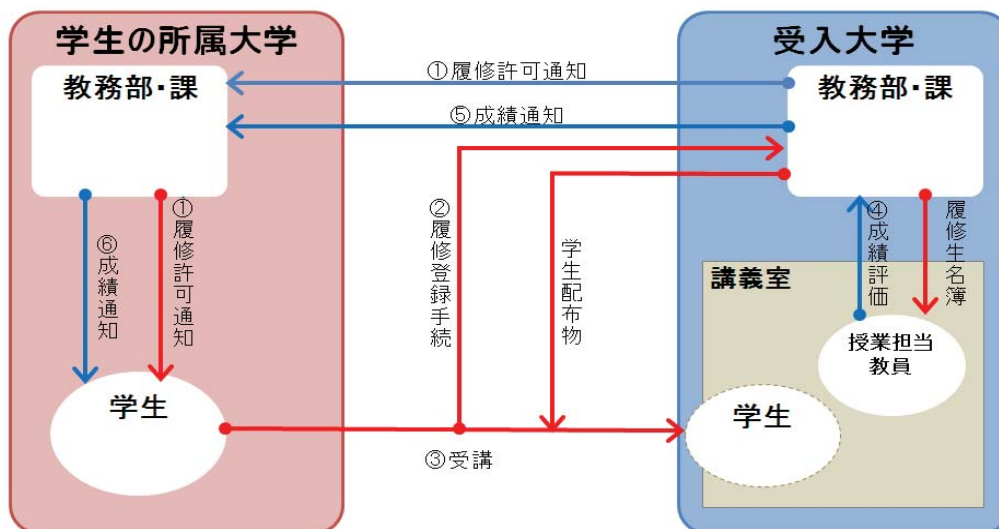
#### 4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について

##### (1) 遠隔授業科目(双方向ライブ型, オンデマンド型)



- ① 「履修許可通知・学生配付物」 科目提供大学によって異なります。
- ② 「履修登録手続」 科目提供大学により異なり, 特に必要がないこともあります。
- ③ 「受講」 遠隔授業は, 所属大学の講義室等からオンラインで受講します。
- ④ 「成績評価」 成績評価方法は, シラバスに記載されています。期末試験等を実施する場合は, 所属大学において期日と場所が決定され, 実施されますので, 所属大学で指示を受けてください。レポート提出の場合は, 所属大学の教務担当窓口へ提出する・電子メールにより提出する等, 授業中に指示があります。

##### (2) 対面授業科目



- ② 「履修登録手続」 対面授業科目の履修を許可された学生は, 科目提供大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。(別途履修手続きが必要な大学では, 手続きが完了するまでは, 仮履修期間として扱われます。)
 

科目提供大学の担当窓口や注意事項等は, 「7. 各大学提供科目」で確認してください。
- ④ 「成績評価」 成績評価の方法は, 各科目のシラバスにより確認してください。試験の実施・レポート・課題等の提出については, すべて科目提供大学の規定に従い行われますので, 科目担当教員からの指示に従ってください。

## 5. 開講科目一覧

授業時間及び各科目のシラバスは、「6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目<ちゅうぎん『金融知力』講座>」及び「7. 各大学提供科目」を参照してください。

### (1) 遠隔授業科目

大学	No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限
岡山大学	01101	人文学概説(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第1学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15
	01102	人文学概説(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第2学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15
	01105	人文学概説(日本美術史a)	専門	大久保 範子	1	第1学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35
	01106	人文学概説(日本美術史b)	専門	大久保 範子	1	第2学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35
	01107	人文学概説(美学2a)	専門	川野 恵子	1	第1学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35
	01108	人文学概説(美学2b)	専門	川野 恵子	1	第2学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35
	01111	現代社会と先端的物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1~2	オンデマンド	火 13:25~15:15
	01112	キャンパスライフ不適應への対策講座	教養	原田 新 池谷 航介	1	第2学期	1~4	オンデマンド ●入学後に大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎	受講曜日・時間は学生の任意
	01103	人文学講義(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第3学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15
	01104	人文学講義(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第4学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15
	01109	人文学概説(日本思想史b)	専門	本村 昌文	1	第4学期	2~4	対面とオンデマンド併用	月 15:30~17:20
	01110	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3 第4学期	3	ハイブリッド授業 理工系学部3年次以上	月 15:30~17:20
岡山県立大学	02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1~4	オンデマンド配信	水 14:20~15:50
美作大学	16101	韓国語Ⅰ	教養	朴 貞淑	1	前期	1~4	オンライン授業 定員5名	金 12:40~14:10
	16102	韓国語Ⅱ	教養	朴 貞淑	1	後期	1~4	オンライン授業 定員5名	金 12:40~14:10

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山大学 コーディネート	20001	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	定員 50 名	8/26~8/27 (各日 9:00~17:00)
	20002	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	定員 50 名	8/28~8/29 (各日 9:00~17:00)
岡山大学	01001	人文学概説(哲学 1)	専門	植村 玄輝	2	第 1 第 2 学期	2~4		金 13:25~15:15
	01002	人文学講義(哲学)	専門	竹島 あゆみ	2	第 1 第 2 学期	2~4		木 13:25~15:15
	01004	人文学講義(社会学a)	専門	齋藤 圭介	1	第 1 学期	2~4		火 13:25~15:15
	01005	社会学入門	教養	都島 梨紗	1	第 2 学期	2~4		火 10:45~12:35
	01006	中等社会科・公民科指導法 I A	専門	桑原 敏典	1	第 2 学期	2~4		火 15:30~17:20
	01010	法哲学	専門	大森 秀臣	1	第 2 学期	3~4		火 13:25~15:15
	01011	一般化学1	専門	鈴木 孝義	1	第 1 学期	1~4		金 8:40~10:30
	01012	一般化学2	専門	武安 伸幸	1	第 2 学期	1~4		金 8:40~10:30
	01013	痛みの科学	専門	宮脇 卓也 他	1	第 2 学期	1~4		月 8:40~10:30
	01016	Introductory Mathematics I	専門	UDDIN MD. AZHAR	1	第 2 学期	1~4	※英語による授業	月 13:25~15:15
	01018	健康・スポーツ科学 C	教養	榎本 翔太 鈴木 久雄	1	1~4 またがり	1~4		水 18:30~20:20
	01019	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第 1 学期と第 2 学期を併せて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15
	01020	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第 2 学期	1~4		火 13:25~15:15
	01025	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第 1 学期	1~4		月 13:25~15:15
	01026	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第 2 学期	1~4		金 13:25~15:15
	01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第 1 学期	1~4		火 10:45~12:35
	01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第 2 学期	1~4		火 10:45~12:35
	01014	先端半導体テクノロジー入門	専門	紀和 利彦 平木 英治 鶴田 健二	1	夏季集中	1		9/11(木) 8:40~17:20 9/12(金) 8:40~17:20 (計 16 時限)
	01015	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センター ●定員 15 名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/24~26 (3 日間)
	01034	”アタリマエ”の科学 ~スマホに映る半導体と社会~	教養	宮崎 悟	1	夏季集中	1~4	●定員 10 名 ※申込多数の場合は抽選 9/18(木)は工場見学で学外 に移動して講義を行います。	9/17(水) 8:40~15:15 9/18(木) 8:40~15:15 9/19(金) 8:40~12:35 (計 16 時限)

## (2)対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山大学	01003	人文学概説(芸術学)	専門	本田 晃子	2	第3 第4 学期	2~4		月 10:45~12:35
	01007	中等社会科・公民科指導 法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		火 15:30~17:20
	01008	GCED(グローバル・シテ ィズンシップ教育)論Ⅰ	専門	桑原 敏典	1	第3 学期	2~4		月 8:40~10:30
	01009	中等社会科・公民科指導 法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		火 10:45~12:35
	01017	Introductory Mathematics Ⅱ	専門	唐 健	1	第4 学期	1~4	※英語による授業	月 15:30~17:20
	01021	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を併せて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15
	01022	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4 学期	1~4		火 13:25~15:15
	01023	数理・データサイエンスの 基礎	教養	國米 充之	1	第3 学期	1~4		月 10:45~12:35
	01024	安全衛生入門	教養	中西 真 他	1	第4 学期	1~4		月 13:25~15:15
	01027	ESD「持続可能な開発の ための教育」のホール・コ ミュニティ・アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3 学期	1~4	フィールド活動を含みます。	火 13:25~15:15
	01028	対話による社会参画入門 入門編	教養	桑原 敏典	1	第3 学期	1~4	第4学期の「対話による社会参 画入門上級編」と併せて履修す ることが望ましい。 学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20
	01029	対話による社会参画入門 上級編	教養	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4	第3学期の「対話による社会参 画入門入門編」を履修してい ないと履修できない。 学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20
	01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3 学期	1~4		火 10:45~12:35
01033	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4 学期	1~4		火 10:45~12:35	
岡山県立大学	02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50
	02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2~4		金 14:20~15:50
	02005	組込みシステム	専門	有本 和民	2	前期	3~4		火 10:20~11:50
	02007	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	前期	3~4		木 10:20~11:50
	02003	符号理論	専門	榊原 勝己	2	後期	3~4		金 8:40~10:10
	02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3~4	オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50
	02006	環境生理学	専門	大下 和茂	2	後期	2~4		水 10:20~11:50
	02008	木構造学・木構造デザイ ン	専門	向山 徹	2	後期	3~4		火 14:20~15:50
岡山学 院	03001	栄養教育論	教養	内田 雅子	2	前期	2	定員 10 名	土 10:50~12:20



## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山商科大学	04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2～4	定員 20 名	木 13:10～14:40
	04003	民法概説	専門	倉持 弘	2	前期	1～4	定員 20 名	月 9:00～10:30
	04005	刑事政策	専門	白井 諭	2	前期	2～4	定員 20 名	月 13:10～14:40
	04009	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30
	04012	岡山経営者論Ⅰ	専門	陳 惠貞	2	前期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30
	04004	民法総則	専門	倉持 弘	2	前期	2～4	定員 20 名	月 15:00～16:30
	04017	岡山産業概論	専門	渡邊 信治	2	前期	1～4	定員 20 名	月 13:10～14:40
	04015	地方財政論	専門	多田 憲一郎	2	夏季集中	3～4	定員 15 名	日程調整中
	04018	観光・地域開発論特殊講義	専門	三好 宏	2	夏季集中	2～4	定員 15 名 ※成績評価は後期に行います。	日程調整中
	04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2～4	定員 20 名	木 13:10～14:40
	04006	現代刑事法	専門	白井 諭	2	後期	2～4	定員 20 名	火 15:00～16:30
	04007	労働経済学	専門	三谷 直紀	2	後期	2～4	定員 15 名	火 13:10～14:40
	04008	ミクロ経済学B	専門	熊代 和樹	2	後期	2～4	定員 15 名	水 10:50～12:20
	04010	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2～4	定員 15 名	木 9:00～10:30
	04011	マクロ経済学B	専門	(新任教員)	2	後期	2～4	定員 15 名	火 9:00～10:30
	04013	岡山経営者論Ⅱ	専門	陳 惠貞	2	後期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30
	04014	簿記論Ⅰ	専門	陶 静	2	後期	1～4	定員 15 名	水 10:50～12:20
	04016	生命倫理と法	専門	粟屋 剛	2	後期	2～4	定員 20 名	火 15:00～16:30
岡山理科大学	05002	鉱物科学	専門	新原 隆史	2	春	2～4	定員 10 名	金 9:10～10:40
	05004	安全化学	専門	岩永 哲夫	2	春	3～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05005	微生物学	専門	水野 信哉	2	春	2～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05008	電波法規	専門	荒井 伸太郎	1	春	3～4	定員 10 名	水 13:15～14:45
	05012	医用工学概論	専門	松宮 潔	2	春	1～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05013	ロボット工学概論	専門	藤本 真作	1	春	1～4	定員 10 名	木 9:10～10:40
	05016	地質学	専門	能美 洋介	2	春	2～4	定員 10 名	木 16:45～18:15
	05018	現代日本語の多様性と運用	専門	ダツタ シヤミ	1	春	2～4	定員 10 名	水 9:10～10:40
	05019	商学基礎	専門	宮脇 靖典	2	春	1～4	定員 10 名	水 13:15～14:45
	05001	データの数理Ⅱ	専門	大江 貴司	2	秋	3～4	定員 10 名	金 13:15～14:45
	05003	量子力学の基礎	専門	今井 剛樹	2	秋	2～4	定員 10 名	水 13:15～14:45
	05006	再生医療移植学	専門	片岡 健 他	1	秋	2～4	定員 10 名	火 10:55～12:25

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
岡山理科大学	05007	航空宇宙材料の力学	専門	中井 賢治	2	秋	3~4	定員 10 名	金 10:55~12:25
	05009	画像処理とCG	専門	島田 英之	2	秋	2~4	定員 10 名	金 13:15~14:45
	05010	ナノサイエンス	専門	竹崎 誠	2	秋	3~4	定員 10 名	木 13:15~14:45
	05011	エコロジカルデザイン	専門	増田 俊哉 他	2	秋	3~4	定員 10 名	木 10:55~12:25
	05014	食薬学	専門	松浦 信康	2	秋	3~4	定員 10 名	水 10:55~12:25
	05015	生化学	専門	片岡 健	2	秋	1~4	定員 10 名	月 9:10~10:40
	05017	古生物学概論	専門	高橋 亮雄 他	2	秋	1~4	定員 10 名	木 10:55~12:25
	05020	マナーマイスター講座 初級	専門	重松 利信 他	2	秋	1~4	定員 10 名	金 13:15~14:45
	05021	科学ボランティア実践 指導1	教養	山口 一裕 他	1	秋	1~4	定員 10 名	集中講義
川崎医科大学	06001	生命科学 I	教養	西松 伸一郎 他	2	第 1 学期	1	定員:若干名	曜日・時限は シラバス参照
	06001	データ分析に基づく研究 講義	専門	栗林 太 他	1	第 2 学期	3	定員:若干名	曜日・時限は シラバス参照
川崎医療福祉大学	07001	健康科学論	教養	矢野 博己	2	春 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15
	07002	自閉症の理解と支援	教養	小田桐 早苗 他	2	春 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15
	07003	生命科学	教養	山内 泰子 他	2	秋 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15
	07004	健康と音楽	教養	原山 秋 他	2	秋 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15
	07005	ヒューマンセクシャリティ 一論	教養	谷野 宏美 他	2	秋 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15
環太平洋大学	08001	スポーツ栄養学	専門	保科 圭汰	2	後期	2~4	定員:若干名	月 10:45~12:15
吉備国際大学	09001	社会学	教養	赤坂 真人	2	春 学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40
	09003	健康支援と社会保障 制度	専門	本郷 貴士	2	春 学期	2~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00
	09004	リハビリテーション概論	専門	河村 颯治	1	春 学期	1~4	高梁キャンパス開講	水 15:10~16:40
	09005	作業療法概論	専門	京極 真 他	1	春 学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40
	09007	美術史 A	専門	前嶋 英輝	2	春 学期	2~4	高梁キャンパス開講	金 11:10~12:40
	09002	生涯スポーツ論	教養	羽野 真哉	2	秋 学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00
	09006	神経・生理心理学 II	専門	橋本 翠	2	秋 学期	3~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40
	09008	ディスカッション英語	専門	ジョン・フォーセット	2	秋 学期	2~4	岡山キャンパス開講	水 16:50~18:20

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
倉敷芸術科学大学	10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	前期	1~4	定員 10 名	木 13:10~14:40
	10003	絵画基礎 I	専門	原田 よもぎ	2	前期	1~4	定員 10 名	火 13:10~14:40
	10005	生活習慣病予防	専門	椎葉 大輔 他	2	前期	3~4	定員 5 名	水 10:50~12:20
	10006	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10 名	木 9:10~10:40
	10007	医学概論	専門	渡部 俊幸 他	2	前期	1~4	定員 10 名	火 10:50~12:20
	10001	倉敷地域フィールドワーク	教養	橋元 純也	2	後期	1~4	定員 10 名	集中 土 13:10~18:10
	10004	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2~4	定員 10 名	火 10:50~12:20
	10008	基礎生理検査学	専門	泉 礼司	2	後期	1~4	定員 10 名	木 9:10~10:40
くらしき作陽大学	11001	ロシア語 I	教養	A.オランスカヤ	1	前期	1~4	曜日・時間については変更する 場合がありますので、必ず事前 に開講大学までお問い合わせせ ください。	水 11:10~12:40
	11002	食統計学	専門	松本 隆行	2	前期	2~4		金 16:45~18:15
	11004	吹奏楽の歴史と魅力	専門	長瀬 敏和 菅付 章宏	2	前期	2~4		月 9:30~11:00
	11005	吹奏楽I	専門	長瀬 敏和 他	2	前期	1~4		木 15:05~18:15
	11007	和声学I	専門	米倉 由起	1	前期	1~4		水 9:30~11:00
	11003	発達障害児教育総論	専門	中根 征也 他	2	後期	1~4	曜日・時間については変更する 場合がありますので、必ず事前 に開講大学までお問い合わせせ ください。	木 15:05~16:35
	11006	吹奏楽 II	専門	長瀬 敏和 他	2	後期	1~4	木 15:05~18:15	
山陽学園大学	12002	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3~4		火 13:05~14:35
	12003	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4	9月集中:9/8(月)~11(木)	
	12005	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1~4		月 9:00~10:30
	12007	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1~4		火 13:05~14:35
	12008	観光学概論	教養	中村 敏	2	前期	1~4		木 16:30~18:00
	12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2~4		木 9:00~10:30
	12004	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	2~4		火 13:05~14:35
	12006	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1~4		月 9:00~10:30
	12009	宇宙科学論	教養	米田 瑞生	2	後期	1~4		水 9:00~10:30
就実大学	13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20
	13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40
	13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40
	13006	異文化理解と交流 1B	専門	テレサ ストック ウェル	2	前期	3~4		水 10:50~12:20
	13007	異文化理解と交流 1C	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 9:10~10:40

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限
就実大学	13010	イギリス文化研究 1 (=英語文化文学研究1)	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40
	13011	イギリス文化研究 3 (=英語文化文学研究2)	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火 13:10~14:40
	13012	アメリカ文化研究 1	専門	苔米地 夏緒	2	前期	3~4		火 13:10~14:40
	13016	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 13:10~14:40
	13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専門	山本 航平	2	前期	3~4	開講日についてはシラ バスを要確認	月 13:10~14:40
	13021	アジア史講義2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20
	13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20
	13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4		木 13:10~14:40
	13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		金 13:10~14:40
	13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40
	13013	アメリカ文化研究 2	専門	苔米地 夏緒	2	後期	3~4		火 13:10~14:40
	13014	アメリカ文化研究 3 (=英語文化文学研究3)	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40
	13015	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4		金 10:50~12:20
	13017	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木 10:50~12:20
	13018	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水 13:10~14:40
	13020	アジア史講義1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40
	中国学園大学	14001	観光英語A	専門	佐々木 真帆美	2	前期	2~4	定員 10 名
14002		英語プレゼンテーション	専門	藤代 昇丈	2	前期	3~4	定員 10 名	水 9:20~10:50
14003		解剖生理学Ⅱ	専門	井之川 仁	2	後期	2~4	定員 10 名	木 14:50~16:20
14004		児童英語演習	専門	西田 寛子	1	後期	2~4	定員 10 名	火 11:00~12:30
14005		日本語教授法	専門	岡本 輝彦	2	後期	2~4	定員 10 名	火 11:00~12:30
ノートルダム清心女子大学	15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1 期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15
	15005	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1 期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30
	15006	英語学・言語学研究ⅣB	専門	齋藤 衛	2	1 期	3~4	女子のみ	木 9:00~10:30
	15007	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1 期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00
	15009	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1 期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30
	15012	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	1 期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15
	15013	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	1 期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30
	15015	近代文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1 期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30

## (2) 対面授業科目

大学	No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限
ノートルダム清心女子大学	15017	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1 期	2～4	女子のみ	火 14:45～16:15
	15019	日本語学特講Ⅲ	専門	星野 佳之	2	1 期	2～4	女子のみ	月 9:00～10:30
	15020	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1 期	2～4	女子のみ	月 13:00～14:30
	15021	地域社会学Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1 期	2～4	女子のみ	火 16:30～18:00
	15022	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1 期	2～4	女子のみ	火 9:00～10:30
	15024	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1 期	2～4	女子のみ	木 13:00～14:30
	15027	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1 期	2～4	女子のみ	木 9:00～10:30
	15028	ヨーロッパ社会史Ⅰ	専門	轟木 広太郎	2	1 期	2～4	女子のみ	火 13:00～14:30
	15030	国際関係論	専門	土佐 弘之	2	1 期	2～4	女子のみ	水 9:00～10:30
	15032	華僑華人論	専門	陳 來幸	2	1 期	2～4	女子のみ	木 13:00～14:30
	15033	グローバル化と人の移動	専門	八尾 祥平	2	1 期	2～4	女子のみ	月 14:45～16:15
	15034	身体表象論	専門	松平 勇二	2	1 期	2～4	女子のみ	木 14:45～16:15
	15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2 期	1～4	女子のみ	木 14:45～16:15
	15003	キリスト教学Ⅹ	教養	岡田 紅理子	2	2 期	2～4	女子のみ	水 10:45～12:15
	15004	キリスト教学ⅩⅠ	教養	山根 道公	2	2 期	1～4	女子のみ	火 13:00～14:30
	15008	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	2 期	2～4	女子のみ	木 16:30～18:00
	15010	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2 期	2～4	女子のみ	水 13:00～14:30
	15011	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	2 期	2～4	女子のみ	金 14:45～16:15
	15014	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2 期	2～4	女子のみ	火 13:00～14:30
	15016	近代文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2 期	2～4	女子のみ	火 13:00～14:30
	15018	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2 期	2～4	女子のみ	木 13:00～14:30
	15023	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	2 期	2～4	女子のみ	木 10:45～12:15
	15025	社会学特講 B	専門	福田 雄	2	2 期	2～4	女子のみ	木 13:00～14:30
	15026	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2 期	2～4	女子のみ	月 10:45～12:15
15029	考古学Ⅱ	専門	紺谷 亮一	2	2 期	2～4	女子のみ	木 13:00～14:30	
15031	平和学	専門	土佐 弘之	2	2 期	2～4	女子のみ	火 14:45～16:15	
美作大学	16001	情報のユニバーサルデザイン論	専門	関根 千佳	2	前期集中	2～4	定員 20 名	5, 6 月の 土曜・日曜日
	16002	災害を知る	教養	オムニバス	2	前期集中	1～4	定員 20 名	8 月 18～22 日 (予定)
	16003	災害に備える	教養	オムニバス	2	前期集中	1～4	定員 20 名	8 月 25～29 日 (予定)

## 6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

### (1)ちゅうぎん『金融知力』講座

#### ① 開講期間・授業時間について

開講期間	Part I	2025年8月26日	～	2025年8月27日
	Part II	2025年8月28日	～	2025年8月29日
授業時間	-	9:00	～	17:00

#### ② アクセス(案内図)



③ 「ちゅうぎん『金融知力』講座」の履修に関する連絡事項

「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I」、「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II」を履修する岡山大学以外の学生は、岡山大学の単位互換履修生となります。

※「ちゅうぎん『金融知力』講座」は、Part I、Part IIを両方受講することで、金融に関する知識が深まる内容になっていますので、ぜひとも両講座を受講して下さるようお願いいたします。

・ 履修申込期限

令和7年6月12日(木) 15時  
追加募集を行うことがあります。  
その場合は、別途、各所属大学の教務担当を通じてお知らせします。

・ 履修手続

所属大学を通じ、「岡山大学単位互換履修生証」を配付します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

#### ④ シラバス

##### ・対面授業科目

対面授業				20001
授業科目名:ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I			担当教員氏名:坂入信也教授 非常勤講師(メンター):天野久美、生部敬子、 林 寛之、池上夏穂	
Financial Literacy (Part I)			連絡先:中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL :086-223-3111 Eメール: coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp	
履修年次 全	1単位	夏季集中	定員 50名	8月26・27日(各日 9:00-17:00)
<b>【授業の目的】</b> 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。				
<b>【授業内容】</b> 各テーマの専門家を講師に迎え、社会生活に必要な基礎知識をテーマとして講義を行います。				
8月26日 ・「地方創生 SDGs 講義・ワーク」 ・「日本銀行見学」 ・「中国銀行本店見学」 ・「日本経済・岡山県経済の状況」 ・「創業支援への取組み」				
8月27日 ・「特殊詐欺・悪質商法への対処と相談方法」 ・「大学生と公的年金」 ・「職業としての資産運用と個人の資産形成」 ・「日本の財政について、地域金融機関と金融監督行政」 ・「多重債務問題と金融経済教育」				
※内容が変更になる場合がございます。				
<b>【テキスト】</b> 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料)				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席およびレポート、受講態度・勉学意欲(±α)。				



・対面授業科目

対面授業			20002	
授業科目名:ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II			担当教員氏名:坂入信也教授 非常勤講師(メンター):天野久美、生部敬子、 林 寛之、池上夏穂	
Financial Literacy(Part II)			連絡先:中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL :086-223-3111 Eメール: coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp	
履修年次 全	1単位	夏季集中	定員 50名	8月28・29日(各日 9:00-17:00)
<p><b>【授業の目的】</b> 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 各テーマの専門家を講師に迎え、社会生活に必要な基礎知識をテーマとして講義を行います。</p> <p>8月28日 ・「社会人のライフプランニング」 ・「お金の借り方返し方」 ・「模擬投資体験」 ・「もしもの備えと計画的な人生設計」</p> <p>8月29日 ・「いまどきのお金の付き合い方」 ・「ライフプランニング・ワークショップ」 ・「明日から役立つ国際業務の知識」 ・「銀行で働く魅力、社会人として知っておきたいお金の知識」 ・「役員による特別授業」</p> <p>※内容が変更になる場合がございます。</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席およびレポート、受講態度・勉学意欲(±α)。</p>				

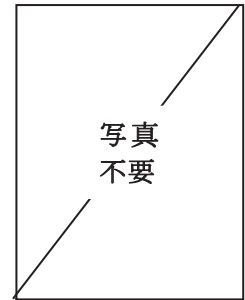
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科	年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成・令和	年
現住所	〒 -  Tel ( ) -				
メールアドレス	@				

\* 履修受付締切日: 6月12日(木)15時まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

**\* 定員(各回 50名)を超える履修願の提出があった場合は、抽選により履修者を決定します。**

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
20001	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	対面講義	8月26・27日 (各日 9:00-17:00)		
20002	ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II	教養	坂入 信也 (コーディネーター)	1	夏季集中	1~4	対面講義	8月28・29日 (各日 9:00-17:00)		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## 7. 各大学提供科目

- ① 開講期間・試験期間・授業時間について
- ② アクセス(案内図)
- ③ 担当窓口
- ④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項
  - ・履修申込期限
  - ・履修手続
  - ・施設利用
- ⑤ 各科目のシラバス
  - ・遠隔授業科目
  - ・対面授業科目
- ⑥ 単位互換履修科目履修願
  - (1) 岡山大学
  - (2) 岡山県立大学
  - (3) 岡山学院大学
  - (4) 岡山商科大学
  - (5) 岡山理科大学
  - (6) 川崎医科大学
  - (7) 川崎医療福祉大学
  - (8) 環太平洋大学
  - (9) 吉備国際大学
  - (10) 倉敷芸術科学大学
  - (11) くらしき作陽大学
  - (12) 山陽学園大学
  - (13) 就実大学
  - (14) 中国学園大学
  - (15) ノートルダム清心女子大学
  - (16) 美作大学

# (1) 岡山大学

## ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2025年4月9日	～	2025年6月9日
	第2学期	2025年6月10日	～	2025年8月10日
	第3学期	2025年10月1日	～	2025年12月2日
	第4学期	2025年12月3日	～	2026年2月14日
試験期間	第1学期	2025年6月3日	～	2025年6月9日
	第2学期	2025年7月31日	～	2025年8月6日
	第3学期	2025年11月26日	～	2025年12月2日
	第4学期	2026年2月4日	～	2026年2月10日
授業時間	1限	8:40～9:30	7限	15:30～16:20
	2限	9:40～10:30	8限	16:30～17:20
	3限	10:45～11:35	9限	17:30～18:20
	4限	11:45～12:35	10限	18:30～19:20
	5限	13:25～14:15	※9, 10限は授業の性質や時間割設定上やむ得ない場合に限り授業を行う。	
	6限	14:25～15:15		

## 法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース

開講期間	前期	2025年4月9日	～	2025年8月10日
	後期	2025年10月1日	～	2026年2月14日
試験期間	前期	2025年7月31日	～	2025年8月6日
	後期	2026年2月4日	～	2026年2月10日
授業時間	9限	18:00～19:30	10限	19:40～21:10

※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

## ② アクセス(案内図)

**津島キャンパスへ**



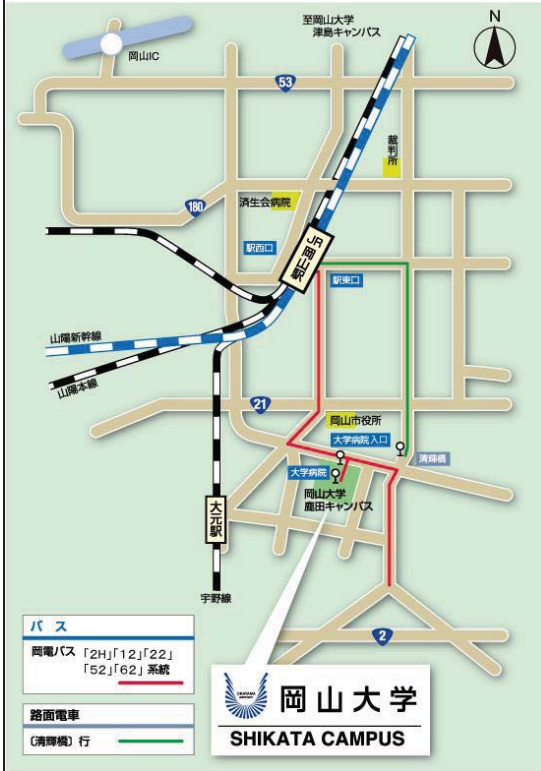
**JR 津山線「法界院」駅: 徒歩約10分**

**JR岡山駅→岡電バス**

- 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車 (所要時間約7～10分)
- ※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車 (所要時間約30分)
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き, 【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き, 【36】系統「辛香口」行き, 【86】系統「運転免許センター」行きに乗車「岡山大学筋」で下車 大学まで徒歩 (所要時間 バス約10分, 徒歩約7分)

**タクシー 岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から 約7分**

## 鹿田キャンパスへ



### JR岡山駅→岡電バス

- ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル 4 番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車  
「大学病院」(病院構内)で下車
- ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル 3 番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き, 【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き, 【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行き, または 4 番乗り場から【12】系統「岡南営業所」行きに乗車  
「大学病院入口」で下車 (所要時間約 10 分)

### 岡山駅→路面電車

岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車 終点「清輝橋」下車 大学まで徒歩。  
(所要時間 電車約 10 分 徒歩約 8 分)

### タクシー

JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約 7 分

### 循環バス「めぐりん」

岡山駅前から循環バスで「大学病院入口」で下車

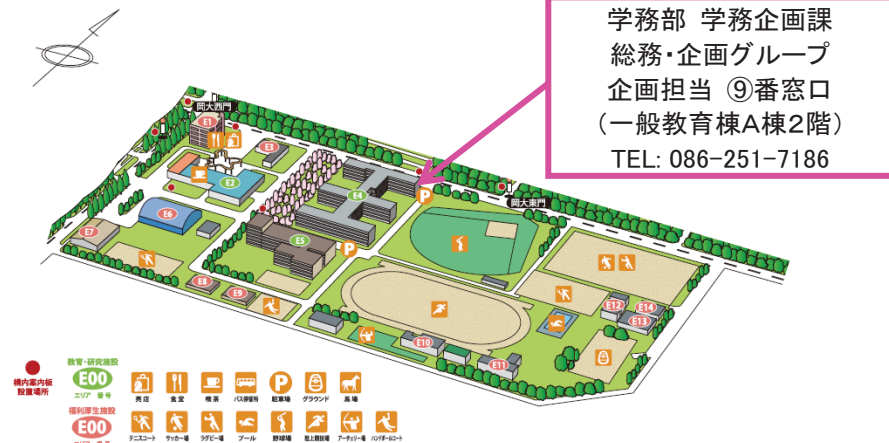
岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

### ③ 担当窓口

#### 学務部学務企画課

所在地: 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階



学務部 学務企画課  
総務・企画グループ  
企画担当 ⑨番窓口  
(一般教育棟A棟2階)  
TEL: 086-251-7186

#### 津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設 (ピーチユニオン) 学生会館	E4	学務部 国際部 グローバル人材育成院 L-café 一般教育棟D・E 棟 教育推進機構 学生支援部門 障がい学生支援室 スポーツ支援室	E6	清水記念体育館
E2	教育推進機構 入試・高大接続部門 学生支援部門 キャリア・学生支援室	E5	グローバル・ディスカバリー・プログラム	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟A~C 棟 教学企画室 教育推進機構 共通教育部門 外国語教育部門 学生支援部門 学生相談室 留学生相談室 学習・教授支援 (CTE) 部門 AI 数値データサイエンスセンター			E8	第一武道館
E4				E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話: 086-251-7186(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・ 履修申込期限

**第1・2学期:4月2日(水)15時まで 第3・4学期:9月18日(木)15時まで**

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
(申込期限は延長しません。)

##### ・ 履修手続

###### **対面授業科目を履修する方**

1. 初回の授業(またはオリエンテーション)当日に以下の印刷物をお渡しします。  
※事前に所属大学の教務(単位互換担当)を通じて配布する場合があります。  
対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。  
その際、講義室の場所を含め簡単な説明をしますので、時間に余裕を持って来学してください。
  - ①キャンパスマップ
  - ②単位互換履修生証
  - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
  - ④岡大ID・パスワード通知(必要な場合のみ)
  - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車・自動二輪車での通学は特殊事情がある場合に限り許可されます。  
希望する場合は事前にお申し出ください。

###### **遠隔授業科目を履修する方**

所属大学の教務(単位互換担当)を通じて上記「①～⑤」の書類を配布します。

##### ・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は図書館カウンターで単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

##### ・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業ではmoodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有やレポート提出等で利用します。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合、本学単位互換担当者が手続きを進め、その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」、「moodleの手引き」を単位互換履修生にお渡ししますので、必ず一読し、初回授業までにログイン等の手続きを終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

##### ・ 今後の実施要項の変更について

やむを得ない事情により、一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと、ご理解いただいたうえで、お申込みください。変更が生じた場合、申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus\\_link.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)

(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01101	
授業科目名:人文学概説(西洋美術史 a)			担当教員氏名:龍野 有子		
Introduction to History of Western Art a					
履修年次 2~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p><b>【授業の目的】</b>          ヨーロッパ文化圏の美術(建築、彫刻、絵画、素描、版画、写真等)の主要な素材と技法について、各種の複製技法の問題を含めて概観する。ヨーロッパ文化圏の建築・彫刻・絵画・画像類の主要な素材と技法及び複製に関する問題について、基礎的な知識を獲得する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          第 1 回 はじめに:「人工物」としての美術作品          第 2 回 美術作品の制作と複製          第 3 回 建材・彫刻材としての石、土砂、木材          第 4 回 聖堂建築の展開          第 5 回 鑄造技法とブロンズ彫刻の複数性          第 6 回 陶器と陶像、陶器          第 7 回 絵画類の基本構造:基底材(支持体)と色材(絵具)          第 8 回 壁画の技法:フレスコとモザイク          第 9 回 板絵の領域:エンカウスティック、テンペラ、油彩          第 10 回 油彩技法の展開とカンヴァスの登場          第 11 回 中世装飾写本:紙が存在しなかった時代          第 12 回 紙とルネサンス:印刷術としての版画技法          第 13 回 写真術の開発前史:カメラオブスキュラ          第 14 回 写真術の発明</p>					
<p><b>【テキスト】</b>          毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。          別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01102	
授業科目名:人文学概説(西洋美術史 b)			担当教員氏名:龍野 有子		
Introduction to History of Western Art b					
履修年次	2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(木曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>          ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルについて概観する。          ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルに関する基礎知識を獲得する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          01. はじめに          02. 「美術(史)」とは何(ではない)か          03. 「大芸術」という概念(1)職業美術家の社会的地位          04. 「大芸術」という概念(2)ルネサンス的な美術論の形成          05. 「大芸術」という概念(3)美術アカデミーの成立とアカデミックな芸術論の形成          06. 「宗教美術」という枠組み(1)「教会」と「教会堂」          07. 「宗教美術」という枠組み(2)礼拝対象としての彫像と画像          08. 「宗教美術」という枠組み(3)礼拝図像と物語図像          09. 「主題の序列」という思想(1)「歴史物語画」という枠組み          10. 「主題の序列」という思想(2)非宗教美術としての神話主題          11. 「主題の序列」という思想(3)肖像          12. 「主題の序列」という思想(4)風俗主題と人物像          13. 「主題の序列」という思想(5)風景表現と風景画          14. 「主題の序列」という思想(6)静物</p>					
<p><b>【テキスト】</b>          毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜18:00とし、締切後の回答は受け付けない。          別に期末レポートを課す(評点全体の30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を2冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して2,000字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					



遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01103	
授業科目名:人文学講義(西洋美術史 a)			担当教員氏名:龍野 有子		
Lecture on History of Western Art a					
履修年次 2~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p><b>【授業の目的】</b>          古典古代から近世までのヨーロッパ美術史について通史的に講ずる。ヨーロッパの造型芸術(建築・彫刻・絵画・工芸等)に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          01. イントロダクション          02. ヨーロッパ美術史の時代区分          03. 古典古代(1)古代ギリシア美術          04. 古典古代(2)古代ローマ美術          05. キリスト教の発生          06. 初期キリスト教美術と初期ビザンティン美術          07. ビザンティン美術          08. 西欧初期中世美術、ロマネスク美術          09. ゴシック美術          10. 中世から近世へ:「中世の秋」と「古典復興」          11. 近世(1)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(1)初期ルネサンスから盛期ルネサンスへ          12. 近世(2)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(2)マニエリスムとロマニスム          13. 近世(3)バロックと 17 世紀の美術          14. 近世(4)ロココと 18 世紀の美術</p>					
<p><b>【テキスト】</b>          毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。          別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンデマンド:文学部)				01104	
授業科目名:人文学講義(西洋美術史 b)			担当教員氏名:龍野 有子		
Lecture on History of Western Art b					
履修年次 2~4	1 単位	第4学期	1 コマ	50 分×2(木曜 5・6 限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  18 世紀末から 20 世紀半ばまでのヨーロッパ絵画史の展開についてパリ画壇を中心に通史的に講ずる。近代ヨーロッパ絵画に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  01. イントロダクション  02. 近代アカデミズムの形成(1)美術行政と美術市場  03. 近代アカデミズムの形成(2)基新古典主義とロマン主義  04. 前衛としてのリアリズム  05. 印象派と印象主義  06. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(1)印象主義に対する反発と反動  07. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(2)絵画の再定義の試み  08. キュビズム(1)「具象絵画」としてのキュビズム  09. キュビズム(2)キュビズムから非具象絵画へ  10. 未来派とダダ、構成主義  11. ダダからシュルレアリスムへ  12. シュルレアリスムと抽象美術(1)第二次大戦前夜の状況  13. シュルレアリスムと抽象美術(2)第二次大戦と抽象表現主義  14. モダニズムの終焉</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。  別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01105	
授業科目名:人文学概説(日本美術史a)			担当教員氏名:大久保 範子		
Introduction to History of Japanese Art a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(水曜3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  飛鳥時代から室町期までの日本美術の流れについて論じ、作品の文化的、歴史的な側面について美術史の観点から検討する。  時代背景が美術様式に対してどのように影響したのかについて、重要な作品を取り上げ考察する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  1:イントロダクション  2:飛鳥時代～奈良時代の美術  3:平安時代の美術  4:鎌倉時代の美術  5:室町時代の美術 1  6:室町時代の美術 2  7:絵巻物  8:試験(レポート)</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  特に使用しない</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  日本美術全集(全20巻)小学館  増補新装 カラー版日本美術史 美術出版社  山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版社</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業での取り組み(30点)および期末レポート(70点)によって評価する。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01106	
授業科目名:人文学概説(日本美術史 b)			担当教員氏名:大久保 範子		
Introduction to History of Japanese Art b					
履修年次 2~4	2単位	第2学期	1コマ	50分×2(水曜3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 江戸期の美術の流れについて学び、作品の文化的、歴史的な側面について美術史の観点から検討する。 時代背景が美術様式に対してどのように影響したのかについて、重要な作品を取り上げ考察する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> 1:狩野派と土佐派 1 2:狩野派と土佐派 2 3:狩野派以外の絵師たち 4:琳派の美術 5:京都画壇の絵師たち 1 6:京都画壇の絵師たち 2 7:初期浮世絵 8:試験(レポート)</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 特に使用しない</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 日本美術全集(全20巻)小学館 増補新装 カラー版日本美術史 美術出版社 山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』美術出版社</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 授業での取り組み(30点)および期末レポート(70点)によって評価する。</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01107	
授業科目名:人文学概説(美学2a)			担当教員氏名:川野 恵子		
Introduction to Aesthetics 2a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(火曜3-4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ18世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する18世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学aにおいては古代から近世まで、美学bにおいては近世から近代までを扱います。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  美学 a(1学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 プラトン</li> <li>3 アリストテレス</li> <li>4 プロティノス</li> <li>5 アウグスティヌス</li> <li>6 トマス・アキナス</li> <li>7 ダ・ヴィンチ</li> <li>8 まとめ</li> </ol> <p>美学 b(2学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 バトウ、デュボス</li> <li>3 レッシング</li> <li>4 デイドロ</li> <li>5 ライプニッツ</li> <li>6 バウムガルテン</li> <li>7 カント</li> <li>8 まとめ</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015年。  小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年。  井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023年。  佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  平常点(授業内発表)30%  授業後のレポート 70%</p>					

遠隔授業(オンライン:文学部)				01108	
授業科目名:人文学概説(美学2b)			担当教員氏名:川野 恵子		
Introduction to Aesthetics 2b					
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ18世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する18世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学aにおいては古代から近世まで、美学bにおいては近世から近代までを扱います。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  美学a(1学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 プラトン</li> <li>3 アリストテレス</li> <li>4 プロティノス</li> <li>5 アウグスティヌス</li> <li>6 トマス・アキナス</li> <li>7 ダ・ヴィンチ</li> <li>8 まとめ</li> </ol> <p>美学b(2学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 バトウ、デュボス</li> <li>3 レッシング</li> <li>4 デイドロ</li> <li>5 ライプニッツ</li> <li>6 バウムガルテン</li> <li>7 カント</li> <li>8 まとめ</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015年。  小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年。  井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023年。  佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  平常点(授業内発表)30%  授業後のレポート 70%</p>					

遠隔授業(対面とオンデマンド併用:文学部)				01109	
授業科目名:人文学概説(日本思想史b)			担当教員氏名:本村 昌文		
Introduction to Japanese Intellectual History b					
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 日本思想史研究において,重要な研究テーマとなる神道・国学について概説する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> この授業はメディア授業として実施します。具体的には、すべての授業を対面授業とオンデマンド受講の併用で進めます。オンデマンド受講の出席については,定められた期間内に該当回の教材として用意された資料や動画の閲覧を完了し,「授業での取り組み」を提出することで出席として扱います。オンデマンド受講は,翌週の授業の前日までに資料・動画の視聴を完了してください。授業に関する質問は,「授業での取り組み」に記述してください。</p> <p>1-2:ガイダンス 3-4:『古事記』と『日本書紀』 5-6:伊勢神道と吉田神道 7-8:江戸期の神道(1)林羅山と吉川惟足 9-10:江戸期の神道(2)垂加神道 11-12:国学者の思想(1)本居宣長 13-14:国学者の思想(2)平田篤胤とその後</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 特になし。</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 授業での取り組み 60%、最終レポート 40%</p>					

遠隔授業(ハイブリッド授業:工学部)				01110	
授業科目名:セキュリティ概論			担当教員氏名: 横平 徳美、野上 保之、福島 行信、 五百旗頭 健吾、小寺 雄太		
Introduction to Security					
理工系学部 3 年次以上	2 単位	第3・4学期	2 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)	
<p><b>【授業の目的】</b> サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暗号の歴史と概要</li> <li>2. 暗号数学</li> <li>3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術</li> <li>4. 暗号計算のハードウェア実装</li> <li>5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価</li> <li>6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術</li> <li>7. データリンク層セキュリティ</li> <li>8. ネットワーク層セキュリティ(1)</li> <li>9. ネットワーク層セキュリティ(2)</li> <li>10. トランスポート層セキュリティ</li> <li>11. アプリケーション層セキュリティ</li> <li>12. マルウェア感染と解析 (1)</li> <li>13. マルウェア感染と解析 (2)</li> <li>14. メモリ破棄攻撃と対策 (1)</li> <li>15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100 分の授業を 1 回としている)</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b> Web やメールで資料を配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b></p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 全 15 回のうち、5 回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学 60%、テスト・課題 40%で成績をつける。</p>					



遠隔授業(オンデマンド:教養教育科目)				01111	
授業科目名:現代社会と先端的物理学			担当教員氏名:池田 直		
Fruits of Physics in Modern Society					
履修年次 1~2	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 物理学が我々の文明・生活にどのような場面で利用されているのかを知るとともに、現代の物理学の最先端に触れ、その教養知識を得る。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> このところネット授業を実施していました。すると文法系の学生に履修しやすい物理科目ということで、大変多くの学生さんが履修するようになりました。このため 25 年度もネット経由で授業する予定です。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入・物理学で用いられる単位系について</li> <li>2. 時間や大きさのスケールについて</li> <li>3. エネルギーはどこで利用されているか</li> <li>4. エネルギー・力学入門</li> <li>5. 電気の世界</li> <li>6. 電磁波とはなにか</li> <li>7. 原子の世界</li> <li>8. 安定な原子と放射能</li> <li>9. 波の性質</li> <li>10. 量子の世界のふしぎ</li> <li>11. 最先端の大型研究施設について</li> <li>12. 大型放射光施設 SPring8 入門</li> <li>13. 大型中性子施設 J-Parc 入門</li> <li>14. 世界最高のニュートリノ施設カミオカンデ入門</li> <li>15. 自然エネルギーの大きさ</li> <li>16. 自然エネルギーをどう使うか</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b> 授業のときに配布する資料を用います。</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 10[X]の世界：素粒子から銀河まで、上田剛慈著、彩図社 日常の疑問を物理で解き明かす：スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?、原康夫、右近修治著、ソフトバンククリエイティブ</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席 50 点、レポート 50 点 出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらおうのですが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>					

遠隔授業(全学共通科目)				01112	
授業科目名:キャンパスライフ不適應への対策講座			担当教員氏名:原田 新、池谷 航介		
University Adjustment Seminar					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	1コマ	50 分×2(曜日・時限未定)	
<p><b>【授業の目的】</b>  高校までの学校段階とは異なり、大学では学業面を始め大学生活の様々な面で自主性や自己管理が求められる。特に大学に入学したばかりの1年生は、大学という新しい環境への適応に難しさを持つ場合が多い。本授業の目的は、大学生活の困難さ低減に役立つスキルの向上を促すことで、受講者の高大移行や大学生活の適応に寄与することである。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  本授業では、大学生活で生じる問題や困難さを減らす上で役立つスキルの知識を学ぶと共に、自身で演習を行う。なお、本授業は、オンデマンド授業の形で実施する。毎週、授業の教材動画をアップするので、それを任意の時間に視聴してもらった上で、その週のうちに課題を提出してもらう予定である。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>1 週目:大学生活で何に困りやすいのか  2 週目:大学特有の社会常識  3 週目:資源の活用(ICT 機器)  4 週目:資源の活用(援助要請)  5 週目:自己管理(時間管理、タスク管理)  6 週目:雑談スキル  7 週目:アサーションスキル  8 週目:気持ちの切り替え</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  無し。毎回パワーポイントの資料を配布します。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  適時、紹介します。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート 44%、提出物 56%とし、総合評価を行う。</p>					

・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名:人文学概説(哲学1)			担当教員氏名:植村 玄輝	
Introduction to Philosophy 1				
履修年次 2	2 単位	第1・2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証を分析し評価するための基礎スキルを手に入れる。</li> <li>・現代哲学の基本的な知識を獲得する。</li> <li>・哲学の文献を読む習慣を身に付ける。</li> </ul>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>この授業では、現代哲学がどのような営みであるのかを、いくつかのトピックに話題を絞って概説する。毎回の授業では、表題として掲げられている問いについて、(1)それがいったいどのような問いなのか、(2)その問いへの回答になる立場にはどのようなものがあるのか、(3)その問いがなぜ興味深いのかを中心に解説する。したがってこの授業では、現代のさまざまな哲学者の思想を紹介するというよりも、個別の哲学の問題に対してどのような主張がなされているのか、それらの主張にどのような論証が与えられているのかをはっきりさせることに重点が置かれることになる。</p>				
<p><b>【スケジュール】</b></p> <p>第1回:イントロダクション／穴は回るのか？(1)          第2回:穴は回るのか？(2)          第3回:私たちは他人の心について知ることができるのか？(1)          第4回:私たちは他人の心について知ることができるのか？(2)          第5回:私たちは何を見ているのか？(1)          第6回:私たちは何を見ているのか？(2)          第7回:ここまでの授業に関するQ&amp;A          第8回:心を持つロボットを作ることにはできるのか？(1)          第9回:心を持つロボットを作ることにはできるのか？(2)          第10回:私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(1)          第11回:私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(2)          第12回:幸福とは何か？(1)          第13回:幸福とは何か？(2)          第14回:ここまでの授業に関するQ&amp;A／まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>特になし</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>適宜紹介する。主要なものについては、岡山大学のシラバスで当授業を検索すれば見ることができる。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>Moodle上での小テスト(30%)および期末レポート(70%)で評価する。</p>				

対面授業(文学部)				01002	
授業科目名:人文学講義(哲学)			担当教員氏名:竹島 あゆみ		
Lecture on Philosophy					
履修年次 2~4	2単位	第1・2学期	1コマ	50分×2(木曜5・6限)	
<b>【授業の目的】</b> 哲学及び隣接領域における「和解」概念について概観する。					
<b>【授業内容】</b> 第1回:イントロダクションー「和解」とは何か 第2回:キリスト教神学における和解・1 第3回:キリスト教神学における和解・2 第4回:若きヘーゲルにおける和解・1 第5回:若きヘーゲルにおける和解・2 第6回:『精神現象学』における和解・1 第7回:『精神現象学』における和解・2 第8回:『精神現象学』における和解・3 第9回:法哲学における和解・1 第10回:法哲学における和解・2 第11回:現代における和解・1 第12回:現代における和解・2 第13回:現代における和解・3 第14回:まとめ					
<b>【テキスト】</b> なし					
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 授業中に行うフィードバック記入40%、期末レポート60%。					

対面授業(文学部)				01003	
授業科目名:人文学概説(芸術学)			担当教員氏名:本田 晃子		
Introduction to Arts					
履修年次 2~4	2単位	第3・4学期	1コマ	50分×2(月曜3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>          本授業では、映画の撮影方法から演出、編集、構成までをとりあげ、映画作品がどのような意図に基づいてどのように組み立てられているのかを学んでいきます。毎回教員の解説を交えながら作品を視聴し、授業の終わりに課題に取り組んでもらいます。これらの作業を通して、映画研究で用いられる専門用語や概念を駆使し、独力で映画作品を分析できるようになることを目指します。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>◆3 学期          第1回:導入          第2回:ショット①          第3回:ショット②          第4回:音声          第5回:時間          第6回:編集          第7回:特殊撮影(SFX)          第8回:期末テスト</p> <p>◆4 学期          第1回:導入          第2回:俳優と演技          第3回:セット①          第4回:セット②          第5回:光と色          第6回:小道具①          第7回:小道具②          第8回:期末テスト</p>					
<p><b>【テキスト】</b>          なし</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          ジャック・オーモン『映画理論講義:映像の理解と探究のために』武田潔訳、勁草書房、2000年、ウォーレン・バックランド『フィルムスタディーズ入門:映画を学ぶ楽しみ』前田茂、要真理子訳、晃洋書房、2007年、デイヴィッド・ボードウェル、クリスティン・トンプソン『フィルム・アート:映画芸術入門』飯岡詩朗他訳、名古屋大学出版会、2007年、マイケル・ライアン、メリッサ・レノス『Film analysis:映画分析入門』田畑暁生訳、フィルムアート社、2014年</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          平常点(毎回の課題の成績)50%:期末テスト50%</p>					

遠隔授業(文学部)				01004	
授業科目名:人文学講義(社会学a)			担当教員氏名:齋藤 圭介		
Lecture on Sociology a					
履修年次 2~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(火曜5・6限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  先行研究にかんする知識を習得すると同時に、議論の展開の仕方やデータの処理方法などを身につける。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  現代社会における生殖をめぐる諸事象を、とりわけジェンダーと公正という2つの観点から考察する。  ※第1回目にオリエンテーションを行なう。  1-2. 生殖と男性をめぐる社会学的研究の系譜  3-4. 避妊をめぐるジェンダー研究  5-6. 育児をめぐるジェンダー研究  7. 生殖補助医療技術をめぐるジェンダー研究  8. 生殖論を再構築するために</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  ISBN 4778318781  書名 射精責任  著者名 ガブリエル・スタンリー・ブレア 著・文・その他,村井 理子 翻訳,齋藤 圭介 解説,ガブリエル・スタンリー・ブレア,村井 理子  出版社 太田出版 出版年 2023-</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み 50%  期末レポート 50%</p>					

対面授業(文学部)				01005	
授業科目名:社会学入門			担当教員氏名:都島 梨紗		
Introduction to Sociology					
履修年次 全学年	1 単位	第2学期	1コマ	50 分×2(火曜3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>          ポスト工業社会に至る戦後社会の歴史を社会学の視座から俯瞰したうえで、現在の社会問題に対し社会学に何ができるのかを考える。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          第1回 日本型雇用のしくみ(1)日本型雇用の基礎          第2回 日本型雇用のしくみ(2)日本型雇用の功罪          第3回 工業化と社会問題(1)環境問題とはなにか          第4回 工業化と社会問題(2)環境問題と専門知          第5回 工業化と社会問題(3)環境問題と暮らし          第6回 ポスト工業社会とあらたな社会問題(1)ポスト工業化とはなにか          第7回 ポスト工業社会と社会問題(2)まとめ</p>					
<p><b>【テキスト】</b></p>					
<p><b>【参考図書】</b>          『日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学』小熊英二著、2019年、講談社          『水俣病闘争史』米本浩二著、2022年、河出書房新社          『社会を結びなおす：教育・仕事・家族の連携へ』、本田由紀著、2014年、岩波書店</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業への参加度(25%)、中間レポート(25%)、期末レポート(50%)により総合的に評価する。詳細については、第1回目の授業冒頭で説明する。</p>					

対面授業(教育学部)				01006	
授業科目名:中等社会科・公民科指導法 I A			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Class Method I A					
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。  2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。  中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認  第1回 中等社会科教育の目標論の再考  第2回 公民科教育の目標論の再考  第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆)  第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆)  II. 授業構想と模擬授業  第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究  第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想  第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究  第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想  第9回 公民科公共の教材研究  第10回 公民科公共の学習指導の構想  第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究  第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想  III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築  第13回 中等社会科学習指導論の構築  第14回 公民科学習指導論の構築  試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					



対面授業(教育学部)				01007	
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法ⅡA			担当教員氏名: 桑原 敏典		
Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods II A					
履修年次 2～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜 7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。  2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。  3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 公民科教育の歴史的変遷と現状  第2回: 公民科教育の課題  第3回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の目標  第4回: 学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標  第5回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造  第6回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の内容  第7回: 学習指導要領公民科各科目の内容  第8回: 学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点  第9回: 学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点  第10回: 中学校社会科の授業構成原理  第11回: 公民科の授業構成原理  第12回: 中学校社会科の授業分析  第13回: 公民科(公共)の授業分析  第14回: 公民科(倫理)の授業分析  第15回: 公民科(政治・経済)の授業分析  第16回: 試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(教育学部)				01008	
授業科目名:GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論 I			担当教員氏名:桑原 敏典		
GCED I			GCED I		
履修年次 2~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(月曜1・2限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。  (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。  (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か  第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育  第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み  第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際  第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際  第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析  第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際  第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析  第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入  第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開  第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質  第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題  第13回 シティズンシップ教育の評価の方法  第14回 シティズンシップ教育の評価の課題  第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育  試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  テキストは用いない</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(教育学部)				01009	
授業科目名:中等社会科・公民科指導法基礎 A			担当教員氏名:桑原 敏典		
Secondary Social Studies(Civics)Class Method Basic A					
履修年次 1～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜 3・4限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。  2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。  3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認  第1回 中等社会科教育の目標論の再考  第2回 公民科教育の目標論の再考  第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆)  第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆)  II. 授業構想と模擬授業  第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究  第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想  第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究  第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想  第9回 公民科公共の教材研究  第10回 公民科公共の学習指導の構想  第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究  第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想  III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築  第13回 中等社会科学習指導論の構築  第14回 公民科学習指導論の構築  試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>					

対面授業(法学部)				01010
授業科目名:法哲学			担当教員氏名:大森 秀臣	
Philosophy of Law				
履修年次 3~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、「法とは何か」、「法的なものの考え方の特徴とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわる様々な問いについて解説する。大きな時代変革に対応する法的取り組みを構想するために、法哲学的な思考を身に着けることは不可欠である。法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を身につけることを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回:ガイダンス  第2回:法的思考の特質  第3回:法とは何か—法＝強制説の諸問題  第4回:法とは何か—二つの法体系論  第5回:法規範—義務賦課規範と権能付与規範、裁決規範と行為規範  第6回:法規範—ルールと原理  第7回:法の妥当性—法学的妥当論と社会学的妥当論  第8回:法の妥当性—心理学的妥当論と哲学的妥当論  第9回:法と道徳  第10回:自然法論と法実証主義  第11回:悪法問題  第12回:ハート対フラウー論争  第13回:法による道徳の強制  第14回:パターンリズム  期末試験(レポート)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  とくに指定はしないが、以下の参考書入手の方が望ましい。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  瀧川裕英, 宇佐美誠, 大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、2014年)  平野仁彦, 亀本洋, 服部高宏著 (有斐閣、2002年)  酒匂一郎『法哲学講義』(成文堂、2019年)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験(レポート)によって成績評価する。</p>				

対面授業(理学部)				01011	
授業科目名:一般化学1			担当教員氏名:鈴木 孝義		
General Chemistry 1					
履修年次 1~4	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(金曜1・2限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 物質を理解するため、構成する要素及び化学結合に関する知識を習得する。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> 化学で基本となる原子や分子の性質、化学結合に関する基本的な内容を中心に概説する。 第1回 化学と物質 第2回 原子の構造 1:原子スペクトル 第3回 原子の構造 2:電子軌道 第4回 原子の構造 3:元素の周期性 第5回 化学結合 1:イオン結合と共有結合 第6回 化学結合 2:分子軌道 第7回 化学結合 2:混成軌道、水素結合 第8回 学期末試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 久保園芳博, 山崎岳共編著「大学生の一般化学」(ISBN:978-4563046255) 培風館</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 増田芳男・澤田清 編著「理系のための基礎化学」(化学同人)</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 学期末試験(50%)、レポート(20%)、小テスト(原則として毎授業で演習として行う:30%)</p>					

対面授業(理学部)				01012	
授業科目名:一般化学2			担当教員氏名:武安 伸幸		
General Chemistry 2					
履修年次 1~4	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(金曜1・2限)	
<p><b>【授業の目的】</b> 自然科学系全般で必要とされる化学の基礎的な概念・知識を学び, 化学的な観点から物事を考えることができる力を身につける。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> 熱力学, 化学平衡, 反応速度論など, 化学を理解するための基礎的な概念を講義する。 第1週 化学熱力学(1) 第2週 化学熱力学(2) 第3週 溶液内の反応と化学平衡 第4週 反応速度論 第5週 電気化学 第6週 有機化学 第7週 化学と生命現象 第8週 最終試験</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 久保園芳博, 山崎岳共編著 「大学生の一般化学」(ISBN:978-4563046255) 培風館</p>					
<p><b>【参考図書】</b></p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 成績はレポート(40点)、最終試験 60点をもとに評価する。</p>					

対面授業(歯学部)				01013	
授業科目名:痛みの科学			担当教員氏名:宮脇卓也・他		
Essays on pain					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 1・2 限)	
<p><b>【授業の目的】</b>  痛みはそれを感じる生体への警告信号であり,誰もが日常生活で経験するものです。しかし,それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に,生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では,痛みの種類と発生機序,様々な病態における痛みの特徴,および痛みを制御する方法について理解し,日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 痛みの科学概説(1)  第2回: 痛みの科学概説(2)  第3回: 痛みの神経解剖生理学(1)  第4回: 痛みの神経解剖生理学(2)  第5回: 痛みの神経薬理学(1)  第6回: 痛みの神経薬理学(2)  第7回: 痛みの臨床(1)  第8回: 痛みの臨床(2)  第9回: 痛みの臨床(3)  第10回: 痛みの臨床(4)  第11回: 痛みの臨床(5)  第12回: 痛みの臨床(6)  第13回: 痛みの臨床(7)  第14回: 痛みの臨床(8)  第15回: 痛みの科学のまとめ  第16回: 予備日</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  特にありません。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い,これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから,基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>					

対面授業(工学部)				01014
授業科目名:先端半導体テクノロジー入門			担当教員氏名: 紀和 利彦、平木 英治、鶴田 健二	
Introduction to advanced semiconductor technology				
履修年次 1	1 単位	夏季集中	2 日間	9/11(木) 8:40~17:20 9/12(金) 8:40~17:20
<p><b>【授業の目的】</b>  2030 年に 1 兆米ドル(約 157 兆円)の市場に成長する見込みの次世代半導体は、電機だけでなく、AI-IoT、輸送機械をはじめとするあらゆる現代産業の基盤技術になっている。本授業は、高校の物理を学習した方に、先端半導体の定性的な動作と産業応用を理解してもらうことを目的としている。企業の現役研究者をゲスト講師として迎え、このテクノロジーを支える技術と応用の状況と共に、どのように各種産業と関連して成り立っているのかを理解する。ひいては、受講者が高年次で履修する専門科目と社会との関係性を理解する上で必須の素養を提供する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  <u>9 月 11 日(木) 8:40~17:20</u>  1 半導体はなぜ“ざわつく”のか?(サプライチェーン・バリューチェーン)  2 半導体と経済&amp;技術:ホットな話題を考える(AI 普及をゲームの NVIDIA が牽引したのはなぜ?先端デバイスの微細化のご利益と重荷は何?ほか)  3 身近にある半導体デバイスの原理を知る(ロジック、メモリ、パワー、撮像素子、TFT 液晶ほか)  4 新幹線も EV も半導体で動いている??? (パワーデバイスとパワーエレクトロニクス)</p> <p><u>9 月 12 日(金) 8:40~17:20</u>  5 日本の隠れた強み(半導体製造装置・半導体素材)  6 日本人ノーベル賞受賞者 3 名が拓いた光ビジネスとその応用(光半導体)  7 ウエハって何?(ウエハプロセス&amp;ファウンダリビジネス)  8 半導体を“使える”ようにする技術(実装/チップレット&amp;OSATビジネス)</p>				
<p><b>【場所】</b>  工学部 5 号館 15 講義室(予定)</p> <p>※オンラインでの配信はありません。  ※日程、授業内容は変更される場合があります。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  資料を PDF ファイル等で配布する</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート(100%)</p>				



対面授業(農学部)				01015																								
授業科目名:農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫																									
Experience of Farm Practice																												
履修年次 1~4	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする																								
<p><b>【授業の目的】</b> 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。</p>																												
<p><b>【授業内容】</b> 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員( ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせ下さい(希望人数によっては抽選になります)。 8月1日(金)17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月24、25、26日)、以下のような要領で実習を行います。</p> <p>1) 野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)において、教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。</p> <p>2) 実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある)</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">9月24日(水)</th> <th style="text-align: left;">9月25日(木)</th> <th style="text-align: left;">9月26日(金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-11:45 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹園管理 1</td> <td>9:00-9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 水田の管理</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理 1</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-16:00 果樹園管理 2</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 ブドウの評価</td> <td>14:00-16:00 野菜の管理2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>16:00-16:30 着替え、解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 終了後、指示されたレポートは、Moodleにて担当教員へ提出する。</p>					9月24日(水)	9月25日(木)	9月26日(金)	10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00-9:30 移動(津高牧場)	11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理	13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理	15:15-17:00 野菜の管理 1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)	17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)		16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2		17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散
9月24日(水)	9月25日(木)	9月26日(金)																										
10:30-11:45 センター紹介	9:00-10:15 果樹園管理 1	9:00-9:30 移動(津高牧場)																										
11:45-13:15 昼食(生協等)	10:30-11:45 畑雑草の管理	9:45-10:45 草地の管理																										
13:15-15:00 水田の管理	11:45-13:15 昼食(生協等)	11:00-12:00 和牛の管理																										
15:15-17:00 野菜の管理 1	13:15-15:00 ブドウの収穫	12:00-12:30 移動(岡山農場)																										
17:00 解散	15:15-16:00 果樹園管理 2	12:30-14:00 昼食(生協等)																										
	16:00-17:00 ブドウの評価	14:00-16:00 野菜の管理2																										
	17:00 解散	16:00-16:30 着替え、解散																										
<p><b>【テキスト】</b> 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p>																												
<p><b>【参考図書】</b> 応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p>																												
<p><b>【成績評価の方法】</b> 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p>																												

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01016
授業科目名 : Introductory Mathematics I			担当教員氏名 : Md. Azhar Uddin	
Introductory Mathematics I			※英語による授業	
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  This subject is designed for students who enter university without a strong background in mathematics. This course is an introductory mathematics course which will cover basic skills in numeracy, algebra, linear function and graphing. The course aims to provide a sound foundation in basic mathematical skills and an introduction to their application to problem solving.</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 Algebra of factorials and quadratic functions  2. Exponents and logarithms  3. Polynomials  4. Trigonometric functions  5. Graphical methods  6. Sequences and series  7. Binomial expansion  8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  N/A</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Lecture PowerPoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Regular attendance.  Exercises and final test are combined for grading.</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01017
授業科目名: Introductory Mathematics II			担当教員氏名: 唐 健	
Introductory Mathematics II			※英語による授業	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  In this course, we teach mathematics on trigonometry, vectors, sequences, calculus, and statistics.  With these mathematics, you can pursue college-level learning on mathematics.</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. Further trigonometry  2. Vectors  3. Sequences  4. Differentiation  5. Integration  6. Statistical data  7. Probability  8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  N/A</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Lecture powerpoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  Exercises on Moodle are necessary after every class.  Exercises and final test are combined for grading.</p>				

対面授業(全学共通科目)				01018	
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名::榎本 翔太 :鈴木 久雄		
Health and Sports Sciences					
履修年次 1~4	1 単位	通年	1コマ	水曜 18:30~20:20	
<p><b>【授業の目的】</b>  科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。  また, 個々人が自ら設定した課題を探求し, 理論と実践の融合をはかる。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>  I 4月9日(水) 18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)  II 下記の講義 1)~8)より 7 回以上受講すること。  場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室  1) 4月16日(水)スポーツと心臓  2) 5月14日(水)スポーツと栄養 ~スポーツするならこう食べよう!~  3) 6月25日(水)スポーツから学ぶ人間力  4) 7月16日(水)上肢スポーツ障害  5)10月22日(水)これだけ知ってりゃ、だいたい OK! スポーツ外傷・障害  6)11月12日(水)メンタルヘルスに資するトレーニングをスポーツに生かす  7)12月17日(水)スポーツ歯学  8) 1月21日(水)スポーツと法  III 1月21日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)</p>					
<p><b>【テキスト】</b>  テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  特になし</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  7 回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。</p>					



対面授業（教養教育科目）				01020
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	2学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】  韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。  韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。  韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得：  各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】  プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】  期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				

対面授業（教養教育科目）				01021
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	3学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】</p> <p>韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。</p> <p>韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。</p> <p>韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得： 各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】</p> <p>プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				

対面授業（教養教育科目）				01022
授業科目名：韓国語中級				担当教員氏名：陳 南澤
Intermediate Korean				
履修年次 1～4	1単位	4学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が認 めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書（様式は問いません。）を添えて提 出してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】          韓国語の総合的学習（より多様な表現を学び、作文などを行う）と、韓国文化に関する理解を深める。          韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。          韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>第1～7回：プリントによる韓国語の文型や単語の習得：          各課ごとに単語テストを行う。</p> <p>第8回：最終試験</p>				
<p>【テキスト】          プリント</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】          期末試験（40%）、小テスト・授業への取り組み・出席状況（60%）で、総合的に評価する。</p>				



対面授業(全学共通科目)				01023	
授業科目名:数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名:國米 充之		
Basic Mathematical and Data Sciences			定員 10名		
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(月曜3・4限)	
<b>【授業の目的】</b> データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する					
<b>【授業内容】</b> 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解</li> <li>● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践</li> <li>● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解</li> </ul> なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			<b>授業計画:</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会におけるデータサイエンス</li> <li>2. データサイエンスの事例と情報倫理</li> <li>3. コンピュータを用いたデータ分析基礎(1)</li> <li>4. データ分析の基礎(2)と分析における注意点</li> <li>5. 機械学習の概要基礎・利用事例</li> <li>6. ニューラルネットワークの概要と今後 生成 AI について</li> <li>7. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例 (計画の順番が前後することがある)</li> </ol>		
<b>【テキスト】</b> “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】 オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編)					
<b>【参考図書】</b>					
<b>【成績評価の方法】</b> 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle による小テスト、ならびに講義内容に関する演習課題の提出(評価)にて、総合的に評価する。					

対面授業(全学共通科目)				01024	
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名: 中西 真、寺東 宏明、岩崎 良章、 崎田 真一、岡本 崇		
Introduction of Safety and Health					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	1コマ	50 分×2(月曜 5・6 限)	
<p><b>【授業の目的】</b>          どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p>					
<p><b>【授業内容】</b>          職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。          講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理等をテーマにする。          到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。          授業は全 8 回で、内容は①ガイダンス、安全衛生の概要、②作業環境要素、③作業管理、安全衛生関連法令、④作業環境管理、⑤放射線安全管理、⑥化学物質管理と環境管理、⑦健康管理、⑧期末試験、である。</p>					
<p><b>【テキスト】</b>          指定しない。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>          講義中に紹介する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100 点満点で、講義中の小テストは各 10 点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。</p>					

対面授業(全学共通科目)				01025
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習(下記)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度の概要,生活設計とリスク管理</li> <li>2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の歴史・役割</li> <li>3. 生命保険契約の基本, 消費者保護や利便性向上の取組</li> <li>4. 生命保険会社の組織・業務・社会的役割 等</li> </ol> <p>○また実践的な作業も実施(下記)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命保険契約における保険料の算出根拠</li> <li>2. 必要保障額の算出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名: 図説生命保険ビジネス第2版  著者名: 山本祥司/川野眞一郎、他  出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度: 2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01026
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:山本 一輝	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障制度の概要</li> <li>2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割</li> <li>3. 生命保険契約のしくみ</li> <li>4. 生命保険会社の組織・業務 等</li> </ol> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命保険契約における保険料の算出根拠</li> <li>2. 必要保障額の算出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第2版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01027	
授業科目名:ESD「持続可能な開発のための教育」の ホール・コミュニティ・アプローチ			担当教員氏名:柴川 弘子	
Whole-Community Approach for Implementing Education for Sustainable Development				
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	例:50分×2(火曜 5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b> ESD は視点の教育であると言われる。そのような視点を持つことで、どのような場・領域・分野においても実践は可能となるとも言える。そして、それらの視点は、まさに持続可能な社会づくりの実践の中において涵養されるものである。ただ単に実践(者)に出会い・体験するのではなく、その前後における十分な探究プロセスの有無が重要となる。そこで、本授業では、学生自らが ESD に出会い、実践を体感し、視点を獲得するという体験を通じて、ESD の実践者として求められる大切な視点を獲得することを目的としている。 以下の内容について、専門知識や技能を習得することを学習目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ESD の基礎的知識</li> <li>② ESD を地域と連携して実践する上での課題</li> <li>③ ESD を推進する地域の取り組み</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b> ESD(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育は、世界の諸課題を見据えながらも「地域コミュニティに根差し、多様な人々、社会および環境と有機的につながり」ながら実践されるものである。ホール・コミュニティ・アプローチとは、多様な持続可能な開発の実践の共同体が、それぞれに自律的かつ主体的に生き活きと実践を進めながら、相互に関わり合い、学び合いながら新たな価値を創造していくように ESD が進められる手法(仕組み・仕掛け)のことを意味している。 本講義で目指すのは、その実践を進める上での課題について理解し、具体的な方法について体験を通じて学び、ESD の実践者としての視点を獲得することである。 本講義では、ESD の基礎的な知識と学習理論、そして先進的な実践事例におけるアプローチについて学ぶ。受講生自身もフィールドに出向いたり、実践者の方と出会ったりする体験を通じて、地域と連携して ESD を推進する上での視点を獲得することを期待している 授業計画は以下の通りである。 1回:オリエンテーション、ESD についての講義 2回:フィールドワーク 3回:フィールドワークの振り返り、ディスカッション、課題提起 4回:関係者による講義、ディスカッション 5回:調査(フィールドワーク) 6回:中間報告 7回:調査(フィールドワーク) 8回:提案発表、振り返り、相互評価</p>				
<p><b>【テキスト】</b> なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 適宜授業で資料を配布・指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> グループディスカッション参加、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に評価する。なお、2/3 以上の出席(フィールドワーク含む)が成績評価の対象となる。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01028	
授業科目名:対話による社会参画入門編			担当教員氏名:桑原敏典		
Introduction edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara		
履修年次 1~4	1単位	第3学期	1コマ	50分×2(金曜 7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法 第3回:NPOの役割と働き 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見の方法 第6回:地域課題発見のためのワークショップ 第7回:地域課題発見のための技術 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査の計画立案 第11回:地域課題発見のための実地調査 第12回:地域課題解決のための実地調査の計画立案 第13回:地域課題解決のための実地調査 第14回:最終報告会</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01029	
授業科目名:対話による社会参画上級編			担当教員氏名:桑原敏典		
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara		
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)	
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>					
<p><b>【授業内容】</b> この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。また、入門編を履修していないと履修できません。 第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>					
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>					
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>					

対面授業(教養教育科目)				01030	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
<b>【授業の内容】</b> 第 1 学期 第 1 回: 授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回: 第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回: 第二課「作客」(前半) 第 4 回: 第二課「作客」(後半) 第 5 回: 第三課「中国菜」(前半) 第 6 回: 第三課「中国菜」(後半) 第 7 回: 第四課「大手饅頭」 第 8 回: まとめと試験					
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					



対面授業(教養教育科目)				01031	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
<b>【授業の内容】</b> 第 2 学期 第 1 回: 第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回: 第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回: 第六課「茶食」(前半) 第 4 回: 第六課「茶食」(後半) 第 5 回: 第七課「告辞」(前半) 第 6 回: 第七課「告辞」(後半) 第 7 回: 第八課「黄山」 第 8 回: まとめと試験					
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01032	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
<b>【授業の内容】</b> 第 3 学期 第 1 回: 第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回: 第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回: 第十課「大観園」(前半) 第 4 回: 第十課「大観園」(後半) 第 5 回: 第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回: 第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回: 映画鑑賞 第 8 回: まとめと試験					
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(教養教育科目)				01033	
授業科目名: 中国語中級			担当教員氏名: 孫 路易		
Intermediate Chinese					
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)	
<b>【授業の目的】</b> 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成					
<b>【授業の内容】</b> 第 4 学期 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回: 映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験					
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)					
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%					

対面授業(全学共通科目)				01034
授業科目名: “アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～			担当教員氏名:宮崎 悟	
Science in smartphones and society with semiconductors, none of which are taken for granted.				
履修年次 1～4	1 単位	夏季集中	定員 10 名	9/17(水)8:40-15:15:計 6 時限 9/18(木)8:40-15:15:計 6 時限 9/19(金)8:40-12:35:計 4 時限
<p><b>【授業の目的】</b>          私たちが日常アタリマエ(当然)のように使っているスマートフォン。実はそのアタリマエは、半導体を含むたくさんの技術や知見といったエンジニアリング(工学)が社会的に長い年月をかけて蓄積されてきた成果です。しかし、もしかしたらそれがアタリマエではなくなるかも、あるいはアタリマエではないかもしれません。この授業では、アタリマエとしてのエンジニアリングをどのように理解し、理解した上でそれが正しいのか、正しくないのか、こうすれば正しくなるのか、どのように社会とつながっているのか、といった科学的論理思考の素養を学習することを目的に、講義と実践(社会見学やグループディスカッション・プレゼンテーション)を行います。</p> <p>私たちの日常は科学(サイエンス)に溢れています。身近なサイエンスというものを適切に理解し、尊敬(リスペクト)しつつも、時にそれを疑い(サスペクト)、よりよいサイエンスを創り出すことが重要です。そして、サイエンスを取り巻く社会環境までも把握し理解することも重要です。この授業では、サイエンスのリスペクト&amp;サスペクト、そして社会実装を実践的に学び、これからの学生生活をより知的で有意義なものとするという存在意義があります。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          授業は 9/17(水)-19(金)の 3 日(計 16 時限)連続で行う予定です。          実習と工場見学の内容について、少し変更になる可能性もあるので、随時情報を update いたします。</p> <p><b>【第 1 回】2025 年 9 月 17 日(水)講義・実習</b>          1 時限目(8:40-9:30)講義「アタリマエの科学」          はじめにみなさんと Ice Breaking を行います。その後、科学とイノベーションについてお話しします。          2 時限目(9:40-10:30)講義「半導体をざっくり知る」by ゲスト講師          半導体メーカーの方をゲスト講師にお招きし、半導体はどのような原理で動いていて、どのように構成され、どのように製品化され、どのように社会実装されているか、などをお話しいたします。          3・4 時限目(10:45-12:35) 実習「スマホを分解してみよう」          グループで実際にスマホを分解してみましよう。2 時限目で説明したことを身をもって体験していただきます。          5 時限目(13:25-14:15) 講義「半導体の作り方」by ゲスト講師          翌日工場見学に行きます半導体企業のゲスト講師をお招きし、半導体がどのようにして作られるのかを説明いただきます。工場見学に向けての準備運動です。          6 時限目(14:25-15:15) 実習「内省とテーマ設定」by ゲスト講師          半導体工場においてアタリマエだけアタリマエでない現場の課題を説明いただきます。その課題について、自分ならどのように捉えるかといった翌日の工場見学に向けてのテーマ設定をしていただきます。もちろん、これ以外にご自身でテーマを設定いただいても OK です。テーマ設定のお手伝いはしますので安心して臨んでください。</p>				

**【第2回】2025年9月18日(木)工場見学・ワークショップ**

1時限目(8:40-9:30) 工場へ移動

工場見学先に移動します。

移動手段の費用は学生負担となる可能性もありますが、そんなに高くありません。改めてご連絡いたします。

2・3・4時限目(9:40-12:35) 工場見学

半導体の製造現場をグループで見学します。昨日設定したテーマで、しっかりと色々なものを見て聞いて知ってください。

5・6時限目(13:25-15:15) ワークショップ@工場

自分で設定したテーマについて、実際にどうだったか、自分はどう考えるかといったことを内省し、明日のプレゼンテーションと最終考課に向けての準備をします。グループ単位、もちろん個人単位でもOKですので、色々な人と議論してください。工場の方々も同席されますので、色々なことを質問攻めにしてもらって結構です。

**【第3回】2025年9月19日(金)プレゼンテーション・最終考課**

1・2時限目(8:40-10:30) プレゼンテーション

みなさんお1人ずつ、自分で設定したテーマに対する考えをプレゼンテーション(パワーポイント)していただきます。ゲスト講師の方々もオンラインで参加される予定ですので、色々な方々からの質問に答えてください。

設定したテーマの内容、プレゼン、質疑応答を評価します。

3・4時限目(10:45-12:35) 最終考課

最終考課を行います。ノート PC をご用意ください。持っていない方は担当教員までご連絡ください。

**【場所】**

岡山大学一般教育棟(予定)

**【内容についての問い合わせ先】**

satorum@okayama-u.ac.jp

**【テキスト】**

なし

**【参考図書】**

なし

**【成績評価の方法】**

概ね、以下の項目と配分で評価します。

出席率:10%

受講態度:10%

主体積極性:20%

レポート・プレゼンテーション:60%

令和7年度 **前期** **第1・2学期** **夏季集中** 開講科目用

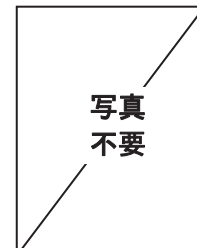
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部		学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

\* 履修受付締切日：前期・第1～2学期・夏季集中：4月2日(水)15時まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
01101	人文学概説(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第1学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01102	人文学概説(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第2学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01105	人文学概説(日本美術史a)	専門	大久保 範子	1	第1学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35		
01106	人文学概説(日本美術史b)	専門	大久保 範子	1	第2学期	2~4	オンライン	水 10:45~12:35		
01107	人文学概説(美学2a)	専門	川野 恵子	1	第1学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01108	人文学概説(美学2b)	専門	川野 恵子	1	第2学期	2~4	オンライン	火 10:45~12:35		
01111	現代社会と先端物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1~2	オンデマンド	火 13:25~15:15		
01112	キャンパスライフ不 適応への対策講座	教養	原田 新 池谷 航介	1	第2学期	1~4	本授業は、特に大学1年生で、入学後に大学生生活の様々な面で困り感を抱えていたり、大学生生活に上手く馴染めていないという方を歓迎します。	オンデマンド授業として毎週授業教材をアップしますが、受講の曜日や時間は学生の任意の時間とします。		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
01001	人文学概説(哲学1)	専門	植村 玄輝	2	第1・2学期	2~4		金 13:25~15:15		
01002	人文学講義(哲学)	専門	竹島 あゆみ	2	第1・2学期	2~4		木 13:25~15:15		
01004	人文学講義(社会学a)	専門	齋藤 圭介	1	第1学期	2~4		火 13:25~15:15		
01005	社会学入門	教養	都島 梨紗	1	第2学期	2~4		火 10:45~12:35		
01006	中等社会科・公民科指導法IA	専門	桑原 敏典	1	第2学期	2~4		火 15:30~17:20		
01010	法哲学	専門	大森 秀臣	1	第2学期	3~4		火 13:25~15:15		
01011	一般化学1	専門	鈴木 孝義	1	第1学期	1~4		金 8:40~10:30		
01012	一般化学2	専門	武安 伸幸	1	第2学期	1~4		金 8:40~10:30		
01013	痛みの科学	専門	宮脇 卓也 他	1	第2学期	1~4		月 8:40~10:30		
01014	先端半導体テクノロジー入門	専門	紀和 利彦 平木 英治 鶴田 健二	1	夏季集中	1		9/11(木) 8:40~17:20 9/12(金) 8:40~17:20 (計16時限)		
01015	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部 山陽圏フィールド科学センター ●定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/24~26(3日間)		
01016	Introductory Mathematics I	専門	UDDIN MD . AZHAR	1	第2学期	1~4	※英語による授業	月 13:25~15:15		
01018	健康・スポーツ科学C	教養	榎本 翔太 鈴木 久雄	1	第1~4学期 まがり	1~4		水 18:30~20:20		
01019	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を併せて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01020	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2学期	1~4		火 13:25~15:15		
01025	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第1学期	1~4		月 13:25~15:15		
01026	生命保険を考える	教養	山本 一輝	1	第2学期	1~4		金 13:25~15:15		
01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1学期	1~4		火 10:45~12:35		
01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2学期	1~4		火 10:45~12:35		
01034	"アタリマエ"の科学 ~スマホに映る半導体と社会~	教養	宮崎 悟	1	夏季集中	1~4	●定員10名 ※申込多数の場合は抽選 9/18(木)は工場見学で学外 に移動して講義を行います。	9/17(水) 8:40~15:15 9/18(木) 8:40~15:15 9/19(金) 8:40~12:35 (計16時限)		

写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚

# 令和7年度 後期 第3・4学期 開講科目用

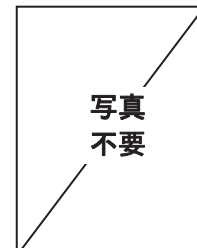
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日	
ふりがな				
氏名				印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学			
学部・学科・学年	学部	学科	年	
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年	
	男・女・その他		昭和・平成・令和 年 月 日	
現住所	〒 ————— Tel ( ) —			
メールアドレス	@ ※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。			

\* 履修受付締切日： 後期・第3～4学期：9月18日(木)15時まで

\* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>遠隔授業科目</b>										
01103	人文学講義(西洋美術史a)	専門	龍野 有子	1	第3 学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01104	人文学講義(西洋美術史b)	専門	龍野 有子	1	第4 学期	2~4	オンデマンド	木 13:25~15:15		
01109	人文学概説(日本思想史b)	専門	本村 昌文	1	第4 学期	2~4	対面とオンデマンド併用	月 15:30~17:20	遠 隔	対 面
01110	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3・4 学期	3	ハイブリッド授業 理工系学部 3年次以上	月 15:30~17:20	遠 隔	対 面



No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
01003	人文学概説(芸術学)	専門	本田 晃子	2	第3・4学期	2~4		月 10:45~12:35		
01007	中等社会科・公民科指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4学期	2~4		火 15:30~17:20		
01008	GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論Ⅰ	専門	桑原 敏典	1	第3学期	2~4		月 8:40~10:30		
01009	中等社会科・公民科指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35		
01017	Introductory Mathematics II	専門	唐 健	1	第4学期	1~4	※英語による授業	月 15:30~17:20		
01021	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を併せて 受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01022	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4学期	1~4		火 13:25~15:15		
01023	数理・データサイエンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3学期	1~4		月 10:45~12:35		
01024	安全衛生入門	教養	中西 真他	1	第4学期	1~4		月 13:25~15:15		
01027	ESD「持続可能な開発のための教育」のホール・コミュニティ・アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3学期	1~4	フィールド活動を含みます。	火 13:25~15:15		
01028	対話による社会参画入門入門編	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	第4学期の「対話による社会参画入門上級編」と併せて履修することが望ましい。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01029	対話による社会参画入門上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	第3学期の「対話による社会参画入門入門編」を履修していないと履修できない。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3学期	1~4		火 10:45~12:35		
01033	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## (2) 岡山県立大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	第1Q	2025年4月10日	～	2025年6月11日
		第2Q	2025年6月12日	～	2025年8月8日
	後期	第3Q	2025年9月24日	～	2025年11月21日
		第4Q	2025年11月25日	～	2026年2月9日
試験期間	第1Q		2025年6月5日	～	2025年6月11日
	前期・第2Q		2025年8月4日	～	2025年8月8日
	第3Q		2025年11月17日	～	2025年11月21日
	後期・第4Q		2026年2月3日	～	2026年2月9日
授業時間	1限		8:40	～	10:10
	2限		10:20	～	11:50
	3限		12:40	～	14:10
	4限		14:20	～	15:50
	5限		16:00	～	17:30

### ② アクセス(案内図)

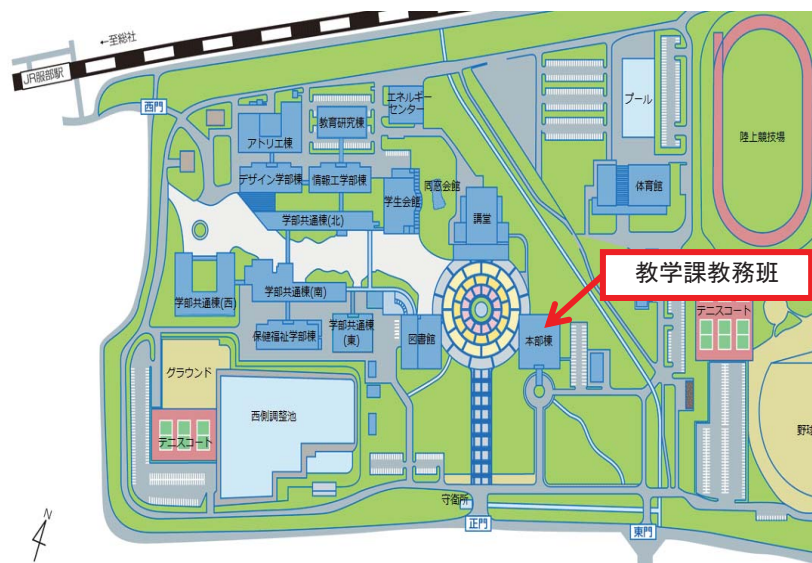
- JR 桃太郎線・服部駅(JR 岡山駅から 25 分)から徒歩 5 分。
- 岡山自動車道・岡山総社 IC から車で 5 分。



### ③ 担当窓口

教学課教務班

所在地:



電話: 0866-94-2111(代表)

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。

#### ・ 履修手続

##### 対面授業科目を履修する方

1. 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、本部棟教務班窓口へ初回授業時に必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ①履修案内(抜粋)
- ②シラバス(該当科目)
- ③単位互換履修生証明書
- ④OPU-ID等通知書
- ⑤「はっとりん」説明書
- ⑥キャンパスマップ

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

#### ・ 施設利用

岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。

#### ・ 特記事項

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

(岡山県立大学HP→大学案内→教育情報の公表→授業科目、授業内容、授業計画に関すること)

・遠隔授業科目

遠隔授業(教養教育科目)				02101
社会連携要論			岩満 賢次	
The Elements of Social Cooperation				
1～4年次	1単位	第2Q	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>            人生の移行期にいる大学生が、そのキャリア形成においてより豊かに成長していくためには、サービスラーニングを実践していくことが重要である。社会や地域のなかにある諸課題を取り上げながら、社会や地域を創生していく体験が学生の成長には必要である。そのため、大学生がサービスラーニングに参画することが重要となる。本講義では、学生がキャリア形成を行う上で、社会連携活動を通じたサービスラーニングの実践を学ぶことにより、社会や地域の諸問題を発見し、どのように解決に向けたアプローチを形成していくかという方法論の基本的視点を習得していくことを目的としている。            なお、本講義は岡山県立大学副専攻岡山創生学課程の基礎科目である。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            1.高等教育における社会連携教育の導入            2.学生の成長と社会連携教育            3.社会連携教育におけるサービスラーニングの意義の理解            4.サービスラーニング実践事例の理解            5.SDGs の概念と社会連携            6.SDGs 推進の取り組み①NPO・ボランティアの役割            7.SDGs 推進の取り組み②企業の役割            8. SDGs 推進の取り組み③行政の役割</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            岩満賢次(2023)『社会連携要論:学生と社会をつなぐ新しい教育』DTP出版            その他資料を配付することがある。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            岡本栄一監修『ボランティアのすすめ』ミネルヴァ書房など</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業への取り組み状況(授業時の課題)(40%)、総括レポート(60%)</p> <p>※岡山県立大学以外の学生が授業を希望する場合は授業後の録画配信となります。授業をそのまま録画しますので、クオリティは保証できませんので、ご了承ください。</p>				

・対面授業科目

対面授業(専門教育科目)				02001																	
国際家族政策論			近藤 理恵																		
International Family Policy																					
3～4年次	2単位	前期	1コマ																		
<p><b>【授業の目的】</b>          本講義では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワークライフバランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。</p>																					
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型</td> <td>9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)</td> <td>14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク</td> </tr> <tr> <td>8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td></td> </tr> </table>						1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク	8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	
1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																				
2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																				
4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																				
6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク																				
8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																					
<p><b>【テキスト】</b>          プリントを使用</p>																					
<p><b>【参考図書】</b>          「日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ」近藤理恵著、学文社、2013年          「グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究」中嶋和夫監修、ユン・ジョンス、近藤理恵編、学術出版会、2013年          『世界の子どもへの貧困対策と福祉関連 QOL』黒木保博監修、中嶋和夫、近藤理恵編、学文社、2018年</p>																					
<p><b>【成績評価の方法】</b>          小レポート(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。</p>																					

対面授業(専門教育科目)				02002
サービスマーケティング論			喜村仁詞	
Service Marketing				
2~4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  サービスマーケティングに関する理論について、事例等を中心に用いることで理解を深めます。はじめに、マーケティング理論の関する基礎的な知識を身につけ、その上で、サービスについて学ぶことで、サービスが持つ特性に応じた顧客とのコミュニケーションを理解することを目的とします。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1.ガイダンス:サービスマーケティングとは  2.価値って誰が決めるのか？  3.消費者の購買行動には法則がある  4.置かれた環境を分析する  5.売れるための秘訣を考える  6.ブランドとは？  7.ロングセラーの秘訣  8.顧客に伝えるべき内容とは？  9.新たな価値の創造  10.前半のふりかえり  11.サービスとは？  12.サービスの事例 1  13.サービスの事例 2  14.サービスの事例 3  15.後半のふりかえり</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。資料を配付することがある。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み状況(授業時の課題)(20%)、レポート(80%)</p>				

対面授業(専門教育科目)				02003
符号理論			榊原 勝己	
Coding Theory				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 講義では、線形代数あるいは論理数学に基づいて構成された誤り訂正符号の基礎理論と、最も簡単な誤り訂正符号であるハミング符号の論理回路による実現について学びます。また、誤り検出符号を利用した様々な自動再送制御方式の概要とその違いや性能を学習します。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通信路雑音の原因、ビット誤り率</li> <li>2. 誤り訂正符号の原理(繰返符号、ハミング距離、距離の三公理)</li> <li>3. 誤り訂正符号の原理(最小距離と誤り訂正能力)</li> <li>4. 誤り訂正符号の原理(生成行列、検査行列)</li> <li>5. ハミング符号(生成行列と符号化法)</li> <li>6. ハミング符号(検査行列と復号法、シンドローム)</li> <li>7. 線形符号(線形空間と誤り訂正符号、符号化法と復号法)</li> <li>8. 線形符号(拡張符号、短縮符号、パンクチャー符号)</li> <li>9. 巡回符号(ベクトル表現と多項式表現、巡回符号の性質)</li> <li>10. 巡回符号(線形符号との対比による符号化法と復号法)</li> <li>11. 巡回符号の符号化回路</li> <li>12. 巡回符号の復号回路</li> <li>13. 様々な誤り訂正符号</li> <li>14. 自動再送制御方式</li> <li>15. ハイブリッド ARQ</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> 使用しない。テキスト教材を配付することがある。				
<b>【参考図書】</b> 三谷政昭(著)、「[改訂新版]やり直しのための工業数学(情報通信編)」、CQ 出版など				
<b>【成績評価の方法】</b> 定期試験(60%)、小テスト(30%)、ミニツツペーパー(10%)				

対面授業(学部教育科目) ※リアルタイムオンライン併用可(期末試験を除く)				02004
設計工学・生産システム			妻屋 彰	
Design Engineering and Manufacturing Systems				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> ものづくりにおいては、要素技術に加えてそれらを活用し組み合わせることによって、「なにを」「いつ」「どのように」つくるのか、ということが重要である。近年のものづくりを取り巻く状況の変化により、設計や生産などのものづくり技術についても、体系化が必要となってきた。本講義では、製品やサービスなどのシステムの設計開発および生産システムや生産管理に関する工学の基本的な理論・方法論・方法を修得することを目的とする。				
<b>【授業内容】</b> 1. 設計・生産とは、現代のものづくり 2. 人工物・ものづくりの歴史と進化 3. 製品／システムの価値・評価 4. プロジェクト・スケジューリング 5. 設計の理論・方法論1(ドイツ流設計方法論) 6. 設計の理論・方法論2(公理的設計方法論) 7. 設計の理論・方法論3(一般設計学) 8. 問題解決プロセスとその方法1(問題構造の把握:ISM法, QFD) 9. 問題解決プロセスとその方法2(機能のモデリング:IDEF0, UML) 10. 問題解決プロセスとその方法3(意思決定法:AHP) 11. 生産システム1(生産設計, レイアウト設計) 12. 生産システム2(生産形態, トヨタ生産方式) 13. 生産管理1(生産計画) 14. 生産管理2(生産スケジューリング) 15. 生産管理3(在庫管理) 16. 期末試験				
<b>【テキスト】</b> 特に指定しない。Web やメール等で適宜資料を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 講義中に適宜紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(70%)、講義中の演習および宿題(30%)				



対面授業(専門教育科目)				02005
組み込みシステム			有本 和民	
Embedded Systems				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 組み込みシステムの全体像を理解し、それを構成するハードウェア、ソフトウェアの基本構成について理解する。また組み込みシステム設計に必要なとされる基本知識を習得する。				
<b>【授業内容】</b> 1 授業の概要の説明 2 組み込みシステムの概要1 3 組み込みシステムの概要2 4 組み込みハードウェア設計概要 5 組み込みソフトウェア設計概要 6 組み込みプロセッサ1 7 組み込みプロセッサ2 8 組み込みネットワーク 9 ソフトウェア開発環境 10 ソフトウェアプラットフォーム 11 ソフトウェア開発方法の基礎 12 ソフトウェアの設計・検証 13 カーエレクトロニクス 14 センサネットワーク 15 IoT 16 組み込みシステム最新動向				
<b>【テキスト】</b> 「組み込みシステム概論」、情報処理学会 組み込みシステム研究会 監修 戸川 望 編著、CQ 出版社				
<b>【参考図書】</b> 「組み込みシステム」、阪田史郎・高田広章 著、オーム社 「マイクロコンピュータの基礎」、森下 巖著、昭晃堂				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業への取り組み状況(授業時の課題等)(20%)、レポート(80%)				

対面授業(専門教育科目)				02006
環境生理学			大下和茂	
Environmental Physiology				
2~4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 「人体の構造と機能」(1年次)により得られた知識を応用し, 様々な環境に対してヒト(人)の生理機能がどのような反応・適応変化を示すかについて理解する. また, 何故そのような変化が存在するのかについて, 時間軸・空間軸的な観点から理解を深める.				
<b>【授業内容】</b> 1 ガイダンス: 適応と進化について 2 物理環境への適応① 3 物理環境への適応② 4 物理環境への適応③ 5 物理環境への適応④ 6 物理環境への適応⑤ 7 中間試験 8 日常行動と生理機能① 9 日常行動と生理機能② 10 日常行動と生理機能③ 11 日常行動と生理機能④ 12 日常行動と生理機能⑤ 13 生理機能の加齢変化と性差① 14 生理機能の加齢変化と性差② 15 期末試験 16 まとめ・予備日				
<b>【テキスト】</b> 教科書は使用しない.				
<b>【参考図書】</b> 安河内朗, 岩永光一. 生理人類学 -人の理解と日常の課題発見のために-, 理光図書, 2020. 日本生理人類学会. 人間科学の百科事典, 丸善出版. 高松研, 堀内ふき. 生体のしくみ標準テキスト(第3版) 新しい解剖生理, 医学映像教育センター. 本郷利憲, 廣重力, 豊田順一. 標準生理学, 医学書院.				
<b>【成績評価の方法】</b> 中間試験(40%), 期末試験(40%), 授業への参加・取り組み状況(20%)				

対面授業(専門)				02007
森林生態学・地盤工学			穂苅 耕介	
Forest Ecology and Geotechnical Engineering				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          建築をつくることは、人間と自然との関係を再構築する行為といえる。気候変動による多くの災害やパンデミックに直面している現代社会において、環境の正しい理解なしに建築を考えることは不可能である。そのためには、森林や生態系に対する正しい理解が必須である。また、戦後の建設資材としての製材増産のための自然林から人工林への転換、および経済合理性優先の森林伐採や土地開発などによる生態系の改変、里地里山の管理放棄が、現在の気候変動による災害の甚大さをもたらすとともに野生鳥獣による被害なども大きな要因のひとつになっている。本科目は森林や生態系について基本的な知識を修得し、環境の正しい理解から導かれる建築デザインについて、環境を配慮して考えられようになる素地を養うことが目的である。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. キャンパス内散策</li> <li>3. 森林と人類の歴史</li> <li>4. 植物の基礎知識</li> <li>5. 植物と環境</li> <li>6. 世界のバイオーム</li> <li>7. 日本の歴史と森林</li> <li>8. 日本の原生林(自然植生)</li> <li>9. 日本の里地里山(代償植生)</li> <li>10. 日本の森林の現状</li> <li>11. 身近な樹木の知識とスケッチ「どんぐり」・「くす」・「ばら」・「うるし」・「にれ」</li> <li>12. 身近な樹木の知識とスケッチ「かえで」・「つばき」・「いちよう」・「まつ」・「ひのき」</li> <li>13. 生態系の基礎知識</li> <li>14. 生態系の保全と生物多様性</li> <li>15. 生態系に配慮した地域環境の設計</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          教科書は使用しない          提供するテキストをダウンロードして、ノートパソコンなどで閲覧する</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          山溪ハンディ図鑑 14 樹木の葉          林野庁「森林・林業白書」          岡山県「21おかやま森林・林業ビジョン(改訂版)」</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          植物のスケッチ(50%)、総括レポート(50%)</p>				

対面授業(副専攻科目)				02008
木構造学・木構造デザイン			向山 徹	
Wood Structure and Wood Structure Design				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 建築構造の中の、木構造についての基本的な考え方に習熟すると同時に、構造的観点からのデザインについて、実例を通じて学び、木造で建築を考える感覚を涵養する。				
<b>【授業内容】</b> 1. ガイダンス 2. 原初の木構造 3. 古代の木構造 4. 仏教伝来から中世の木構造 5. 民家の木構造 6. 近代建築家の木構造 1 7. 近代建築家の木構造 2 8. 現代建築家の木構造 1 9. 現代建築家の木構造 2 10. 世界の木構造 1 11. 世界の木構造 2 12. 木構造応用編 1 13. 木構造応用編 2 14. 木構造応用編 3 15. 最終考査				
<b>【テキスト】</b> 指定しない。テキスト教材を配付することがある。				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席と授業態度(20%)、定期試験(80%)				

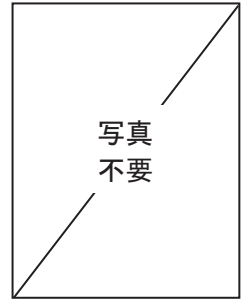
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山県立大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな				
氏名				



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等				
学部・学科・学年	学部	学科	年	
学生番号	生年 月日	西暦 年		
		昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 - Tel ( ) -			
メールアドレス	@ (大学で付与されたメールアドレスを記入してください)			

\* 履修受付締切日: 前期: 4月3日(木)まで 後期: 9月11日(木)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1~4	オンデマンド配信	水 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2~4		金 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
02003	符号理論	専門	榑原 勝己	2	後期	3~4		金 8:40~10:10	<input type="checkbox"/>	
02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3~4	オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02005	組込みシステム	専門	有本 和民	2	前期	3~4		火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02006	環境生理学	専門	大下 和茂	2	後期	2~4		水 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02007	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02008	木構造学・木構造デザイン	専門	向山 徹	2	後期	3~4		火 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

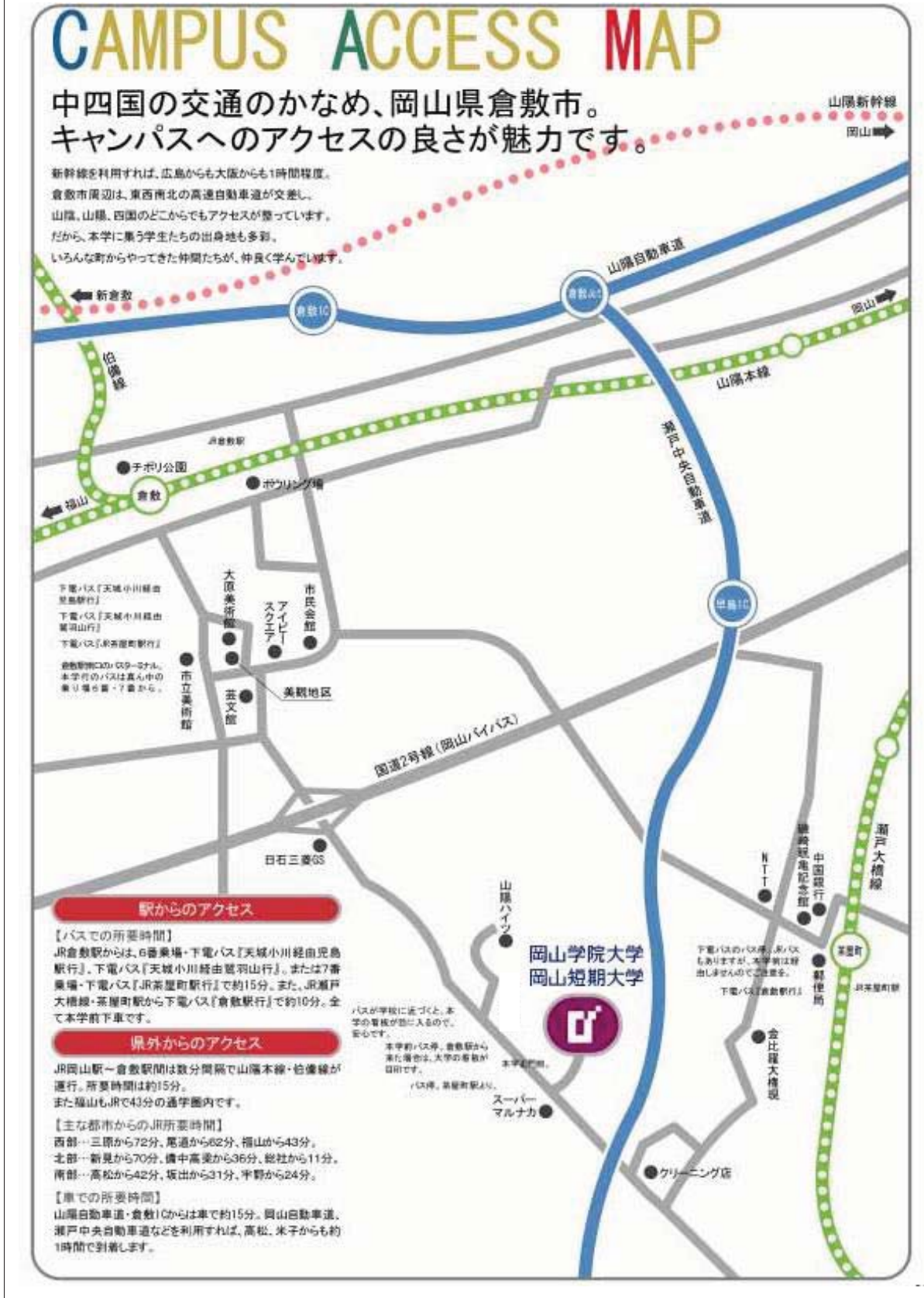
### (3) 岡山学院大学

#### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月1日	～	2025年9月10日
	後期	2025年9月11日	～	2026年3月31日
試験期間	前期	2025年7月下旬	～	2025年8月上旬
	後期	2026年1月下旬	～	2026年2月上旬
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:00	～	14:30
	4限	14:40	～	16:10
	5限	16:20	～	17:50

② アクセス(案内図)

岡山学院大学へのアクセス



③ 担当窓口

学務課教務係	
所在地:	岡山県倉敷市有城 787
電話:	086-428-2651

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修手続

対面授業科目の履修者には、以下の印刷物を配付します。

①シラバス(該当科目) (学務課)

・ 施設利用

岡山学院大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

--



・対面授業科目

対面授業(教養教育科目)				03001																
栄養教育論			内田 雅子																	
履修年次: 2年生	2単位	前期	1コマ	定員 10名																
<p><b>【授業の目的】</b>            人々の「健康」に対する意識が高まる中、栄養教育は、科学的根拠にも基づき、様々な状況に置かれた人々の栄養状態の維持改善を目指して、自らが行動変容を起こせるよう支援していくことです。            本講義では、初学者のために栄養教育を行うに必要な基礎知識を、演習も交えて解説します。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 行動科学の理論とモデル</td> <td>9. 行動変容技法</td> </tr> <tr> <td>2. 行動科学の理論とモデル</td> <td>10. 栄養教育マネジメント</td> </tr> <tr> <td>3. 行動科学の理論とモデル</td> <td>11. 栄養教育マネジメントで用いる理論</td> </tr> <tr> <td>4. 行動科学の理論とモデル</td> <td>12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)</td> </tr> <tr> <td>5. 行動科学の理論とモデル</td> <td>13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)</td> </tr> <tr> <td>6. 栄養カウンセリングの基本</td> <td>14. 症例別栄養教育の実践(実施)</td> </tr> <tr> <td>7. 栄養カウンセリング 認知行動療法</td> <td>15. 症例別栄養教育の実践(評価)</td> </tr> <tr> <td>8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接</td> <td>16. 試験</td> </tr> </table>					1. 行動科学の理論とモデル	9. 行動変容技法	2. 行動科学の理論とモデル	10. 栄養教育マネジメント	3. 行動科学の理論とモデル	11. 栄養教育マネジメントで用いる理論	4. 行動科学の理論とモデル	12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)	5. 行動科学の理論とモデル	13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)	6. 栄養カウンセリングの基本	14. 症例別栄養教育の実践(実施)	7. 栄養カウンセリング 認知行動療法	15. 症例別栄養教育の実践(評価)	8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接	16. 試験
1. 行動科学の理論とモデル	9. 行動変容技法																			
2. 行動科学の理論とモデル	10. 栄養教育マネジメント																			
3. 行動科学の理論とモデル	11. 栄養教育マネジメントで用いる理論																			
4. 行動科学の理論とモデル	12. 症例別栄養教育の実践(アセスメント)																			
5. 行動科学の理論とモデル	13. 症例別栄養教育の実践(面接計画)																			
6. 栄養カウンセリングの基本	14. 症例別栄養教育の実践(実施)																			
7. 栄養カウンセリング 認知行動療法	15. 症例別栄養教育の実践(評価)																			
8. 栄養カウンセリング 動機づけ面接	16. 試験																			
<p><b>【テキスト】</b>            永井成美・赤松成美 Visual栄養学テキスト 栄養教育論第2版 中山書店</p>																				
<p><b>【参考図書】</b></p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業の参加状況(意見・質問・実技等)(10%)、小テスト(30%)、および期末試験(60%)の全てを合計し、60%以上を取得した者に対して単位を認定します。</p>																				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山学院大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 —  Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日:前期:4月3日(木)まで

\* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
03001	栄養教育論	教養	内田 雅子	2	前期	2	定員 10 名	土 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (4) 岡山商科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月8日	～	2025年7月25日
	後期	2025年9月12日	～	2026年1月13日
試験期間	前期	2025年7月29日	～	2025年8月4日
	後期	2026年1月19日	～	2026年1月23日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	15:00	～	16:30
	5限	16:50	～	18:20

### ② アクセス(案内図)

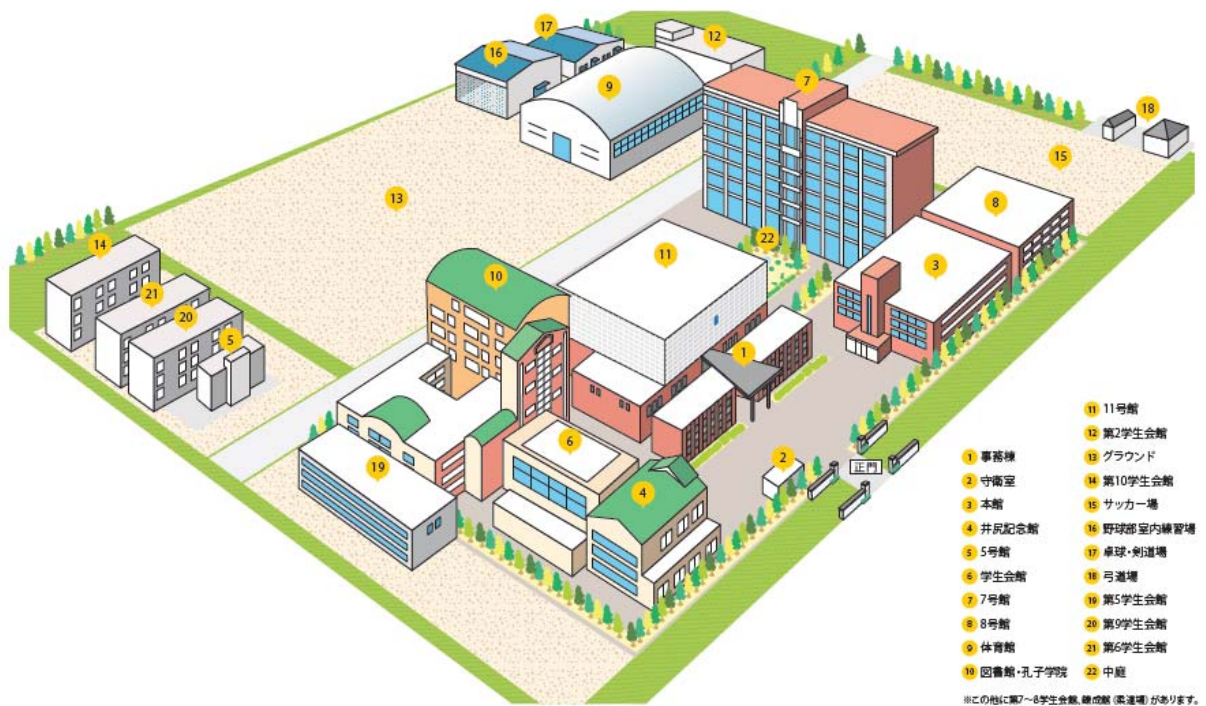


#### 【交通アクセス】

◎JR岡山駅よりバス利用 所要時間 15分, バス便多数あり

対象路線: 国立病院線, 免許センター線, 辛香線, 半田山ハイツ・津高台団地線

◎山陽自動車道 岡山 I.C.より車で5分



### ③ 担当窓口

教務課	
所在地:	岡山市北区津島京町2-10-1 11号館1階
電話:	086-256-6653

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

前期受付:2025年3月3日(月)~3月31日(月)  
夏季集中講義受付:2025年7月31日(木)まで  
後期受付:2025年7月1日(月)~9月9日(火)  
ただし、所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

#### ・ 履修手続

##### 対面授業科目を履修する方

- 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課に来てください。
  - ① 学生証(単位互換履修生証)
  - ② OSU-Port パスワード
  - ③ 学生手帳
- 自動車通学を希望する場合は、許可が必要ですので申し出てください。(駐車料金有料)

#### ・ 施設利用

岡山商科大学在大学生と同じ扱いとします。  
図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

#### ・ 特記事項

振替講義日  
前期:4月30日(水)は火曜日の授業を行います。  
5月8日(木)、7月25日(金)は月曜日の授業を行います。  
後期:9月12日(金)、10月16日(木)、10月29日(水)、1月13日(火)は月曜日の授業を行います。

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://webclass.osu.ac.jp/webclass/ip\\_mods.php/plugin/syllabus/search](https://webclass.osu.ac.jp/webclass/ip_mods.php/plugin/syllabus/search)

・対面授業科目

対面授業				04001
授業科目名: 行政法 I			担当教員氏名: 伊藤 治彦	
Administrative Law 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>            行政法の基本原理(法律による行政の原理、行政法の法源、公法上の法律関係等)、行政組織法、公務員法について学んでいく。            1 行政法の体系、基本原理を理解する            2 国の行政組織のしくみや行政組織相互の関係について理解する            3 わが国の公務員制度について理解する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            行政法の基本原理            (1) 行政の概念            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (2) 行政法の体系            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (3) 法律による行政の原理            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (4) 行政法の法源            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (5) 行政上の法律関係            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政組織法            (6) 行政組織改革概説            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (7) 行政主体・行政機関・行政庁            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (8) 内閣・内閣官房・内閣府            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。            (9) 内閣の統轄下にある行政組織            予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>				

<p><b>公務員法</b></p>		
<p>(10)概説</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(11)種類</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(12)公務員の権利とその制限</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(13)公務員の義務</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(14)不利益処分とその救済</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(15)まとめ</p>		
予習	当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく	復習 授
<p>業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p>		
<p>(予習・復習)</p>		
<p>授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従ってそれぞれ2時間以上行うこと。</p>		
<p>(注意事項)</p>		
<p>授業中の私語、無断退出は厳禁、出席に関する不正行為は厳罰に処する。授業中に配ったプリントは、次回から全て持ってくること。六法も毎回持参すること</p>		
<p>【テキスト】 ISBN 978-4-7823-0573-7</p>		
<p>事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院</p>		
<p>【参考図書】</p>		
<p>【成績評価の方法】</p>		
<p>試験:15回目の講義日にまとめのテストを行う(70%)</p>		
<p>小テスト:適宜1回以上行う(20%)</p>		
<p>受講態度:(10%)</p>		

対面授業				04002
授業科目名: 行政法Ⅱ			担当教員氏名: 伊藤 治彦	
Administrative Law 2				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、行政作用法の中でも行政計画、行政立法、行政行為、行政強制、行政罰について考察するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政の一連の活動の形成過程を理解する。</li> <li>2 行政作用の種類及び各行政作用の特色について理解する。</li> <li>3 行政作用に関する公務員試験の基礎的な問題が解けるようになる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政作用法概説  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 行政計画の種類  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>3 計画策定手続  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政立法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 法規命令  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>5 訓令・通達  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol> <p>行政行為</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 概念、効力  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>7 行政行為の種類  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>8 行政裁量  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>9 行政行為の付款  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>10 瑕疵ある行政行為  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> <li>11 行政行為の取消と撤回  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</li> </ol>				



<p>行政強制</p> <p>12 代執行・執行罰・直接強制  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>13 即時強制と行政調査  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政罰</p> <p>14 行政刑罰・秩序罰・その他の制裁  予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく  復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>15 まとめ  予習 授業で配布されたプリントを整理しておく  復習 教科書やプリント及びノートを見て全体を要解していく</p> <p>(予習・復習)  授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従ってそれぞれ2時間以上行うこと。</p> <p>(注意事項)  私語、無断退出は厳禁。出席に関する不正行為は厳罰に処する。</p>
<p>【テキスト】ISBN 978-4-7823-0573-7  事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院</p>
<p>【参考図書】</p>
<p>【成績評価の方法】  試験:15回目の「まとめ」で行う(70%)  小テスト:適宜最低1回は行う(20%)  受講態度:(10%)</p>

対面授業				04003
授業科目名: 民法概説			担当教員氏名: 倉持 弘	
Introduction to Civil Law				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、これまで法律学を学んだことのない学生を対象に、民法(財産法)をおおまかに解説するものである。内容的には、主に、不動産の売買や金銭の貸借などの契約について解説する。。  受講生が受講後に次のようなことができるようになること。  1. 契約の締結、履行の流れをおおまかに理解し、また契約が履行されなかった場合の法的処理についてもおおまかに理解できている。  2. 未成年者のような判断能力が不十分な者の契約締結についての法的規制について例をあげて説明できる。  3. 代理人による契約締結について例をあげて説明できる。  4. 不動産登記制度について例をあげて説明できる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  原則として対面で授業を行うが、オンライン授業となった場合には講義動画をYouTubeに掲載する。対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドをWebClassに掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時間には手元に用意しておくこと。</p> <p>1. オリエンテーション、「民法は人生の必修科目」  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 民法について考える。</p> <p>2. 民事と刑事、法規定の構造  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 民事法と刑事法の違いについて考える。</p> <p>3. 事故の場合の損害賠償(不法行為)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 損害賠償制度について考える。</p> <p>4. 契約とはどのようなものか、売買とはどのようなものか  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 契約について考える。</p> <p>5. 財産権(売買される対象)  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 物権と債権の違いについて考える。</p> <p>6. 契約の締結  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 意思と表示の不一致について考える。補講. 六法の見方 法学科以外の学生は講義動画を視聴してレポートを提出すること。</p> <p>7. 詐欺・強迫、消費者契約の規制  事前学習: 講義スライドを読む。  事後学習: 消費者契約について考える。</p>				

8. 代理人による契約の締結

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 表見代理について考える。

9. 未成年者の保護

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 未成年者は具体的にどう保護されているのか考える。

10. 所有権の移転、不動産登記

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 不動産登記制度について考える。

11. 契約が履行されないとき(強制履行、損害賠償、契約解除)

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 契約が履行されないときに採ることができる法的手段について考える。

12. 慣習・任意規定による契約内容の補充、同時履行の抗弁、買主の追完請求権

事前学習: 講義スライドを読む。 事後学習: 任意規定・強行規定について考える。

13. 貸し借りの契約(賃貸借・消費貸借)

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 利息に関する法規制について考える。

14. さまざまな弁済方法、保証

事前学習: 講義スライドを読む。利息計算。

事後学習: 保証について考える。

15. 担保(質、抵当)

事前学習: 講義スライドを読む。

事後学習: 担保について考える。

\* 六法は指定のものでなくても構わないが、改正前の規定なども掲載されている書籍の六法が望ましい。 事前学習: 講義スライドを読む。

**(予習・復習)**

予習1時間: 講義スライドを読み、意味・読みのわからない語句を調べる。復習3時間: 講義スライドを読み直して、各回の

**(注意事項)**

・出席登録は WebClass で行うのでPCまたはスマートフォンを持参すること。また、授業時間中にも WebClass で小テストを行うので、PCを持参するのが望ましい。・自習課題を WebClass で提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。

**【テキスト】**

講義スライド、自習課題を WebClass に掲載する。教科書 <http://kuramochi.o.oo7.jp>

**【参考図書】**

ISBN 9784419067670 民法への招待 池田真朗／著 税務経理協会

ISBN 9784641009257 ポケット六法 令和7年版 荒木尚志／編集 森田宏樹／編集 有斐閣

**【成績評価の方法】**

小テスト: 講義時間中および終了時に小テストを行う。(70%)

その他: WebClassで予習課題を課す。(30%)

対面授業				04004
授業科目名: 民法総則			担当教員氏名: 倉持 弘	
Civil Law				
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】  公務員(行政職)試験などを受験しようという学生を想定して、民法の総則編について解説する。自習課題・小テストなどは公務員試験の過去問に類する問題を出題する。</p> <p>受講生が受講後に次のようなことができるようになること。  1. 法律行為とはどのようなものか、例をあげて説明できる。  2. 行為能力の制限の制度について例をあげて説明できる。  3. 代理について例をあげて説明できる。  4. 時効制度について例をあげて説明できる。</p> <p>対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドをWebClassに掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時間には手元に用意しておくこと。また、ほぼ毎回WebClass上で予習課題、小テストを課す。オンライン授業の場合、講義動画をYouTubeに掲載する。この講義は5編構成の民法の第1編「総則」の部分を解説するものであるが、総則編には民法全体に共通して適用される規定が置かれているので、民法全体をある程度理解した上で履修することが望ましい。なお、総則編中の法人については『会社法概説』の講義で、取得時効については『物権総論』の講義で扱われる。</p> <p>1. オリエンテーション、民法総則とは  事前学習:教科書第1章を読む。「民法概説」の復習(小テストで出題する)。  事後学習:パンデクテンシステムとはどういうものか。</p> <p>2. 人の出生と死亡、失踪宣告  事前学習:教科書第3章第1節を読む。  事後学習:失踪宣告の制度は何のためにあるか。</p> <p>3. 法律行為と意思表示  事前学習:教科書第6章第1節から第3節を読む。  事後学習:法律行為・意思表示とは何か。</p> <p>4. 意思と表示の不一致  事前学習:教科書第6章第3節から第4節を読む。  事後学習:意思と表示の不一致とはどういう問題か。</p> <p>5. 錯誤、詐欺・強迫  事前学習:教科書第6章第4節を読む。  事後学習:民法の詐欺取消しと消費者契約法による取消しの違い。</p> <p>6. 未成年者  事前学習:教科書第3章第2節第3節を読む。  事後学習:未成年者はどのように保護されているか。</p> <p>7. 成年の制限行為能力者、制限行為能力者の相手方の保護  事前学習:教科書第3章第3節を読む。  事後学習:成年後見にからむ諸問題。</p> <p>8. 中間試験、無効と取消し  事前学習:教科書第8章を読む。  事後学習:無効と取消しの異同。</p> <p>9. 代理の概略  事前学習:教科書第10章第1節第2節を読む。  事後学習:民法の代理とはどういうものか。</p>				

10. 代理行為、代理権の濫用

事前学習:教科書第10章第3節を読む。

事後学習:代理行為の瑕疵、代理権の濫用とは何か。

11. 無権代理、表見代理

事前学習:教科書第10章第4節第5節を読む。

事後学習:表見代理制度はなぜ必要か。

12. 時効の概略

事前学習:教科書第12章第4節を読む。

事後学習:時効制度の意義。

13. 消滅時効

事前学習:教科書第12章第2節を読む。

事後学習:消滅時効の起算点について考える。

14. 取得時効・消滅時効に共通する原則

事前学習:教科書第12章第3節を読む。

事後学習:時効の完成猶予と更新について考える。

15. 信義誠実の原則、条件・期限、物

事前学習:教科書第2章第3節、第9章、第5章を読む。

事後学習:信義誠実の原則について考える。

16. 信義誠実の原則、条件・期限、物

事前学習:教科書第2章第3節、第9章、第5章を読む。

事後学習:信義誠実の原則について考える。

17. 最終試験 最終試験は筆記式、持込不可で行う。それができない場合はWebClassで行う。

\* 六法は指定のものでなくても構わないが、2017年改正前の規定が掲載されている書籍の六法が望ましい。事前学習:教科書第10章第3節を読む。

(予習・復習)

予習3時間:教科書該当ページを読み、予習課題に答えること。WebClassの自習課題に取り組むこと。復習1時間:教科書・講義スライドを読み直して、各回の事後学習について、自分で考えること。

(注意事項)

・対面授業の場合でもWebClassで出席登録をしてもらう。また、授業時間中にWebClassでアンケート・小テストなどへの解答を求めるので、PCを持参することを推奨する。・予習課題をWebClassで提出する。・自習課題をWebClassで提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。・講義時間の最後に小テストをWebClassで実施する。終了後に得点が表示されるように設定を変更するので、それを見て復習すること。・最終試験は、筆記式・持込不可で行う。

【テキスト】ISBN 9784641184633

永田眞三郎／著・文・その他 松本恒雄／著・文・その他 松岡久和／著・文・その他 横山美夏／著・文・その他 有斐閣

【参考図書】ポケット六法 令和7年版 荒木尚志／編集 森田宏樹／編集 有斐閣

【成績評価の方法】

試験:最終試験。筆記式、持込不可。(30%)

小テスト:講義時間の最後にテストを実施する。授業計画第8回の中間試験も、成績評価では小テストの1つとして扱う。(50%)

その他:WebClassで予習課題を提出する。(20%)

対面授業				04005	
授業科目名: 刑事政策			担当教員氏名: 白井 諭		
Criminal Policy					
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>          本科目は法学部の専門科目である(自由選択科目I群)。犯罪の原因やそれへの対応のあり方を学ぶことで、とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらおうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。</p> <p>(1) 社会や刑事司法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。[CP/DP6 意欲・責任感]</p> <p>(2) 犯罪対応をめぐる現状とそれに関する理論の概要を他者に説明することができる[DP/CP1 専門知識]</p> <p>(3) 刑事司法をめぐる問題点を発見し、様々な利益を考量しながらそれを解決することができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力]</p> <p>(4) 社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べるすることができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力、DP/CP6 意欲・責任感]</p>					
<p>《授業方法》* 受講者にはあらかじめレジュメと講義ビデオに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又はzoomと対面とで並行して)開講することがある。《授業計画》「刑事政策」は犯罪への対応のあり方を検討することを目的としている。社会で発生した犯罪に対しては、様々な学問分野の知見を参考にしながら犯罪の原因を突き止め、それに適した対応をとることが求められる。しかし他方で、犯罪に対応していくためには、「基本的人権の保障」をはじめとする法原理を尊重する必要があることも忘れてはならない。この講義では、さまざまな犯罪を取り巻く諸事情(犯罪の原因)を検討したうえで、犯罪への対応のあり方を議論していく。とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらおうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。</p>					
<p>第1回 「刑事政策」とは何か &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第1講第1節-第2節・第2講第1節-第2節          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること          &lt;事後学修&gt; 「刑事政策」と刑法・刑事訴訟法などの違いについて、考えをまとめておくこと</p>					
<p>第2回 現在の犯罪情勢と治安 &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第1講第3節・第2講第3節          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、現在の犯罪情勢について、情報を収集すること          &lt;事後学修&gt; 現在の犯罪情勢について、考えをまとめておくこと</p>					
<p>第3回 犯罪の原因 ―伝統的な犯罪学と犯罪防止に向けた社会の役割―          &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第2講第4節-第5節          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、犯罪が発生する原因について、情報を収集すること</p>					
<p>第4回 刑罰の種類と目的 &lt;参考資料&gt; 刑事政策学第3講第1節・第3節、刑法9条以下          &lt;事前学修&gt; 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、刑罰の種類について、情報を収集すること          &lt;事後学修&gt; 刑罰の目的について、考えをまとめておくこと</p>					

- 第5回 刑事司法の流れと現状 <参考資料> 刑事政策学第1講第3節・第5講  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、刑事司法の流れについて、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑事司法全体の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第6回 刑罰の歴史と死刑制度 <参考資料> 刑事政策学第3講第2節・第4節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、死刑制度について、情報を収集すること  
 <事後学修> 死刑制度の問題点について、考えをまとめておくこと
- 第7回 自由刑の問題点 <参考資料> 刑事政策学第3講第5節-第6節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、拘禁刑(懲役刑・禁錮刑)・拘留刑について、情報を収集すること  
 <事後学修> 自由刑の特徴と問題点について、考えをまとめておくこと
- 第8回 犯罪者処遇の基本原則 <参考資料> 刑事政策学第6講第1節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、犯罪者の処遇について、情報を収集すること  
 <事後学修> 犯罪者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第9回 施設内処遇 <参考資料> 刑事政策学第6講第2節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 <事後学修> 刑務所や施設内処遇の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第10回 財産刑と社会内処遇<参考資料> 刑事政策学第3講第7節・第6講第3節 <事前学修>  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、財産刑や社会内処遇について、情報を収集すること  
 <事後学修> 社会における犯罪者の処遇のあり方について、考えをまとめておくこと
- 第11回 猶予制度<参考資料> 刑事政策学第2講第6節・第5講第4節-第5節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、猶予制度について、情報を収集すること  
 <事後学修> 刑罰・施設収容の目的やそれらの限界について、考えをまとめておくこと
- 第12回 刑罰の付随的効果(資格制限と恩赦)<参考資料> 刑事政策学第4講第4節-第5節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、刑罰の付随的効果について、情報を収集すること  
 <事後学修> 資格制限や恩赦の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第13回 保安処分と触法精神障がい者の処遇<参考資料> 刑事政策学第4講第1節-第3節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、措置入院制度や医療観察制度について、情報を収集すること  
 <事後学修> 触法精神障がい者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと
- 第14回 犯罪被害者等への対応<参考資料> 刑事政策学第2講第8節  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること、犯罪被害者等が置かれている状況について、情報を収集すること  
 <事後学修> 犯罪被害者等への支援策について、考えをまとめておくこと
- 第15回 刑事政策への市民参加<参考資料> 刑務所のあり方について、情報を収集すること、刑事司法における市民参加の制度について、情報を収集すること  
 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること  
 <事後学修> 刑事司法における自己の役割について、考えをまとめておくこと

(第 15 回終了後、最終試験)

(予習・復習)

\* 予習(1回につき2時間程度)

(1)WebClassを用いて事前にレジュメを配布するので、あらかじめダウンロードして内容に目を通しておくこと。また併せて、YouTubeで講義ビデオを配信することがあるので、それを有効に活用すること(URLは逐次指示する:URLを知る者のみ視聴可)。

(2)「刑法」「刑事訴訟法」の基本原則を確認するとともに、テキストの該当ページに目を通しておくこと

(3)犯罪・非行とそれに対する処分にかかわる問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。

\* 復習(1回につき2時間程度)

(1)配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

(2)返却されたワークシートの問題を解きなおすこと。

注意事項

\* 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数があるまま評価の対象になることはない。\* この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、WebClass の「アンケート」を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがあり、その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。\* 授業内レポートの答えは担当教員がチェックして本人に返却する。ただし、オンラインで問題に回答してもらった場合は、その内容を個別にチェックできないので、授業中の解説を手掛かりとして自己採点をする。

【テキスト】

(教材)

OSU-Port (WebClass)を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、必要に応じて、自習用に教科書と YouTube 動画(URL はレジュメに記載あり:URL を知る者のみ参照可)を参照してほしい。\* 授業中に条文の参照が必要となる場面が頻繁に出てくるため、六法を必ず持参すること(小型のものでかまわないが、「刑事訴訟法」・「刑事収容施設及び被収容者の処遇に関する法律」などを搭載した最新版を用意すること)。

【参考図書】ISBN 9784535523807

事政策学 武内謙治／著 本庄武／著 日本評論社

・犯罪白書 令和 6 年版 法務省 法務総合研究所／編 日経印刷

[https://www.moj.go.jp/housouken/housou\\_hakusho2.html](https://www.moj.go.jp/housouken/housou_hakusho2.html)

【成績評価の方法】

試験:基本的に学期末試験の成績で評価する(60%)

受講態度:「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」は授業内レポートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数があるまま評価の対象になることはない。(40%)



対面授業				04006
授業科目名:現代刑事法			担当教員氏名:白井 諭	
Modern Criminal Law				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  この講義は法学部の専門科目(自由選択科目I群)である。この講義では、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている昨今の動向に合わせて、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方を参加者全員で考えていくことにしたい。</p> <p><b>到達目標(身につける資質・能力)</b>  (1)社会や刑事法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。  (2)少年法の基本原理の概要を他者に説明することができる。  (3)社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べることができる。</p> <p><b>【授業内容】</b>  <b>《授業方法》</b>  * 受講者にはあらかじめレジュメに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又はzoomと対面とで並行して)開講することがある。《テーマ》若年者に対する刑事法制と「少年法」最近、マスメディアなどで少年犯罪がクローズアップされ、そのたびに凶悪犯罪をおかした少年に厳正な制裁を下すことを求める世論が強まっている。また、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている(法制審議会における最近の議論では、ひとまず少年法の適用年齢を従来どおり「20歳未満」とすることになったが、それでもなお犯罪少年に対する厳罰化は推し進められようとしている)。しかし、非行少年に厳正な刑罰を科すことで本当に事態は改善するのだろうか?近代社会では、少年非行には成人とは異なる対応が必要だという認識から「少年法」(又はそれに代わる法律)の下、非行少年に対して特別な措置を講じてきた。そもそも子どもの成長発達には保護者など周りの大人が責任を負わなければならないものであり、非行少年に対していかなる処遇が必要・適切であるかを考えることは刑事法制や社会全体のあるべきかたちを見出していくことにつながるであろう。そこで、この講義では、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方について参加者全員で考えていくことにしたい。</p> <b>《授業計画》</b> 第1回 「少年法」の目的と特徴 <事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年法の目的と特徴について情報を収集しておくこと <事後学修> 少年法の目的について、自分の考えをまとめておくこと 第2回 「少年法」の対象 <事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年法の対象年齢引下げの議論について、情報を収集しておくこと <事後学修> 少年法の対象年齢引下げの是非について、自分の考えをまとめておくこと 第3回 「少年法」の歴史と基本原則 <事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年非行の現状について、情報を収集しておくこと <事後学修> 少年非行の現状を改善する方策について、自分の考えをまとめておくこと 第4回 少年非行の発見と調査・捜査活動 <事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること				

少年非行に対する警察等の役割について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年非行に対する警察等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第5回 家庭裁判所の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
家庭裁判所について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年司法における家庭裁判所の役割について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第6回 少年審判の原理・原則

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年審判について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年審判の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第7回 非行事実と要保護性の認定

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年審判について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞非行少年に対する処分決定の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第8回 少年司法における付添人の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における弁護士の役割について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年司法における弁護士の役割について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第9回 少年司法における検察官の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における検察官の役割について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年司法における検察官の役割について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第10回 少年司法における被害者等の役割

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年司法における被害者等の役割について、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞少年司法における被害者等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第11回 少年審判の終局決定

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
＜事後学修＞非行少年に対する処分について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第12回 非行少年の保護処分

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
少年院や保護観察などについて、情報を収集しておくこと  
＜事後学修＞非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

#### 第13回 非行少年の刑事手続

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

#### 第14回 少年に対する刑事処分

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること  
刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

#### 第15回 少年司法と国際準則

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること <事後学修> 非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

(第15回終了後に最終試験を実施する予定)

\* 予習(1回につき2時間程度)(1)「刑法」「刑事訴訟法」「少年法」の基本原則を確認しておくこと。(2)事前に OSU-Port(WebClass)を用いてレジュメを配布するので、目を通しておくこと。(3)題材とする具体的な問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。\* 復習(1回につき2時間程度) 配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

#### 注意事項

\* 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数がそのまま評価の対象になることはない。\* この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、OSU-Port (WebClass)を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがある。その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。\* ワークシートは担当教員がチェックして本人に返却する。オンラインで回答してもらった問題は授業中に講評する。

#### 【テキスト】

事前に配布するレジュメに基づいて講義を進める。ただし、頻繁に条文を確認する場面があるため、必ず紙媒体の六法を持参すること。

#### 【参考図書】

- ・犯罪白書 令和6年版 法務省 法務総合研究所／編  
([https://www.moj.go.jp/housouken/housou\\_hakusho2.html](https://www.moj.go.jp/housouken/housou_hakusho2.html))
- ・ビギナーズ少年法 第3版補訂第2版 守山正／著・編集 後藤弘子／著・編集 成文堂
- ・少年法判例百選(第2版) 川出 敏裕／編集 有斐閣

#### 【成績評価の方法】

試験: 基本的に学期末試験の成績で評価する。(60%)  
レポート: 「平常点」として、ワークシートの内容などを付加的に勘案することがある。(25%)  
受講態度: 「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。(15%)

対面授業			04007	
授業科目名:労働経済学			担当教員氏名:三谷 直紀	
Labor Economics				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  労働経済学の理論について説明するとともに、実証研究の結果を踏まえて、雇用、賃金、人的資本投資等の政策的課題について論じる。とりわけ、少子高齢化、技術進歩などの構造変化と労働市場の課題について講ずる。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.労働経済学の基本的な概念を理解し、説明できる。</li> <li>2.労働市場の基本的な機能について理解し、説明できる。</li> <li>3.新聞等で取り上げられる身近な労働・雇用問題について理解し、説明できる。</li> <li>4.基本的な労働統計について理解し、分析に用いることができる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では、授業中にGoogle Formを使ってアンケートを実施し、集計データから留保賃金や失業率等を計算する作業を各自行ってもらいます。</p> <p>(アクティブラーニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働経済学とは何か？労働市場、労働統計、労働市場の特殊性と労働政策(事前学修:なし、事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>2. 労働供給(1)労働供給行動、なぜ労働力人口は変化するか、ライフサイクルと留保賃金(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>3. 労働供給(2)労働時間の選択、効用最大化問題、所得の変化と労働時間、労働供給曲線、引退と年齢(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>4. 短期の労働需要人を雇う理由、短期の企業経営、独占企業の労働需要(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>5. 長期の労働需要労働時間と企業への貢献度、労働時間の趨勢、労働時間短縮、労働時間と労働者数(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>6. 労働市場労働市場の供給と需要、労働市場の効率性、買い手独占の労働市場(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>7. 補償賃金仮説賃金格差の実態、仕事の内容や性質と補償賃金、仕事に対する需要と供給(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>8. 差別の経済学男女間賃金格差、統計的差別、日本における女性活用(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>9. 賃金はどう支払われる賃金の支払い形態、年功賃金、退職金(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>10. どうして大学へ進学するの？大学進学の原因、経済学的視点から大学進学を考える、進学率の上昇(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)</li> <li>11. 人材開発賃金プロフィールと教育訓練、誰が費用を負担するのか、正規労働者と非正規労働者</li> </ol>				

働者の境界(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

12. 失業失業率の定義、性・年齢別失業率、失業の発生理由、自然失業率、雇用の創出と消失(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

求人情報、職探しの理論(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

### 13. 職探しの理論

求人情報、職探しの理論(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

14. 労使関係労使関係、労働組合の存在、労働組合組織率、労働組合の役割(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

15. 労働市場と働き方の未来労働供給の変化、労働需要の変化、市場の変化(事前学修:前回配布資料を再度読む。事後学修:配布資料を読み復習する。)

### 【テキスト】

(教材)厚生労働省、総務省統計局、OECDなどの政府・国際機関のWebページから労働統計のデータや労働政策に関する情報をダウンロードして教材として使う。

(教科書)基本講義 労働経済学 阿部正浩／著 新世社

### 【参考図書】

労働経済 清家篤／著 風神佐知子／著 東洋経済新報社

### 【成績評価の方法】

試験:定期試験(67%)

小テスト:講義期間の中頃に中間試験を行う。(33%)

対面授業			04008	
授業科目名:ミクロ経済学 B			担当教員氏名:熊代 和樹	
Microeconomics B				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          経済主体の行動に関わる理論およびその現実社会への応用について講義する。経済学部経済学科に係る専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献することを授業目標とする。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。1. ミクロ経済学の基礎理論を理解し、説明できるようになる。          2. ミクロ経済学のツールを使って、社会が直面する経済問題を分析し、対応策を考えることができる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          ◎ この授業は原則として対面授業を実施する。ただし学校閉鎖時や未入国の学生がいる場合等、オンライン授業が必要となった場合には Zoom によるリアルタイム授業と Youtube による録画配信を併用する。◎ 資料の配布、課題提出、出欠確認等で WebClass を使用する。◎ 毎回レポート課題を課す。この授業では経済学の応用分野の基礎となるミクロ経済学の基本的な考え方や近年の発展について講義する。ミクロ経済学とは、経済や社会に登場する個々の主体（消費者、企業など）の行動に焦点を当て、どのような意思決定が行われるのか、どのような意思決定を行うべきなのか、そして個々の行動が社会でどのような結果をもたらすのかを考えるための理論である。概ね以下のスケジュールで授業を行うが、進捗状況に応じてスケジュールを変更する可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済学の原理と実践、方法事前学習:教科書の1章と2章を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>2. 最適化事前学習:教科書の3章を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>3. 需要、供給と均衡事前学習:教科書の4章を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>4. 消費者とインセンティブ:需要曲線事前学習:教科書の5章1~3を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>5. 消費者とインセンティブ:消費者余剰事前学習:教科書の5章4~5を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>6. 生産者とインセンティブ:売り手の選択事前学習:教科書の6章1~2を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>7. 生産者とインセンティブ:供給曲線、生産者余剰事前学習:教科書の6章3~5を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>8. 完全競争と見えざる手 事前学習:教科書の7章を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> <li>10. 外部性事前学習:教科書の9章1~3を熟読する事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く</li> </ol>				

<p>11. 公共財事前学習:教科書の9章4~5を熟読する事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く</p> <p>12. ゲーム理論と戦略的行動事前学習:教科書の13章を熟読する事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く</p> <p>13. 時間とリスクのトレードオフ事前学習:教科書の15章を熟読する事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く</p> <p>14. 情報の経済学事前学習:教科書の16章を熟読する事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く</p> <p>15. オークションと交渉事前学習:教科書の17章を熟読する事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く</p> <p>(予習・復習)  復習に重点を置いて授業外学習をすることを推奨する。予習(1時間):教科書の該当箇所を読む。復習(3時間):配布資料や教科書, ノートを見直し, 練習問題を解く。</p> <p>(注意事項)  ◎ スライドを使用して授業を行うが, 必要に応じて板書を併用するのでノートやルーズリーフなどを持参すること。◎ 経済学は積み重ねが重要な学問なので毎回授業に出席すること。やむを得ず欠席した場合は講義掲示板から資料を入手し, 教科書を見ながら内容を確認しておくこと。◎ 中間レポート・確認レポートについては実施後に解説する。◎ 出席はWebClassを使用して確認するのでスマートフォンを持参すること。◎ この授業は全学科を対象とするが, 経済学科生にとっては救済措置としての位置付けである。したがって, まずは前期に開講されるマイクロ経済学Aを受講すること。マイクロ経済学Aを履修したことの無い学生が本科目を履修登録することはできないので注意すること。</p> <p>【テキスト】  アセモグル/レイブソン/リスト ミクロ経済学 = Acemoglu Laibson List Microeconomics/  Acemoglu,Daron,1967- Laibson,DavidI List,JohnA.,1968- ほか/著 東洋経済新報社</p> <p>【参考図書】  ・ミクロ経済学 芦谷政浩/著 有斐閣  ・ミクロ経済学の力 神取道宏/著 日本評論社  ・[改訂版]経済学で出る数学 尾山大輔/著・編集 安田洋祐/著・編集 日本評論社</p> <p>【成績評価の方法】  試験:期末試験(40%)  レポート:中間レポート20%(学期中1回) 確認レポート15%(15回)  中間レポート・確認レポートについては実施後に解説する。  受講態度:練習問題(25%)  出版社提供の練習問題への取り組みを評価する。練習問題へのアクセス方法は初回授業で説明する。</p>
--

対面授業				04009
授業科目名: 国際経済学 I			担当教員氏名: 山下 賢二	
International Economics 1				
履修年次 2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  国際貿易の基礎理論を中心に展開する。貿易の発生理由、そのメリットを講義する。また、貿易理論のもつミクロ経済学の応用としての側面も講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.貿易の持つ経済的意味を理解できる</li> <li>2.基本的な貿易理論の基本的な部分を習得できる</li> <li>3.自由貿易、グローバル化のメリットを理解できる</li> <li>4.ミクロ経済学をより深く理解できる</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」本講義は原則として対面方式で行う。ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <p>01.国際経済学とは何か？(chap.1)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.国際貿易の基本 貿易の発生理由と仕組み(chap.2)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(1)比較優位と絶対優位(chap.3)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(2)部分均衡分析(1)(chap.3)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(3)部分均衡分析(2)(chap.3)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(4)一般均衡分析(chap.3)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(1)リカード・モデルとの比較(chap.4)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(2)ヘクシャー・オリーの定理(chap.4)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(3)要素価格均等化定理(chap.4)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(4)レオンチェフの逆説(chap.5)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>11.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(1)自由貿易下の経済と関税のある経済との厚生比較</p>				



(chap.6)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

12.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(2)関税・輸出税・輸入補助金・輸出補助金の効果  
(chap.6)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

13.新しい貿易理論(1)クルーグマン・モデル(新貿易理論)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

14.新しい貿易理論(2)メリッツ・モデル(新々貿易理論)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

15.まとめ 総復習事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

#### 16.定期試験

(予習・復習)

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出と出席に対する評価(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%)※課題へのフィードバック回を設ける。※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

#### 【テキスト】

・毎回 WebClass から配信する課題

・クルーグマン国際経済学 理論と政策 [原書第10版]上:貿易編 山形浩生/翻訳 守岡桜/翻訳 丸善出版

#### 【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次/著・編集 竹内信仁/著・編集 柳原光芳/著・編集 中央経済社  
※経済学用語の説明が詳しい。

#### 【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)

レポート:WebClassにて記述式で提出する。(30%)

受講態度:主に出席回数で判断する。(18%)

その他:質疑応答や講義への貢献度を見る。(2%)

対面授業			04010	
授業科目名: 国際経済学Ⅱ			担当教員氏名: 山下 賢二	
International Economics 2				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  開放経済下でのマクロ経済について講義する。その中で、国際収支の概念、為替レートの決定理論、開放経済下での経済政策の効果を講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開放経済下でのマクロ経済学(国際マクロ経済学)の基礎を理解できる</li> <li>2. 新旧(BPM5 と BPM6)を理解できる</li> <li>3. 為替レートの決定理論を理解できる</li> <li>4. 開放経済下でのマクロ経済政策の効果を理解できる</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」本講義は原則として対面方式で行う。ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <p>01. 国際マクロ経済学とは何か?(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02. 国際収支統計表(1)国際収支表の概要、BPM5(旧版)の理解(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03. 国際収支統計表(2)BPM6(新版)の理解、BPM5 と BPM6 の比較(chap.1 とプリント)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04. 為替レートと国民所得(chap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05. 為替レートの決定理論(1)為替レートとは何か、長期の為替レート決定理論(chap.2,4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06. 為替レートの決定理論(2)短期の為替レート決定理論(1)アブソープションアプローチ(1)(chap.6)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07. 為替レートの決定理論(3)短期の為替レート決定理論(2)アブソープションアプローチ(2)(chap.6)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08. 為替レートの決定理論(4)短期の為替レート決定理論(3)弾力性アプローチ(chap.4)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと</p>				

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

09. 為替レートの決定理論(5)短期の為替レート決定理論(4)ポートフォリオ・バランスアプローチ (chap.5)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

10. 為替レートの決定理論(6)短期の為替レート決定理論(5)マンデル・フレミングアプローチ (chap.7)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

11. 国際マクロ経済政策(1)IS-LM-BP分析(各曲線の導出(chap.7)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと12. 国際マクロ経済政策(2)IS-LM-BP分析(変動相場制での小国のケースの財政・金融政策)(chap.7)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと13. 国際マクロ経済政策(3)IS-LM-BP分析(固定相場制での小国のケースの財政・金融政策)(chap.7)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと14. 国際マクロ経済政策(4)IS-LM-BP分析(資本移動が不完全なときの財政・金融政策)(chap.7)事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと15. 総復習事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと事後学修:講義ノートを読み直しておくこと16.定期試験

(予習・復習)

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと(注意事項)

毎回の課題提出(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%)※課題へのフィードバック回を設ける。※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

【テキスト】

- ・毎回 WebClass から講義前に送付する講義資料
- ・国際経済学 = International Finance 岩本武和／著 ミネルヴァ書房

【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次／著・編集 竹内信仁／著・編集 柳原光芳／著・編集 中央経済社  
※経済学用語の説明が詳しい。

【成績評価の方法】

- 試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)
- レポート:WebClassにて記述式で提出する。(30%)
- 受講態度:主に出席回数で判断する。(18%)
- その他:質疑応答や講義への貢献度を見る。(2%)

対面授業			04011	
授業科目名:マクロ経済学B			担当教員氏名:劉 政達	
Macroeconomics B				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。1, マクロ経済学の基礎を理解し、理論を適用できる。  2, 思考・判断:経済指標を分析し、論理的に考察できる。  3, マクロ経済モデルを活用し、政策の影響を検討できる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  「講義方法」本講義は原則として対面方式で行う。  「講義計画」  第1回:マクロ経済学とは何か?(マンキューchap.1)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第2回:マクロ経済学のデータ(1)GDP(1)全体像(マンキューchap. 1、2;福田(2023) 第一章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第3回:マクロ経済学のデータ(2)GDP(2)計算(マンキューchap.1、2; 福田(2023) 第一章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第4回:マクロ経済学のデータ(3)物価水準、失業率(マンキューchap.1、2; 福田(2023) 第九章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第5回:経済循環図(1)三面等価の法則(1)全体図・生産面(供給面)・支出面(需要面)(マンキューchap.3; 福田(2023) 第一章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第6回:経済循環図(2)三面等価の法則(2)分配面(マンキューchap.3; 福田(2023) 第一章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第7回:マクロ経済学の理論の概要 マクロ経済学における長期と短期(マンキューchap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第8回:長期の理論(1)財市場と労働市場(マンキューchap.3)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第9回:長期の理論(2)金融市場(マンキューchap.4; 福田(2023) 第七章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと  第10回:長期の理論(3)長期における政策の効果(1)財政政策(マンキューchap.3; 福田(2023) 第七章)  事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと  事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p>				

第 11 回:長期の理論(4)長期における政策の効果(2)金融政策・古典派の二分法(マンキュー chap.4 ; 福田(2023) 第七章)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 12 回:短期の理論(1)短期理論の概要・IS-LM 分析の概要(マンキュー chap.7、8 ; 福田(2023) 第六章)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 13 回:短期の理論(2) IS-LM 分析、IS 曲線の導出、短期の財市場と労働市場(マンキュー chap.7、8 ; 福田(2023) 第六章、第七章)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 14 回:短期の理論(3)IS-LM 分析、LM 曲線の導出、短期の金融市場(マンキュー chap.7、8 ; 福田(2023) 第六章、第七章)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 15 回:短期の理論(4)IS-LM 分析(政策分析)(マンキュー chap.9; 福田(2023) 第六章、第七章)

事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと

事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

16.定期試験

予習(2時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2時間):講義ノートを読み返すこと

#### 【テキスト】

ISBN:9784492315583

書名:マンキュー マクロ経済学 I 入門篇(第4版)

著者:N・グレゴリー・マンキュー／著 足立英之／翻訳 地主敏樹／翻訳 中谷武／翻訳 柳川隆／翻訳

出版社:東洋経済新報社

価格:3960

備考:電子版あり マンキューマクロ経済学<1> 第5版 入門篇(電子版/PDF)

#### 【参考図書】

ISBN:9784641222243

書名:マクロ経済学・入門[第6版]

著者:福田慎一／著・文・その他 照山博司／著・文・その他

出版社:有斐閣

価格:2500

#### 【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)、レポート:授業内課題(30%)、受講態度:授業への参加・積極的性(20%)

対面授業			04012	
岡山経営者論 I			担当教員氏名:陳 恵貞	
Management in Okayama 1				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。</p> <p>経営理論と経営手法の習得</p> <p>(1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。  (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。  (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。  (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は、対面講義で行います。  講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。  また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義(Zoom)になります。  講義の連絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。  なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。</p> <p>講義方式:講義内容をまとめて、レポートを作成して提出すること。  対面・オンライン授業とも、毎回レポート提出があります。</p> <p>1. 4月14日(月) 岡山商科大学 担当教員(西)  事前学修:シラバスを読む  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>2. 4月21日(月) 岡山商科大学 担当教員(日笠)  事前学修:配布資料を確認する  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>3. 4月28日(月) (株)岡山コンベンションセンター 代表取締役社長 小野典生 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>4. 5月8日(木) (株)良品計画 地域商社・いつものもしも担当 工藤 浩樹 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>5. 5月12日(月)  岡山市都市整備局 都市・交通部 交通政策課 課長補佐 秋永淳一郎 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p> <p>6. 5月19日(月) 岡山市商店会連合会 会長 黒田 浩一 様  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</p>				

7. 5月26日(月)両備HD(株)まちづくりカンパニー

杜の街プラザ館長 佐藤 佑哉 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

8. 6月2日(月)the continue. 代表取締役 牧 沙緒里 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

9. 6月9日(月)もんしーファーム 代表 津田貴史 様、津田彩子 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

10. 6月16日(月)(有)縫夢ing 代表取締役 岡本新吾 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

11. 6月23日(月)レプタイル(株)代表取締役 丸尾宜史 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

12. 6月30日(月)岡山商科大学 担当教員(陳)

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

13. 7月7日(月)(株)ありがとうファーム 取締役副社長 馬場拓郎 様

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

12. 7月14日(月)山陽SC開発(株) 代表取締役社長 福田 知明 様

事前学修:配布資料を確認する

事後学修:講義内容を整理する

13. 7月25日(金)山陽SC開発(株) 代表取締役社長 福田 知明 様

事前学修:配布資料を確認する

事後学修:講義内容を整理する

講義を受講するに際して、予習2時間・復習2時間を取ること

予習内容:上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと

復習内容:配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること

【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)

【参考図書】 適宜指示をする

【成績評価の方法】

毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。

提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。

なお、評価(方法)手段の評価(%)も含まれますので留意のこと。

提出したレポート・課題のフィードバックは講義やWebclassを通じて適宜行う。

※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。

対面授業			04013	
岡山経営者論Ⅱ			担当教員氏名:陳 惠貞	
Management in Okayama 2				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。  経営理論と経営手法の習得  (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。  (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。  (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。  (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は、対面講義で行います。  講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。  また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義（Zoom）になります。  講義の連絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。  なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。</p> <p>講義方式:講義内容をまとめて、レポートを作成して提出すること。  対面・オンライン授業とも、毎回レポート提出があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9月12日(金) 岡山商科大学 担当教員(西)  事前学修:シラバスを読む  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>9月22日(月) 岡山商科大学 担当教員(渡邊)  事前学修:アクティブラーニングについて調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>9月29日(月)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月6日(月)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月16日(木)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>10月29日(水) 外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> <li>11月10日(月)外部講師  事前学修:ホームページや会社概要を調べる  事後学修:講義内容を整理する</li> </ol>				



8. 11月17日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

9. 12月1日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

10. 12月8日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

11. 12月15日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

12. 12月22日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

13. 12月22日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

14. 1月5日(月)外部講師

事前学修:ホームページや会社概要を調べる

事後学修:講義内容を整理する

15. 1月13日(火)岡山商科大学 担当教員(陳)

事前学修:配布資料を確認する

事後学修:講義内容を整理する

【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)

【参考図書】 適宜指示をする

【成績評価の方法】

毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。

提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。

なお、評価(方法)手段の評価(%)も含まれますので留意のこと。

提出したレポート・課題のフィードバックは講義やWebclassを通じて適宜行う。

※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。

対面授業				04014
授業科目名:簿記論 I			担当教員氏名:陶 静	
Bookkeeping 1				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は複式簿記の基礎知識を教え、その上必要な実技(会計仕訳)を習得してもらう。さらに商業簿記の基本問題を解けるように、反復練習をする。</p> <p>受講生が授業修了までに次のようなことができることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複式簿記の基礎的な知識を身につけること。</li> <li>2. 商業簿記の基礎問題を解けるようになること。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b>  本講義は基本教室にて対面講義を行う。対面の際、毎回課題提出(レポート或いは練習問題)があります。 学校閉鎖になった場合はオンライン講義になる。 オンライン講義になる場合は講義日前日までに大学の Webclass を通して講義資料を配布し、当日 ZOOM を使って講義を行う予定である。</p> <p>第1回 インTRODクション(講義の進め方)、  事前学修:日商簿記初級について調べる  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第2回 簿記の基礎(第1章)  事前学修:第1章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第3回 商品売買(第2章)  事前学修:第2章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第4回 現金・預金(第3章)  事前学修:第3章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第5回 手形と電子記録債権(債務)(第4章)  事前学修:第4章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第6回 貸付金・借入金(第5章)  事前学修:第5章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第7回 中間評価テストおよび解答解説(第1から5章まで)  事前学修:第1から5章までの内容を再確認  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第8回 その他の取引(第6章)  事前学修:第6章前半の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p>				

<p>第 9 回 固定資産(第7章)  事前学修:第6章後半の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第 10 回 租税公課と消費税・資本金(第8章)  事前学修:第7章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第 11 回 帳簿への記入(第9章)  事前学修:第8章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第 12 回 試算表(第 10 章)  事前学修:第9章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第 13 回 伝票と仕訳日計表(第 11 章)  事前学修:第 10 章の内容を読み込み  事後学修:テキストと配付資料を再確認</p> <p>第 14 回 期末評価テストおよび解答解説  事前学修:第1から 11 章まで内容を復習する  事後学修:テスト内容の再確認</p> <p>第 15 回 総復習および総まとめ(第1から 11 章まで)  事前学修:第1から 11 章までの内容を再確認する  事後学修:テスト模範回答再確認 進展状況により, 授業計画を変更する可能性がある。</p> <p>予習(1.5 時間程度)テキストの該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。  復習(2.5 時間程度)講義の内容をもう一度整理し、自分の理解度と課題を整理すること。</p> <p>注意事項</p> <p>この講義は「日商簿記検定」の対策講義ではない。出席点は付けない。ただし、講義中に積極的に発言、討論に参加する受講生には加点を行う。反対に講義中に私語、携帯遊ぶ、居眠りなど講義に妨げる行為をする受講生には減点を行う。講義中で行った小テスト、中間評価テスト、期末評価テストなどの解説についてはその場です。講義後に模範解答を web-class に掲載する。</p>
<p>【テキスト】(教材)スッキリわかる日商簿記初級 第3版  スッキリわかる日商簿記初級 TAC 株式会社出版事業部</p>
<p>【参考図書】</p> <p>【成績評価の方法】  試験:期末評価テスト(第 14 回)(50%)  小テスト:中間評価テスト(第 7 回)(30%)  講義中課題(20%)</p>

対面授業			04015	
授業科目名: 地方財政論			担当教員氏名: 多田 憲一郎	
Local Public Finance				
履修年次 3~4	2単位	夏季 集中	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          経済学部経済学科に関わる専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。他学科の学生にとっては、「幅広い学習機会の提供」にもなる。</p> <p><b>【到達目標】</b>          (1)日本の地方財政の特徴や制度について、基本的な内容を説明できる。          (2)日本の地方財政の現状と課題について説明できる。          (3)日本の地方財政改革の方向性について自分の言葉で表現できる。</p> <p><b>【授業内容】</b>          (日程未定, いずれも1~4限, 最終日4限に最終試験を行う)</p> <p>通常の授業は対面式で行います。ただし、大学閉鎖時には Zoom 授業で行います。いずれにしても、担当教員の指示に従ってください。</p> <p>第1回 イン트로ダクション(地方財政を学ぶ意義)          事前学習: 地方財政の現時点での関心事を整理すること          事後学習: 地方財政を学ぶ意義を理解すること</p> <p>第2回 社会経済システムにおける地方財政の意義          事前学習: 地方財政の意義を考えること          事後学習: 地方財政の意義を理解すること</p> <p>第3回 「日本型」地方財政の特徴          事前学習: 地方財政の大まかな仕組みを調べること          事後学習: 「日本型」地方財政の特徴を理解すること</p> <p>第4回 地方財源の構造と特徴          事前学習: 地方財源の大まかな構造を調べること          事後学習: 地方財政の4大財源について理解すること</p> <p>第5回 地方税の現状と課題          事前学習: 地方税の現状と課題を調べること          事後学習: 地方税の現状と課題を理解すること</p> <p>第6回 地方交付税の現状と課題          事前学習: 地方交付税の現状と課題を調べること          事後学習: 地方交付税の現状と課題を理解すること</p> <p>第7回 国庫支出金の現状と課題          事前学習: 国庫支出金の現状と課題を調べること          事後学習: 国庫支出金の現状と課題を理解すること</p> <p>第8回 地方債の現状と課題          事前学習: 地方債の現状と課題を調べること          事後学習: 地方債の現状と課題を理解すること</p> <p>第9回 地方経費の構造</p>				

事前学習:地方経費の構造を調べること  
事後学習:目的別経費と性質別経費を理解すること

**第 10 回 地方経費の現状と課題**

事前学習:地方経費の現状と課題を調べること  
事後学習:地方経費の現状と課題を理解すること

**第 11 回 地方財政の収支構造**

事前学習:地方財政の収支構造を調べること  
事後学習:地方財政の収支構造を理解すること

**第 12 回 地方都市の地方財政分析**

事前学習:地方都市の財政分析を試みること  
事後学習:地方都市の財政分析の内容を理解すること

**第 13 回 中山間地域の地方財政分析**

事前学習:中山間地域の財政分析を試みること  
事後学習:中山間地域の財政分析の内容を理解すること

**第 14 回 地方財政改革と NPM 理論**

事前学習:NPM 理論について調べること  
事後学習:地方財政改革と NPM 理論を理解すること

**第 15 回 地方財政改革と「新しい公共性」**

事前学習:「新しい公共性」について調べること  
事後学習:地方財政改革と「新しい公共性」を理解すること

**第 16 回 最終試験**

【テキスト】プリントを配布する。

【参考図書】

五訂版 習うより慣れろの市町村財政分析 基礎からステップアップまで  
大和田一紘／著 石山雄貴／著 菊池稔／著 自治体研究社

【成績評価の方法】

試験:本講義の目標に到達しているかについて、確認する最終試験を実施する。(70%)  
レポート:毎回の講義の後、講義の内容に関するレポートを提出させる。(30%)

対面授業				04016
授業科目名: 生命倫理と法			担当教員氏名: 粟屋 剛	
Bioethics and Law				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  医療や生命科学(及びそれらの周辺領域)は患者ひいては社会に恩恵をもたらすものであると同時に、さまざまな倫理的、法的、社会敵問題 Ethical、Legal、and Social issues(=ELSI)をも、抱えている。本講義のねらいは、受講生がそれらの問題のうちのとくに基本的なものを理解するようになることである。</p> <p><b>【到達目標】</b>  受講生は、生命倫理と法に関する基礎知識を身につけることができる。そして、それと同時に、一般的な「ものの考え方」を身につけることができる。本講義を通して受講生の目から数枚の鱗(うろこ)が落ちることを期待する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●原則、対面講義。コロナ禍等次第で、文部科学省及び岡山商科大学の方針に従ってオンライン(動画配信またはライブ)講義へ移行します。受講者の個別事情によるオンライン講義は行いません。</li> <li>●翌週の講義でフィードバックを行います。</li> <li>●適宜、ディスカッションないしディベートを行います。そのつもりで受講してください。</li> <li>●やむを得ず休講になる場合があります。その補講は火曜5限(つまり通常の火曜4限の本講義の続き)に行います。そのつもりで受講してください。</li> </ul> <p>第1回【テーマ】臓器移植をめぐる法と倫理  <b>【内容】</b>改正臓器移植法による自己決定権空洞化の問題を含めて、臓器移植一般に関する法的、倫理的問題を概説する。  ○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第2回【テーマ】臓器売買をめぐる法と倫理  <b>【内容】</b>インド、フィリピン、日本などでの臓器売買の実態を紹介し、その上で、臓器売買に関する法的、倫理的問題を概説する。  ○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第3回【テーマ】脳死論  <b>【内容】</b>脳死は人の死か、という根本問題も含めて、脳死に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第4回【テーマ】安楽死・尊厳死  <b>【内容】</b>安楽死・尊厳死に関する実例を紹介した上で、それらに関する法的、倫理的問題を概説する。日本の判例や外国の立法等も概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第5回【テーマ】生殖医療をめぐる法と倫理  <b>【内容】</b>人工授精・体外受精、配偶子(精子・卵子)提供、出生前診断・着床前診断、代理出産、死後生殖・死後認知等における法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第6回【テーマ】LGBTをめぐる法と倫理 / 医薬品をめぐる法と倫理  <b>【内容】</b>LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)に関する世界的状況を概説し、その上でそれらに関する法的、倫理的問題を概説する。また、薬害問題やプラセボ問</p>				

題も含めて医薬品をめぐる法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第7回【テーマ】患者の自己決定権とインフォームド・コンセント

【内容】医療倫理、生命倫理の基本概念である患者の自己決定権について概説する。また、インフォームド・コンセント及び医療者の説明義務についても概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第8回【テーマ】医療事故をめぐる法と倫理 /医療者の法的義務 /法・倫理・医療倫理・生命倫理【内容】診断・検査ミス、投薬・注射・手術事故、及び輸血・麻酔事故等に関する法的、倫理的問題を概説する。また、医療者が負う諸種の法的義務及び責任について概説する。さらには、法、倫理、医療倫理、生命倫理のそれぞれの概念について説明し、その上で、法と倫理の違い、及び医療倫理と生命倫理の違いについて概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第9回【テーマ】医学研究をめぐる法と倫理

【内容】人体実験や臨床試験も含めて、医学研究一般に関する法的、倫理的問題を概説する。また、近時の医学研究不正問題についても概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第10回【テーマ】人体論

【内容】生体・死体、臓器・組織・細胞等に関する所有権問題を含めて、それらをめぐる法的、倫理的問題を概説する(死者と死体の法の概説を含む)。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行う。

#### 第11回【テーマ】人体資源化・商品化論

【内容】アメリカ人体部品産業の紹介を含めて、人体資源化・商品化の現実を紹介する。その上で、それらに関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第12回【テーマ】

【内容】ナチス・レーベンスポルン(生命の泉)計画や我が国のハンセン病問題などを素材にして優生学(ないし優生思想)について概説する。そして、それをめぐる法的、倫理的問題について概説する。我が国の国民優生法・優生保護法・母体保護法などにも触れる。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第13回【テーマ】エンハンスメント論・人間改造論

【内容】エンハンスメント(能力増強)論について概説し、それに連動する優生学的人間改造の問題を、テクノロジーは人類をどう変えるか、という視点から概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 第14回【テーマ】動物をめぐる法と倫理

【内容】家畜やペットを含めて動物一般に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第15回【テーマ】ヒューマノイドをめぐる法と倫理【内容】シンギュラリティの問題を含めて、ロボットとりわけ人工知能搭載型ヒューマノイドロボットに関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

#### 予習・復習

当日の講義テーマに関係する事項につき、事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

## 注意事項

(1) 講義にきちんと出席(三分の二以上)することが単位取得の前提です(毎回出席をとります)。

(2) 遅刻、早退、私語、スマホ、居眠り、着帽、内職等、お止め下さい。

(3) 人間とは何か、とか、人間はいかに生きるべきか、とかについて学びたい方は是非、受講して下さい。しかし、単位が欲しいのみ、という方は受講をお控えください。

### 【テキスト】(教材)

担当者(粟屋)のホームページ <https://bioethicsawaya.wixsite.com/website-1> から適宜、論文、エッセイ、新聞記事等、ダウンロード可能。

### 【参考図書】

シリーズ生命倫理学(全20巻)/粟屋剛・編集総代表(総執筆者約250名)/丸善

### 【成績評価の方法】

講義最終回(第15回目)に試験を行います(○×式、1問5点×20問=100点満点)。なお、毎回の講義中に、試験に出す問題を(全部ではないですが)言います。講義中に居眠りやスマホいじりなどで注意を受けた場合、一回につき、3点を減点します。また、講義中に適宜、口頭で全員に対して問題を出しますが、それに(最初に)正しく答えた場合、3点を加算します。間違えた場合でも1点を加算します。



対面授業				04017
授業科目名:岡山産業概論			担当教員氏名:渡邊 信治	
Introduction to Okayama Industry				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  岡山県の産業の概略(歴史、特徴、社会的基盤、地元企業、産業人など)を理解して地元企業や当地域のビジネスに対する関心を一層高めるとともに、今後の地域づくりや学生自身の将来ビジョン形成に向けての示唆を得ることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>  下記の点について説明できるようにする。</p> <p>(1)岡山県の産業発展の歴史  (2)現在の岡山県の産業構造や特徴、強み、地場産業、ポテンシャル的な産業分野  (3)岡山県の産業近代化を支えた社会的基盤  (4)特色ある岡山県内の地元企業  (5)岡山県の産業発展に寄与・貢献した人たち</p> <p><b>【授業内容】■講義方法</b>  ＝通常時＝  ・通常時は、教室において対面講義とする。  ・講義資料は、WebClass などを通じて事前に配布する。  ＝オンライン授業時＝  ・オンライン授業となった場合は、オンデマンドの録画ビデオにて講義を行う予定。  ・講義資料の配布のほか、小テスト、レポート、及び確認課題の配布、回収は WebClass などを使用する予定。</p> <p><b>■小テスト・レポート(第 2 回目講義～第 14 回目講義)</b>  ・毎回の講義時(第 2 回目～第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。  ・小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。  ・教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。  ・小テストは、穴埋め式、選択式などによる設問の予定。レポートは、少文字数の論述式の予定。  ・欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。</p> <p><b>■確認課題(第 15 回目の講義最終回)</b>  ・第 15 回目の講義最終回に、確認課題(論述)を実施する予定。  ・教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。  ・欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。</p>				

## ■講義スケジュール

### 第1回 オリエンテーション&シラバス説明

### 第2回 古来から現代にいたる岡山県の産業発展の歴史

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。 ◆小テスト or レポート

### 第3回 現在の岡山県の産業構造及び、第2次産業、第3次産業の特徴と動向

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

### 第4回 産業面から見た岡山県の強み

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

### 第5回 地域別に見た岡山県の地場産業

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

### 第6回 岡山県のポテンシャル的な産業分野

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

### 第7回 岡山県の産業近代化を支えた地域鉄道

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第8回 岡山県の産業近代化を支えた地域金融

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第9回 岡山県の産業近代化を支えた学問教育

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第10回 岡山県の産業近代化を支えた産業遺産

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第11回 岡山県内の街づくり&生活関連カンパニー①

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第12回 岡山県内の街づくり&生活関連カンパニー②

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第13回 産業近代化の夜明け前、黎明期に道を切り拓いた行政人、産業人

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第 14 回 地域社会における企業の在り方を模索した経営者たち

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

#### 第 15 回 全体のまとめと確認課題

＜事前学習: 予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習: 復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆確認課題

受講するに際しては、予習と復習をそれぞれ2時間行う。

＜予習の内容＞

事前に配布する資料に目を通しておくほか、関連する書籍や資料を読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜復習の内容＞

事前に配布する資料を読み返して整理するとともに、関連する書籍や資料を読んで理解を深めておくこと。

#### 注意事項

出席確認: 出席確認はスマートフォンを使用するので、必ず毎回持参すること。

出席日数: 大学の規定の出席回数を満たしていることが、最終成績評価の前提。

病気、忌引き(身内の葬儀)、就職活動(面接)、部活(公式試合)などの理由でやむを得ず出席できないとき(公欠)は、所定の手続きで速やかに大学事務室と教官の両方に届け出ること。(届出方法は大学の規定による)

フィードバック: 小テストとレポートについては、実施した次の回の授業時に、良い例や全体的な傾向などをフィードバックする。

禁止行為: この講義では、下記の行為を禁止する。

- ・カメラ等(スマートフォンを含む)で教室内を撮影すること
- ・許可なくスマートフォン、携帯電話等を操作、使用すること
- ・パソコン、スマートフォン等から音を発生、漏出させること(特に厳禁)
- ・私語をすること(特に厳禁)
- ・喫煙、飲食(必要な水分補給は可)
- ・その他講義の妨げとみなされる行為

こうした行為をやめないなど教官の指示に従わない受講生については、退室させた上で最終成績評価を減点する。

各種通知: 全員に対する重要事項は、講義時に教室で説明するので、毎回出席しないと、情報を入手出来ないリスクがある。欠席者に対する別途の通知、説明は行わない。

個別の受講生に向けた個別の通知は WebClass で行い、受講生から教官への回答 WebClass で行う。受講生は、常に WebClass を確認し、自分あてに教官からメッセージが来ていないかどうか確認すること。無回答者(無返信者)に対する再度の通知などの対処は行わない。

【テキスト】毎回事前に、WebClass 等を通じて資料を配布する。

特定の教科書、テキスト、参考書は使用しない。

【参考図書】

【成績評価の方法】

毎回の講義時(第 2 回目～第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。小テストは、穴埋め式、選択式などによる設問の予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。1 回あたり 5 点×6 回=30 点。(30%)

毎回の講義時(第 2 回目～第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。レポートは、少文字数の論述式の予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。1 回あたり 5 点×7 回=35 点。(35%)

受講態度:教官の指示、指導に従わない場合は、教官の判断により最終成績評価を減点する。

第 15 回目の講義最終回に、確認課題(論述)を実施する予定。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。(35%)

対面授業			04018	
授業科目名: 観光・地域開発特殊講義			担当教員氏名: 三好 宏	
Topics in the Tourism and Regional Development				
履修年次 2~4	2単位	夏季 集中	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 商学科の専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」と「社会的人材の育成」に貢献すること。他学科の学生にとっては、「幅広い学習機会の提供」にもなる。</p> <p><b>【到達目標】</b> 受講生が、受講後に次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国人観光客に対して、岡山県内の観光地に関する簡単なガイドができる。</li> <li>2. 外国人観光客、留学生などとの国際交流を通じて、異文化を理解する力を向上できる。</li> <li>3. ガイドだけでなく、日常生活の中で必要なコミュニケーションスキルも高めることができる。</li> </ol> <p><b>【授業内容】</b> 「講義方法」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本講義は岡山商科大学(経営学部・商学科)が大学コンソーシアム岡山へ提供する専門科目である。</li> <li>2) 授業自体は、専門の外部講師をお呼びし、講義、グループワーク、フィールドスタディ(ワーク)を行うこととし、うち2回は岡山県内の観光地(予定では後樂園、倉敷美観地区等)に出向き、専門家の指導のもとガイド体験を行う。なお、県内の多くの学生が履修しやすいように、夏季休業期間中での集中講義、講義などの場所も岡山駅周辺の施設を利用して実施する。</li> <li>3) 科目運営全体統括は、岡山商科大学の三好が担い、同大学杉本とともに履修者の成績評価を行う。</li> <li>4) 学校閉鎖となった場合は、オンライン対応も検討するが、場合によっては中止もありうる。なお、下記事業内容はあくまでも予定であり、都合により、講義内容、担当者、講義順が変更になることがあるので、注意されたい。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義:オリエンテーションと総論 授業の進め方、インバウンドの現状、ガイドの必要性・役割など 事前学修:岡山県の観光の状況、インバウンドについて、調べられることを調べてくる 事後学修:授業内容を整理する</li> <li>2. 講義:ガイド研修① ガイドの基礎知識、求められる資質、心構えなど 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる 事後学修:授業内容を整理する</li> <li>3. 講義:ガイド研修② 日本の習慣に対する素朴な疑問に関する学習など 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる 事後学修:事業内容を整理する</li> <li>4. 講義:語学研修① 通訳ガイドに必要な語学、コミュニケーションを学ぶ 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる 事後学修:授業内容を整理する</li> <li>5. 講義:語学研修② 通訳ガイドに必要な語学の学習方法など 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる 事後学修:授業内容を整理する</li> </ol>				

6. 講義:語学研修③ 後樂園・倉敷美観地区等に必要な語学を学ぶ  
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる  
事後学修:授業内容を整理する
7. 講義:ガイド研修③ ガイドに求められる顧客視点、コミュニケーションスキルを学ぶ  
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる  
事後課題:授業内容を整理する
8. 講義:観光産業① インバウンド市場で求められる資質、人材など  
事前学修:事前に与えた課題について考えてくる  
事後学修:授業内容を整理する
9. 講義:観光産業② 岡山県の観光産業の現状と未来  
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる  
事後課題:授業内容を整理する
10. 11. フィールドワーク:ガイド体験① 後樂園(予定) 現地に出向き、3～4 時間滞在  
事前学修:事前に与えた課題について考えてくる  
事後学修:授業内容を整理する
12. 13. フィールドワーク:ガイド体験② 倉敷美観地区(予定) 現地に出向き、3～4 時間滞在  
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる  
事後課題:授業内容を整理する
14. グループワーク:まとめと発表  
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる  
事後課題:授業内容を整理する
15. 総まとめ  
事前学修:これまでの内容をレポートにまとめてくる  
事後学修:授業内容を整理する

#### 予習・復習

予習(1時間程度):次回講義で取りあげる内容などの下調べ、考察他。

復習(3時間程度):講義についてのまとめノート作成などによる内容の整理。

#### 注意事項

出席:名簿、各授業回の課題提出により、出席を確認する

成績評価方法:最終レポート 60%、毎回授業に対する意見・感想レポート 10%、フィールドワーク 15%×2 回、計 30%(以上は、現段階での目安)

授業回によっては、ノートパソコン、タブレット、スマホなどで情報収集を行う可能性があるの  
で、各自準備しておくこと。

各授業回のレポートについてはそれ以降の回の授業で全体講評を行う。最終レポートについては、原則コメントをつけて返却するが、場合により全体講評に切り替わる可能性もあるので、ご承知おきいただきたい。

【テキスト】(教材)配布資料(基本、紙媒体を配布)を用いる。

#### 【参考図書】

##### 【成績評価の方法】

全体をまとめた最終レポート(60%)

毎回の授業に関する意見・感想レポート(10%)

フィールドワーク(30%)

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山商科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年			
		男・女		昭和・平成 年 月 日			
現住所	〒			—		Tel ( ) —	

\* 履修受付締切日：前期：3月31日(月)まで 夏季集中：7月31日(木)まで 後期：9月11日(水)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
04001	行政法Ⅰ	専門	伊藤 治彦	2	前期	2~4	定員 20名	木 13:10~14:40		
04002	行政法Ⅱ	専門	伊藤 治彦	2	後期	2~4	定員 20名	木 13:10~14:40		
04003	民法概説	専門	倉持 弘	2	前期	1~4	定員 20名	月 9:00~10:30		
04004	民法総則	専門	倉持 弘	2	前期	2~4	定員 20名	月 15:00~16:30		
04005	刑事政策	専門	白井 諭	2	前期	2~4	定員 20名	月 13:10~14:40		
04006	現代刑事法	専門	白井 諭	2	後期	2~4	定員 20名	火 15:00~16:30		
04007	労働経済学	専門	三谷 直紀	2	後期	2~4	定員 15名	火 13:10~14:40		
04008	ミクロ経済学B	専門	熊代 和樹	2	後期	2~4	定員 15名	水 10:50~12:20		
04009	国際経済学Ⅰ	専門	山下 賢二	2	前期	2~4	定員 15名	木 9:00~10:30		
04010	国際経済学Ⅱ	専門	山下 賢二	2	後期	2~4	定員 15名	木 9:00~10:30		
04011	マクロ経済学B	専門	劉 政達	2	後期	2~4	定員 15名	木 13:10~14:40		



No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜 日・時 限	履 修 希 望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
04012	岡山経営者論Ⅰ	専 門	陳 惠 貞	2	前期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30		
04013	岡山経営者論Ⅱ	専 門	陳 惠 貞	2	後期	1～4	定員 15 名	月 15:00～16:30		
04014	簿記論Ⅰ	専 門	陶 静	2	後期	1～4	定員 15 名	水 10:50～12:20		
04015	地方財政論	専 門	多田 憲一郎	2	夏季 集中	3～4	定員 15 名	日程調整中		
04016	生命倫理と法	専 門	粟屋 剛	2	後期	2～4	定員 20 名	火 15:00～16:30		
04017	岡山産業概論	専 門	渡邊 信治	2	前期	1～4	定員 20 名	月 13:10～14:40		
04018	観光・地域開発論特殊 講義	専 門	三好 宏	2	夏季 集中	2～4	定員 15 名 ※成績評 価は後期に行います。	日程調整中		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## (5)岡山理科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	春学期	2025年 4月 10日	～	2025年 7月 30日
	秋学期	2025年 9月 17日	～	2026年 1月 23日
試験期間※	春学期	2025年 7月 31日～8月 1日・8月 4日～6日		
	秋学期	2026年 1月 21日～22日・26日～27日・2月 2日		
授業時間	1時限	9:10	～	10:40
	2時限	10:55	～	12:25
	3時限	13:15	～	14:45
	4時限	15:00	～	16:30
	5時限	16:45	～	18:15

※試験予備日【春学期】2025年 8月 7日・8日

【秋学期】2026年 1月 28日・2月 3日

## 岡山理科大学へのアクセス・周辺マップ

交通手段	出発場所	路線	下車場所	所要時間
岡電バス	JR岡山駅西口 (22番乗り場)	岡山理科大学行	岡山理科大学 バス停	バス20分、 徒歩0分、片道230円
岡電バス	JR岡山駅東口 (13番乗り場)	理大東門行	岡山理科大学東門 バス停	バス30分、 徒歩0分、片道230円
JR	JR岡山駅	JR津山線	JR法界院駅	JR4分、徒歩25分
タクシー	JR岡山駅西口		岡山理科大学	タクシー15分、徒歩0分

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教学支援部 教務課	
所在地:	岡山市北区理大町 1-1
電話:	086-256-8447

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

・春学期受付:2025年3月24日(月)～4月4日(金)  
・秋学期受付:2025年9月1日(月)～9月12日(金)

・ 履修手続

以下の印刷物を配付します。

- ① OUS-ID(時間割等お知らせ用ポータルサイトログインID)
- ② 学生証

・ 施設利用

岡山理科大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mylog.pub.ous.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006>

・対面授業科目

対面授業			05001		
データの数理Ⅱ			大江 貴司		
Mathematics of Data Processing II					
履修年次:3~4年次	2単位	秋	1コマ		
<b>【授業の目的】</b> 現代の情報システムで重要な要素を占めるビッグデータ解析や機械学習など人工知能技術開発に用いられる代表的な統計的手法である多変量解析について講義する。特にデータ解析の代表的手法である回帰分析、主成分分析、クラスタ分析等について説明する。また、それらをコンピュータ上で実行するための情報システムについても言及する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 多変量解析が利用される様々な場面について説明する。		9. 重回帰分析における寄与率および重相関係数について説明する。			
2. 統計的推定および検定について、復習する。		10. 主成分分析におけるアイデアと第1主成分の導出について説明する。			
3. 単回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。		11. 主成分分析について、第2以下の主成分の導出と寄与率・因子負荷量について説明する。			
4. 単回帰分析における正規方程式の解の構成について説明する。		12. 因子分析について説明する。			
5. 単回帰分析における不偏性定理について説明する。		13. クラスタ分析の基本的アイデアと、集合間の距離の取り方について説明する。			
6. 単回帰分析における寄与率および回帰の仮説検定について説明する。		14. クラスタ分析のアルゴリズムについて説明する。			
7. 重回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。		15. 判別分析について説明する。			
8. 重回帰分析における正規方程式の解の構成と不偏性定理について説明する。		16. 期末試験を行う。			
<b>【テキスト】</b> 多変量解析入門／永田靖・棟近雅彦／サイエンス社／ISBN4-7819-0980-9					
<b>【参考図書】</b> Rで学ぶ確率統計学(多変量統計編)／神永正博・木下勉／内田老鶴圃／ISBN978-4-7536-0124-0					
<b>【成績評価の方法】</b> ・講義中に行う練習問題: 評価割合 50% ・期末試験: 評価割合 50% により評価し、総計で60%以上を合格とする。					

対面授業		05002		
鉱物科学		新原 隆史		
Mineral Science				
履修年次:2~4 年次	2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
地球などの太陽系固体天体を構成する物質の基本単位である鉱物を理解することは、太陽系について知る上で最も基礎的なことである。そこで、まず鉱物の物理的性質・化学的性質・産状・成因など鉱物学の基礎を習得する。そして、身近な鉱物の例をあげ、鉱物生成のメカニズムの解明がどのような手法で行われるか理解する。隕石に含まれる鉱物の特徴とその形成環境について理解する。				
<b>【授業内容】</b>				
1. イントロダクション。講義の進め方について説明する。続いて、身近な鉱物を例に私たちの生活と鉱物との繋がりについて理解する。		9. 隕石の種類と分類について理解する。		
2. 鉱物の定義について説明する。		10. コンドライト隕石の成因と種類を理解する。		
3. 鉱物の定義について説明する。続いて私たちの繋がりをより理解するために、どんな分野と関係しているかについて説明する。		11. 分化天体起源隕石(月・HED 隕石など)の成因と種類を理解する。		
4. 鉱物の結晶化学的性質、特に結晶系、晶族について理解する。		12. 分化天体起源隕石(火星隕石など)の成因と種類を理解する。		
5. 鉱物の結晶化学的性質、ケイ酸塩鉱物の構造について理解する。		13. 惑星探査で持ち帰られた試料の特徴と隕石との関係を理解する。		
6. 鉱物の結晶化学的性質、特に固溶体について理解する。		14. 鉱物の風化変質について理解する。鉱物資源について理解する。		
7. 鉱物の結晶化学的性質、特に面指数、単位包について理解する。X 線回折法とこれによって何がわかるかを理解する。		15. 9 回以降に解説した内容の理解度を確認するため小テストを行う。		
8. 1~7 回目までの内容について理解度を確認するための小テストを行う。				
<b>【テキスト】</b>				
鉱物の科学/赤井純治ほか/東海大学出版部/ISBN978-4-486-01303-7				
<b>【参考図書】</b>				
ニューステージ地学図表/浜島書店/ISBN978-4-8343-4018-1				
<b>【成績評価の方法】</b>				
授業中に実施する 2 回の小テスト(40%)、各授業の際に提出する感想および質問(20%)、レポート(40%)により成績を評価する(達成目標の 1~5 を確認する)。レポート・課題はすべて提出すること。総計で 60%以上を合格とする。				

対面授業				05003	
量子力学の基礎			今井 剛樹		
Elementary Quantum Mechanics					
履修年次:2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 量子力学は電子や光子のようなミクロな世界を支配する枠組みであり、現代科学の基礎として様々な分野に応用されている。この講義では、古典力学から量子力学への橋渡しをすることを目指し、主として1次元系の現象に注目して量子力学の枠組みを解説する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 量子力学のはじまりについて解説する。(その1、黒体輻射)		9. ここまでの内容について中間試験を実施する。			
2. 量子力学のはじまりについて解説する。(その2、光の粒子性)		10. 演算子と固有関数について解説する。(その1)			
3. 量子条件とド・ブロイ波について解説する。(その1、ボーアの量子条件)		11. 演算子と固有関数について解説する。(その2)			
4. 量子条件とド・ブロイ波について解説する。(その2、不確定性原理)		12. 1次元系の粒子(井戸型ポテンシャル)について解説する(その1)			
5. シュレディンガー方程式と波動関数について解説する。(その1)		13. 1次元系の粒子(井戸型ポテンシャル)について解説する(その2)			
6. シュレディンガー方程式と波動関数について解説する。(その2)		14. 1次元系の粒子(反射と透過)について解説する(その1)			
7. 運動量空間と不確定原理について解説する。(その1)		15. 1次元系の粒子(反射と透過)について解説する(その2)			
8. 運動量空間と不確定原理について解説する。(その2)		16. 期末試験を行う。			
<b>【テキスト】</b> 「量子力学 I」原田勲・杉山忠男著(講談社)					
<b>【参考図書】</b> 適宜、参考書を紹介する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 講義の課題が 20%(達成目標 1、2を確認)、中間テストが 30%(達成目標 1を確認)、期末試験が 50%(達成目標 1、2を確認)の割合で成績を評価し、総計が 60%以上を合格とする。					

対面授業				05004	
安全化学			岩永 哲夫		
Chemical Safety					
履修年次:3~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 本講義では、「危険物取扱者」や「毒物・劇物取扱責任者」の資格試験に出題される法令や各種危険物の取り扱い方法などを中心に取り扱い、資格取得を目指す。また研究室において専門的な実験を安全に行うために、化学物質の取り扱い方や実験操作の基本を理解する。化学物質に関連したいくつかの法律を理解し、環境との関わりを社会的な面から考えていく。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 講義および危険物取扱者などの資格の概要を理解する。化学実験の安全の総論、研究の進め方、研究倫理について学習し、理解する。		9. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」に係る模擬試験に解答し、その解説を理解する。			
2. 危険な化学物質 毒物劇物(1):毒物・劇物に関する法令および各物質の性質について学習し、理解する。		10. 危険な化学物質 環境汚染物質等(1) 発がん性物質、環境基本法、水質・大気汚染について学習し、理解する。			
3. 危険な化学物質 毒物劇物(2):薬物類の法規制と性質および応急処置について学習し、理解する。		11. 危険な化学物質 環境汚染物質等(2) オゾン層破壊物質、化審法、労安法について学習し、理解する。			
4. 危険な化学物質 法令:危険物に関する法令、危険物の分類、資格について学習し、理解する。		12. 危険な化学物質 環境汚染物質等(3) PRTR 法、MSDS、ダイオキシン類、地球温暖化について学習し、理解する。			
5. 危険な化学物質 危険物(1) 危険物各類(第1、3、5、6類)の性質について学習し、理解する。		13. 実験装置と実験操作(1) ガラス器具の扱い方、真空、脱水・乾燥、加熱、蒸留などの操作について学習し、理解する。			
6. 危険な化学物質 危険物(2) 危険物各類(第2、4類)の性質について学習し、理解する。		14. 実験装置と実験操作(2) 冷却、かくはん、再結晶などの操作、不安定化合物の取り扱いについて学習し、理解する。また事故の実例と対策について理解する。			
7. 危険な化学物質 危険物(3) 危険性に関する表示、燃焼と消火の理論、高圧ガスおよび緊急対処法について学習し、理解する。		15. 危険物取扱者試験に係る総合演習に解答し、その解説を理解する。講義内容の総括を行う。			
8. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」の法令に係る演習問題を行い、その解説を理解する。					
<b>【テキスト】</b> 学生のための化学実験安全ガイド／徂徠 道夫他著／東京化学同人／978-4-807905716					
<b>【参考図書】</b> ・基礎化学実験安全オリエンテーション／山口 和也・山本 仁著／東京化学同人 ・失敗から安全を学ぶ化学実験の心得／西脇 永敏著／化学同人 その他は講義において指示する					
<b>【成績評価の方法】</b> 毎回実施する演習への取り組み 70%(達成目標 1~4 を評価)と課題レポート 30%(達成目標 3、4 を評価)から評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。					



対面授業				05005	
微生物学			水野 信哉		
Microbiology					
履修年次:2~4 年次		2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 微生物学領域での基盤知識を得るとともに、微生物と宿主の相互関係を理解する。とりわけ、近年全世界的に問題となっている動物由来感染症では、生態系を取り巻く環境レベルで感染様式と感染経路を包括的に理解する。さらに微生物側から見た増幅戦略を分子生物学的に理解し、分子標的に基づく近代化学療法の合理性を理解する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. イントロダクションと微生物の分類について全体スケジュールや教育方針(学習目標達成に向けてのプロセス)を説明する。シラバス登録と講義の順番や内容に変更がある場合は事前説明を行う。ついて、微生物の分類と定義、我が国における感染症の発生状況を年代別に概説する。		9. 消毒と滅菌/消毒と滅菌の原理を概説し、具体的な手法とその用途、長短所を解説する。			
2. 細菌学1(総論)/地球誕生後の細菌、古細菌進化の重要性を概説する。細菌の構造、形態、発育について概説する。微生物の有効利用について発酵や遺伝子組み換え技術を解説する。		10. ワクチン/免疫学に基づくワクチンの原理を解説するとともに、ポリオや天然痘の制圧におけるワクチンの貢献を解説する。その上で我国におけるワクチンの現状(問題点)と今後の展望についても解説を加える。			
3. 細菌学2(各論)/食中毒の原因菌(カンピロバクター、サルモネラ、病原性大腸菌 O157 など)や胃がんの原因菌(ピロリ)の特徴や感染様式を概説し、その予防法を解説する。		11. 化学療法 1/抗生物質発見の歴史と細菌性感染症制圧における抗生剤の重要性を解説する。			
4. ウイルス学1(総論)/ウイルスの分類のもとに構造や増幅様式を概説するとともに、ウイルス発見の歴史を振り返る(タバコモザイクウイルス、黄熱病ウイルス、細胞変性効果による間接的可視化など)。		12. 化学療法 2/インフルエンザやC型肝炎を中心に抗ウイルス薬の開発状況と今後の展望を解説する。抗真菌剤、抗原虫剤、抗寄生虫剤についても病原体分子標的に基づく作用起点を解説する。			
5. ウイルス学2(各論)/巨大ウイルス(ミミウイルス等)、バクテリオファージ、ポリオウイルス、ノロウイルスの特徴とウイルス感染の様式や経路を解説する。		13.動物由来感染症1/重度熱性血小板減少症候群(SFTS)をもたすブニヤウイルスとその感染様式について解説する。野生動物の感染状況や媒介するダニの種類についても解説を加える。			
6. 原虫/病原性原虫(アメーバ、トリコモナス、トリパノソーマなど)の感染様式や生活環を解説する。次いで、マラリアの現状と今後の展望を解説する。		14. 動物由来感染症2/鳥や豚をはじめとする動物由来インフルエンザの感染様式と問題点(異種間遺伝子組み換えなど)を解説する。			
7. 真菌/真菌の分類法と特性について解説する。アスペルギルス症、アフラトキシン中毒(発がん性)、カンジダ症、クリプトコッカス症の原因や感染経路なども解説を加える。		15. 動物由来感染症3(30分)/コウモリやハクビシンが持ち込む重症呼吸器症候群(SARS)、ラクダから伝搬される中東呼吸器症候群(MERS)についてウイルスの特徴や感染様式を解説する。 理解度確認テスト(後半) 後半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。			
8. リケッチア、クラミジア(30分)/リケッチアやマイコプラズマ、クラミジアなどの細胞内寄生病原体が持つ生物学的性状を解説する。日本紅斑熱やツツガムシ病、Q熱、オウム病の特徴とその感染様式を解説する。 理解度確認テスト(前半) 前半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。					
<b>【テキスト】</b> 教科書は特に指定しない。参考書はその都度紹介する。参考書をまとめたパワーポイント資料は毎回プリントとして配布する。					
<b>【参考図書】</b> 参考書はその都度紹介する。参考書をまとめたパワーポイントスライド資料は毎回プリントとして配布する予定である。					
<b>【成績評価の方法】</b> おおむね3、4回に1回の割合で小テストを行う(具体的な運用はその都度指示する)。成績評価は小テスト獲得点(30%)、2回の理解度確認テスト(70%)による総合評価によって行う予定である。このほか、必要に応じて再試験、課題レポート提出を求める場合がある。以上を通じて、到達目標(1)、(2)、(3)のすべての項目について、目標到達度を評価する。なお、総合得点が100点満点中60点以上を合格とする。					

対面授業				05006	
再生医療移植学			片岡 健 他		
Regenerataive Medicine					
履修年次: 2~4年次	1単位	秋	1コマ		
<b>【授業の目的】</b> 臨床検査の知識を先端医療に生かすプロセスについて、再生医療と移植医療を通じて理解する。さらに再生医療や移植医療の現状と問題点について理解し、これからの発展についてこれまで学修を生かしてディスカッションする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. オリエンテーション、血液検査学の復習。再生医療と移植医療の違いを理解する。【片岡健】					
2. 移植免疫について理解する。【片岡健】					
3. 輸血とその検査について理解する。【児島葉子】					
4. 造血幹細胞移植とその検査について理解する。【児島葉子】					
5. 移植医療の現状・脳死について理解する。【片岡健】					
6. 各種幹細胞とその培養について理解する。【片岡健】					
7. 再生医療の現状について理解する。【片岡健】					
8. 期末試験を行い、引き続き、試験問題の解答と解説を行う。【片岡健】					
<b>【テキスト】</b> 資料をプリントにより配布する。					
<b>【参考図書】</b> 最新臨床検査学講座 免疫検査学／第2版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22400-7 最新臨床検査学講座 血液検査学／第2版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22381-9 病気がみえる vol.5 血液／第3版／メディックメディア／ISBN978-4-89632-922-3					
<b>【成績評価の方法】</b> 小テスト評価:60%(達成目標 1 から 3 を確認) 期末試験:40%(達成目標 1 から 3 を確認) 以上により成績を評価し、総計で得点 60%以上を合格とする。					

対面授業		05007		
航空宇宙材料の力学		中井 賢治		
Mechanics of Aerospace Materials				
履修年次: 3~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> 複合材料は、金属材料と比較して比強度、比剛性が高く、疲労寿命や耐食性にも優れているため、近年航空機、自動車、スポーツ用具などの分野で広範に使用されている。本講義では、複合材料に代表される異方性材料の力学的特性について理解することを目的とする。				
<b>【授業内容】</b>				
1. 講義計画および複合材料の基礎知識について説明する。	9. 等方性材料の熱応力と線膨張係数について解説する。			
2. 航空・宇宙機用構造材料について解説する。	10. 複合材料の熱応力について説明する。			
3. 複合材料の種類について解説する。	11. 複合材料の線膨張係数について解説する。			
4. 複合材料の成形方法と、実際に工業材料として使用する際の利点と欠点について説明する。	12. 等方性板のフックの法則について解説する。			
5. 比強度、比剛性の物理的意味および計算方法について解説する。	13. 等方性板の組み合わせ応力とひずみについて解説する。			
6. 複合材料の繊維方向におけるヤング率について解説する。	14. 直交異方性板のフックの法則について解説する。			
7. 一方向強化複合材の材料の主軸方向(繊維方向、面内横方向)におけるヤング率の違いについて解説する。	15. 直交異方性板の組み合わせ応力とひずみについて解説する。			
8. 一方向強化複合材の強度の複合則について解説する。	16. 1~15 回までの講義内容の理解度を確認するため、期末試験を実施する。			
<b>【テキスト】</b> 教科書は使用せず、ノート講義と配布するプリントを併用する。				
<b>【参考図書】</b> ・ Engineering Mechanics of Composite Materials (2nd Edition)/ I.M. Daniel and O. Ishai/ Oxford University Press/ 9780195150971 ・ 複合材料の力学序説／福田 博、邊 吾一 著／古今書院／9784772213738				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験を行ない、その採点結果(100%)により評価する。 なお、期末試験では、複合材料のヤング率20%(達成目標 1)を確認)、複合材料の強度20%(達成目標 2)を確認)、複合材料の熱応力と線膨張係数20%(達成目標 3)を確認)、等方性板のフックの法則20%(達成目標 4)を確認)、直交異方性板のフックの法則20%(達成目標 5)を確認)に関する計算ができること。 以上の項目について評価し、合計得点が60点以上を合格とする。				

対面授業				05008	
電波法規			荒井 伸太郎		
Radio Law					
履修年次: 3~4年次	1単位	春	1コマ		
<b>【授業の目的】</b>					
<p>本講義では第1級陸上特殊無線技士、第2級、第3級海上特殊無線技士資格を含む様々な無線従事者資格及び電気通信主任技術者資格取得のための電波法令及び電気通信事業法について解説し、受講生が資格取得のための学力を付けることを目標とする。</p>					
<b>【授業内容】</b>					
1. 電波法体系及び法の総則について学習する。					
2. 無線局の免許Ⅰについて学習する。					
3. 無線局の免許Ⅱについて学習する。					
4. 無線設備、無線機器形式検定、技術基準適合証明について学習する。					
5. 無線従事者について学習する。					
6. 無線局の運用について学習する。					
7. 無線局の監督について学習する。					
8. 期末試験を実施し、フィードバックとして解答と解説を行う。					
<b>【テキスト】</b>					
よくわかる教科書 電波法大綱(第24版)／一般財団法人情報通信振興会／978-4-8076-0978-9					
<b>【参考図書】</b>					
学習用 電波法令集(抄)／一般財団法人情報通信振興会／978-4-8076-0955-0					
<b>【成績評価の方法】</b>					
課題と小テスト 40%と期末試験 60%(それぞれ達成目標の1)~2)を確認)として成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。					

対面授業		05009		
画像処理とCG		島田 英之		
Image Processing and Computer Graphics				
履修年次: 2~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b> コンピュータ応用分野である画像処理とCGに関する専門知識を学ぶことによって、それらを現実の問題に対して応用するための知識と技能を修得する。受講者は、前半では画像を処理するための知識と技能、後半ではCGを生成するための知識と技能を修得する。				
<b>【授業内容】</b>				
1. 画像処理の目的、CGの目的、画像処理とCGの融合について理解する。		9. 第8回までの内容に関する中間試験を実施し、解説を行う。		
2. 画像処理について、濃淡画像処理(1):画像処理の歴史、人間の視覚、色彩の表現、画像のデジタル表現、画素ごとの濃淡情報の変換について理解する。		10. 2次元画像生成:デジタル線分の発生法、デジタル円弧の発生法、自由曲線について理解する。		
3. 濃淡画像処理(2):平滑化処理、鮮鋭化処理について理解する。		11. モデリング:右手系と左手系、立体の表現法、ソリッドモデルの表現法、自然物の表現法について理解する。		
4. 濃淡画像処理(3):幾何学的変換処理について理解する。		12. 3次元座標変換:3次元アフィン変換、座標系、透視変換について理解する。		
5. 濃淡画像処理(4):エッジ検出処理、テンプレート・マッチング処理(1)について理解する。		13. レンダリング(1):隠面消去について理解する。		
6. 濃淡画像処理(5):テンプレート・マッチング処理(2)について理解する。		14. レンダリング(2):シェーディング、シャドウイング、マッピング、グラフィックス用の各種API、CG制作のためのソフトウェア、3D映像の原理、画像処理とCGの未来について理解する。		
7. 2値画像処理:2値化処理、基本処理、画像の形状解析について理解する。		15. 到達度確認テストとフィードバックを行う。		
8. データ圧縮、線図形処理、画像の保存方式、画像処理のためのソフトウェアについて理解する。				
<b>【テキスト】</b> 書店販売しない。初回の講義にて講義ノートを配付する。				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> 中間試験 40%(達成目標(1)を評価)、到達度確認テスト 40%(主に達成目標(2)を評価)、演習レポート 10%(達成目標(1)(2)を評価)、プログラミング課題 10%(達成目標(1)(2)を評価)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。				

対面授業			05010		
ナノサイエンス			竹崎 誠		
Nanoscience					
履修年次: 3~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b>					
ナノメートルスケールの超微粒子は、肉眼や一般の光学顕微鏡で見えるサイズの物質とは異なるユニークな性質を示す。有機物、無機物、無機・有機複合体から成るナノ粒子/ナノ組織体について、原子や単独分子にない新しい機能が発現されることを理解し、近年発展の著しいこの分野の内容について理解することを目的とする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 全体の授業内容を説明した後、両親媒性物質(界面活性剤)の化学構造による分類と性質について学ぶ。		9. 金属ナノ粒子の配列による性質の変化とセンサーへの応用について学ぶ。			
2. ミセル、ベシクル、平面二分子層等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。		10. 金属ナノ粒子のバイオ分野への応用について説学ぶ。			
3. 逆ミセル、マイクロエマルジョン等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。		11. フラーレンの発見前後の状況について学ぶ。			
4. 自己組織化単分子膜について学ぶ。		12. フラーレンの性質について学ぶ。			
5. 周期表 12-16 族の性質を復習し、半導体の性質について学ぶ。		13. カーボンナノチューブの発見前後の状況について学ぶ。			
6. 半導体ナノ粒子の性質について学ぶ。		14. カーボンナノチューブの性質について学ぶ。			
7. 金属ナノ粒子の合成法について学ぶ。		15. ナノプロービングについて学ぶ。			
8. 金属ナノ粒子のサイズ・形と光学的性質について学ぶ。		16. 期末試験を実施する。			
<b>【テキスト】</b>					
プリントを配布する。					
<b>【参考図書】</b>					
コロイド科学Ⅱ 会合コロイドと薄膜/日本化学会編/東京化学同人/ISBN 9784807904365 ;化学の要点シリーズ7 ナノ粒子/春田著/共立出版/ISBN 9784320044128 ;ナノテクノロジー入門シリーズ ナノテクのための化学・材料入門/日本表面科学会編/共立出版/ISBN 9784320071711 ;分子間力と表面力/J.N.Israelachvili 著,近藤・大島訳/マグロウヒル/ISBN 9784254140514 ;ナノ粒子科学/G.Schmio 編、岩村・廣瀬訳/NTS/ISBN 9784860431754 ;化学マスター講座 ナノテクノロジー/今堀ら著/丸善/ISBN 9784621082607 ;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第2巻ナノ粒子/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950269;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第3巻ナノコロイド/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950276; ナノカーボンの科学/篠原久典/講談社ブルーバックス/ISBN 9784062575669;基本分析化学-イオン平衡から機器分析法まで-/北條正司・一色健司 編著 / 三共出版 / ISBN 978-4-7827-0787-6;無機化学 その現代的アプローチ 第2版 / 平尾一之・田中勝久・中平敦 著 / 東京化学同人 / ISBN 978-4-8079-0824-0					
<b>【成績評価の方法】</b>					
毎回レポート30%(到達目標1)~5)を確認)、期末試験70%(到達目標1)~5)を確認)により成績を評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。					

対面授業				05011	
エコロジカルデザイン			増田 俊哉 他		
Ecological Design					
履修年次: 3~4年次	2単位	秋	1コマ		
<b>【授業の目的】</b> 持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化及び都市や地域の環境破壊を防止する環境共生のまちづくり、建築、家づくりの方法論、省エネルギー、資源循環、ヒートアイランド対策など地球環境や都市環境保全に関する社会的、技術的課題について理解し、ストックの活用再生修復の視点から、団地再生、スケルトンインフィル、さらには文化財保護を軸としたまちづくりや歴史地区の保存再生計画等について身につける。					
<b>【授業内容】</b>					
1. ガイダンスおよび ECO デザインの概要: 持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化や都市や地域の環境破壊を防止する環境共生建築、環境共生都市の必要性を解説する。【増田 俊哉-1】		9. エコロジカル建築の実例を通じた計画手法・要件を解説する。【馬淵 大宇】			
2. ECO デザイン_テクニカル_アプローチ: 持続的発展が可能な環境共生都市、まちづくりの概念についてテクニカル_アプローチを具体的事例を挙げて解説する。【増田 俊哉-2】		10. 持続的発展が可能な都市づくりを目指した長寿命化住宅、住宅の長期耐用化技術について解説する。【納村 信之】			
3. 持続性可能な環境共生都市_まちづくりにおける「環境人間学的視座」について解説する。【増田 俊哉-3】		11. 環境建築における環境技術の応用について解説する。【中山 哲士】			
4. 「環境-人間-建築」的志向_周辺環境_自然のうつろい: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「周辺環境_自然のうつろい」に関する事例を解説する。【増田 俊哉-4】		12. 建築_都市の環境を制御する手法と効果について解説する。【中山 哲士】			
5. 「環境-人間-建築」的志向_中間領域: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「中間領域」に関する事例を解説する。【増田 俊哉-5】		13. 地球環境と環境共生建築: 地球温暖化の現状を概説し、その対策の一例としてZEBについて解説する。また SDGs について概説する。【坂本 和彦】			
6. 「環境-人間-建築」的志向_風_水_光: 持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から「風_水_光」の制御と受容に関する事例を解説する。【増田 俊哉-6】		14. 持続可能な住宅と環境: 家庭でのエネルギー消費量等を概説し、住宅の省エネルギーと環境性能について解説する。【坂本 和彦】			
7. 持続的発展が可能な都市づくりの観点から、文化財、歴史的町並みの保存、コンバージョンについて解説し、「環境人間学的」ECO デザインを総括的に解説する。【増田 俊哉-7】		15. 建築における再生可能エネルギー利用: 各種再生可能エネルギーについて概説し、建築への適用事例について解説する。【坂本 和彦】			
8. エコロジカルな都市_まちづくりの実例を通じた計画手法_要件を解説する。【八百板 季穂】					
<b>【テキスト】</b> 講義で資料を配布する。					
<b>【参考図書】</b> 『成長の限界 ローマクラブ人類の危機レポート』/ドネラ・メドゥズ、デニス・メドゥズ、ジャーガン・ランダズ、ウィリアム・ベアランズ三世/ダイヤモンド社、『フライブルクのまちづくり』/村上 敦/学芸出版社、『風土の日本』/オギュスタン・ベルク/筑摩書房、『三つのエコロジー』/フェリックス・ガタリ/平凡社、『レンゾ・ピアノ・ビルディング・ワークショップ 全作品集』/ファイドン、『グレン・マーカットの建築』/TOTO出版					
<b>【成績評価の方法】</b> 担当教員ごとの複数回の課題を総合的に評価し、総計で 100 点満点、60 点以上を合格とする。					

対面授業			05012		
医用工学概論			松宮 潔		
Introduction to Medical Engineering					
履修年次:1~4 年次	2 単位	春	1コマ		
<b>【授業の目的】</b> 検査、診断、治療の機器について学び、臨床において使用する場面と方法についての理解を深める。これら機器の原理と構造についても学び、理解を深める。以上の内容について、基本的な知識とスキルを養い、今後の専門科目を学ぶ上での基礎となるようにする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 生体の構造と機能について解説する。		9. 人工臓器について解説する。			
2. 生体の物理的特性と化学的特性について解説する。		10. 尿・血液検査機器について解説する。			
3. 生体を力学的・機械工学的な視点で解説する。		11. 呼吸器機能・循環器機能検査機器について解説する。			
4. 生体情報の種類について解説する。		12. 内視鏡・画像診断装置について解説する。			
5. センサ・トランスデューサの原理と構造について解説する。		13. 各種エネルギーが生体に及ぼす影響・危険性について解説する。			
6. 信号処理について解説する。		14. 医用安全を確保するための方法について解説する。			
7. 計測値の統計処理について解説する。		15. 病院管理と地域医療について解説する。			
8. 物理的エネルギーを用いた治療について解説する。		16. 期末試験を行い、終了後に解法や考え方について解説する。			
<b>【テキスト】</b> 最新臨床検査学講座 医用工学概論／嶋津秀昭、中島章夫 編／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22374-1					
<b>【参考図書】</b> ME の基礎知識と安全管理 改訂第 8 版／日本生体医工学会 ME 技術教育委員会／南江堂／ISBN978-4-524-20417-5					
<b>【成績評価の方法】</b> 小テスト評価30%(達成目標1と2を確認)期末試験70%(達成目標1と2を確認)により成績を評価し、総計で得点60%以上を合格とする。					



対面授業				05013	
ロボット工学概論			藤本 真作		
Outline of Robot System Engineering					
履修年次:1~4 年次	1 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> ロボット工学や機械工学系の入門として、ロボットシステム、センサ、ロボットと五感、アクチュエータ、人工知能などの基礎事項を学ぶとともにそれらの簡単な内容と問題点などを説明する。そして、人類が如何にしてロボットという概念に到達したか？そもそもロボットとは何か？について考える。人工物であるロボットを題材に、自然物である人の類まれな能力などについて学ぶことができる。最後にセンサから得られた信号の基本的な信号処理についても学ぶ。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 講義概要(ロボット工学の歴史と如何にしてロボット工学の概念に到達したか?)について説明する。					
2. 人工物であるロボットのセンサと自然物である人の五感について説明する。					
3. 機械的なセンサの基本的な原理とその信号処理の方法について説明する。					
4. ロボットのアクチュエータ(電気・油圧・空気式)について説明する。					
5. アクチュエータの動作原理とヒューマノイドロボットについて説明する。					
6. ロボット制御と知能化について説明する。					
7. 未来のロボットと我々の生活について説明する。					
8. 総合演習を行う。					
<b>【テキスト】</b> 適宜、資料を配付するものとし、教科書は使用しない。					
<b>【参考図書】</b> 有本卓編著/「ロボティクス概論」/コロナ社、井上猛雄著/「キカイはどこまで人の代わりができるか？職人ロボットから医療ロボットまで～人の暮らしを変えたキカイたち」/ソフトバンククリエイティブ、中川栄一・伊藤雅則共著/「ロボット工学概論」/成山堂書店、熊本水頼編著/「ヒューマノイド工学」/東京電機大学出版局					
<b>【成績評価の方法】</b> 総合演習50%と提出課題30%および演習課題20%により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。 総合演習50%:到達目標①～⑤を確認、提出課題30%(宿題を含む):到達目標①～③を確認、演習課題20%(達成目標⑥を確認)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。					

対面授業				05014	
食薬学			松浦 信康		
Pharmacositology					
履修年次:3~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 野菜や果物等食として摂取している、主として植物二次代謝産物を栄養学的見地から理解し、食の持つ潜在的な三次機能の意味を把握し身につける。「食」と「薬」の共通性と相違点を理解し、各々が本来持っている特性について説明できるようになると共に、適正な利用法についての基礎的な知識と考え方を説明できるようになるようにする。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 食薬学序論を学習する。		9. 天然色素と生物活性を学習する。			
2. 生態科学と「食」、「薬」との関わりを学習する。		10. 匂いとその化学を学習する。			
3. 植物一次代謝産物と食の一次機能を学習する。		11. 抗酸化活性成分を学習する。			
4. 香辛料と食の二次機能を学習する。		12. 食と腸内フローラを学習する。			
5. ハーブと食の二次機能を学習する。		13. 薬膳、食養膳を学習する。			
6. 食の三次機能を学習する。		14. 食薬区分と健康食品を学習する。			
7. 医食同源と疾病予防を学習する。		15. これまでの内容の総復習と学習をする。			
8. 天然味呈成分とその化学を学習する。		16. 期末試験(60分)および試験問題の解説(30分)をする。			
<b>【テキスト】</b> プリントを配布する					
<b>【参考図書】</b> 特に無し					
<b>【成績評価の方法】</b> 最終評価試験結果を 100%として、達成目標を評価し、60%以上の得点率を合格とする。					

対面授業				05015	
生化学			片岡 健		
Biochemistry					
履修年次:1~4 年次	2 単位	秋	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 本講義の目的は医学に関連した生化学の基礎を習得することである。特に、生体(ヒト)を構成する分子の化学構造を正確に理解し、それら化合物の生体内での代謝についても正しく理解する。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 高校での化学や生物の学習内容の確認を行うと同時に、大学における生化学とはどのような学問分野なのかについて理解する。		9. アミノ酸の代謝(その 1:アミノ酸の種類と構造、分解経路)について理解する。			
2. 細胞と生体分子(水、糖質、脂質、アミノ酸、タンパク質、核酸など)の概要について理解する。		10. アミノ酸の代謝(その 2:尿素回路、アミノ酸の生合成)について理解する。			
3. 酵素の化学(その 1:タンパク質の構造、酵素反応の特徴、酵素の分類)について理解する。		11. ビタミンの生化学(生体内での役割や栄養学的意義)について理解する。			
4. 酵素の化学(その 2:酵素反応速度、医学的役割や利用)について理解する。		12. ミネラル(無機質)の生化学(生体内での役割や栄養学的意義)について理解する。			
5. 糖質代謝(その 1:糖質の分類と解糖系)について理解する。		13. 核酸代謝(その 1:核酸の構造)について理解する。			
6. 糖質代謝(その 2:TCA 回路と電子伝達系)について理解する。		14. 核酸代謝(その 2:モノヌクレオチドの合成と分解)について理解する。			
7. 脂質代謝(その 1:脂肪酸の種類と構造、脂肪酸の酸化)について理解する。		15. 器官の構造と機能(血液、肺、腎臓、肝臓、骨、筋)について理解する。			
8. 脂質代謝(その 2:脂肪酸の生合成)について理解する。		16. 期末試験を行い、その後に解答例を示しながら解説を行う。			
<b>【テキスト】</b> シンプル生化学 改訂第 7 版／林・廣野監修／南江堂／978-4-524-24659-5					
<b>【参考図書】</b> 医学系のための生化学／石崎泰樹編／裳華房／978-4-7853-5235-6 イラストレイテッド ハーパー・生化学／清水監訳／丸善／978-4-6213-0097-8 					
<b>【成績評価の方法】</b> 課題レポート提出:評価割合 15%(達成目標の 1~3 を確認) 理解度確認問題(毎講義終了時):評価割合 15%(達成目標の 1~3 を確認) 定期試験:評価割合 70%(達成目標の 1~3 を確認) 以上より成績を評価し、総計で 60%以上を合格とする。					

対面授業			05016	
地質学		能美 洋介		
Geology				
履修年次:2~4 年次	2 単位	春	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
<p>本講義では、非常に長い時間を軸とした地質学の基本的な考え方と、生物の進化に立脚した地層年代区分の方法や、各地質時代の地球環境の特徴をおさえながら、地球環境が長い年月の間にさまざまに変動してきたことを理解することを目指す。</p> <p>また、各種の岩石や地層などの種類や産状や形成メカニズムを科学的に理解し、これらの基礎知識をもとにして、地球表層の変動の歴史、日本列島や身近な地域の地質の成り立ちについて理解することを目的とする。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1. オリエンテーション/"地質学"という学問は何を理解し、何を解決し、何を指しているのかについて解説する。講義の進め方、参考書、成績評価方法等について説明する。「日本の地質」のグループ学習を行うためのアンケートを実施する。	9. 付加体/付加体のでき方と付加体堆積物、および産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような付加体が分布しているかを指定された書式で報告する。			
2. 地質学の原理と法則/斉一説、地質学 3 法則について講義する。「日本の地質」のグループ学習のグループを公表し、グループごとの学習対象地域を決める。	10. 断層/断層の分類、でき方、特徴について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような断層が分布しているかを指定された書式で報告する。			
3. 地層の形成/岩石の風化・侵食・移動・堆積の各過程について講義する。	11. 褶曲/褶曲の分類、でき方、特徴について講義する。褶曲を分類するため、ステレオネットについて講義する。「日本の地質」で発表するタイトルをグループごとに決めて発表する。			
4. 年代尺度/化石による地層の対比と地質年代区分について講義する。	12. 地質図/地質図の種類と作成目的、作り方、利用、読図の方法について講義する。			
5. 絶対年代/放射壊変を利用した絶対年代測定法について講義する。	13. 日本の地質 1/グループごとに対象地域の地形や地質について調べた結果を、PowerPoint を使って口頭発表形式で紹介する。			
6. 火山と火山岩/マグマの発生と発達過程、火山岩の種類と組織、産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような火山岩が分布しているかを指定された書式で報告する。	14. 日本の地質 2/グループごとに対象地域の地形や地質について調べた結果を、PowerPoint を使って口頭発表形式で紹介する。			
7. 深成岩/深成岩の種類と組織、成り立ち、産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような深成岩が分布しているかを指定された書式で報告する。	15. 全講義範囲を対象に期末試験を行う。			
8. 変成岩と変成帯/変成岩の種類と組織、成り立ち、産状、変成帯、プレートテクトニクスとの関係について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような変成岩が分布しているかを指定された書式で報告する。	16. 期末試験の解説を行う。			
<b>【テキスト】</b>				
特に指定しない。				
<b>【参考図書】</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューステージ地学図表/浜島書店</li> <li>・Laboratory Manual for Introductory Geology/Allaan Ludman, Stephen Markhak/W.Norton</li> </ul> その他適宜指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
毎回の小問題の成績の合計を 24%(2%×12 回:達成目標(1)・(2)を評価)、グループによる学習成果は第 13 回と 14 回の発表会で受講生アンケートなどで評価しその割合を 36%とし(達成目標(3)を評価)、期末試験 40%(達成目標(1)・(2)を評価)の割合で評価し、これらの総計が 60%の得点者を合格とする。				

対面授業			05017	
古生物学概論			高橋 亮雄 他	
Paleontology				
履修年次: 1~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
地質学的年代スケールで見た地球環境の変遷を正しく理解する。 古生物学の研究を体系的に理解する。実際に化石を見てその特徴を理解する。				
<b>【授業内容】</b>				
1. オリエンテーションを行い、講義の実施方法と目的について解説する。特に地質学と生物学の境界領域としての古生物学について解説する。(實吉)	9. 主竜類化石を対象とした各種古生物学的研究手法について解説する。(千葉)また、中間レポートの課題を提示し、レポート課題の作成方法や提出方法について解説する。(實吉)			
2. 化石とはなにか?その概要を説明する。また地球表層環境の変化と地球内部進化の関係を解説する。(實吉)	10. 主に恐竜類を対象とした各種古生物学的研究手法について説明し、実際の研究例を解説する。(千葉)			
3. 脊椎動物の骨格に認められる基本的な形態と解剖学的特徴について解説する。(高橋)	11. 本学における研究を例に、学際的な古生物学研究の現状と今後を解説する。(千葉)			
4. 古脊椎動物学を学ぶ上で必要とされる基本的な解剖学的特徴について解説する。(高橋)	12. 新生代の地球表層変化と生物進化を解説し、人類誕生までの学問体系とその位置付けについて解説する。(實吉)また、中間レポートに関するフィードバックを行う。(實吉)			
5. 化石記録にもとづく日本の生物地理について解説する。(高橋)	13. 現生人類への進化を俯瞰し、人類進化とその意味について解説する。(實吉)			
6. 骨組織からみる生態学的な解析を通して、古生物学的研究の研究方法を解説する。(林)	14. 化石タフオミーと呼ばれる化石化過程について解説し、地質学的・古生物学的手法を用いた、生命史解読への貢献について解説する。			
7. 骨組織学を用いた古生物学的研究の実践例を解説する。(林)	15. これまでの講義で解説した地球史と関係する、地球表層環境の激変にともなう大型動物の大量絶滅とその要因、研究法について、古生代末・白亜紀末を中心に解説する。(實吉)また本講義後に、レポート課題を提示し、レポートの作成方法について解説する。(實吉)			
8. 古脊椎動物の骨内部にみられる基本的な形態と特徴について説明する。(林)				
<b>【テキスト】</b>				
使用しない。必要に応じて資料を適宜配布する。				
<b>【参考図書】</b>				
古生物の科学 1-5/朝倉書店:古生物学/速水 格/東京大学出版会:化石と生物進化/地学団体研究会(編)/東海大学出版会:化石の科学/日本古生物学会(編)/朝倉書店:層序学と堆積学の基礎/ウィリアム・J.フリッツ・ジョニー・N.ムーア著/愛智出版:古生物学入門/間嶋隆一・池谷仙之/朝倉出版:Vertebrate Taphonomy/ R. Lee Lyman/Cambridge University Press:カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書第4巻 進化生物学/ブルーバックス/D・サダヴァ他著/(株)講談社:恐竜の教科書/ダレンナッシュ・ポールバレット(著)小林快次・久保田克博・千葉謙太郎・田中康平(監)/創元社:Vertebrates-Comparative Anatomy, Function, Evolution, Eighth Edition/Kenneth V. Kardong (2019)/McGraw-Hill Education/				
<b>【成績評価の方法】</b>				
中間レポート課題 50%(達成目標 1・4 を評価)と最終レポート課題 50%(達成目標 1~4 を評価)の計 100%によって成績を評価する。採点の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。				

対面授業			05018	
現代日本語の多様性と運用			ダッタ シヤミ	
Diversity and Performance of Modern Japanese Language				
履修年次:2~4 年次	1 単位	春	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>日本文化や日本事情に照らし合わせて、現代の日本語の多様性と運用を様々な探究活動を通じて紹介と分析していく。現代の日本語がなぜこれほど多様か？この問いも追究する。日本語の多様性と日本教育や Japan Studies(日本学)、つまり日本の伝統文化や現代文化、各地域の特徴の関連をリサーチプレゼンテーションする。</p> <p>* 原則対面実施する。</p> <p>* Student Co-ownership of Inquiry Based Learning による interactive learning 授業のため、欠席が多い場合は後から資料のみ見てカバーするのが難しい授業である。</p> <p>中等教育学科国際日本語教育コースの学位授与の方針(DP)の A と最も強く関連する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>1. 「ネット日本語・新語・造語」Ice-Breaking activity をし、その後オリエンテーションとして授業の進め方、授業内容、目的、成績評価の方針について説明する。授業受講者全員の言語背景をシェアする。</p> <p>2. 「やさしい日本語」について知る。</p> <p>3. 「やさしい日本語」について理解を深める。</p> <p>4. 「若者ことば、敬語、仕事ことば」をキーワードに現代日本語の多様性と運用を探究する方法を紹介する。その際指定地域からグループごとにリサーチプレゼンテーション対象地域や対象の日本語の運用を決める。</p> <p>5. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを行う準備をすすめる。</p> <p>6. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。</p> <p>7. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。Constructive criticism を受ける。</p> <p>8. Constructive criticism を踏まえて、リサーチプレゼンテーションを振り返り、プレゼンテーション資料を提出する。これ 8 回授業につきこれが最終回である。</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>担当者開発のオンラインリソースやその他のオンラインリソースをその都度紹介する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>授業で紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>リサーチプレゼンテーション50%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、課題30%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、授業への参加20%(達成目標 1), 2), 3)を確認)により評価し、総計 60%以上を合格とする。</p>				

対面授業			05019		
商学基礎			宮脇 靖典		
Fundamentals of Distribution and Commerce					
履修年次: 1~4 年次	2 単位	春	1 コマ		
<b>【授業の目的】</b> 現代流通ビジネスの実態と日本の流通システムの変化をとりあげる。小売業態の進化と卸売商業の役割、メーカーの流通政策を説明する。また、情報化、グローバル化の中での流通の変化についても講義する。具体的には、生産と消費を結ぶ流通は、どのような機能と役割を担っているのか、小売業、卸売業、メーカーなどの流通主体ごとに検討する。さらに、それらの全体としての流通システムについて考える。また近年急速に進行している国際化と情報化の中での流通変化についても考える。					
<b>【授業内容】</b>					
1. 授業のオリエンテーションとして、授業の進め方等について確認する。さらに、流通と私たちの生活との関係についての基本的な考え方について学習する。		9. 通信販売と流通について学習する。			
2. 流通の機能やその役割について学習する。		10. 中小商業と流通について学習する。			
3. 小売業とは何か、小売業の存在意義について学習する。		11. 大規模商業と流通について学習する。			
4. 小売業の役割とその種類についてについて学習する。		12. 地域・街づくりと流通について学習する。			
5. 食品スーパーとコンビニエンスストアの生成と発展について学習する。		13. 国際化の進展と流通について学習する。			
6. 卸売業の役割と諸形態について学習する。		14. 情報化の進展と流通について学習する。			
7. マーケティングチャネル政策と流通構造について学習する。		15. 流通における物流の役割やロジスティクス概念について学習する。続いて第 9 回から第 15 回までの講義内容の確認テストおよび、そのテストの解説をフィードバックする。			
8. 流通の組織化について学習する。続いて第 1 回から第 8 回までの講義内容の確認テストおよび、そのテストの解説をフィードバックする。					
<b>【テキスト】</b> ベーシック流通論／井上崇通、村松潤一編／同文館出版, ISBN 4495647512					
<b>【参考図書】</b> 必要に応じて指示する。					
<b>【成績評価の方法】</b> 授業時間内の試験(第 8 回目に実施する確認テスト 50%(達成目標 1)および 2)を確認)と第 15 回目に実施する確認テスト 50%(達成目標 1)および 2)を確認)により評価し、総計で 60%以上を合格とする。					

対面授業		05020		
マナーマイスター講座初級		重松 利信 他		
Beginner Course in Manner Meister				
履修年次:1~4 年次	2 単位	秋	1 コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
日本のしきたりや文化を学び、正しい礼儀・作法や美しい言葉・敬語をマスターすることは、対人関係や社会生活を円滑にし、自分自身の品格向上につながる。本講義は NPO 法人伝統和文化マナーマイスター協会の認定講師資格に則り、日本の伝統文化についての正しい知識を理解し、実技、態度を習得し、社会生活において体现でき、実践できるようになることを目的とする。本講義では、日本の伝統や文化に立脚したマナーの精神を習得し、他者に貢献する力の育成や傾聴力、コミュニケーション力などの汎用的な力の向上も目指す。				
<b>【授業内容】</b>				
1. 講座の目的や礼儀作法の歴史について解説する。第1章 日本の礼儀作法の意義。礼儀作法とエチケット、マナー/礼儀正しさは信頼の基本	9. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本② 企業訪問/名刺の作法/紹介の手順			
2. 第2章 服装のマナーと和装の基本 TPO に合わせた服装の心得。第3章 身だしなみの基本 ビジネスシーンでの身だしなみ	10. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本③ 来客接待/席次を知る/お付き合いの作法。 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本④ 電話対応のマナー/E-mail			
3. 第4章 心を込めた挨拶。様々な場面での挨拶/相手の心に響く挨拶の大切、紹介の順序	11. 第11章 個人宅訪問の心得とおもてなし (洋室)・和室の席次、個人宅訪問の心得			
4. 第5章 日本の美しい所作と姿勢。美しい所作の基本は正しい姿勢。正しい姿勢。第6章 お辞儀の大切さ立礼の種類と作法/座礼の種類と作法	12. 第12章 手紙の形式と ② 封書とはがきの使い分け/日本の手紙の構成、はがきの書き方/ビジネスレター			
5. 第7章 美しい立ち居振る舞い。美しい歩き方とマナー、椅子の座り方と扱い。正しいドアの開け方と入退室。更に、これまで学んだことについて、小テストを行う	13. 第13章 洋食の作法、和食の作法① 和食の特徴、和食の作法、お箸の文化/器の扱い方/懐紙の利用法。第13章 和食の作法② 日本の食文化に親しむ洋食の作法 /カトラリーの使い方			
6. 第8章 コミュニケーション力を高める。コミュニケーションの基本、話し上手はうなずき上手。心を込めた伝え方<会話力>	14. 第14章 日本文化の心① 神道と神社、仏教と寺院、ハレ・ケ・ケガレ、拝礼の仕方、人生の節目、通過儀礼、歳時記、年中行事 1~12 月、結婚 葬式のマナー			
7. 第9章 社会人としての言葉遣い。敬語を使う相手/敬語の3つの種類 クッション(前置き)言葉	15. 国際社会でのマナー 海外の挨拶/対人距離、国際社交儀礼、国旗掲揚/プロトコール			
8. 第10章 日本のビジネス実務マナーの基本① 学生と社会人の違い。仕事の基本<報告 連絡 相談>指示の受け方とポイント<5W3H>	期末試験を実施する			
<b>【テキスト】</b>				
「知っておくべき暮らしの中の礼儀作法 初級教本」(協会指定)定価+800 円(学割)※教科書の購入は授業内で指示するので、それまでは購入しないこと。				
<b>【参考図書】</b>				
プリント教材:適宜配布				
<b>【成績評価の方法】</b>				
講義内で実施する実技と小テスト・最終評価試験で、総合的に評価し、総計で 60 点以上を合格とする。(達成目標(1)、(2))それぞれの割合については、授業内で詳説する。				



対面授業		05021		
科学ボランティア実践1		山口 一裕 他		
Science Volunteer Exercise 1				
履修年次:1~4 年次	1 単位	秋	1コマ	
<b>【授業の目的】</b>				
<p>市民と青少年の科学・技術への関心・理解を深めるために、全国各地で科学イベントが開催されている。本講義は、このような活動を推進する人材である「科学ボランティアリーダー」の養成を目指し、地域で活躍するために必要な資質・能力の基礎を培うことを目的とする。まず、チームを組んで地域などで開催される科学イベント(例えば大学の大学祭企画「科学博物館」など)で科学ボランティア活動を2時間以上実践する(主にブース出展形式)。この科学ボランティア活動を安全かつ効果的に実施できるよう、主にチームごとに決めた指導教員が手厚く事前・事後指導を行う。チーム内での討論、教員への報告、科学イベントでのプレゼンテーションによりアクティブ・ラーニングを行う。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1. ガイダンス:講義の内容と進め方を説明する。出展可能な科学イベント(科学博物館など)の紹介をする。チームを決定する。出展内容と指導教員を決定する。				
2. 科学イベント準備(1) 出展内容の実験等が支障なく行えることを確認する。毎回活動レポートを作成する。				
3. 科学イベント準備(2) 出展内容の詳細を検討する。毎回活動レポートを作成する。				
4. 科学イベント準備(3) 出展内容の詳細を決定する。毎回活動レポートを作成する。				
5. 科学イベント準備(4) プレゼンテーションなどの準備を行う。毎回活動レポートを作成する。				
6. 科学イベント準備(5) 発表会予行演習を行う。毎回活動レポートを作成する。				
7. 科学イベント準備(6) 発表会準備を完了させる。事前レポートと実験配布資料(実験書)を完成させる。毎回活動レポートを作成する。				
8. 科学イベントを実施する(科学博物館などの科学イベント)。発表会レポート作成と相互評価を実施する。事後指導を行う。事後レポートの作成、事後自己評価と授業アンケートを実施する。				
<b>【テキスト】</b>				
使用しない。				
<b>【参考図書】</b>				
適宜指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
レポートの内容 70%(到達目標 1~4 を確認)、発表会の内容 30%(受講生相互の評価と自己評価も加味、到達目標 1、5~6 を確認)によって評価する。総計で 60%以上を合格とする。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山理科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦		年		
			昭和・平成	年	月	日	
現住所	〒 —  Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日: 春学期: 4月4日(金)まで 秋学期: 9月12日(金)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
05001	データの数理Ⅱ	専門	大江 貴司	2	秋	3~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05002	鉱物科学	専門	新原 隆史	2	春	2~4	定員 10名	金 9:10~10:40		
05003	量子力学の基礎	専門	今井 剛樹	2	秋	2~4	定員 10名	水 13:15~14:45		
05004	安全化学	専門	岩永 哲夫	2	春	3~4	定員 10名	水 9:10~10:40		
05005	微生物学	専門	水野 信哉	2	春	2~4	定員 10名	水 9:10~10:40		
05006	再生医療移植学	専門	片岡 健 他	1	秋	2~4	定員 10名	火 10:55~12:25		
05007	航空宇宙材料の力学	専門	中井 賢治	2	秋	3~4	定員 10名	金 10:55~12:25		
05008	電波法規	専門	荒井 伸太郎	1	春	3~4	定員 10名	水 13:15~14:45		
05009	画像処理とCG	専門	島田 英之	2	秋	2~4	定員 10名	金 13:15~14:45		
05010	ナノサイエンス	専門	竹崎 誠	2	秋	3~4	定員 10名	木 13:15~14:45		
05011	エコロジカルデザイン	専門	増田 俊哉 他	2	秋	3~4	定員 10名	木 10:55~12:25		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
05012	医用工学概論	専門	松宮 潔	2	春	1~4	定員 10 名	金 13:15~14:45		
05013	ロボット工学概論	専門	藤本 真作	1	春	1~4	定員 10 名	木 9:10~10:40		
05014	食薬学	専門	松浦 信康	2	秋	3~4	定員 10 名	水 10:55~12:25		
05015	生化学	専門	片岡 健	2	秋	1~4	定員 10 名	月 9:10~10:40		
05016	地質学	専門	能美 洋介	2	春	2~4	定員 10 名	木 16:45~18:15		
05017	古生物学概論	専門	高橋 亮雄 他	2	秋	1~4	定員 10 名	木 10:55~12:25		
05018	現代日本語の多様性と運用	専門	ダッタ シヤミ	1	春	2~4	定員 10 名	水 9:10~10:40		
05019	商学基礎	専門	宮脇 靖典	2	春	1~4	定員 10 名	水 13:15~14:45		
05020	マナーマイスター講座初級	専門	重松 利信 他	2	秋	1~4	定員 10 名	金 13:15~14:45		
05021	科学ボランティア実践指導 1	教養	山口 一裕 他	1	秋	1~4	定員 10 名	集中講義		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用 (単位互換履修科目 履修願貼付)	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (6)川崎医科大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1 学期	2025 年 4 月 21 日	～	2025 年 6 月 27 日
	2 学期	2025 年 9 月 1 日	～	2025 年 12 月 10 日
	3 学期		～	
試験期間	1 学期	2025 年 7 月 14 日	～	2025 年 7 月 18 日
	2 学期	2026 年 1 月 5 日	～	2026 年 1 月 16 日
	3 学期		～	
授業時間	1 限	8:45	～	9:45
	2 限	10:00	～	11:00
	3 限	11:15	～	12:15
	4 限	13:00	～	14:00
	5 限	14:15	～	15:15
	6 限	15:30	～	16:30

### ② アクセス(案内図)

## 川崎医科大学へのアクセス

■ 電車をご利用の方

JR 山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩約 15 分

- ・岡山駅→「中庄（なかしょう）駅」：12 分
- ・倉敷駅→「中庄（なかしょう）駅」：5 分

③ 担当窓口

川崎医科大学 事務部教務課	
所在地:	倉敷市松島 577 川崎医科大学 校舎棟 1 階
電話:	086-464-1012

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

募集要項の「3. 出願方法について」に記載のとおり。※土日は除きます。

・ 履修手続

以下のものを郵送または電子ファイルにてお届けします。

- ①学習の手引き (教務課)
- ②大学案内 (教務課)
- ③学生証(単位互換履修生証) (学生課)

・ 施設利用

川崎医科大学在学生と同様の扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://m.kawasaki-m.ac.jp/outline/curriculum.php>

・対面授業科目

対面授業				06001
生命科学 I			西松 伸一郎 他	
Life Sciences I				
履修年次 1	2 単位	1 学期	32 コマ	若干名
<p><b>【目的】</b>          生命の基本単位である細胞の構造と機能、セントラルドグマの仕組み、生体の恒常性維持と生体防御の仕組みについて学び、生命現象・生命活動を分子レベル、細胞レベル、個体レベルで理解することを目的とする。</p>				
<p><b>【授業到達目標】</b>          生命現象・生命活動を分子レベル、細胞レベル、個体レベルから説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命の歴史、生物の進化について説明できる。</li> <li>2. 生物体のつくりと「階層性」について説明できる。</li> <li>3. 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。</li> <li>4. 細胞の基本構造と、細胞小器官それぞれの構造とはたらきを説明できる。</li> <li>5. 細胞骨格の種類と、それぞれの構造とはたらきを説明できる。</li> <li>6. セントラルドグマについて説明できる。</li> <li>7. DNA の複製について説明できる。</li> <li>8. 遺伝子からタンパク質が作られる仕組みを説明できる。</li> <li>9. 細胞周期について説明できる。</li> <li>10. 体細胞分裂の過程を説明できる。</li> <li>11. 減数分裂の過程を説明できる。</li> <li>12. 遺伝の仕組みを減数分裂と関連づけて説明できる。</li> <li>13. 遺伝型と表現型の関係について説明できる。</li> <li>14. ハーディ・ワインベルグの法則について説明できる。</li> <li>15. 生態系における個体群の関係、食物連鎖について説明できる。</li> <li>16. 栄養素、エネルギーと物質循環について説明できる。</li> <li>17. 細胞内の代謝と細胞呼吸を説明できる。</li> <li>18. 栄養と代謝、代謝異常症について説明できる。</li> <li>19. 精子形成、卵形成の過程を減数分裂と関連づけて説明できる。</li> <li>20. 受精の過程を説明できる。</li> <li>21. 代表的な動物の初期発生の過程を説明できる。</li> <li>22. 動物の器官発生について、器官と由来する胚葉を関連づけて説明できる。</li> <li>23. 動物の器官系の系統発生について説明できる。</li> <li>24. 細胞接着装置について説明できる。</li> <li>25. 神経細胞の興奮のメカニズムと、興奮の伝達の仕組みについて説明できる。</li> <li>26. ホルモンが作用する仕組みを、ホルモンの化学的性状と関連づけて説明できる。</li> <li>27. 各内分泌腺から分泌されるホルモンの主な作用を概説できる。</li> <li>28. フィードバック制御について説明できる。</li> <li>29. 体温を維持する熱源によって動物を分類し、体温調節の仕組みを説明できる。</li> <li>30. 血糖調節の仕組みを説明できる。</li> <li>31. 浸透圧調節の仕組みを動物の生息環境と関連づけて説明できる。</li> <li>32. 生体機能のリズム性変化を概日時計と関連づけて説明できる。</li> <li>33. 免疫にかかわる細胞を列挙し、それらの相互関係を説明できる。</li> <li>34. 膜タンパク質が神経系、内分泌系、免疫系においてはたす役割について説明できる。</li> </ol>				
<p><b>【授業内容】</b></p>				

1	2025/4/21(月)3 時限	生命とは、生物の階層性
2	2025/4/28(月)1 時限	細胞の基本構造(1)細胞膜と核
3	2025/4/28(月)2 時限	細胞の基本構造(2)細胞小器官
4	2025/5/02(金)1 時限	細胞の基本構造(3)細胞骨格
5	2025/5/02(金)2 時限	遺伝情報の流れ (1)複製・転写
6	2025/5/07(水)3 時限	遺伝情報の流れ (2)翻訳
7	2025/5/14(水)3 時限	細胞周期と細胞分裂
8	2025/5/14(水)4 時限	体細胞分裂と減数分裂
9	2025/5/15(木)1 時限	遺伝の法則と遺伝的多様性
10	2025/5/19(月)4 時限	遺伝子とゲノムの進化
11	2025/5/19(月)5 時限	生物の進化と多様性
12	2025/5/21(水)3 時限	生物圏と生態系:食物連鎖
13	2025/5/22(木)1 時限	生物圏と生態系:物質循環とエネルギー循環
14	2025/5/22(木)2 時限	代謝と呼吸:生体エネルギーの獲得
15	2025/5/23(金)3 時限	栄養・代謝の異常と病態
16	2025/5/27(火)1 時限	中間試験
17	2025/5/27(火)2 時限	中間試験
18	2025/5/30(金)3 時限	動物の発生(1)受精
19	2025/6/02(月)3 時限	動物の発生(2)初期発生
20	2025/6/03(火)1 時限	動物の発生(3)原腸形成と胚葉分化
21	2025/6/03(火)2 時限	動物の発生(4)器官形成
22	2025/6/09(月)4 時限	動物の発生(5)細胞接着
23	2025/6/09(月)5 時限	内部環境の調節(1)神経系:神経細胞の興奮
24	2025/6/12(木)4 時限	内部環境の調節(2)神経系:神経細胞間の情報伝達
25	2025/6/12(木)5 時限	内部環境の調節(3)内分泌系:内分泌腺とホルモン
26	2025/6/17(火)2 時限	内部環境の調節(4)内分泌系:ホルモンの作用するしくみ
27	2025/6/17(火)3 時限	内部環境の調節(5)体温調節
28	2025/6/19(木)1 時限	内部環境の調節(6)血糖調節
29	2025/6/19(木)2 時限	内部環境の調節(7)体液と浸透圧調節
30	2025/6/20(金)3 時限	内部環境の調節(8)体内時計とリズム障害
31	2025/6/20(金)4 時限	生体の防御(1)免疫と免疫担当細胞
32	2025/6/27(金)1 時限	生体の防御(2)体液性免疫と細胞性免疫
<b>【評価方法】</b>		
[期末試験]45%(学期末に行う筆記試験)		
[中間試験]45%(1学期中に行う筆記試験)		
[受講態度評価]10%		
[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、受講態度評価		
<b>【課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて】</b>		
期末試験では、スクラッチカードを使用してフィードバックを行います。		
<b>【教科書】</b>		
ISBN-9784758121088, 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学, 和田勝著 ; 高田耕司編集協力, 羊土社, 2020		
ISBN-9784524261994, Essential 細胞生物学(原著第4版), Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳, 南江堂, 2016		
<b>【参考書】</b>		
ISBN-9784410281488, 改訂版 視覚で捉えるフォトサイエンス生物図録, 嶋田正和, 坂井建雄, 園池公毅, 田村実, 中野賢太郎, 成川礼, 湯本貴和, 和田洋, 数研出版, 2024		
<b>【準備学習(予習・復習等)】</b>		

<p><b>【1度の授業に対する自宅学習時間の目安】</b>予習:1時間 復習:1時間</p> <p>全講義の準備学修(復習を含む)を行ってください。予習では、毎回の授業ごとに1時間程度、教科書の該当箇所を読むことが必要です。復習では、教科書と配付プリントを併用して、それぞれの授業内容の重要箇所を1時間程度の時間をかけて確認、理解することが必要です。</p>
<p><b>【講義についての注意事項】</b></p> <p>授業ではヒトを含む生物の細胞レベルから個体レベルの生命現象について概説します。自分の細胞の中、体の中で起こっている生命現象(生命活動)に興味と疑問をもってください。様々な生命現象に関する用語を個別的、断片的に暗記するのではなく、理解した用語を使って生命現象を説明できるよう、用語の関係性を考えながら理解してください。高学年臨床実習時の患者/疾患理解のために内科学等があり、その基本が生命現象の広く深い理解です。1年次のうちに確固とした基盤を築いてください。</p>
<p><b>【科目内で実施予定のアクティブラーニング】</b></p> <p>資料配信以外で ICT(スマートフォン、タブレット、デジタルコンテンツ(moodle 等))を授業に導入し、能動的な学習に繋げている</p>
<p><b>【科目内で実施する形成的評価】</b></p> <p>不定期に授業後の課題として実施し、次回以降の授業でフィードバックを行う</p>



対面授業				06002
データ分析に基づく研究講義			栗林 太 他	
Medical Research topics				
履修年次 3	1 単位	2 学期	15 コマ	若干名
<b>【目的】</b> 多様な学問領域を理解することと自分自身の将来の進路指針の選択について考え及ぶことが目的です。				
<b>【授業到達目標】</b> 1. 科学的な理論を理解することができる。 2. 現象に内在する問題点を挙げ課題を発見することができる。 3. 問題点に対する解決の方法を提示することができる。 4. 自分自身の将来キャリアを考えることができる。 5. 様々な領域特有の知見を理解することができる。 6. 目の前に溢れる様々なデータを分類・解析することができる。				
<b>【授業内容】</b> 1 2025/9/01(月)4 時限 漢方の臨床推論と最新知見 2 2025/9/05(金)3 時限 アントレプレナーシップと国際的研究 3 2025/9/05(金)6 時限 認知症のトピックス 4 2025/9/19(金)3 時限 実習マナー講座(株式会社マイナビ) 5 2025/10/9(木)3 時限 「生活設計とリスク管理」(様々なデータによる将来予測を学ぶ) (生命保険文化センター) 6 2025/10/15(水)3 時限 総合内科学 3(循環器内科・腎臓内科)のトピックス 7 2025/10/15(水)6 時限 個人情報保護法の基本(個人情報保護委員会) 8 2025/10/30(木)3 時限 小児麻酔と神経発達 9 2025/11/05(水)3 時限 血液腫瘍研究(卒後学外研修医へ。更に基礎研究へ) 10 2025/11/17(月)4 時限 Seeing is believing ～機能画像の世界～ 11 2025/11/25(火)3 時限 基礎と臨床からアプローチする糖尿病治療 12 2025/11/28(金)3 時限 医学データの処理と見せ方を説明します。 13 2025/11/28(金)6 時限 医学部労働法講義、医師の働き方改革(予定) (厚生労働省委託「労働法教育に関する普及促進事業」) 14 2025/12/08(月)6 時限 泌尿器科学のトピックス(小村 和正 先生ご予定) 15 2025/12/10(水)3 時限 協働による環境学習出前講座「温暖化」(岡山県環境学習)				
<b>【評価方法】</b> [期末試験]100% [評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験				
<b>【課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて】</b> 科目試験不合格者に補講を実施します。				
<b>【教科書】</b> 特になし				
<b>【参考書】</b> 特になし				
<b>【準備学習(予習・復習等)】</b> <b>【1度の授業に対する自宅学習時間の目安】</b> 予習:1時間 復習:1時間 先生方のご専門の予習を行い、講義後には内容を振り返りながら復習を行ってください。				
<b>【講義についての注意事項】</b>				

専門分野の第一線でご活躍中の先生方をお願いいたしました。本科目はキャリアガイダンスの意味もあります。是非自分の将来へと想いを馳せながら受講してください。  
物事の違いを見分ける識別力を先生方の講義を通して養ってください。

**【科目内で実施予定のアクティブラーニング】**

一部の授業では、講義前に動画視聴などの予習が必須になります。

**【科目内で実施する形成的評価】**

自己振り返りルーブリック間接評価表の作成と提出を予定しています。

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

川崎医科大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科			年
学生番号		性別	生年 月 日	西暦 年			
		男・女		昭和・平成 年 月 日			
現住所	〒 — Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日：1学期：4月2日(水)まで 2学期：8月14日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
06001	生命科学 I	教養	西松 伸一郎 他	2	第 1 学期	1	定員：若干名	曜日・時限は シラバス参照	<input type="checkbox"/>	
06001	データ分析に基づく研究講義	専門	栗林 太 他	1	第 2 学期	3	定員：若干名	曜日・時限は シラバス参照	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (7)川崎医療福祉大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月8日	～	2025年7月28日
	後期	2025年9月26日	～	2026年1月29日
試験期間	前期	2025年7月29日	～	2025年8月12日
	後期	2026年2月3日	～	2026年2月17日
授業時間	1限	8:45	～	10:15
	2限	10:25	～	11:55
	3限	12:45	～	14:15
	4限	14:25	～	15:55
	5限	16:05	～	17:35

### ② アクセス(案内図)



### ③ 担当窓口

事務部 教務課
所在地: 〒701-0193 倉敷市松島 288 番地 本館棟 2 階
電話: 086-464-1021(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・履修申込期限

本学では、以下の期限まで申し込みを受け付けます。  
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

前期:2025年3月17日(月)まで

後期:2025年9月2日(火)まで

##### ・履修手続

所属大学にて履修手続を行った後、初回授業の当日に、名札・学生証等を配付しますので、教務課窓口までお越しください。

##### ・施設利用

- ・本学の在学生と同じ扱いとします。図書館・学食の利用が可能です。
- ・駐車場の利用はできませんが、大学所定の駐輪場の利用は可能です。
- ・図書館の利用方法については下記 HP をご覧ください。

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/library/>

##### ・特記事項

校舎建物内は土足厳禁となっておりますので、受講の際は 1 階防災センターにある来客用下足箱にてスリッパへ履き替えをお願いします。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/s10>

・ 対面授業科目

対面授業			07001	
健康科学論			矢野 博己	
Health Sciences				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
<b>【授業の目的】</b> 基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動・栄養・休養)について理解を深める。生涯にわたって健康づくりを考えられるようになることを目指す。				
<b>【授業内容】</b> 1. 健康づくりの三要素 2. 生活習慣と寿命 3. 健康観と日本文化 4. 誰のための健康か？ 5. 健康づくりのための運動とは？ 6. 健康づくりと食生活観 7. 供給と消費のエネルギーバランス 8. 疲労と疲労感 9. 積極的休養法 10. ストレス解消としての休養(リフレッシュメント、リラックス) 11. 生体防御(防衛体力)と健康 12. ヘルスプロモーションとは？ 13. 科学技術と健康 14. Aさんの健康づくりプロジェクト(基礎編) 15. Aさんの健康づくりプロジェクト(応用編)				
<b>【テキスト】</b> 上田伸男・矢野博己編『健康づくりの新・運動生理学』(アイ・ケイコーポレーション)(2021)				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 50%(健康づくりプログラムを具体的に作成できているかを評価する。) [受講態度・その他] 50%(授業中の質問に対する、積極的な反応を評価する。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。 [備考] 受講態度とレポートで評価する。受講態度で 50 点、レポートをその内容によって 50 点満点で評価する。レポート課題についてはあらかじめ授業の中で説明する。				

対面授業				07002	
自閉症の理解と支援			小田桐 早苗 他		
Understanding and Supporting Autism					
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名	
<p><b>【授業の目的】</b>  授業では、自閉症の理解について、自閉症の人たちがどのような体験をしているか、自閉症の視点に立って学ぶことができることを目指します。そのために、通常の講義に加えて、自らが自閉症支援のために実施される内容を経験することによって、より深く自閉症支援について学ぶ機会も用意しました。こうした体験を通して、自閉症の人たちがどのようなところでつまづきやすいのか、そのための具体的な支援としてはどのようなものを準備すればいいのか、イメージできるようになることを目指します。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自閉症をめぐる Q&amp;A</li> <li>2. 自閉症の特性と学習スタイル</li> <li>3. 自閉症の学習スタイルに基づく支援①—スケジュールとワークシステム</li> <li>4. 自閉症の学習スタイルに基づく支援②—マテリアルストラクチャーと物理的整理統合</li> <li>5. 自閉症の人たちの世界を学ぶ</li> <li>6. 自閉症を知ろう—AQ テスト</li> <li>7. 高機能自閉症の人たちの世界</li> <li>8. 適切な目標を立てて行動するには—T-STEP プログラム</li> <li>9. 適切なソーシャルスキルと感情調整の仕方を学ぼう</li> <li>10. 幼児期の支援—療育とは何か</li> <li>11. 学齢期の支援—仲間を見つける</li> <li>12. 就労支援を考える</li> <li>13. 成人期の支援—充実した人生にするためには</li> <li>14. 家族を支援する—専門家との協働者としての家族</li> <li>15. ライフステージに応じた自閉症支援</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  授業ごとに配布資料を作成します。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [定期試験] 60%(マークシートによる試験を実施する)  [受講態度・その他] 40%(毎回の出席カードおよび感想が 20%、そして振り返りシート等を用いた自らの学びについてのリアクションペーパーが 20%)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p>					

対面授業			07003	
生命科学			山内 泰子 他	
Life Science				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
【授業の目的】 生命科学を通じて、その多様性と独自性を学ぶ。				
【授業内容】 1. ガイダンス 2. 多様性を考える 3. がんは遺伝病か 4. 遺伝子を考えようー生命の設計図である DNA 5. 生命科学とはー自己複製・DNA 6. 細胞を考える 7. ミトコンドリア 8. 染色体異常 9. 多様性のメカニズムー遺伝情報から考える 10. 遺伝子を検査するー医療への応用 11. 遺伝性疾患ー遺伝するのは病気ではない 12. 遺伝カウンセリング 13. ヒトゲノムプロジェクト 14. オーダーメイド医療 15. 生命科学と医療福祉				
【テキスト】 武村政春 奥田宏志 小野裕剛 高野雅子『これだけはおさえたい 生命科学 身近な話題から学ぶ』(実教出版)(2010) 必要に応じて資料を配布する。				
【参考図書】 中村 桂子, 松原 謙一(監訳)『Essential 細胞生物学 原書第 5 版』(南江堂)(2021) シルビア・S. メイダー, Sylvia S. Mader(原著), 坂井 建雄(翻訳), 岡田 隆夫(翻訳)『ヒューマンバイオロジーー人体と生命』(医学書院)(2005)				
【成績評価の方法】 [定期試験] 60%(授業全般の理解を記述式の試験によって評価) [受講態度・その他] 40%(課題の課題提出による出席状況の把握。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。				



対面授業				07004	
健康と音楽			原山 秋 他		
Health and Music					
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名	
<b>【授業の目的】</b> 医療福祉領域での音楽活動について、既成の枠に捕らわれず柔軟な発想力で音楽・音をとらえることと、音楽・音の持つ効果を体験を通して実感することを目指す。					
<b>【授業内容】</b> 1. オリエンテーション、これまでの音楽療法 2. こころの病と音楽活動 3. 高齢者と音楽活動 4. 健康と音楽の関係をめぐって－「ミュージッキング」から考える－ 5. 音楽で育つ－障がい児と音楽あそび－ 6. あなたにもできる！ 音楽活動のらくらく評価 7. 日本の歌から考える 音楽の力・音楽の使い方 8. 音楽活動で必要なちょっとした(でも重要な)音楽技術 9. 生きるよろこび－緩和ケアと音楽活動－ 10. ガムランに見る集団と音楽 11. 障害と音楽活動 12. ミュージシャンの音楽問題 13. 失語症・失音楽症と音楽活動 14. 障害者への音楽活動－音楽を通じての社会参加－ 15. これからの音楽活動					
<b>【テキスト】</b> 田中 順子, 岸本 寿男, 若尾 裕他『臨床が変わる！ イラストでわかる 目からウロコの音楽活動』(三輪書店)(2014)					
<b>【参考図書】</b> なし					
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 100%(毎回のレポート(リアクションペーパーと授業理解度アンケート)の提出をもって出席と見なす。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。 [備考] 指定時間よりレポート提出が遅れた場合は、原則として欠席と見なす。レポートの内容が著しく劣る場合は減点する。出席点で総合評価する。					

対面授業			07005	
ヒューマンセクシャリティー論			谷野 宏美 他	
Human Sexuality				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
<p><b>【授業の目的】</b>  性と生殖について医学的/科学的観点から捉えるとともに、「性」を通して見える世界に多方面からアプローチし、実社会の動向を踏まえてジェンダー、セクシュアリティに関わる課題の解決方法について考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシュアル・ライツ</li> <li>2. 文化・社会とジェンダー・セクシュアリティ</li> <li>3. 女性の身体・性</li> <li>4. 男性の身体・性</li> <li>5. 妊娠・出産・育児</li> <li>6. 性感染症の現状と予防対策</li> <li>7. 日本における性教育の現状と課題</li> <li>8. 性の多様性と性別違和、その対応と現状</li> <li>9. 性的虐待、性暴力、性犯罪の現状と対応</li> <li>10. 生命倫理について考える</li> <li>11. 不妊と生殖補助医療</li> <li>12. 増え続ける HIV 感染症を考える</li> <li>13. 更年期・老年期に起こりやすい健康問題—排尿機能障害(尿失禁)と骨盤底—</li> <li>14. 月経と関連する疾患について</li> <li>15. ワーク・ライフバランス、まとめ</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [レポート] 60%(レポートの内容)  [プレゼンテーション] 10%(質疑応答、態度など)  [受講態度・その他] 30%(リアクション・ペーパーの記述内容)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

川崎医療福祉大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 ————— Tel ( ) —						

\* 履修受付締切日：前期：3月17日(月)まで 後期：9月2日(火)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
07001	健康科学論	教養	矢野 博己	2	春学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07002	自閉症の理解と支援	教養	小田桐 早苗 他	2	春学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07003	生命科学	教養	山内 泰子 他	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07004	健康と音楽	教養	原山 秋 他	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	
07005	ヒューマンセクシャリティー論	教養	谷野 宏美 他	2	秋学期	1~4	定員 15名	水 12:45~14:15	<input type="checkbox"/>	

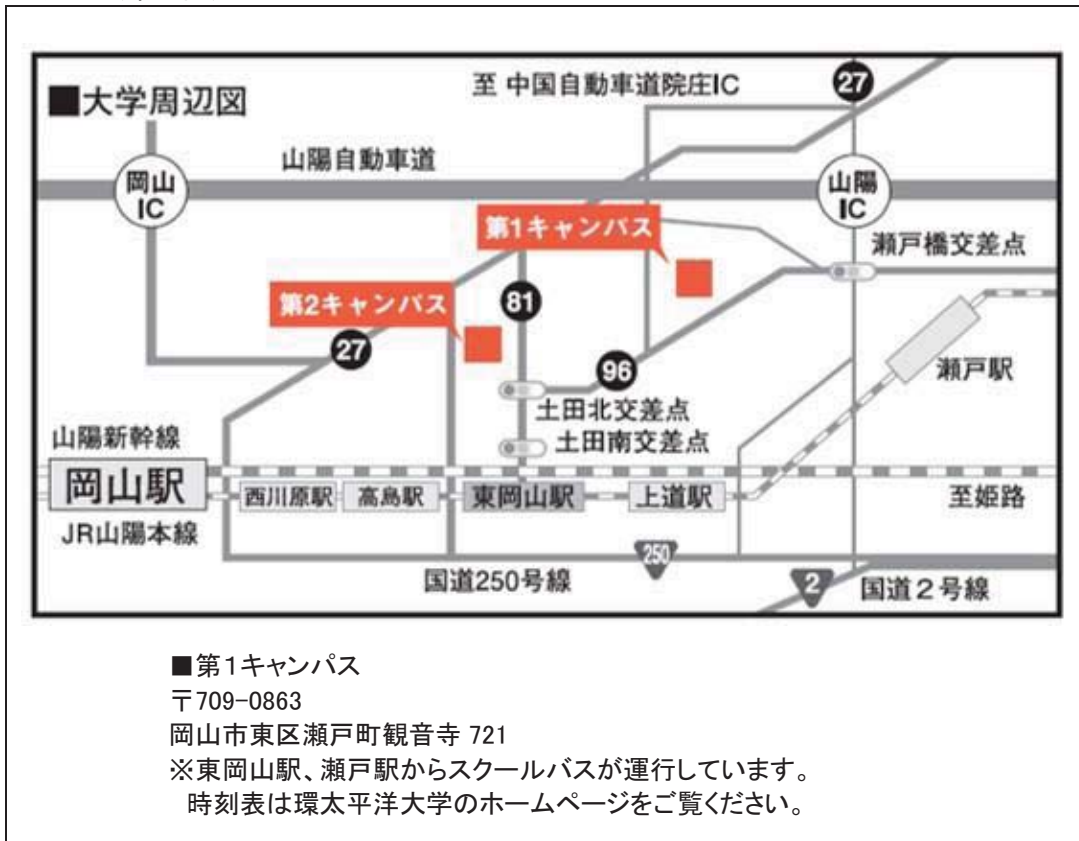
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用 (単位互換履修科目履修願貼付)	計
	1 枚	1 枚	2 枚

## (8)環太平洋大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月7日	～	2025年7月23日
	後期	2025年9月24日	～	2026年1月26日
試験期間	前期	2025年7月28日	～	2025年8月1日
	後期	2026年1月27日	～	2026年1月30日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:35	～	18:05

### ② アクセス(案内図)



### ③ 担当窓口

教務課
所在地: 岡山市東区瀬戸町観音寺 721 ディスカバリー1階
電話: 086-201-3151

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・履修申込期限

<p>本学では、以下のとおり受け付けます。</p> <p>後期:9月16日(火)まで</p>
--

・ 履修手続

履修を許可された学生は、受入大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。

・ 施設利用

1. 環太平洋大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下を配付します。
  - ①学生証(単位互換履修生) (学生支援センター)
3. 図書館・学食等の利用が可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://ipu-japan.ac.jp/syllabus/consortium>

対面授業				08001
スポーツ栄養学			保科 圭汰	
Sports Nutrition				
履修年次:2~4年	2単位	後期	1コマ	定員:若干名
<b>【授業の目的】</b> <p>競技者にとって良好なコンディションを維持し、競技力を向上させるためには栄養、運動ならびに休養のバランスが保たれていなければならない。このうち栄養はトレーニングの効果や競技成績に影響を及ぼす大変重要なものである。からだ作り・コンディション維持にかかわる栄養補給方法を科学的根拠に基づいた理論から学ぶことを目的とする。</p> <p>本講義では、からだ作り・コンディション維持に関連する栄養補給のために必要な栄養素の種類、量、摂取タイミングを知る。また、競技特性や期分け、環境、ライフステージに合わせた適切な食事摂取を理解し実践できることを目標とする。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
1	スポーツ栄養学の概念	スポーツ栄養学の概念、栄養学の基礎		
2	食事摂取の基本	競技者における食事の基本形		
3	トレーニングとエネルギー消費量	身体活動や競技特性の違いによるエネルギー消費量		
4	スポーツ競技者の身体組成と貯蔵エネルギー	身体組成の測定方法、競技別の身体特性		
5	エネルギー補給	体内におけるエネルギー代謝過程		
6	糖質摂取	グリコーゲンの貯蔵および回復のための糖質摂取		
7	たんぱく質摂取	からだ作りのためのたんぱく質摂取および増量		
8	減量・増量と食事	体重管理の考え方、女性アスリートの三主徴		
9	カルシウム摂取	骨づくりのためのカルシウム摂取		
10	鉄摂取	貧血予防と食事管理		
11	ビタミン摂取	コンディション維持のためのビタミン摂取		
12	水分補給	熱中症予防と運動時に必要な水分補給		
13	期分けによる栄養補給方法①(準備期)	外食、生活環境と食事、体重管理と食事		
14	期分けによる栄養補給方法②(試合期)	体調への配慮、補食の摂取		
15	サプリメント	正しいサプリメントの使用法およびドーピング		
<b>【テキスト】</b> なし				
<b>【参考図書】</b>				
著者:清野隼(2018)	書名:パフォーマンスを高めるためのアスリートの栄養学	出版社:ナツメ社		
著者:鈴木志保子(2018)	書名:理論と実践 スポーツ栄養学	出版社:日本文芸社		
著者:高田和子(2020)	書名:エッセンシャル スポーツ栄養学	出版社:杏林舎		
<b>【講義会場等】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 受講態度・学習意欲・課題 30%、定期試験 70%				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

環太平洋大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真  
貼付／要  
(身分証明書用)

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月 日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年 月 日
現住所	〒 -  Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：【先着順】後期：9月16日(火)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
----	------	----	------	----	-----	------	----	-------	------	----

対面授業科目

08001	スポーツ栄養学	専門	保科 圭汰	2	後期	2~4	定員：若干名	月 10:45~12:15		
-------	---------	----	-------	---	----	-----	--------	---------------	--	--

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (9) 吉備国際大学


### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	春学期	2025年4月7日	～	2025年7月25日
	秋学期	2025年10月2日	～	2026年1月30日
試験期間	春学期	2025年7月28日	～	2025年8月9日
	秋学期	2026年2月2日	～	2026年2月14日
授業時間	1限	9:30	～	11:00
	2限	11:10	～	12:40
	3限	13:30	～	15:00
	4限	15:10	～	16:40
	5限	16:50	～	18:20

### ② アクセス(案内図)

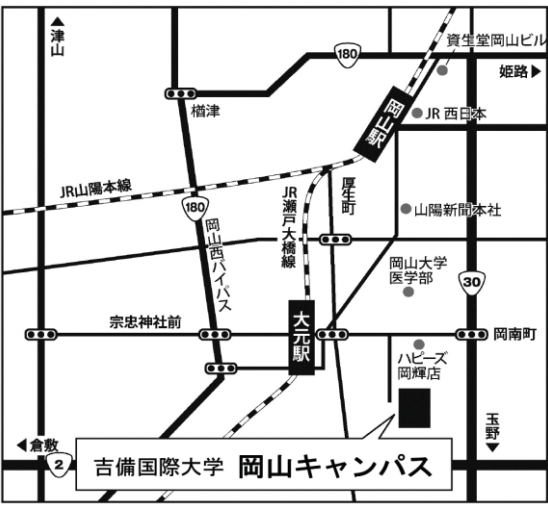
【公共交通機関】

吉備国際大学 高梁キャンパス  
JR 伯備線 備中高梁駅 下車  
徒歩 20分 バス 6分



通称・ループ橋。この展望台から眺める夜景は最高です。

吉備国際大学 岡山キャンパス  
JR 瀬戸大橋線 大元駅 下車  
徒歩 15分





③ 担当窓口

スチューデントサポートセンター 教務部 教務課	
所在地:	岡山県高梁市伊賀町8 3号館1階
電話:	0866-22-7779

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。  
所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

初回授業で来学の際には、印刷物等の配付、講義室の場所等の説明を行いますので、時間の余裕を持って教務課(3号館)窓口まで来てください。

・ 施設利用

図書館を利用される場合は、受講生所属大学の学生証を本学図書館のカウンターに提示し、登録手続きを行ってください。登録後から利用することができます。

・対面授業科目

対面授業				09001
授業科目名：社会学			担当教員氏名：赤坂 真人	
Sociology				
履修年次：1～4	2単位	春学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせる。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学とは何か</li> <li>2. 他の社会科学との違い・人間科学との違い</li> <li>3. 社会学は何の役に立つのか</li> <li>4. 世界の人口動向</li> <li>5. 日本の人口問題：少子高齢化</li> <li>6. 現代家族の諸問題</li> <li>7. 現代家族の諸問題</li> <li>8. 現代家族の諸問題</li> <li>9. 教育が個人と社会に果たす役割</li> <li>10. 教育の諸問題：いじめ・校内暴力・不登校・ひきこもり</li> <li>11. 教育の諸問題：教育の多忙化ともえつき</li> <li>12. 産業と労働：伝統的な分類と産業形態</li> <li>13. 知識・情報産業社会からIT社会へ</li> <li>14. AIの進化と産業・労働の変容</li> <li>15. 日本経済の長期的衰退と将来設計</li> <li>16. 定期試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          『基礎社会学』赤坂真人 ふくろう出版(西日本事業出版)          ISBN:978-4861864278</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業中の小テスト(40%)・定期試験(60%)によって評価する。小テストは採点し、コメントをつけて返却するので必ず復習すること。</p>				

対面授業				09002
授業科目名：生涯スポーツ論			担当教員氏名：羽野 真哉	
CAREER SPORTS TRAINING 1				
履修年次: 1~4	2単位	秋学期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 学生が年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、グループワークやディスカッションすることによって自らの言葉で伝えられるようになる。				
<b>【授業内容】</b> 1. オリエンテーション 2. 生涯スポーツ 3. 発育・発達 4. 発育・発達とスポーツ 5. 健康寿命・フレイル 6. 健康とは 7. 休養とは 8. 睡眠とは 9. 体力とは 10. 体内時計 11. ストレスとスポーツ 12. 健康と飲酒 13. トレーニングとは 14. 教育とスポーツ 15. 競技スポーツと生涯スポーツ 16. 試験				
<b>【テキスト】</b> 生涯スポーツの理論と実際 日下裕弘(著)、加納弘二(著) 大修館書店  ISBN 978-4469266986				
<b>【参考図書】</b> 生涯スポーツ実践論 野川春夫(著)、川西 正志(著) 市村出版 ISBN978-4902109290				
<b>【成績評価の方法】</b> 定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を 50%とし、レポートの記述内容 30%、授業での積極的発言など授業態度を 20%とする。				

対面授業			09003	
授業科目名：健康支援と社会保障制度			担当教員氏名：本郷 貴士	
Theory of Administration for Health and Social Welfare				
履修年次：2	1単位	春学期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 看護職として、知っておかなければならない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し、行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する。				
<b>【授業内容】</b> 1. ガイダンス、保健師・助産師・看護師法 2. 保健師・助産師・看護師法 3. 社会保障制度：趣旨・概要 4. 社会保障制度：公衆衛生 5. 社会保障制度：社会保険制度①医療保険 6. 社会保障制度：社会保険制度②医療保険 7. 社会保障制度：社会保険制度③国民医療費 8. 社会保障制度：医療制度（医療提供体制） 9. 社会保障制度：介護保険制度① 10. 社会保障制度：介護保険制度② 11. 社会保障制度：社会保険制度④年金保険 公的扶助（生活保護制度） 12. 社会保障制度：社会保険制度⑤雇用・労災保険 13. 社会保障制度：社会福祉制度 14. アクティブラーニング 15. 講義の全内容の振り返り 16. 筆記試験				
<b>【テキスト】</b> 健康支援と社会保障制度 3 社会保障・社会福祉 福田 素生、稲沢 公一、他（医学書院） 公衆衛生が見える 医療情報科学研究所（メディックメディア）				
<b>【参考図書】</b> 国民衛生の動向 厚生統計協会 国民福祉と介護の動向 厚生統計協会				
<b>【成績評価の方法】</b> 最終試験 60%、課題 20%、小テスト 20%で評価を行う。				

対面授業			09004	
授業科目名：リハビリテーション概論			担当教員氏名：河村 顕治	
Introduction to Rehabilitation				
履修年次:1~4	1単位	春学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成12年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。障害者スポーツの意義についても講義を行う。  リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーションとは</li> <li>2. 障害のとらえかた</li> <li>3. リハビリテーション医学の歴史</li> <li>4. リハビリテーション医学の実際</li> <li>5. 機能障害の評価(ROM)</li> <li>6. 機能障害の評価(MMT)</li> <li>7. 活動の評価(ADL)</li> <li>8. QOLの評価</li> <li>9. 理学療法</li> <li>10. 作業療法</li> <li>11. 言語聴覚療法</li> <li>12. 補装具、自助具</li> <li>13. 社会保障体制</li> <li>14. 公的介護保険制度と地域リハ</li> <li>15. スポーツとリハビリテーション</li> <li>16. 単位認定試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  リハビリテーション医学 第1版 羊土社 安保雅博／監, 渡邊 修, 松田雅弘／編  ISBN: 978-4-7581-0231-5</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。なお、評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。</p>				

対面授業				09005
授業科目名：作業療法概論			担当教員氏名：京極 真 他	
Introduction to Occupational Therapy				
履修年次：1～4	1単位	春学期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。 具体的には、作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。				
<b>【授業内容】</b> 1. オリエンテーション、作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 地域社会と作業療法 7. 作業療法の歴史 8. 作業療法の実践理論 1 9. 作業療法の実践理論 2 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 生活行為向上マネジメント 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 文化の理解と作業療法 15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ 16. 定期試験				
<b>【テキスト】</b> 作業療法学概論 第4班(標準作業療法学専門分野) 矢谷令子・能登真一編, 医学書院, ISBN:978-4260047852				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業への参加度(50%), 単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価				

対面授業				09006
授業科目名: 神経・生理心理学Ⅱ			担当教員氏名: 橋本 翠	
Neuro-and Physiological Psychology Ⅱ				
履修年次: 3~4	2 単位	秋学期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 神経系の働きや生理的反応の測定・記録法を学ぶとともに、さまざまな認知活動とそれに伴う生理反応との関連性についての理解を深める。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. OR/生理心理学のあゆみ</li> <li>2. 脳と神経-1-中枢神経</li> <li>3. 脳と神経-2-末梢神経</li> <li>4. 脳電位の測定-1-原理-</li> <li>5. 認知活動と脳波-1-脳波の測定-</li> <li>6. 認知活動と脳波-2-分析-</li> <li>7. 認知活動と脳波-3-脳波のスペクトル分析-</li> <li>8. 認知活動と事象関連脳電位-1-脳内情報処理過程の解析-</li> <li>9. 認知活動と事象関連脳電位-2-脳内情報処理過程の応用</li> <li>10. 確認テスト</li> <li>11. 確認テストのフィードバック</li> <li>12. 脳波測定実習 1(グループ A)</li> <li>13. 脳波測定実習 1(グループ B)</li> <li>14. 脳波測定実習 1(グループ C)</li> <li>15. 脳波測定実習 1(グループ D)</li> <li>16. 定期試験</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> 配布資料				
<b>【参考図書】</b> 生理心理学と精神生理学 第Ⅰ巻 基礎				
<b>【成績評価の方法】</b> 学習態度(減点法)、理解度確認テスト(20%)、実験(ディスカッション含む:20%)、実験レポート・定期試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。				

対面授業				09007
授業科目名：美術史 A			担当教員氏名：前嶋 英輝	
Art History A				
履修年次：2～4	2 単位	春学期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>日本や世界の伝統文化を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことであり、日本美術と、中国、韓国や西洋の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。またアニメーションと美術史の関係について考察する。</p> <p>美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えを発表できるようになることを到達目標とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アニメーションと北斎漫画</li> <li>2. 縄文・弥生・古墳時代の美術</li> <li>3. 日本とシルクロードの美術</li> <li>4. 飛鳥時代と渡来美術</li> <li>5. 白鵬・天平時代と仏教美術</li> <li>6. 平安～鎌倉時代の美術</li> <li>7. 室町～安土桃山時代の美術</li> <li>8. 江戸時代の文化と美術</li> <li>9. 浮世絵と黄金比・遠近法</li> <li>10. 明治の美術</li> <li>11. 美術史研究の方法</li> <li>12. 美術史研究の実践</li> <li>13. 美術史研究の発表と意見交換</li> <li>14. 近代日本美術とアニメーション</li> <li>15. 現代美術とアニメーション</li> <li>16. 課題提出</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>必要に応じプリントを配付する</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>概説日本美術史 町田甲一 吉川弘文館 ISBN:978-4642072229</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る課題提出(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。</p>				



対面授業			09008	
授業科目名: ディスカッション英語			担当教員氏名: ジョン・フォーセット	
Discussion English				
履修年次: 2~4	2単位	秋学期	1コマ	
【授業の目的】 社会問題等の物事について意見交換と説明ができる英語表現力を身につける。				
【授業内容】 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コース紹介など</li> <li>2. ウィンストン・チャーチル</li> <li>3. ミハエル・ゴルバチョフ</li> <li>4. ロバート・キャパ</li> <li>5. アンネ・フランク</li> <li>6. ジークムント・フロイト</li> <li>7. アルベルト・アインシュタイン</li> <li>8. フランツ・カフカ</li> <li>9. パブロ・ピカソ</li> <li>10. ココ・シャネル</li> <li>11. ジョン・レノン</li> <li>12. チャールズ・チャプリン</li> <li>13. J・K・ローリング</li> <li>14. オードリー・ヘップバーン</li> <li>15. プレゼン「私のアイコン」</li> <li>16. 定期試験</li> </ol>				
【テキスト】 European Icons Eric Gerwehr / Yugo Tada 山口書店 (ISBN978-4-8411-1464-5 C7082)				
【参考図書】 授業中に適宜資料を配付する。				
【成績評価の方法】 定期試験の成績(40%)、予習・レポート・プレゼン・授業姿勢(60%)				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

吉備国際大学学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年			
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 ー Tel ( ) ー						

\* 履修受付締切日：前期：4月4日(金)まで 後期：9月25日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
09001	社会学	教養	赤坂 真人	2	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40		
09002	生涯スポーツ論	教養	羽野 真哉	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00		
09003	健康支援と社会保障制度	専門	本郷 貴士	2	春学期	2~4	高梁キャンパス開講	火 9:30~11:00		
09004	リハビリテーション概論	専門	河村 顕治	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	水 15:10~16:40		
09005	作業療法概論	専門	京極 真他	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40		
09006	神経・生理心理学Ⅱ	専門	橋本 翠	2	秋学期	3~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40		
09007	美術史 A	専門	前嶋 英輝	2	春学期	2~4	高梁キャンパス開講	金 11:10~12:40		
09008	ディスカッション英語	専門	ジョン・フォーセット	2	秋学期	2~4	岡山キャンパス開講	水 16:50~18:20		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (10) 倉敷芸術科学大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月10日	～	2025年8月6日
	後期	2025年9月25日	～	2026年2月4日
授業時間	1限	09:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:55	～	16:25
	5限	16:40	～	18:10

### ② アクセス(案内図)

#### 倉敷芸術科学大学へ

##### 【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約12分です。

##### 【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約12分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<https://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

学務部教務課	
所在地:	本館(3号)2階
電話:	086-440-1117

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込を以下の期限まで受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
前期:3月28日(金)まで 後期:9月12日(金)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課(3号館2階)へ来てください。

集中講義を受講される場合は、9月25日~26日・9月29日~10月3日の間で教務課(3号館2階)へ来てください。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/>

・対面授業科目

対面授業(教養科目)			10001
倉敷地域フィールドワーク			橋元 純也
Fieldwork of Kurashiki Community			
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  倉敷市内(倉敷地域・水島地域・児島地域・玉島地域、および真備地区・船穂地区・庄地区・茶屋地区)を対象とする〈地域フィールドワーク〉実践や〈まちづくり提言〉作成を通じて、地域社会の自立した構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍・貢献するために必要となる実践的な意識・知識・能力を育成することを目的とする。  第1～3回で、本科目のキャリア教育科目としての位置づけや、倉敷のまちづくりについて確認したうえで、地域フィールドワークの方法をまなび、その計画を作成する。第4～6回で、みずからの計画に沿って、倉敷市内の地域・施設・行事などを対象として地域フィールドワークを実践する。第7～9回で、実践した地域フィールドワークの成果について、報告・共有をおこなう。第10～12回で、必要に応じて地域フィールドワーク実践・データ収集・文献研究を追加し、まちづくり提言を作成する。第13～15回で、作成したまちづくり提言の発表・共有をおこなったうえで、最終提出への準備をおこなう。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1.倉敷のまちづくりを理解したうえで〈地域フィールドワーク〉を主体的に計画できる。  2.計画に沿った〈地域フィールドワーク〉を積極的に実践できる。  3.実践した〈地域フィールドワーク〉の成果をふまえ、独自の〈まちづくり提言〉を作成できる。  4.明快なプレゼンテーション資料を作成して効果的に発表するとともに、他者の発表を適切に評価できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  〈地域フィールドワーク〉〈まちづくり提言〉について、計画・内容・発表資料の見直しを随時おこない、必要に応じて担当教員に相談し指導を受けること。</p> <p><b>【注意事項】</b>  10/4土・12/6土・1/24土にすべて参加し、その間におこなうフィールドワークについて説明をうけることが、単位修得の前提となるので、下記日程をよく確認したうえで履修登録すること。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  01.【10/4土3限目】科目概要ガイダンス / フィールドワークの説明  02.【10/4土4限目】〈地域フィールドワーク〉計画 下書き作成・相談  03.【10/4土5限目】〈地域フィールドワーク〉計画 再検討・修正・提出  04. 〈地域フィールドワーク〉の実践  05. データ収集・文献研究の実践  06. 〈地域フィールドワーク〉報告のプレゼン資料作成  07.【12/6土3限目】〈地域フィールドワーク〉報告・前半  08.【12/6土4限目】〈地域フィールドワーク〉報告・後半  09.【12/6土5限目】〈まちづくり提言〉作成相談と計画提出  10. 〈地域フィールドワーク〉実践  11. データ収集・文献研究の実践  12. 〈まちづくり提言〉のプレゼン資料作成  13.【1/24土3限目】〈まちづくり提言〉発表・前半  14.【1/24土4限目】〈まちづくり提言〉発表・後半  15.【1/24土5限目】〈まちづくり提言〉最終提出にむけて相談</p>			
<p><b>【テキスト】</b> 指定教科書なし。毎回、資料を配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b> なし。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  取りくみと提出物の状況・内容を以下のように評価し、総合計60点以上を合格とする。  〈地域フィールドワーク〉計画の状況・内容(20%):到達目標1を評価  〈地域フィールドワーク〉報告の状況・内容(40%):到達目標2・4を評価  〈まちづくり提言〉の状況・内容(40%):到達目標3・4を評価</p>			

対面授業(芸術学部)				10002
メディア・アート論				大森 隆
Media Art				
履修年次1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  新しいメディア環境に対応した芸術表現として様々なメディア・アート作品を紹介し、テクノロジーとアートの関係を理解し、メディア・アートの本質を考察する。  メディア・アートとは、工学などの先端技術を取り入れたアートで、近年はコンピュータをはじめとするデジタルメディアの発展に伴い、インタラクティブアートが注目されている。</p> <p><b>【アクティブラーニング】</b>  各分野のメディア・アートについて調べ、プレゼンテーションによる発表を行う。</p> <p><b>【フィードバック】</b>  課題に対する講評等のフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 多様なメディア・アートを理解し説明できる。  2 テクノロジーとアートの関係を理解し説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>学習時間の目安： 合計 60 時間  ・各分野のメディア・アートについて調べ理解を深める。  ・授業内で発表を行うために調査と準備を行う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディア・アートとは？</li> <li>2. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2022 年度)</li> <li>3. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2021 年度)</li> <li>4. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2020 年度)</li> <li>5. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 昨年)</li> <li>6. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 2-4 年前)</li> <li>7. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 5-7 年前)</li> <li>8. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 8-10 年前)</li> <li>9. メディア・アート分野紹介(インタフェース・デバイス アート)</li> <li>10. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 最新)</li> <li>11. 受講者 発表(1)</li> <li>12. 受講者 発表(2)</li> <li>13. 受講者 発表(3)</li> <li>14. 受講者 発表(4)</li> <li>15. 受講者 発表(5)</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む態度・姿勢(40%)、発表内容(60%)に基づいて総合的に評価する。  到達目標1は授業に取り組む態度・姿勢から、到達目標2は発表内容により評価する。  総合計 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(芸術学部)				10003
絵画基礎 I (A)				原田 よもぎ
Basic Painting I				
履修年次1~4	2単位	前期	2コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          絵画の基礎となるデッサンやスケッチを行う。          実際に絵画を描くための道具や素材に触れ、自然観察やデッサンやスケッチをすることの意味を体験、理解する。          デッサンやスケッチを行うことで絵画や造形を見る能力を高め今後の創造活動へのセンスを磨き、さまざまな分野への足がかりとすることを目標とする。  <b>【アクティブラーニング】</b>グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーションを取り入れている。  <b>【フィードバック】</b>演習課題の講評や省察などのフィードバックを含めた指導を行う。  <b>【到達目標】</b>          1.画材の成り立ちや性質を説明でき、その使用方法を関係づけることができる。(知識)          2.形、素材の違いを類別し、それらの基本的な表現ができる。(技術力)          3.質感表現、空間表現、構図など画面全体を意識した表現ができる。(表現力)  <b>【授業外学習】</b>          ・授業外学習のための課題を出し、その課題について授業内で講評する。          ・学習時間の目安:合計 60 時間  <b>【注意事項】</b>          ・描画材料で汚れる場合があるため、作業にふさわしい服装、準備を行うこと。          ・鉛筆、練り消し、消しゴム、スケッチブック、色鉛筆、水彩絵の具は各自準備すること。</p>				
<b>【授業内容】</b>				
第1回 オリエンテーション、デッサンをする意味について講義、ディスカッション、道具の使用方法(準備物:鉛筆[2H.H.HB.2B.4B 各1本]、カッターナイフ、デッサン用練りゴム、F6スケッチブック、クロッキーブックこれを基本セットとし以降毎回持参) 第2回 デッサン1:紙コップ 第3回 デッサン2: ガラスビン 第4回 デッサン3: 金属 第5回 デッサン4: 植物 第6回 デッサン5: 剥製/果物 第7回 スケッチ1:葉を描く 第8回 スケッチ2:植物を描く 第9回 スケッチ3:風景(1点透視図法) 第10回 スケッチ4:風景(2点透視図法) 第11回 スケッチ5:風景 第12回 スケッチ6:風景 第13回 スケッチ7:風景 第14回 プレゼンテーション・講評会・作品展示 第15回 人体クロッキー				
<b>【テキスト】</b>				
使用しない。				
<b>【参考図書】</b>				
授業の中で適宜紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b>				
以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 ・提出作品 70%(到達目標2・3を評価) ・授業内でのプレゼンテーション、質疑応答 30%の割合で評価。(到達目標1を評価) この授業では課題の提出が必須条件です。提出していない場合は評価の対象となりません。				

対面授業(生命科学部)			10004	
水族飼育技術論			山野 ひとみ	
Breeding Technology of Aquatic Animals				
履修年次2~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  水族の飼育は、生物の収集から輸送、収容、維持・管理までの一連の過程から成り、その過程で発生する社会的、生物学的および技術的な問題を解決することで成立する。授業では、水族飼育の基本的な流れを解説するとともに、飼育の過程で発生する様々な問題を取りあげ、その解決方法を紹介する。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 水族飼育の基礎から専門知識を身につけることができる。  2 各分類群の特徴を踏まえ、飼育過程における問題点およびその解決法を理解し説明できるようになる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計 60 時間  予習:LMS に提示する資料を読む(各回 2 時間)。  復習:課題レポートを毎回出題するため、授業内容を整理しておく(各回 2 時間)。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水族を飼育するために</li> <li>2. 水族の収集と輸送</li> <li>3. 飼育設備</li> <li>4. 飼育水の浄化</li> <li>5. 水族の飼育環境と病気</li> <li>6. 水族の病気</li> <li>7. 水族の餌料と栄養</li> <li>8. 魚類の餌料と栄養</li> <li>9. 無脊椎動物の餌料</li> <li>10. 水族の繁殖</li> <li>11. 水族の保存</li> <li>12. 水族の保護</li> <li>13. 水産養殖</li> <li>14. 水産育種</li> <li>15. 試験</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  教科書を使用しない。適宜資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  渡邊武編「改訂 魚類の栄養と餌料」(恒星社厚生閣)、日本ビタミン学会編「ビタミンの辞典」(朝倉書店) 日本動物園水族館協会編「新・飼育ハンドブック」1~4巻、間野伸宏・鈴木伸洋 共編著「水族育成学入門」(成山堂)、児玉 洋監修「魚病学」(緑書房)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。  レポート 40%:到達目標 1 を評価  試験 60%:到達目標 1、2 を評価</p>				



対面授業(生命科学部)			10005	
生活習慣病予防			椎葉 大輔 他	
Prevention of Lifestyle-related Diseases				
履修年次2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  運動不足、栄養過剰、不規則な生活、ストレス増大などにより生活習慣病のリスクが増している。また、近年では生活習慣に起因する代謝異常が児童期から見られることから、生活習慣病予防に関する知見は幼児や児童を対象とする者にとっても重要な知識である。本授業では、生活習慣病の原因・治療法および運動処方や栄養摂取について学び、健康科学分野における専門的知識・技能を身につけ、適切な運動処方や食生活指導を実施できる人材の育成を目標としている。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 各疾患の基本メカニズムについて理解し説明できる。  2 各疾患を予防する上で生活習慣病として共通する部分と疾病別に分けて考えるべき部分を、運動と食事の知識に基づき系統立てて理解し説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計60時間  授業の理解度についてLMSで理解度確認チェック(小テスト)を行うので、授業で学んだ内容について復習すること(各4時間)。また予習については、各回講義終了時に指示する。</p> <p><b>【連絡事項】</b>15回目に期末試験を実施する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 メタボリックシンドロームについて(大川・椎葉)  第2回 肥満症(1)(椎葉・大川)  第3回 肥満症(2)(矢田貝・大川)  第4回 脂質異常症(高尿酸血症)(1)(椎葉・大川)  第5回 脂質異常症(高尿酸血症)(2)(矢田貝・大川)  第6回 糖尿病(1)(椎葉・大川)  第7回 糖尿病(2)(矢田貝・大川)  第8回 高血圧症(1)(椎葉・大川)  第9回 高血圧症(2)(矢田貝・大川)  第10回 虚血性心疾患とリハビリテーション(椎葉・大川)  第11回 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、運動誘発性喘息)(矢田貝・大川)  第12回 ロコモティブシンドローム(椎葉・大川)  第13回 がん(悪性新生物)(矢田貝・大川)  第14回 運動器退行性疾患(椎葉・大川)  第15回 軽度認知障害、認知症(大川)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない(スライドおよび配布資料をもとに授業を行う)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ6 健康づくりのための運動の科学」・鶴木 秀夫 編集・化学同人・ISBN:978-4759817102</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む姿勢 10%(到達目標1、2)、小テスト 20%(到達目標1、2)、期末試験 70%(到達目標1、2)で評価する。総合点60点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10006	
動物行動学			唐川 千秋	
Animal behavior and psychology				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると考えるのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にはなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。  (2)動物の学習原理を理解する。  (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p><b>【授業外学習】</b></p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。  復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。  各章末の問題を解く。  指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは  予習:P.3-8  復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応  予習:P.8-14  復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動  予習:P.17-26  復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動、母性行動  予習:P.29-39  復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動  予習:P.40-45  復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動  予習:P.46-54  復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ  予習:P.57-70  復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達  予習:P.73-78  復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達  予習:P.79-82  復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p><b>【課題1】</b>2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p>				

第 10 回 動物の学習原理(1)条件づけ

予習:P83-87

復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。

第 11 回 動物の学習原理(2)学習理論の展開

予習:P.88-93

復習:条件づけ理論の展開について理解する。

【課題 2】10-11 回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。

第 12 回 問題行動(1)問題行動と行動診療

予習:P.101-108

復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。

第 13 回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.109-130

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

第 14 回 問題行動(3)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.131-154

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

【課題 3】12-14 回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。

第 15 回 問題行動の予防

予習:P.154-176

復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。

【テキスト】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

ISBN:978-4-86671-160-7

【参考図書】

日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社 ISBN: 9784774172583

藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2

高木佐保 2021 知りたい! ネコごころ 岩波書店 ISBN:978-4-00-029692-2

【成績評価の方法】

小テスト 3 回、40 点(1 回目は到達目標 1、2 回目は到達目標 2、3 回目は到達目標 3 に対応する)、定期試験 60 点(到達目標 1・2・3)の重みで評価する。総合計 60 点以上を合格とする。期末試験を受験していない場合は評価対象としない。

対面授業(生命科学部)				10007
医学概論				渡部 俊幸 他
The introduction to medical science				
履修年次1～4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          医学・医療・臨床検査・臨床検査技師の入門科目として、歴史から最新情報を講義する。本講義で医学の大切さ、医療の仕組み、臨床検査の重要性、臨床検査技師の業務内容の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1.医療における臨床検査技師の役割、業務内容、職場を説明できる。          2.人体の構造および癌について説明できる。          3.DNA、RNA、遺伝子について説明できる。          4.免疫および感染症について説明できる。          5.血球・免疫・凝固について説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>          学習時間の目安:復習を中心に合計 60 時間程度          ・講義内容は最新情報や時事問題についても取り上げるため、講義内容をよく聞き、復習を心掛ける。          ・講義内容の関連事項について自ら調べて、知識や理解を広げておく。          ・医療に関する新聞記事、ニュースに関心をもち、現代の医療状況、方向性、問題点を知る。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1. 人体臓器の位置と大きさについて(野島)          2. 人体臓器の働きと機能について(野島)          3. 癌とは(野島)          4. DNAとは、RNAとは(高木)          5. 人類の進化と遺伝子(高木)          6. ゲノム編集と治療(高木)          7. 臨床検査技師とは(三宅)          8. 医学検査・臨床検査のあゆみ(三宅)          9. 病院と病気(三宅)          10. 免疫学概論(山崎)          11. 感染症学総論①(山崎)          12. 感染症学総論②(山崎)          13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部)          14. 血栓止血の不思議について(渡部)          15. 期末試験、授業総括(渡部)          16. 予備日(藤本)</p>				
<b>【テキスト】</b> 配布プリント				
<p><b>【参考図書】</b>          特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          到達目標 1～5 に関して、期末試験(100%)で評価する。総合点 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10008	
基礎生理検査学			泉 礼司	
Basic Physiological Examination				
履修年次1～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 臨床生理学を学ぶために、人体の構造と機能の基本的知識を系統的に身につけ、生理学的検査の基礎を習得することを目的とする。ヒトの身体の臓器・器官・細胞が互いに関連しあって成り立っていることを理解し、人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を習得する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 1. 人体からの生体機能情報を収集するための生理学的検査の役割と測定意義・安全対策・感染対策基礎を理解し、説明することができる。</p> <p><b>【授業外学習】</b> 学習時間の目安: 合計60時間 教科書と配布資料にて復習を行う。</p> <p><b>【注意事項】</b> ・医療現場における生理検査の習得に繋がる基礎内容知識となる。 ・講義中の録音、録画、撮影は、他の受講者の妨げにならない場合を許可するが、他者への再配布(ネット上へのアップロードを含む)は禁止する。 ・授業での資料配布や質問等、LMSを活用する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生理学的検査の目的</li> <li>2. 生理学的検査における臨床検査技師の役割</li> <li>3. 生理学的検査を行う上での注意事項</li> <li>4. 生理学的検査を行う上での患者の心理と対応</li> <li>5. 生理学的検査の医療現場(外来・病棟・手術室など)における多様なニーズ</li> <li>6. 医用機器の構造と取り扱い</li> <li>7. 生理学的検査における安全対策</li> <li>8. 生理学的検査における感染対策</li> <li>9. 患者急変時の対応(負荷試験時など)</li> <li>10. 患者急変時の対応(心肺蘇生法など)</li> <li>11. 手術室などでの生体情報モニタリングについて</li> <li>12. 循環呼吸生理学検査の基礎</li> <li>13. 神経生理学検査の基礎</li> <li>14. 超音波検査の基礎</li> <li>15. 期末試験、まとめ</li> <li>16. 試験解説</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 生理学(コメディカル専門基礎科目シリーズ)理工出版 ボロン プールペーパー 生理学 西村書店 標準生理学 医学書院 生理機能検査学第2版・東條尚子他(医歯薬出版)ISBN 978-4-263-22385-7</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 到達目標1について期末試験で評価する。総合60点以上を合格とする。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

倉敷芸術科学大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 ー  Tel ( ) ー				

\* 履修受付締切日：前期：3月28日(金)まで 後期：9月12日(金)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
10001	倉敷地域フィールドワーク	教養	橋元 純也	2	後期	1~4	定員 10名	集中土 13:10~18:10		
10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	前期	1~4	定員 10名	木 13:10~14:40		
10003	絵画基礎 I	専門	原田よもぎ	2	前期	1~4	定員 10名	火 13:10~14:40		
10004	水族飼育技術論	専門	山野 ひとみ	2	後期	2~4	定員 10名	火 10:50~12:20		
10005	生活習慣病予防	専門	椎葉 大輔 他	2	前期	3~4	定員 5名	水 10:50~12:20		
10006	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10名	木 09:10~10:40		
10007	医学概論	専門	渡部 俊幸 他	2	前期	1~4	定員 10名	火 10:50~12:20		
10008	基礎生理検査学	専門	泉 礼司	2	後期	1~4	定員 10名	木 09:10~10:40		

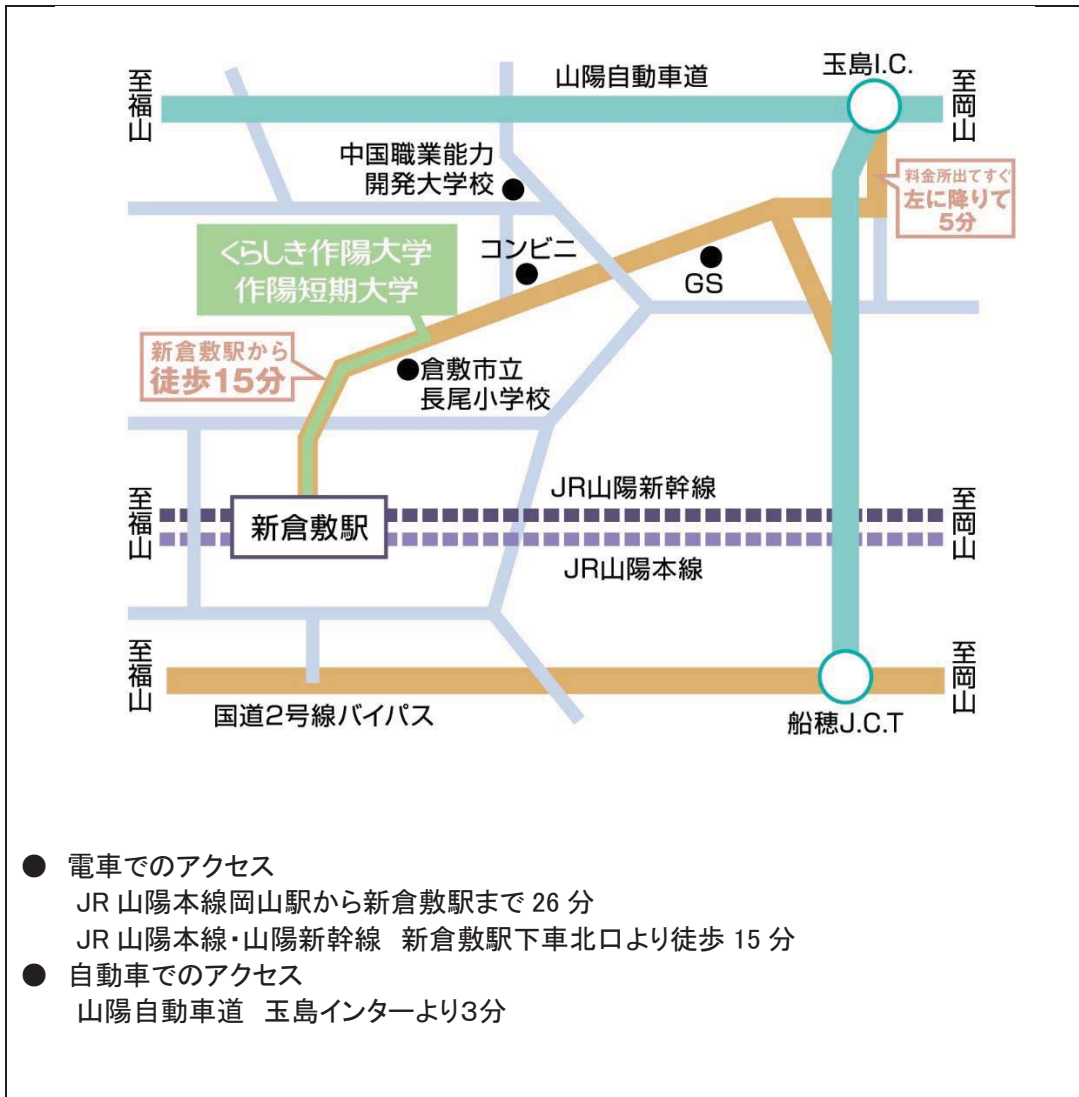
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚

## (11)くらしき作陽大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月8日	～	2025年7月29日
	後期	2025年9月19日	～	2026年1月19日
試験期間	前期	2025年7月30日	～	2025年8月2日
	後期	2026年1月20日	～	2026年1月23日
授業時間	1限	9:30	～	11:00
	2限	11:10	～	12:40
	3限	13:25	～	14:55
	4限	15:05	～	16:35
	5限	16:45	～	18:15

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教育企画部教育支援室	
所在地:	倉敷市玉島長尾 3515
電話:	086-523-0827

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:3月27日(木)まで、後期:9月11日(木)までとします。

・ 履修手続

所属大学の窓口に所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。  
対面授業履修者は初回授業受講時に、1号館1階事務局教育支援室窓口を訪ねてください。

・ 施設利用

本学学生と同様に図書館・食堂等の施設が利用できます。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://www.ksu.ac.jp/>  
<http://unipaweb.ksu.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>



・対面授業科目

対面授業			11001	
ロシア語 I		A. オランスカヤ		
Russian Language I				
履修年次1～4	1単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          語彙、長文、翻訳、新しい単語についての勉強をします。各授業のテーマは、年度が上がるごとに文章構成の難易度を上げていくことになります。キリル文字の書き方(ブロック体、筆記体)から簡易な作文までを課します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1 挨拶、自己紹介の仕方          2 あなたは誰？これは何？返答の仕方          3 公式な場での挨拶          4 職業、専門、名刺交換          5 物語作文          6 構文:持っている(テーマ:私のもの)          7 アドレス交換の仕方          8 動詞:する、見る、読む、聞く          9 テーマ:趣味          10 テーマ:家、部屋、家具          11 テーマ:私の楽器          12 テーマ:民族料理、飲み物          13 テーマ:スタイル、流行、ドレスコード          14 テーマ:交通、動詞:定動詞／不定動詞          15 テーマ:祝日</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          適宜紹介する</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          授業時に指示</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          期末試験 70%中間レポート 20%授業への取り組み 10%</p>				

対面授業				11002
食統計学			松本 隆行	
Statistics for Food Science				
履修年次2~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  社会現象や自然現象を数学的にどのように表現されるのか、そこから真の姿や隠れた要因をどのように探るのか、統計処理の基本を講義する。  数学的根拠を示しながら、適宜課題に取り組み、また、パソコンを利用するなどして、より深く理解できるように進める。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 全体の授業計画および受講の心構えと授業の進め方などを説明する。</li> <li>2. 統計学の目的 具体的事例を通して、統計学の目的、重要性、汎用性について学ぶ。</li> <li>3. データの取り扱い データの種類とその特徴、取り扱いの違いについて理解する。</li> <li>4. データを記述する(1): データの特性量 データの特性を知る上で重要となる数値、基本統計量について理解する。</li> <li>5. データを記述する(2): データの視覚表現 データは、その特徴により、どのような種類に分類されるのかを理解し、適切なグラフ表現、あるいは、グラフの読み取りについて学ぶ。</li> <li>6. 分布の読み取りと比較 データの特性を知る上で重要となる分布の図式表現とその読み取りについて学ぶ。</li> <li>7. 頻度と確率 統計の基礎となる、確率について理解し、様々な確率分布を学ぶ。</li> <li>8. 母集団と標本 統計学の基礎となる母集団と標本の関係、および、標本抽出における注意について学ぶ。</li> <li>9. 標本から全体像を推測する(1) 標本から母数を推定するための基本的考え方について学ぶ。</li> <li>10. 標本から全体像を推測する(2) 確率分布を通して、事象の起こりやすさと、真偽の判定に関わる統計的仮設検定の基本的な考えか方を理解する。</li> <li>11. 統計学的仮設検定(1) 標本から平均を検討する方法(t検定)について学ぶ。</li> <li>12. 統計学的仮設検定(2) 分散分析(一元配置)について学ぶ。</li> <li>13. 統計学的仮設検定(3) <math>\chi</math> (カイ)二乗検定等について学ぶ。</li> <li>14. 関係性の分析(1) 複数のデータ間の関係を調べる方法(相関分析)について学ぶ。</li> <li>15. 関係性の分析(2) データ間に潜む関係について探る方法(回帰分析)について学ぶ。</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 武藤志真子 編著『管理栄養士・栄養士のための統計処理入門』建帛社.</p>				
<p><b>【参考図書】</b>特に必要なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題・レポート(60%)小テスト(30%)授業の取り組み 姿勢(10%)</p>				
<p><b>【備考】</b>パソコン(Microsoft Excel 2010 以上インストール済み)を使用しますので持参して下さい。</p>				

対面授業				11003
発達障害児教育総論			中根 征也、他	
Introduction of Education for Children with Developmental Disabilities				
履修年次 1～4	2 単位	後期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、発達障害の病理・生理や教育課程、教育の具体的な内容・方法について、体験や映像等を取り入れ具体的なイメージを持って理解できるようにする。また、自ら指導計画を作成し、実際に支援・指導を行うことで、自立に向けた指導のポイントをつかむとともに、授業改善の視点を身に着ける。特別支援学校だけでなく特別支援学級、通常学級に在籍している児童生徒を支援することも想定した内容も取り扱う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 発達障害をとりまく状況の変化、センター的機能を含む特別支援教育の動向</li> <li>2 自閉スペクトラム症の心理・生理・病理的理解と行動特性</li> <li>3 自閉スペクトラム症に対する個別に行う指導、支援</li> <li>4 自閉スペクトラム症に対する集団の中で行う指導、支援</li> <li>5 家庭・医療、福祉及び関係機関との連携と二次障害</li> <li>6 ADHD の心理・生理・病理的理解と行動特性</li> <li>7 ADHD に対する個別に行う指導、支援</li> <li>8 ADHD に対する集団の中で行う指導、支援</li> <li>9 LD の心理・生理・病理的理解と行動特性</li> <li>10 LD に対する指導、支援の実際</li> <li>11 言語障害・情緒障害の概要</li> <li>12 通級による指導や特別支援学級における教育課程の編成</li> <li>13 自立活動における指導の実際</li> <li>14 通常の学級における合理的配慮と指導の実際 (ICT の活用含む)</li> <li>15 各教科等の学習指導案の個に応じた指導上の配慮事項</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  授業ごとに資料を配布</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領&lt;平成 29 年 4 月告示&gt;』海文堂出版  文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)&lt;平成 30 年 3 月&gt;』開隆堂出版  文部科学省『小学校学習指導要領&lt;平成 29 年 3 月告示&gt;』東洋館出版社  その他授業内で適宜指示</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内小テストを 3 回実施する (60%)</li> <li>2) 課題レポートを提出する (40%)</li> </ol>				

対面授業				11004
吹奏楽の歴史と魅力			長瀬 敏和、菅付 章宏	
The history and charm of brass bands				
履修年次 2～4	2 単位	前期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  吹奏楽活動の実際を、視聴覚機器等を通して紹介し、芸術的価値及び教育的価値を学ぶ。また、吹奏楽の編成楽器を個別に聴いたり演奏したりするなど体験的に学ぶ。さらに、吹奏楽の歴史にも触れ、吹奏楽の基礎を多角的に学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 私と吹奏楽(または音楽)個人の吹奏楽(音楽)との出会いを発表  2 吹奏楽の歴史と現在  3 マーチの魅力  4 吹奏楽の魅力  5 楽器の知識(木管)  6 楽器の知識(金管)  7 楽器の知識(打楽器)  8 移調楽器の取り扱い—基礎  9 移調楽器の取り扱い—応用  10 吹奏楽、アンサンブル編曲法—基礎編  11 吹奏楽、アンサンブル編曲法—応用編  12 演奏会企画の立て方、選曲について  13 合奏教本の選び方と使用方法  14 指揮法の基礎  15 総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  プリント(授業で提供する)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  (1)レポート(30%)(2)小テスト(30%)(3)授業への参加度・発言の積極性(40%)</p>				

対面授業				11005	
吹奏楽I			長瀬 敏和、他		
Brass bands I					
履修年次 1~4	2 単位	前期	2 コマ		
<p><b>【授業の目的】</b>  吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業実施のための環境整備</li> <li>2 世界のマーチ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>3 世界のマーチ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>4 世界のマーチ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>5 世界のマーチ(まとめ)、研究発表会の企画・立案</li> <li>6 マスターピース～ヨーロッパ楽曲の全体像を把握</li> <li>7 マスターピース～ヨーロッパ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>8 マスターピース～ヨーロッパ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>9 マスターピース～ヨーロッパ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>10 マスターピース～ヨーロッパ(まとめ)2. 研究発表会の演奏曲決定</li> <li>11 マスターピース～アメリカ楽曲の全体像を把握</li> <li>12 マスターピース～アメリカ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解</li> <li>13 マスターピース～アメリカ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究</li> <li>14 マスターピース～アメリカ(発展)表現の可能性を探求</li> <li>15 マスターピース～アメリカ(まとめ)2. 研究発表会へ向けてのスケジュール決定</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  必要な時に担当者より指示、配布する。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p>					

対面授業				11006
吹奏楽Ⅱ			長瀬 敏和、他	
Brass bands Ⅱ				
履修年次 1～4	2 単位	後期	2 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 ガイダンス、研究発表会マネジメントの確認、研究発表会プログラムの練習楽曲の全体像を把握  2 研究発表会プログラムの練習(基礎)楽曲分析、演奏スタイルの理解  3 研究発表会プログラムの練習(基礎)木管、金管打楽器、分奏  4 研究発表会プログラムの練習(応用)楽曲分析に基づく表現の研究  5 研究発表会プログラムの練習(応用)木管、金管打楽器、分奏  6 研究発表会プログラムの練習(発展)表現の可能性を探求  7 研究発表会プログラムの練習(発展)木管、金管打楽器、分奏  8 研究発表会プログラムの強化練習(定着)前半プログラム、合奏  9 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏  10 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏  11 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、分奏  12 研究発表会プログラムの強化練習(定着)全体プログラム、合奏および分奏  13 研究発表会プログラムの強化練習(定着)ランスルー、確認・修正  14 研究発表会(実践)  15 1年間の振り返り(まとめ)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  必要な時に担当者より指示、配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p>				

対面授業				11007
和声学I			米倉 由起	
Harmony I				
履修年次 1~4	1 単位	前期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  「和声」は西洋音楽を理解する上で欠くことができない基礎知識です。演奏する上でも、作品を分析する上でも、曲を書く上でも、まずはじめに学習する領域とっていいでしょう。「和声学 I」では基本となる主和音、下屬和音、屬和音、II の和音、VI の和音の配置や連結に際しての様々な約束事を四声体の実習を通じて学習します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容のガイダンスと和声学の予備知識の解説</li> <li>2 密集配分</li> <li>3 開離配分</li> <li>4 基本形連結</li> <li>5 共通音のない場合の連結</li> <li>6 II~V</li> <li>7 V~VI</li> <li>8 禁則①</li> <li>9 禁則②</li> <li>10 Cdur 以外の課題</li> <li>11 Cdur 以外の課題</li> <li>12 第1転回形</li> <li>13 第1転回形</li> <li>14 既習範囲のまとめ</li> <li>15 既習範囲のまとめ</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  和声 理論と実習 I 音楽の友社</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特になし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  提出課題(20%)試験(80%)</p>				

\* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

くらしき作陽大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別	生年 月 日	西暦 年		
			昭和・平成		年 月 日
現住所	〒		—		—
	Tel ( )		—		

\* 履修受付締切日：前期は3月27日(木)まで 後期は9月11日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
11001	ロシア語 I	教養	A.オランスカヤ	1	前期	1~4	曜日・時間については変更する場合がありますので、必ず事前に開講大学までお問い合わせください。	水 11:10~12:40		
11002	食統計学	専門	松本 隆行	2	前期	2~4		金 16:45~18:15		
11003	発達障害児教育総論	専門	中根 征也 他	2	後期	1~4		木 15:05~16:35		
11004	吹奏楽の歴史と魅力	専門	長瀬 敏和、 菅付 章宏	2	前期	2~4		月 9:30~11:00		
11005	吹奏楽I	専門	長瀬 敏和 他	2	前期	1~4		木 15:05~18:15		
11006	吹奏楽 II	専門	長瀬 敏和 他	2	後期	1~4		木 15:05~18:15		
11007	和声学I	専門	米倉 由起	1	前期	1~4		水 9:30~11:00		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚



## (12) 山陽学園大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年 4月 8日	～	2025年 7月 28日
	後期	2025年 9月 22日	～	2026年 1月 26日
試験期間	前期	2025年 7月 29日	～	2025年 8月 4日
	後期	2026年 1月 27日	～	2026年 2月 2日
授業時間	1限	9:00	～	10:30
	2限	10:45	～	12:15
	3限	13:05	～	14:35
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1



**直行バス**

- JR岡山駅前 ①番のりば → 約20分 → 大学構内

始業時と終業時に直行バスを運行しています

**路線バス**

- JR岡山駅前 ①番のりば → 約10分 → 天満屋バスステーション ①番のりば → 約15分 → 山陽学園大学 短大前下車

日中は10分おきに運行。岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車。  
 ■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き  
 ※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

**直行バス**

- JR岡山駅前 ①番のりば → 約20分 → 大学構内

始業時と終業時に直行バスを運行しています

**路線バス**

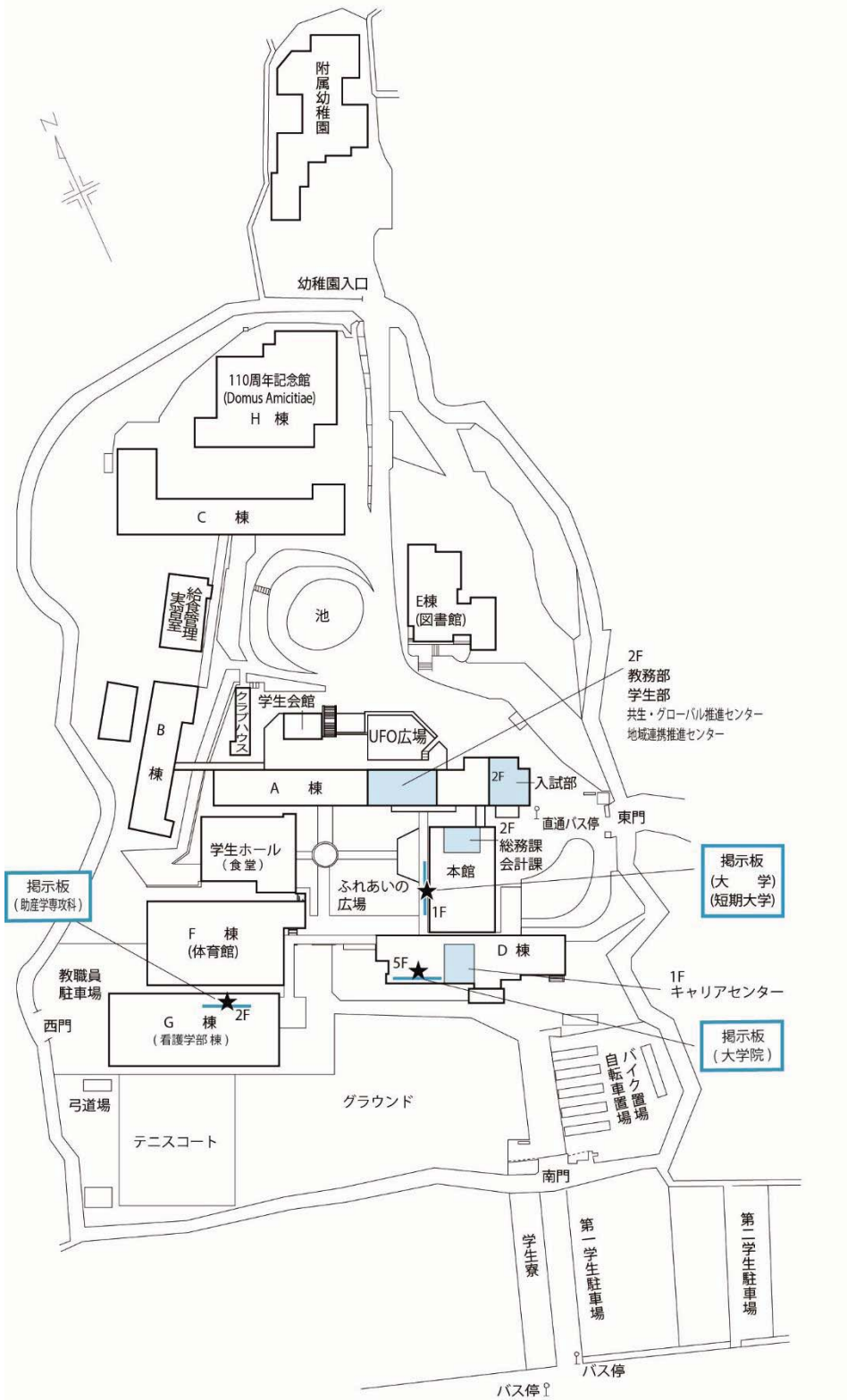
- JR岡山駅前 ①番のりば → 約10分 → 天満屋バスステーション ①番のりば → 約15分 → 山陽学園大学 短大前下車

路線バスは、日中15～20分おきに運行しています。  
 岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車ください。  
 ■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き  
 ※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

③ 担当窓口

教務部教務課

所在地: A棟2階事務室



電話:

086-272-6254(代表), 086-901-0503(教務部直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

「出願方法について」の申込受付期間に記載のとおり

・履修手続

【対面授業科目を履修する方】

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。教務部窓口まで受け取りに来てください。書類の受け渡し、講義室の場所等の説明を行うため、初回は時間に余裕を持ってきてください。

- ①履修ガイド(抜粋)
- ②授業時間割表
- ③単位互換履修生証
- ④図書館利用案内
- ⑤駐車許可証(必要な方のみ)
- ⑥学年暦

・施設利用

【対面授業科目を履修する方】

山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。利用方法については窓口・受付等でお尋ねください。

・特記事項

9月集中講義の「12003 日本作家作品研究」は、履修者数により7月中旬に追加募集とすることがあります。

追加募集の有無は、各大学の担当窓口を通して本学までお問い合わせください。  
(履修追加の可否については、各大学の指示に従ってください)

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.sguc.ac.jp/student/syllabus/>

・対面授業科

対面授業			12001	
授業科目名:日中関係史			担当教員氏名:班 偉	
History of Japan—China Relations				
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>日中関係は近年、尖閣諸島領有権などの問題を巡って悪化と好転を繰り返してきた。この講義では、様々な日中外交問題を取り上げて解説し、それぞれの背景・経緯・双方の言い分・交渉の過程などを解説しながら、日本国家の対中戦略並びに安全保障政策などについて分析する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回:日中外交の現状と問題点          第2回:国交正常化への道程          第3回:平和友好条約の締結          第4回:冷戦終結と両国関係の悪化          第5回:歴史認識を巡る三つ巴の闘い          第6回:靖国神社参拝を巡る対立          第7回:歴史教科書検定の問題          第8回:尖閣諸島の領有権を巡る衝突          第9回:東シナ海ガス田開発の問題          第10回:「有終の美」を飾る円借款          第11回:国連安保理常任理事国入りの問題          第12回:日米中の新三国志          第13回:ロシアとの三角関係          第14回:朝鮮半島を巡る駆け引き          第15回:アジア外交で綱引き</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>高原明生 等編『日中関係史 1972－2012 政治』東京大学出版会 2012 年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>期末試験60%、授業参加40%。</p>				

対面授業				12002
授業科目名:日本文学特講			担当教員氏名:佐藤 雅代	
Special Topics in Japanese Literature				
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 『源氏物語』の中から様々な情景を選び出し、絵画化した「源氏絵」は、物語の成立からほとんど時を経ずして生み出された。中でも、平安時代後期に成立したと推定される国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』の絵画化例として現存最古のものである。「源氏絵」によって、『源氏物語』の作品世界がどのように創造され、享受されたのか考察する。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:授業のガイダンス 第2回:源氏物語と絵画 第3回:桐壺巻における絵画化の場面を読み解く 第4回:夕顔巻における絵画化の場面を読み解く 第5回:若紫巻における絵画化の場面を読み解く 第6回:末摘花巻における絵画化の場面を読み解く 第7回:葵巻における絵画化の場面を読み解く 第8回:花散里巻における絵画化の場面を読み解く 第9回:須磨巻における絵画化の場面を読み解く 第10回:明石巻における絵画化の場面を読み解く 第11回:蓬生巻における絵画化の場面を読み解く 第12回:柏木巻における絵画化の場面を読み解く 第13回:鈴虫巻における絵画化の場面を読み解く 第14回:夕霧巻における絵画化の場面を読み解く 第15回:御法巻における絵画化の場面を読み解く				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用せず、印刷教材を使用する。				
<b>【参考図書】</b> 『すぐわかる源氏物語の絵画』東京美術(田口榮一監修) ISBN 978-480870827 推薦図書『世界一わかりすぎる源氏物語』角川ソフィア文庫 ISBN 978-4044064181				
<b>【成績評価の方法】</b> 欠席6回で提出資格を失う。原則として、以下の基準で評価する。授業に取り組む姿勢30%、提出された課題70%				

対面授業			12003	
授業科目名: 日本作家作品研究			担当教員氏名: 高嶋 哲夫	
Study of Japanese Literary Writer and Work				
履修年次 2~4	2単位	9月集中	—	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>◎現代における表現方法は様々です。小説、エッセイ、映像、SNS、マンガなど。また、音楽、映像、スポーツなども自己表現と考えることができます。まずは、自己紹介文。自分をアピールしてください。最高のアピールを考えましょう。</p> <p>◎作家さんは各自、自分流の書き方を持っていると思います。僕の小説の書き方、テーマ、技法などについて話します。</p> <p>◎小説が映像、マンガなどに变身していく過程と問題などについて。どこがどう変わるか。それはなぜか。実際に小説を読んだり、映画、ドラマを見て考えましょう。</p> <p>◎「吉備路文学館」を見学します。岡山にゆかりのある作家さんたちを知っていますか。学芸員の仕事などについて話してくれます。これは勉強になりますよ。</p> <p>◎一冊の本ができるまでの過程について話します。本は作家だけでなく、編集者を含めて多くの人たちの手を経て、読者に届きます。それを知ると、本をおろそかには扱えません。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回: 自己紹介・小説家の仕事について</p> <p>第2回: 小説家の仕事</p> <p>第3回: 映画と小説 ~その関係性とできあがるまで~</p> <p>第4回: 映画と小説 ~実際に映画化された小説~</p> <p>第5回: マンガと小説の関係</p> <p>第6回: 小説の書き方</p> <p>第7回: 「三部作」ができるまで</p> <p>第8回: 吉備路文学館について ~岡山の作家たち~</p> <p>第9回: 吉備路文学館について ~岡山の文学について~</p> <p>第10回: 15枚の小説</p> <p>第11回: テレビドラマと小説 ~映画との違い~</p> <p>第12回: テレビドラマと小説 ~小説との関係性~</p> <p>第13回: 好きな小説</p> <p>第14回: 何か書いてみよう</p> <p>第15回: まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>なし。</p> <p>でも、僕の本を読んでください。どの本にも、テーマがあります。頑張って見つけてください。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>僕の書いた本、すべてです。50冊以上あります。ネットで調べてください。どれでも、一冊くらいは読んできてくれると、嬉しいです。講義終了の四日後には、もっと読んでみたいと思ってください。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>4日間、15回の集中授業です。毎回、短いレポートを書いてもらいます。</p> <p>講義最終日に、数冊の小説をテーマとしてあげますので、それについてのレポートを書いて、提出日までに提出してもらいます。それを採点します。難しいモノじゃないですよ。</p>				

対面授業			12004	
授業科目名:感情・人格心理学			担当教員氏名:松浦 美晴	
Psychology of Emotion and Personality				
履修年次 2~4	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれ、機能を果たしている。また、人格は、私たち一人ひとりの認知・感情・行動を特徴づけるものであり、そのとらえ方、考え方には様々なものがある。本講義では、感情・人格の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、解説してゆく。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:感情の基礎 第2回:感情の生物学的基礎 第3回:感情の理論(1)古典的理論 第4回:感情の理論(2)基本的感情説と次元説 第5回:感情と行動 第6回:感情の測定 第7回:援助行動・共感性 第8回:感情の制御 第9回:エンターテインメントと感情 第10回:人格の概念 第11回:知的機能の個人差 第12回:人格の形成と変容 第13回:人格の理論 第14回:性格5因子論 第15回:人格の障害				
<b>【テキスト】</b> プリントを配布する。ほかに必要があれば指示する。				
<b>【参考図書】</b> 濱 治世・鈴木直人・濱 保久 (2001)感情心理学への招待 サイエンス社				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。				

対面授業				12005
授業科目名:経営学概論			担当教員氏名:西川 英臣	
Fundamentals of Management				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          経済は生産と消費から成り立っており、その中心に位置するのが企業です。経済学が経済現象について学ぶのだとすれば、経営学は経済のメインプレイヤーの一人である企業の経済活動(経営)について学びます。          たとえば、トヨタ自動車はグループで従業員数約38万人、営業収益約45兆円です(2024年3月期)。トヨタの従業者数は岡山市北区の人口(約29万人:2024年3月末)を上回り、営業収益は一国のGDPに匹敵しており、国別GDPランキングのおよそ30位程度に相当します。また、日常生活を取り巻く製品・サービスのほとんどは企業が生み出したものです。ニュースを見ると、企業やその経営に関わる報道が溢れています。企業は社会全体そして個々人の生活にまで多大な影響を及ぼす存在なのです。          本講義では、企業経営に関する基礎的な知識と現代の企業経営における課題について、幅広く学んでいきます。          授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          第1回:経営と企業          第2回:業界・組織の形態          第3回:株式会社の仕組み          第4回:企業組織の構造          第5回:労働とマネジメント:モチベーション、終身雇用、労働三権、労使関係          第6回:企業の経営戦略          第7回:企業の成長:合併買収(M&amp;A)、経営の多角化          第8回:ものが売れる仕組み          第9回:ものを作る仕組み          第10回:経済社会と企業経営          第11回:グローバル化と企業経営          第12回:企業倫理          第13回:キャリアデザイン          第14回:競争戦略の事例:サザコーヒー          第15回:まとめと現代の企業</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『はじめの一步 経営学』守屋貴司・近藤宏一、ミネルヴァ書房、2012年。          『はじめての経営学』東洋経済新報社、2013年。          『1からの経営学 第3版』加護野忠男・吉村典久、碩学舎、2021年。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          期末試験60%、復習課題40%を基本とします。          詳細については授業時に説明します。</p>				



対面授業				12006
授業科目名: 中小企業論			担当教員氏名: 西川 英臣	
Small and Medium Enterprises				
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          中小企業は、大企業と比較して知名度がないため、一見すると見劣りのする、さして重要な存在ではない様に思われがちです。しかしながら、日本の企業数の99.7%は中小企業であり、日本の従業者数の約7割が中小企業によって雇われています。このことからわかるように、日本経済において中小企業は大きな役割を担っています。          本講義では、中小企業とは何か、どのような特徴を持っているか、日本経済の中でどのような役割を果たして来たのかを学びます。加えて、地域経済や特定の業種における中小企業の現状といったトピックについても具体的な事例を使いながら、解説します。          授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          第1回: 中小企業とは何か？          第2回: 日本の中小企業の歴史          第3回: 中小企業政策①: 政策の実施主体と1990年代以前の政策          第4回: 中小企業政策②: 1990年代以降の政策と小規模企業振興          第5回: 中小企業経営の特徴          第6回: 中小企業の労働          第7回: 中小企業金融          第8回: 下請中小企業          第9回: 中小製造企業          第10回: 中小商業          第11回: 中小企業と地域①: 地域における中小企業、中小企業と産業集積          第12回: 中小企業と地域②: 外来型開発の失敗と地方創生、地場産業と伝統的工芸品          第13回: 中小企業の事例①: 企業城下町と下請企業          第14回: 中小企業の事例②: 脱下請          第15回: まとめと現代の中小企業</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『よくわかる中小企業』関智宏編著、ミネルヴァ書房、2020年          『中小企業白書』中小企業庁編、各年版</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          期末レポート60%、復習課題40%を基本とします。          詳細については授業時に説明します。</p>				

対面授業				12007
授業科目名：地域マネジメント入門			担当教員氏名：中村 聡志	
Introduction to Regional management				
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  これから地域マネジメントを学ぶ学生に対し、地域に関わる基本的な諸概念を改めて検討し直し、地域住民の生活の質の維持・向上を目指して地域の諸側面の活動を活発化させること、すなわち地域活性化とは何か、それを実現するためにどのような地域の経営(マネジメント)が必要か、その全体像を示す。特に、具体的な事例検討を通じた学習(ケーススタディ)に力点を置く。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回：オリエンテーション：この講義が目指すもの、講義の進め方  第2回：地域とは何か：地域の概念  第3回：地域とは何か：地域を構成する主体  第4回：地域がかかえる問題：人口  第5回：地域活性化とは何か：地域活性化の概念  第6回：地域活性化の構造：事事例検討1-1 島根県海士町 作業  第7回：地域活性化の構造：事事例検討1-2 島根県海士町 解説  第8回：地域資源の利活用：地域資源とは何か  第9回：地域資源の利活用：事例検討1-1 岡山県備前市日生 作業  第10回：地域資源の利活用：事例検討1-2 岡山県備前市日生 解説  第11回：地域資源の利活用：事例検討2-1 岡山県真庭市 作業  第12回：地域資源の利活用：事例検討2-2 岡山県真庭市 解説  第13回：ビジネスを通じた地域活性化1：作業  第14回：ビジネスを通じた地域活性化2：解説  第15回：講義全体の振り返り：地域マネジメントとは何か</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  『地域マネジメント草書：岡山の地域づくりに学ぶ』、白井信雄・中村聡志・松尾純廣編著、大学教育出版  『事例に学ぶ地域づくり』、澤俊晴・西村武司編著、大学教育出版  その他コピー等を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  『実践! 地方創生の経営戦略：全国32のケースに学ぶボトムアップ型地域づくり』大西達也、城戸宏史編著、金融財政事情研究会  その他、講義の中で指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  通常課題60%、期末レポート20%、講義に臨む態度20%で評価する。</p>				

対面授業			12008	
授業科目名: 観光学概論			担当教員氏名: 中村 敏	
Introduction to Tourism Studies				
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>観光学の多様な広がりや、体系的に理解するための基礎的な概念について学びます。殊に地域の発展や持続可能性に貢献する産業活性化の領域での活躍を志す学生を想定し、観光マーケティングを中心にしながら観光の代表的な分野の特色について、実例を教材として取り上げつつ、基本的な考え方について整理していきます。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回: オリエンテーション—講義の進め方、観光に関わる用語の解説  第2回: 観光の構成要素—観光資源、観光地、観光市場、そして様々な事業  第3回: 観光に特有な生産物—TSA: Tourism Satellite Accountによる分類  第4回: 観光資源の類型論—世界遺産を中心に  第5回: 観光開発と観光振興—観光資源評価と利害関係者の基礎的な概念  第6回: 観光資源を創り出す—観光開発: リゾート、テーマパーク、イベント・文化  第7回: 日本の観光発展史(概略)  第8回: 旅行業—旅行業の起源と分類、現状の概略  第9回: 宿泊業—旅館やホテルの起源と分類、現状の概略  第10回: 交通業①—陸海空の役割分担: 鉄道・バス輸送、航空輸送、クルーズ  第11回: 交通業②—陸海空の役割分担: 鉄道・バス輸送、航空輸送、クルーズ  第12回: 観光政策と観光行政  第13回: 観光に関連する統計の活用と情報リテラシー  第14回: SDGsと観光の関係—マスツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ  第15回: 講義全体の振り返り</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>特に指定しませんが、講義で配布されたり一緒に作成したりしてゆく資料は、専用のA4用紙バインダーを用意してファイリングし、毎回持参して内容を更新して下さい。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>学生一人一人の理解の進み具合と関心の広がりを見極めながら、随時推薦していく。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業に取り組む姿勢(20%)、毎回の小テスト(30%)、期末試験(50%)により成績評価を行う。小テストの不正行為を発見した場合は、不正行為を行った受講者の該当する回の小テストを0点とする。</p>				

対面授業				12009
授業科目名: 宇宙科学論			担当教員氏名: 米田 瑞生	
Space Science				
履修年次 1~4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 地球を含む宇宙のなりたち・構造の物理学的側面を理解するだけでなく、天文学と岡山の関わり、宇宙と我々の生活の関係、天文現象を観望する手法を学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 天体の種類・距離感  第2回: 宇宙探査の手法  第3回: 太陽, その過去・現在・未来  第4回: 太陽・地球・オーロラ・宇宙天気  第5回: 生活と宇宙(人工衛星)  第6回: 地球・その歴史と構造  第7回: 太陽系の惑星たち1:(水星, 金星, 地球, 火星)  第8回: 太陽系の惑星たち2:(木星, 土星, 天王星, 海王星)  第9回: その他の太陽系の天体  第10回: ハビタブルゾーン: 系外惑星と地球外生命  第11回: 太陽以外の恒星(超新星爆発・ブラックホールなど)  第12回: 大規模宇宙(銀河・ビッグバン)  第13回: 星座・星空の目印・星空の眺め方  第14回: 身近な天文現象とその観望方法  第15回: 岡山と宇宙</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 天文宇宙検定公式テキスト 2級 銀河博士 2023~2024年版 恒星社厚生閣 ISBN:9784769916925</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 成績: 課題(50%)・期末試験(50%)により評価する。課題には、グループワークでの評価も含む。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

山陽学園大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：前期：4月4日(金)まで 後期：9月18日(木)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
12001	日中関係史	専門	班 偉	2	後期	2~4		木 9:00~10:30		
12002	日本文学特講	専門	佐藤 雅代	2	前期	3~4		火 13:05~14:35		
12003	日本作家作品研究	専門	高嶋 哲夫	2	前期	2~4		9月集中 9/8(月)~11(木)		
12004	感情・人格心理学	専門	松浦 美晴	2	後期	2~4		火 13:05~14:35		
12005	経営学概論	専門	西川 英臣	2	前期	1~4		月 9:00~10:30		
12006	中小企業論	専門	西川 英臣	2	後期	1~4		月 9:00~10:30		
12007	地域マネジメント入門	専門	中村 聡志	2	前期	1~4		火 13:05~14:35		
12008	観光学概論	教養	中村 敏	2	前期	1~4		木 16:30~18:00		
12009	宇宙科学論	教養	米田 瑞生	2	後期	1~4		水 9:00~10:30		

写真提出枚数 (カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚

## (13) 就実大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年 4月 8日(火)	～	2025年 7月 29日(火)
	後期	2025年 9月 24日(水)	～	2026年 1月 23日(金)
試験期間	前期	2025年 7月 30日(水)	～	2025年 8月 5日(火)
	後期	2026年 1月 26日(月)	～	2026年 1月 30日(金)
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)



#### JR山陽本線・赤穂線

JR山陽本線・赤穂線「西川原駅」下車徒歩1分  
 「西川原駅」は通称「西川原・就実駅」です。

③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階
電 話	086-271-8120

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（ 申込受付期間が異なりますので留意してください ）

前期受付:2025年3月3日(月)～3月31日(月)

後期受付:2025年7月1日(火)～9月8日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。( 受入大学訪問時 )
  - 学年暦
  - 就実キャンパスガイド
  - 単位互換履修生証 ( 最終講義終了後、教務課へ返却が必要です )
  - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL\\_SyllabusKensaku.aspx](https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx)

対面授業				13001																
古典文学研究 1			瓦井 裕子																	
Study on Classic-literature 1																				
2~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 平安時代の文学作品の絵画化をテーマに、さまざまな絵画資料や文献資料を取り上げ、正確に理解していく。それを通して文学と絵画との関係、文学作品を絵画化することの文化的意義を考える。また、古典文学作品を読む上での知識や技能を身につける。																				
<b>【授業内容】</b> 平安時代の文学作品の絵画資料やそれに関連する文献資料を用いながら、文学作品とその享受について理解を深める。絵画だけではなく、絵画化された文学作品自体に対する読解も適宜行う。																				
<table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンス</td> <td>9. 『源氏物語』とその絵画(2)</td> </tr> <tr> <td>2. 平安時代の文学と絵画</td> <td>10. 『源氏物語』とその絵画(3)</td> </tr> <tr> <td>3. 『伊勢物語』とその絵画(1)</td> <td>11. 『源氏物語』とその絵画(4)</td> </tr> <tr> <td>4. 『伊勢物語』とその絵画(2)</td> <td>12. 『源氏物語』とその絵画(5)</td> </tr> <tr> <td>5. 『伊勢物語』とその絵画(3)</td> <td>13. 歌仙絵(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 『伊勢物語』とその絵画(4)</td> <td>14. 歌仙絵(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 『伊勢物語』とその絵画(5)</td> <td>15. 全体のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 『源氏物語』とその絵画(1)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)	2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)	3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)	4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)	5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)	6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)	7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ	8. 『源氏物語』とその絵画(1)	
1. 授業ガイダンス	9. 『源氏物語』とその絵画(2)																			
2. 平安時代の文学と絵画	10. 『源氏物語』とその絵画(3)																			
3. 『伊勢物語』とその絵画(1)	11. 『源氏物語』とその絵画(4)																			
4. 『伊勢物語』とその絵画(2)	12. 『源氏物語』とその絵画(5)																			
5. 『伊勢物語』とその絵画(3)	13. 歌仙絵(1)																			
6. 『伊勢物語』とその絵画(4)	14. 歌仙絵(2)																			
7. 『伊勢物語』とその絵画(5)	15. 全体のまとめ																			
8. 『源氏物語』とその絵画(1)																				
<b>【テキスト】</b> 適宜、配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 適宜、指示する。																				
<b>【成績評価の方法】</b> レポート 70%／授業態度 30% レポートは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。 授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。																				



対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。																				
<b>【授業内容】</b> 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。																				
<table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲磨</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 喜撰法師	2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平	3. 天智天皇	11. 素性法師	4. 持統天皇	12. 大江千里	5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔	6. 山辺赤人	14. 坂上是則	7. 猿丸大夫	15. まとめ	8. 安倍仲磨	
1. 和歌とは？	9. 喜撰法師																			
2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平																			
3. 天智天皇	11. 素性法師																			
4. 持統天皇	12. 大江千里																			
5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔																			
6. 山辺赤人	14. 坂上是則																			
7. 猿丸大夫	15. まとめ																			
8. 安倍仲磨																				
<b>【テキスト】</b> 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、704 円																				
<b>【参考図書】</b> 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 20%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。																				

対面授業			13003	
古典文学研究 3			竹内 洪介	
Japanese Classical Literature 3				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          蔦屋重三郎は18世紀後半の江戸で活躍した版元(本屋)である。この時代は喜多川歌麿、東洲斎写楽、山東京伝、大田南畝といった花形が登場し、一大旋風を巻き起こした時代であった。これら人気作家たちの作品を巧みに売り出し、江戸文化の最先端を演出・創造したのが、蔦屋重三郎である。蔦屋重三郎が生み出した文学世界はどのようなものであったか。近世の文芸は浮世絵などの「文化」とどのように関係しているのか。書物問屋と地本問屋の違い、出版統制などの法的側面にも注目し、また国学などの学問的世界・幕閣の情勢にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          蔦屋重三郎(1750-1797)の事績に注目し、近世文学史上における、安永年間(1772~1781)から寛政年間(1789~1801)までの文学的展開を辿る。読本・洒落本・草双紙(黄表紙)・浄瑠璃・俳諧など多ジャンルの文芸の特徴を時代的背景、浮世絵などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から把握するとともに、18世紀後半の近世文化がいかなるものであったか、その諸要素はどのように推移し、変容したかという問題を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・「本屋」という職業について</li> <li>2. 近世における出版技術の発展(1)</li> <li>3. 近世における出版技術の発展(2)</li> <li>4. 書物問屋と地本問屋</li> <li>5. 吉原と吉原細見:名寄の時代</li> <li>6. 草双紙の展開と朋誠堂喜三二の登場</li> <li>7. 談義本・洒落本の登場と展開</li> <li>8. 蔦屋重三郎による黄表紙の出版と広告の発想</li> <li>9. 安永・天明という時代:『雨月物語』の登場</li> <li>10. 国学の展開と太田南畝の登場</li> <li>11. 天明狂歌の時代</li> <li>12. 田沼意次の失脚と松平定信の登場</li> <li>13. 山東京伝の洒落本と浮世絵の出版</li> <li>14. 書物問屋蔦屋重三郎と読本との関わり、蔦屋重三郎の死</li> <li>15. まとめとテスト</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          鈴木俊幸『蔦屋重三郎』(平凡社、2024年10月)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          講義中盤に行う小テスト40点/まとめのテスト60点</p> <p>リアクションペーパー(Webclassを用い、その内容は成績評価には影響しない)を毎回義務付ける。リアクションペーパーを提出しなかった場合、第15回に実施するまとめのテストから提出がなかった回数分減点する。(なお、講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること。その場合、減点は行なわない)。</p> <p>講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60点)は、授業内容の理解度を問う(配点40点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点20点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求めるが、本講義の予習・復習には大河ドラマ「べらぼう」の視聴が極めて望ましいことを強調しておきたい。</p>				

対面授業			13004																	
近現代文学講義 3			坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  「敗戦」と「占領」を題材とする短篇小説を読みながら、「戦後」という問題系についての理解を深めていく。この作業を通じ、現代日本を批判的に観察する視座を構築することを目的とする。。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 イントロダクション①(「戦後」という語について)</td> <td>9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの</td> </tr> <tr> <td>2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)</td> <td>10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗</td> </tr> <tr> <td>3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々</td> <td>11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する</td> </tr> <tr> <td>4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち</td> <td>12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」</td> </tr> <tr> <td>5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ</td> <td>13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ</td> </tr> <tr> <td>6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは</td> <td>14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは</td> <td></td> </tr> </table>					1 イントロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの	2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗	3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する	4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」	5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ	6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー	7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ	8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは	
1 イントロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの																			
2 イントロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗																			
3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する																			
4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」																			
5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ																			
6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー																			
7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ																			
8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは																				
<p><b>【テキスト】</b> 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b> 講義中に適宜指示する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 小レポート(25%×3回)、定期的に課す小課題(25%)により総合的に判断する。</p>																				

対面授業				13005
異文化理解と交流 1A			ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures				
3~4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.				
<b>【授業内容】</b> Introduction/American Cultural Issues      Introduction to Latinos and US History African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans Quiz and Review                                        Mexican Americans African Americans                                      Mexican Americans African Americans                                      Quiz and Review Quiz and Review                                        Overall Review/Essay Due				
<b>【テキスト】</b> 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%				

対面授業				13006
異文化理解と交流1B			テレサ ストックウエル	
Understanding Other Cultures				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>Students will have the opportunity to increase their understanding of the United States and to improve their overall understanding of intercultural issues. The focus of this class is Native American history and culture.</p> <p>This class partially fulfills the guidelines established in the Department of Practical English diploma and curriculum policies regarding the development of communication skills, globalization and knowledge of global issues, problem discovery, critical thinking, and the acquisition of knowledge about other cultures.</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Understand key historical events that shaped Native American history.</li> <li>- Identify and analyze contributions of groundbreaking Native Americans.</li> <li>- Compare Native American cultural practices with other cultures.</li> <li>- Examine contemporary challenges and revitalization efforts.</li> <li>- Develop critical thinking and intercultural communication skills.</li> </ul>				
1 Introduction/Understanding Other Cultures		9 Groundbreaking Native Americans Part 2		
2 Early Native American Cultures		10 Land Rights and Environmental Stewardship		
3 Contact with Europeans		11 Native Americans in Media		
4 Forced Displacement and Trail of Tears		12 Language and culture Revitalization		
5 Groundbreaking Native Americans Part 1		13 Groundbreaking native Americans Part 3		
6 Reservation Life and Assimilation Policies		14 Contemporary Issues		
7 Native American Languages and Oral Traditions		15 Reflection and review/ Essay due		
8 Art and Music				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>No required textbook. Readings and materials will be provided.</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>Dunbar-Ortiz, Roxanne. An Indigenous Peoples' History of the United States (2014)  Online resources from Native American organizations and archives</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>Participation and Discussion: 20%  Reflections and Quizzes: 40%  Research Presentation: 20%  Final Essay: 20%</p> <p>Students will write short reflections on the topics covered in the lesson as well as take short quizzes to check their understanding of the main issues.</p> <p>Students will receive written and verbal feedback on assignments and participation.</p>				

対面授業			13007																	
異文化理解と交流1C			和栗 了																	
Understanding Other Cultures -1C																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  『聖書』とキリスト教についての基礎的知識を修得し、『聖書』がどのように読まれる可能性があるのかを考えることを目的とします。文学者の立場から『聖書』を論じます。  テーマは、『聖書と文学』です。  毎回取り扱うテーマと作品は変更の可能性があります。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』</td> <td>9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』</td> </tr> <tr> <td>2 原罪説と「人間とは何か？」</td> <td>10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ</td> </tr> <tr> <td>3 「出エジプト記」と『神曲』</td> <td>11 『無関心な人々』と中間者</td> </tr> <tr> <td>4 「列王記」のダヴィデと『非文字』</td> <td>12 『変身』という現代社会——中間者の地獄</td> </tr> <tr> <td>5 「ヨブ記」と『白鯨』</td> <td>13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか</td> </tr> <tr> <td>6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』</td> <td>14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できません</td> </tr> <tr> <td>7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』</td> <td>15 成績確認と学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』</td> <td></td> </tr> </table>					1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』	2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ	3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者	4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会——中間者の地獄	5 「ヨブ記」と『白鯨』	13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか	6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できません	7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論	8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』	
1 導入・『聖書』とは何か？ 「創世記」の神と『フランケンシュタイン』	9 地上化する神と『レ・ミゼラブル』																			
2 原罪説と「人間とは何か？」	10 『カラマーゾフの兄弟』と神義論——探偵小説にハラハラドキドキ																			
3 「出エジプト記」と『神曲』	11 『無関心な人々』と中間者																			
4 「列王記」のダヴィデと『非文字』	12 『変身』という現代社会——中間者の地獄																			
5 「ヨブ記」と『白鯨』	13 『歎異抄』——親鸞はキリスト教を理解していたか																			
6 「ヨナ書」と『ハックルベリー・フィンの冒険』	14 遠藤周作『海と毒薬』——日本人にキリスト教は理解できません																			
7 逍遙の苦悩と『カンタベリー物語』	15 成績確認と学生との議論																			
8 神と悪魔のたたかいとしての『失樂園』																				
<p><b>【テキスト】</b>  自作プリントを使用します。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  日本聖書協会編集、『聖書 新共同訳』（スタディ版）、日本聖書協会、2014年。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小テスト（50パーセント）＋毎回の小レポート（20パーセント）＋毎回の宿題（30パーセント）。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13008
異文化理解と交流2A			D.J.マカントニー	
Canadian Studies				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding.				
<b>【授業内容】</b> 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Industry 9. Canadian Life 10. Symbolism 11. Mid-Term Review 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review				
<b>【テキスト】</b> No Textbook. All materials will be provided by teacher.				
<b>【参考図書】</b> None				
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 30%, Homework 25%, Presentation 20%, Review 25%				

対面授業			13009
異文化理解と交流2B		D.J.マカントニー	
UK and Ireland Studies			
3～4年次	2 単位	後期	1コマ
<b>【授業の目的】</b> Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.			
<b>【授業内容】</b> 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term Review 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Final Review			
<b>【テキスト】</b> Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5			
<b>【参考図書】</b> English Dictionary and Japanese-English Dictionary			
<b>【成績評価の方法】</b> Class Participation 30% Homework 20% Review and Assignments 50%			



対面授業			13010	
イギリス文化研究 1(=英語文化文学研究1)			雨森 未来	
British Cultural Studies 1				
2単位	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス: イングランドとセント・ジョージ</li> <li>2. ルネサンス① 芸術と表象</li> <li>3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式</li> <li>4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座</li> <li>5. イングランドの劇場文化 シンボル(象徴)とアレゴリー(寓意)</li> <li>6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史</li> <li>7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル</li> <li>8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』</li> <li>9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メメント・モリ」</li> <li>10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装</li> <li>11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニス商人』と批評の変遷</li> <li>12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評</li> <li>13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜</li> <li>14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論: ポストコロニアリズム</li> <li>15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          なし。適宜、プリントや資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          適宜、指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業内課題あるいはコメント・ペーパーの提出を毎講義の内容に合わせて課す(75%)          課題の出来栄に対する加点及び平常点(25%)          以上から総合的に評価する。          提出課題や発表にはコメントをつけてフィードバックする。</p>				

対面授業				13011																
イギリス文化研究3(=英語文化文学研究2)			原田 昂																	
British Cultural Studies 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  主に 19 世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション:産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. 作品鑑賞、意見交換①</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 作品鑑賞、意見交換②</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 産業革命と幽霊</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table>					1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②	2. 都市化①	10. ナショナルトラスト	3. 都市化②	11. 植民地①	4. 階級①	12. 植民地②	5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①	6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②	7. 教育②	15. 産業革命と幽霊	8. 科学と産業①	
1. イントロダクション:産業革命	9. 科学と産業②																			
2. 都市化①	10. ナショナルトラスト																			
3. 都市化②	11. 植民地①																			
4. 階級①	12. 植民地②																			
5. 階級②	13. 作品鑑賞、意見交換①																			
6. 教育①	14. 作品鑑賞、意見交換②																			
7. 教育②	15. 産業革命と幽霊																			
8. 科学と産業①																				
<p><b>【テキスト】</b> 必要に応じて適宜プリントを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート(50%)、課題提出(30%)、授業への積極的な参加(20%)。  レポートは、与えられた課題に適切に答えられているかを中心に評価する。  課題は、取り組みと毎回の提出を中心に評価する。  授業への積極的な参加は、毎回授業中に設ける意見交換の時間での発言を中心に評価する。</p>																				

対面授業				13012																
アメリカ文化研究1			苔米地 夏緒																	
American Studies 1																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> </tr> <tr> <td>2. Introducing Popular Culture Studies</td> <td>10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>3. What is Racism?</td> <td>11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Dismantling White Privilege</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II	2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I	3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II	4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop	5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I	6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II	7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion	8. Blackness in U.S. Popular Culture I	
1. Introduction	9. Blackness in U.S. Popular Culture II																			
2. Introducing Popular Culture Studies	10. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians I																			
3. What is Racism?	11. The “Yellow,” Exotic, and Model Minority Asians II																			
4. The History of Race in the U.S.: Part I	12. Preparation for Workshop																			
5. The History of Race in the U.S.: Part II	13. Workshop I																			
6. Whiteness, or: The Raceless Race	14. Workshop II																			
7. Dismantling White Privilege	15. Conclusion																			
8. Blackness in U.S. Popular Culture I																				
<p><b>【テキスト】</b>  各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業				13013																
アメリカ文化研究2			苦米地 夏緒																	
American Studies 2																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ文化について学ぶのであれば、人種は避けて通れない。しかし、そこで度々明らかになるのは、アメリカの多様性ではなく、人種差別は尚もアメリカ社会に残っている、という事実である。  それはアメリカの大衆文化について学ぶときも同様である。それどころか、その中で生産・消費されている大衆文化は大勢が日々触れるものだからこそ、人種差別のような社会的不平等の持続の中心的な存在である、と言える。  よって、本講義では大衆文化に表れる、アメリカの「理想の」人物像とはどのようなもので、誰が達成可能なのか？そこから外れた人々はどのように描かれるのか？などと問いかけながら、大衆文化を真摯に受け止め、そこに込められた人種に関連するメッセージを探っていく。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b>  この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. Challenges Against Racism I</td> </tr> <tr> <td>2. Americanness and Otherness</td> <td>10. Challenges Against Racism II</td> </tr> <tr> <td>3. Is Islamophobia Racism?</td> <td>11. Case Study</td> </tr> <tr> <td>4. Latinx? Hispanic?</td> <td>12. Preparation for Workshop</td> </tr> <tr> <td>5. The Struggles of Native Americans</td> <td>13. Workshop I</td> </tr> <tr> <td>6. Intersectionality</td> <td>14. Workshop II</td> </tr> <tr> <td>7. Colorblindness</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. Cultural Appropriation</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. Challenges Against Racism I	2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II	3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study	4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop	5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I	6. Intersectionality	14. Workshop II	7. Colorblindness	15. Conclusion	8. Cultural Appropriation	
1. Introduction	9. Challenges Against Racism I																			
2. Americanness and Otherness	10. Challenges Against Racism II																			
3. Is Islamophobia Racism?	11. Case Study																			
4. Latinx? Hispanic?	12. Preparation for Workshop																			
5. The Struggles of Native Americans	13. Workshop I																			
6. Intersectionality	14. Workshop II																			
7. Colorblindness	15. Conclusion																			
8. Cultural Appropriation																				
<p><b>【テキスト】</b>  WebClass にて各回に応じたメディアやテキストを配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760  Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、グループワーク: 30%、期末テスト: 40%  Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する。</p>																				

対面授業				13014																
アメリカ文化研究 3(=英語文化文学研究3)				和栗 了																
American Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  アメリカ合衆国の文学を代表するマーク・トウェイン(Mark Twain)の、人とその作品について講義します。アメリカとは何か、文学とは何かを、トウェインの作品と作家の研究を通じて明らかにします。かつて『トム・ソーヤーの冒険』や『ハックルベリー・フィンの冒険』を読んで合衆国に憧れた方は驚くかもしれない内容ですが、真実のトウェインと彼の作品が意味するものをお伝えします。受講生はマーク・トウェインをひとつの手がかりにしてアメリカ合衆国を理解してください。それが目的です。30年以上の研究を土台としたマーク・トウェイン研究を語ります。扱う作品は変更することがあります。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン</td> <td>9. 自伝とマーク・トウェイン</td> </tr> <tr> <td>2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン</td> <td>10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい</td> </tr> <tr> <td>3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン</td> <td>11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？</td> </tr> <tr> <td>4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン</td> <td>12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり</td> </tr> <tr> <td>5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン</td> <td>13. 『自伝』は嘘ばかり？</td> </tr> <tr> <td>6. 先住民とマーク・トウェイン</td> <td>14. 『自伝』の真実</td> </tr> <tr> <td>7. 女性とマーク・トウェイン</td> <td>15. 成績確認・学生との議論</td> </tr> <tr> <td>8. 旅行記とマーク・トウェイン</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン	2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい	3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？	4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり	5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？	6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実	7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論	8. 旅行記とマーク・トウェイン	
1. 導入 中世文学とマーク・トウェイン	9. 自伝とマーク・トウェイン																			
2. ウィリアム・シェイクスピアとマーク・トウェイン	10. 『トム・ソーヤーの冒険』は恐ろしい																			
3. 18世紀英国小説とマーク・トウェイン	11. 『ハックルベリー・フィンの冒険』は過激すぎるのです？																			
4. 同時代の文学者とマーク・トウェイン	12. 『アーサー王宮のコネチカット・ヤンキー』は不倫のかほり																			
5. 黒人奴隷とマーク・トウェイン	13. 『自伝』は嘘ばかり？																			
6. 先住民とマーク・トウェイン	14. 『自伝』の真実																			
7. 女性とマーク・トウェイン	15. 成績確認・学生との議論																			
8. 旅行記とマーク・トウェイン																				
<p><b>【テキスト】</b> 自作プリントを使います。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>Waguri Ryo, <i>Mark Twain and Strangers</i>, Tokyo: Eihou-sha, 2004.  和栗 了監訳、『マーク・トウェイン 完全なる自伝』(第一巻、第二巻、第三巻)(東京: 柏書房、2012年、2015年、2018年)。  和栗 了、『マーク・トウェインはこう読め』(東京: 柏書房、2016年)。  和栗 了訳、『マーク・トウェイン書簡集 第一巻』(大阪: 大阪教育図書、2011年)。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小テスト(50パーセント)+毎回の小レポート(20パーセント)+毎回の宿題(30パーセント)。詳しくは第一回目の授業で説明します。</p>																				

対面授業				13015																
日本史講義 1A			鈴木 琢郎																	
History of Japan 1A (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table>					1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)	2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①	3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②	4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行	5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか	6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経	7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ	8 試験答案の書き方	
1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)																			
2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①																			
3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②																			
4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行																			
5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか																			
6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経																			
7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ																			
8 試験答案の書き方																				
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期末の論述試験で評価する。																				

対面授業				13016																
日本史講義 2C			苅米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<b>【授業の目的】</b> 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
<b>【授業内容】</b> <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
<b>【テキスト】</b> 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
<b>【参考図書】</b> 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
<b>【成績評価の方法】</b> 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				

対面授業				13017
日本史講義 3C			三田 智子	
History of Japan 3C (Medieval Japan)				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 山川の日本史教科書の記述変化について</li> <li>2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一</li> <li>3 「社会集団」と身分制社会</li> <li>4 村請制とは何か</li> <li>5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動—</li> <li>6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ—</li> <li>7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ—</li> <li>8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業—</li> <li>9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀—</li> <li>11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村—</li> <li>12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村—</li> <li>13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村—</li> <li>14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村—</li> <li>15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会—</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>毎回プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010)ISBN978-4-8298-1077-4</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。          受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p>				



対面授業			13018																
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C		小林 亜沙美																	
History of Europe/America3C (Medieval Europe)																			
3～4年次	2単位	後期	1コマ																
<p><b>【授業の目的】</b>  中世ヨーロッパとは主に5世紀半ばから16世紀初めを指す。その間に生じた様々な出来事の一部は、当時の社会にとって衝撃的であったという理由で、あるいは、各出来事が後世に何らかの大きな影響をおよぼしたという理由で、歴史的に重要な事象とされている。本講義ではそのような事件や事柄に焦点を当て、関与した派閥や人間の動機、事件の前史や背景、事件の経緯や結末や影響などを説明する。各事象・事件が同時代および後の時代に及ぼした影響にも触れる。</p>																			
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1 「中世ヨーロッパ」とは？</td> <td>9 異端者に対する戦い</td> </tr> <tr> <td>2 西ローマ帝国の終わり</td> <td>10 農村・都市</td> </tr> <tr> <td>3 クローヴィスのキリスト教改宗</td> <td>11 教皇庁</td> </tr> <tr> <td>4 西ローマ帝国「復活」</td> <td>12 修道院</td> </tr> <tr> <td>5 中世初期「イングランド」の成立</td> <td>13 百年戦争</td> </tr> <tr> <td>6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成</td> <td>14 帝国国王選挙</td> </tr> <tr> <td>7 叙任権闘争</td> <td>15 総括</td> </tr> <tr> <td>8 異教徒に対する戦い</td> <td></td> </tr> </table>				1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い	2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市	3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁	4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院	5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争	6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成	14 帝国国王選挙	7 叙任権闘争	15 総括	8 異教徒に対する戦い	
1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い																		
2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市																		
3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁																		
4 西ローマ帝国「復活」	12 修道院																		
5 中世初期「イングランド」の成立	13 百年戦争																		
6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成	14 帝国国王選挙																		
7 叙任権闘争	15 総括																		
8 異教徒に対する戦い																			
<p><b>【テキスト】</b>  授業で配布する。</p>																			
<p><b>【参考図書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊地良生『神聖ローマ帝国(講談社現代新書)』(講談社、2003年、ISBN 978-4061496736)</li> <li>・ハンス・K.シュルツェ(小倉欣一、河野淳訳)『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配(MINERVA 西洋史ライブラリー96)』(ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428)</li> <li>・神崎忠明『【新版】ヨーロッパの中世』慶應義塾大学出版会、2022年 (ISBN 978-4766428087)</li> <li>・川原温、堀越宏一『西洋中世史』放送大学教育振興会、2021年 (ISBN 978-4595141584)</li> <li>・ヨーロッパ中世史研究会(編集)『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年 (ISBN 978-4130220170)</li> <li>・その他、WebClass に参考文献を記載する。</li> </ul>																			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各授業の小テスト(50%)、期末レポート(50%)。</p>																			

対面授業				13019
ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A			山本 航平	
European and American History 2A (Cultural History of Europe and the Americas)				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  ※【重要】担当教員の校務の都合上、本授業は全 15 回のうち最低 5 回が休講・補講となる予定です。補講は平日の 5 時限目(受講生全員が同時時間帯に他授業がない場合のみ)、あるいは土曜日におこないます。具体的な休講日と補講日案は初回授業時にお伝えします。</p> <p>本授業はアメリカ合衆国(植民地時代も含む)の歴史について、移民・人種・宗教・戦争・文化など、さまざまな観点から検討する。本授業は下記「テキスト」欄記載の書籍 1 冊を使用し、他の研究書や論文の議論もふまえて授業担当者がテキスト内容を各回 1 章ずつ解説する形式で進めていく。また適宜同書所収のテーマ別の評論(「歴史の扉」)も授業範囲に含める。受講生は事前にテキストの指定範囲を読んだうえで授業にのぞむことが必須である。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス / なぜアメリカ合衆国史を学ぶのか</li> <li>2 第 1 章: アメリカ先住民の世界</li> <li>3 第 2 章: 植民地時代</li> <li>4 第 3 章: アメリカ革命</li> <li>5 第 4 章: 船出する共和国の曲折</li> <li>6 第 5 章: 大陸国家の出現</li> <li>7 第 6 章: 巨大内戦から国民国家統合へ</li> <li>8 第 7 章: 金メッキの時代</li> <li>9 第 8 章: 社会改革の時代</li> <li>10 第 9 章: 大恐慌と第二次世界大戦</li> <li>11 第 10 章: 超大国の出現</li> <li>12 第 11 章: 未完のままの「偉大な社会」</li> <li>13 第 12 章: 漂流する超大国</li> <li>14 第 13 章: 分断という挑戦を乗り越えて</li> <li>15 期末テスト / 授業のまとめ / 「アメリカ」とは何か</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  遠藤泰生・小田悠生編『はじめて学ぶアメリカの歴史と文化』ミネルヴァ書房、2023 年 (ISBN: 978-4-623-09405-9)。受講生は本書を購入すること(本体 3,500 円+税)。電子書籍版がある場合でも紙の書籍を購入すること。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小レポート(40%)と期末テスト(60%)で評価する。単位取得に際しては「授業回数の 3 分の 2 回以上の小レポートの提出」と「期末テストの受験」が最低要件である。評価基準は以下である。</p> <p><b>【小レポート】</b>  毎回の授業の最後に講義内容に関する小レポートを課す。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていくか(講義内容が適切に理解できているか)を評価基準とする。フィードバックは次回授業の冒頭でおこなう。</p> <p><b>【期末テスト】</b>  第 15 回目の授業時に講義内容に関する期末テストをおこなう。教員が出題した問いに対して適切な解答ができていくか(講義内容が適切に理解できているか)を評価基準とする。希望者全員に対して試験添削と個人面談による指導をおこない、フィードバックする。</p>				

対面授業				13020																
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p><b>【授業の目的】</b>  中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の採用</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p><b>【テキスト】</b>  指定しない。毎回資料を配布する。</p>																				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末)  レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。  レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p>																				

対面授業				13021
アジア史講義 2A			井上 あえか	
History of Asia 2A				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 南アジア現代史を事例として、国際関係の中で戦争と地域紛争を歴史的に理解する視点を獲得し、戦争と平和を自分のことばで語れるようになること。				
<b>【授業内容】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アフガニスタンの復興とターリバーン</li> <li>2. ターリバーンの論理(ドキュメンタリー「密着ムジャーヒディーン」)</li> <li>3. アメリカの戦略とアフガニスタン</li> <li>4. 帰還兵から見た戦争(ドキュメンタリー「アフガン帰還兵―若きソビエト兵士たちの9年間」)</li> <li>5. 現代のイスラーム</li> <li>6. パキスタンの軍・政治・イスラーム</li> <li>7. 南アジアの民主主義</li> <li>8. インドの経済発展(1)</li> <li>9. インドの経済発展(2)(ドキュメンタリー「11億の消費パワー」)</li> <li>10. 世界の核管理体制</li> <li>11. インド・パキスタン対立と核問題(ドキュメンタリー「揺れる核保有国インド」)</li> <li>12. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(1)</li> <li>13. インド・パキスタン対立とカシュミール問題(2)</li> <li>14. 平和学について</li> <li>15. 歴史と現在の関わり</li> </ol>				
<b>【テキスト】</b> とくに指定しない。				
<b>【参考図書】</b> 教室で、適宜指示する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 学期中に適宜コメント紙の提出を求め(40%)、学期末に課すレポート(60%)で評価する。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			印

※出願の際には  
履修願に写真は  
貼らずに添付し  
て提出してくだ  
さい。

**写真  
貼付  
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部		学科			年	
学生番号		性別	生年 月 日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日 生
現住所	〒 _____ Tel ( _____ ) _____ メールアドレス _____ @ _____ ※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。						

\* 履修受付締切日：前期：3月31日(月)まで 後期：9月8日(月)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限	履 修 希 望	評 価
対面授業科目 ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4		火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13006	異文化理解と交流 1B	専門	テレサ ストックウエル	2	前期	3~4		水 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13007	異文化理解と交流 1C	専門	和栗 了	2	前期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13010	イギリス文化研究 1 (=英語文化文学研究1)	専門	雨森 未来	2	前期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13011	イギリス文化研究 3 (=英語文化文学研究2)	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13012	アメリカ文化研究 1	専門	苫米地 夏緒	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13013	アメリカ文化研究 2	専門	苫米地 夏緒	2	後期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13014	アメリカ文化研究 3 (=英語文化文学研究3)	専門	和栗 了	2	後期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13015	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4		金 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13016	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13017	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13018	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13019	ヨーロッパ・アメリカ史講義 2A	専門	山本 航平	2	前期	3~4	開講日についてはシラバスを要確認	月 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13020	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13021	アジア史講義 2A	専門	井上 あえか	2	前期	3~4		火 14:50~16:20	<input type="checkbox"/>	

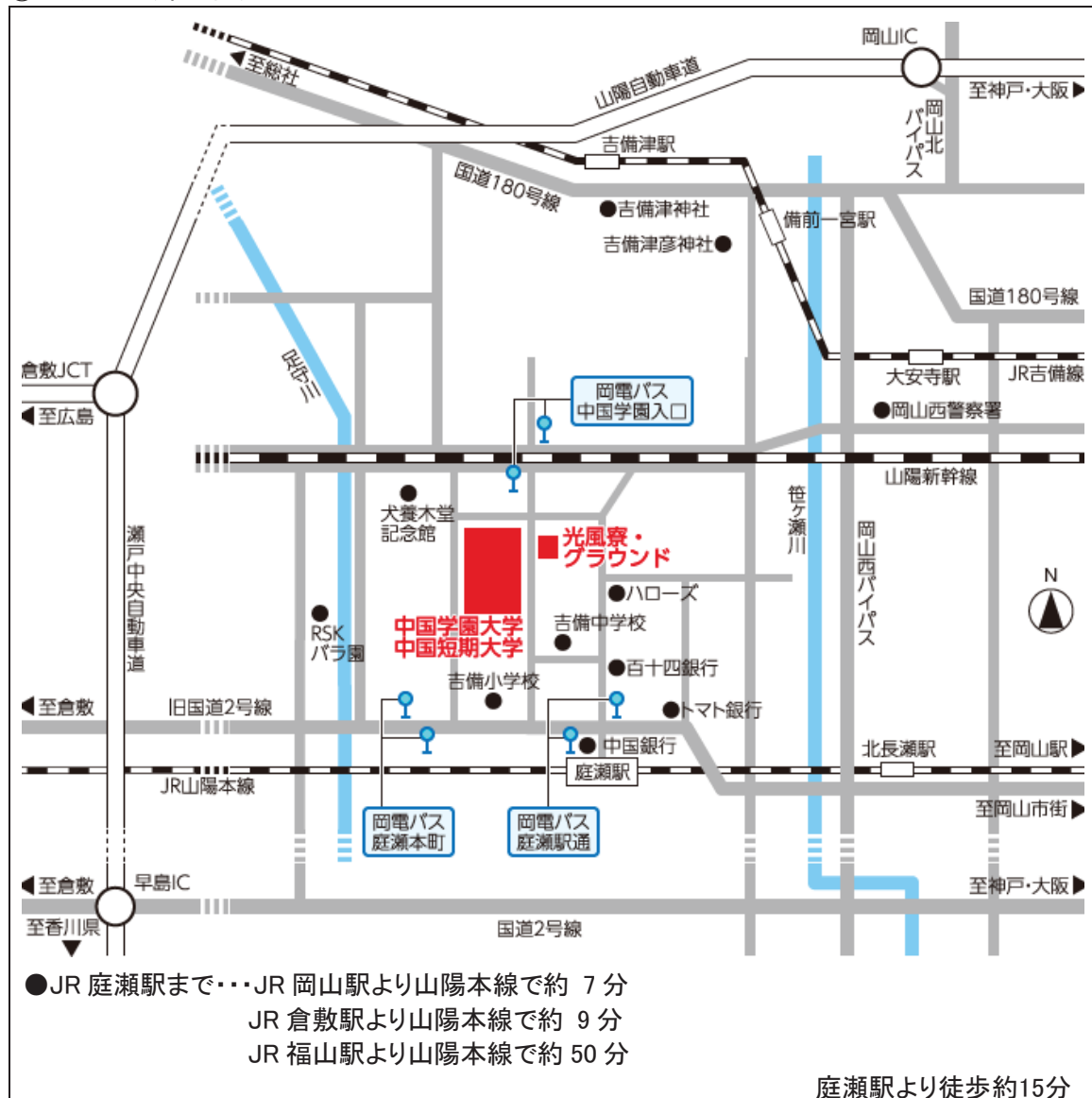
写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) ( カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する )	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1枚	0枚	0枚	1枚

## (14) 中国学園大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月9日	～	2025年7月29日
	後期	2025年9月24日	～	2026年1月27日
試験期間	前期	2025年7月30日	～	2025年8月5日
	後期	2026年1月28日	～	2026年2月3日
授業時間	1限	9:20	～	10:50
	2限	11:00	～	12:30
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市北区庭瀬 83 本館 2 階 事務局 教務課
電話	086-293-0542

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月3日(木)まで、後期:9月17日(水)までとします。  
 ※所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。  
 図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.cjc.ac.jp/campuslife/syllabus.html>  
 (中国学園大学・中国短期大学HP →Web シラバス)



・対面授業科目

対面授業			14001	
授業科目名:観光英語A			担当教員氏名: 佐々木 真帆美	
Tourism English A				
2～4年次	2単位	前期	2コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>            授業概要:本講義では、海外を旅行する際、誰かを海外に連れて旅をする際に必要な知識と観光英語を学ぶ。言語を習得するには、繰り返し聴き、話すことが必要となるが、授業中に観光で想定される場面での会話練習の機会を増やすためにも、テキストを用いた予習は必須である。英語で国内外の観光地を紹介する練習として、プレゼンテーションを実施する。中間・期末試験には、プレゼンテーションで取り上げられた国内外の観光地に関する問題も含まれる。</p> <p><b>【到達目標】</b>            本講義では、観光に関連したテーマを扱うテキストを用いて、実用的な語彙の増強を図りつつ、日常的な会話表現を含んだ実践的な英語表現を学ぶ。英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、観光に関連したテーマの語彙・表現、背景となる海外の旅行地理などを学び、定期的に小テストで学力定着を確認することで「観光英語検定」対策も併せて行う。海外での旅行・観光の際に想定される様々な場面において、英語での円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、＜知識・理解＞＜技能＞の修得に貢献する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ツーリズム・イングリッシュとは？ 観光英語と旅行地理の必要性</li> <li>2. Unit 1 Travel 旅行の計画を立てる際の英語表現と語彙を学ぶ。</li> <li>3. Unit 2 Jobs and People 観光業に関する職種とその業務内容を英語で学ぶ。</li> <li>4. Unit 3 Getting on the Plane 飛行機に搭乗する際の英語表現と語彙を学ぶ。</li> <li>5. Unit 4 At the Immigration and Customs 出入国管理と税関で行われる手続きとその際に使われる英語表現と語彙を学ぶ。</li> <li>6. Unit 5 At the Airport 空港内の施設に関連した英語表現や語彙を学ぶ。</li> <li>7. Unit 6 Hotel(Accommodations) ホテルでのチェックインやチェックアウト時に使われる英語表現や語彙を学ぶ。</li> <li>8. 観光英検にチャレンジ(1) Unit 1～Unit 6 に関する観光英検の問題に挑戦する。</li> <li>9. Unit 7 Restaurant(Breakfast and Fast Food) レストランで注文をする際の英語表現や語彙を学ぶ。</li> <li>10. Unit 8 Sightseeing 観光ツアーを申込み際に使われる英語表現や語彙を学ぶ</li> <li>11. Unit 9 Shopping ショッピングの際に使われる会話表現や語彙を学ぶ。</li> <li>12. Unit 10 Transportation 交通機関を利用する際に使われる会話表現や語彙を学ぶ。</li> <li>13. Unit 11 Problems and Complaints 海外旅行で起こりうる問題と苦情を訴える表現や語彙を学ぶ。</li> <li>14. Additional Unit Traveling in Japan 日本国内の旅行について英語で説明をする。</li> <li>15. プレゼンテーション 国内外の観光地を英語で紹介する。</li> <li>16. 観光英検にチャレンジ(2) Unit 7～Additional Unit に関する観光英検の問題に挑戦する。</li> </ol>				

**【テキスト】**

書名:CD 付 ステップアップ観光英語 Basic／著者名:観光英検センター／出版社:三修社  
価格:2,000円＋税／ISBN:978-4-384-33437-1

**【参考図書】**

**【成績評価の方法】**下記の成績を基準に評価する。

- ・定期試験(40%)  
授業内容と国内外の観光地に関する知識の理解度を評価する。(中間試験も評価対象となる)
- ・授業への取り組みの姿勢／態度(20%):  
意欲的な受講態度, 予・復習の状況によって評価する。
- ・小テスト(20%)  
毎授業開始時に前回の授業内容に関して小テストを行う。小テストで観光英語の理解度を評価する。
- ・その他(20%)  
海外の観光地に関するプレゼンにより評価。課題のテーマについて調べ適切にまとめ, わかりやすい発表を行うこと。発表のフィードバックは授業時に全体に対して行う。

・対面授業科目

対面授業		14002	
授業科目名: 英語プレゼンテーション		担当教員氏名: 藤代 昇文	
English Presentation			
3～4年次	2単位	前期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>            授業概要: テキストや事前に配布された英文資料を読んだり聞いたりしてプレゼンテーションの基礎を理解する力の養成に努め、学んだり経験したことに基づいて、その情報や自分の考え方をまとめて英語でプレゼンテーションする演習を行う。また、発表された情報や提案を聞いたり読んだりして、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする活動を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>            英語を通して、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながらまとまりのある情報や提案を分かり易く伝える能力を養う。また、英語を通して、発表された情報や提案を的確に理解し、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする能力を養う。            なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈思考・問題解決能力〉〈技能〉の修得に貢献する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>意味を知る: 英語によるプレゼンテーションとは                「プレゼンテーション」の意味等の基礎知識について解説。プレゼンテーション5つの目的分類、プレゼンテーションとスピーチの違いなどについて解説する。</li> <li>対象と目的を意識する: プレゼンテーションは何のために誰のために                目的を明確にし、必要な事前分析を行うことの必要性について解説する。</li> <li>大切な要素を知る: プレゼンテーション成功のための3要素                「伝える方法」「伝える内容」「伝える順序」について解説する。                プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品</li> <li>方法を考える: 伝えたいことをいかに伝えるか                伝達手段と伝える技術(言語と非言語による伝達、表現方法)、違いを生み出すデリバリー技術について解説する。                プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品</li> <li>内容を定める: 何を伝えるかを吟味する                テーマに応じてプレゼンテーションの内容を決定する。                グループ・ペアでの議論の仕方: プレーンストーミング・KJ法について解説する。                プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品</li> <li>実際に英語プレゼンテーションをしてみよう①(グループ発表)                各グループの発明品についてプレゼンテーションを行う。                相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。</li> <li>構成を考える: いかに分かりやすく伝えるか                分かりやすい話の組み立て方(「導入」⇒「本論」⇒「結論」)について解説                プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事</li> <li>磨きをかける: 改善のための方法                動画を用いた振り返りとメタ認知について解説。                プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事</li> <li>評価する: プレゼンテーション評価の規準                評価者の目で自分のプレゼンテーションを見直すこと、他人のプレゼンテーションを評価の観点から見る必要性について解説。                プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事</li> <li>実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表1: 前半)                身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。</li> <li>実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表2: 後半)                身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。                発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。</li> </ol>			

12. プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう1  
 グループで地元について英語で話し合い、英語でレポートする。  
 英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう  
 TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。  
 プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について
13. プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう2  
 グループですきな音楽について英語で話し合い、英語でレポートする。  
 英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう  
 TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。  
 プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について
14. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表1:前半)  
 社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。
15. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表2:後半)  
 社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。

**【テキスト】**

書名:英語プレゼンのトリセツ/著者名:藤代昇丈/出版社:日本橋出版/価格:1,600円+税  
 ISBN:978-4-434-27950-8

**【参考図書】**

**【成績評価の方法】**下記の成績を基準に評価する。

- ・授業への取り組みの姿勢/態度(30%)  
 意欲的な受講態度, 予習の状況及び授業への貢献度を評価する。
- ・レポート(30%)  
 課題のテーマについて適切にまとめてあるかを評価する。課題提出後の授業で、グループワークを通して発表及び相互評価を行い、内容についてコメントし、フィードバックを行う。
- ・その他(40%)  
 積極的に自分の考えをプレゼン発表できるかを評価する。

・対面授業科目

対面授業		14003																	
授業科目名:解剖生理学Ⅱ		担当教員氏名: 井之川 仁																	
Anatomy and Physiology Ⅱ																			
2～4年次	2単位	後期	1コマ																
<p><b>【授業の目的】</b>            授業概要:管理栄養士として栄養指導を行うためには、栄養がどのように人体で利用されるかを知らなければならない。解剖生理学の講義は、身体の深遠な複雑性と栄養の本質について深く理解する上で不可欠であり、身体がどれほど神秘的で複雑な構造と機能を持つかを認識する手段である。身体は単なる機械ではなく、骨格、筋肉、器官、神経などが織り成す一つの芸術品とも言える。解剖生理学を学ぶことで、栄養がどのように身体全体で吸収され、代謝され、エネルギーとなっているかを理解する手助けとなる。身体の構造と栄養の交わりは、個々の細胞から全体の健康へと繋がる。身体の各部位が自然の秩序に従い、運動し、器官や組織は個別に機能するだけでなく、全体としての連携を保ちながら生命の秩序を構築している。このことを理解することは、栄養をもとに心身の全体的な健康を追求する根拠となる。本講義では人体の構造(解剖学)と機能(生理学)についての基礎となる解剖生理学Ⅰをふまえ恒常性の維持や個体としての統合された生理機能発現の仕組みを中心に講義する。</p> <p><b>【到達目標】</b>            本講義を受講することで、管理栄養士として身につけておくべき人体の構造と機能について各系統レベルでの基礎に加え、発展的な内容を理解し説明できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各系統レベルでの機能に加え、他の器官との相互作用を説明できる。</li> <li>・個体としての統合された生理機能の仕組みを説明できる。</li> <li>・恒常性の破綻が引き起こす幾つかのメカニズムや症状を説明できる。</li> </ul> <p>なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力のうち、〈知識・理解〉および〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p>																			
<p><b>【授業内容】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>1. 体温</td> <td>9. 水電解質の調節機構</td> </tr> <tr> <td>2. シナプス伝達</td> <td>10. 循環器系</td> </tr> <tr> <td>3. 自律神経系・脳神経系</td> <td>11. 呼吸器</td> </tr> <tr> <td>4. 視床下部・延髄による制御</td> <td>12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン</td> </tr> <tr> <td>5. 内分泌系</td> <td>13. 生殖器系</td> </tr> <tr> <td>6. 骨とカルシウム代謝</td> <td>14. 免疫系</td> </tr> <tr> <td>7. 栄養素の消化吸収</td> <td>15. 感覚系</td> </tr> <tr> <td>8. 消化器官の統合的調節</td> <td></td> </tr> </table>				1. 体温	9. 水電解質の調節機構	2. シナプス伝達	10. 循環器系	3. 自律神経系・脳神経系	11. 呼吸器	4. 視床下部・延髄による制御	12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン	5. 内分泌系	13. 生殖器系	6. 骨とカルシウム代謝	14. 免疫系	7. 栄養素の消化吸収	15. 感覚系	8. 消化器官の統合的調節	
1. 体温	9. 水電解質の調節機構																		
2. シナプス伝達	10. 循環器系																		
3. 自律神経系・脳神経系	11. 呼吸器																		
4. 視床下部・延髄による制御	12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン																		
5. 内分泌系	13. 生殖器系																		
6. 骨とカルシウム代謝	14. 免疫系																		
7. 栄養素の消化吸収	15. 感覚系																		
8. 消化器官の統合的調節																			
<p><b>【テキスト】</b>            書名:解剖生理学 第3版/著者名:志村 二三夫 他/出版社:羊土社/価格:2,900円+税            ISBN:9784-7581-1362-5</p>																			
<p><b>【参考図書】『標準生理学』、『現代の生理学』、『医科生理学展望』</b></p>																			
<p><b>【成績評価の方法】</b>下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験(70%) 最終的な理解度を評価する。</li> <li>・授業への取り組みの姿勢/態度(20%) 課題の得点と取り組みにより評価する。課題の傾向について講評する。</li> <li>・小テスト(10%) 各講義の理解度を評価するため小テストを行う。小テストについての解説講評を行う。</li> </ul>																			

・対面授業科目

対面授業			14004	
授業科目名: 児童英語演習			担当教員氏名: 西田 寛子	
Courses on Teaching Elementary School				
2～4年次	1単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の概要と目的】</b>          授業実践に必要な英語教育の理論的側面を概観し、その理論の実践面への応用を目指す。そのために、小学校の授業観察・分析や受講生による模擬授業・ディスカッションを通して指導の改善を行う。また、幼児英語教育との接続の観点から、こども園での英語の模擬保育も実施する。将来学校現場において、理論に裏打ちされた実践力を備え、自律的に学び続けるリフレクティブな教師となる基本を身に付ける。</p> <p><b>【到達目標】</b>          ・英語によるコミュニケーションの指導や、ことばへの気づきをもたらす指導ができる。          ・小学生や就学前の子どもの英語学習への意欲・技能の向上を図ることができる。          ・英語で授業を行ったり、ALTとの打ち合わせを英語で実施したりできる。          ・パフォーマンス評価を行うことができる。          なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、＜思考・問題解決能力＞＜態度＞の修得に貢献する。</p> <p><b>【授業内容】</b>          1. 実践に必要な理論の概観(小学校英語教育導入の背景・変遷, 外国語活動・外国語科の目標, 言語使用を通じた言語活動・音声によるインプット, 異校(園)種との連携・接続 等)          2. 実践に必要な理論の概観(学習指導要領の内容とその具現化に向けて 等)          3. 実践に必要な理論の概観(目的や場面・状況を明確にした言語活動, 学習評価, ALT との TT による指導の在り方 等), 実践に向けての演習(小学校英語の授業体験)          4. 小学校英語の授業観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション          5. 英語による保育の観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション          6. 学習指導案の作成          7. 学習指導案の修正・改善          8. 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)①          9. 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)②          10. 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成①          11. 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成②          12. 学外授業(小学校での授業実践)と省察          13. 学外授業(子ども園での英語保育実践)と省察          14. 小学校・こども園での指導の省察と指導の改善案作成          15. 講座全体の振り返りとまとめ          * 学外授業については、受け入れ先との日程調整により、実施時期が前後する可能性がある。          上記予定が変更になる場合は、Google Classroom か G-mail で連絡する。          授業への参加を重視するため、授業 6 コマ相当の欠席で単位の履修が不可能となる。</p> <p><b>【テキスト】</b>          書名: CROWN Jr. 5, CROWN Jr. 6 / 出版社: 三省堂 / 価格: 674 円(各 337 円)          書名: Let's Try 1, Let's Try 2 / 出版社: 東京書籍 / 価格: 510 円(各 255 円)          書名: 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』平成 29 年告示 / 出版社: 開隆堂出版          価格: 140 円</p> <p><b>【参考図書】</b>          書名: 小学校英語 はじめる教科書 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコアカリキュラムに沿ってー / 出版社: mpi / 価格: 2,420 円</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>下記の成績を基準に評価する。          ・授業への取り組みの姿勢(60%)          授業中のディスカッション, 授業実践・省察・改善での意欲的な態度を評価する。          ・レポート(40%)          理論と実践を往還しながら考えたことの記述内容や, 指導・評価計画(学習指導案)の内容を評価する。</p>				

・対面授業科目

対面授業			14005	
授業科目名: 日本語教授法			担当教員氏名: 岡本 輝彦	
Teaching of Japanese as a Foreign Language				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 日本語を教えるとはどういうことなのか,教師に求められるものは何かについて説明し,指導法の基礎を身につけることを目標とする。</p> <p><b>【到達目標】</b> 1.国語教育と日本語教育に対して正しく理解することができる。 2.外国人に対する日本語の教え方の基礎を理解することができる。 3.外国人に対する日本語教育における教室活動の方法を理解することができる。 4.日本語参照枠を正しく理解することができる。 なお,本科目はディプロマポリシーに掲げた学士力の内容のうち, &lt;知識・理解&gt; &lt;思考・問題解決能力&gt;の修得に貢献する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本語を教えるとは 日本語教育において誰に,何を,どのようにを教えるのかを理解する。</li> <li>国語教育と日本語教育 学校教育における国語教育と外国人学習者に対する日本語教育は異なる教育であることを学ぶ。</li> <li>世界の言語から見た日本語 ほかの言語と対比しながら日本語の特徴を探るとともに日本語を教える際にどのように役立させていくかを考える。</li> <li>音声・音韻 日本語の音の発声,意味の弁別するための音のパターンである音韻の構造を理解し,どのように役立てるかを学ぶ。</li> <li>語彙(1)日本語の語彙体系を理解するとともに,理解語彙・使用語彙,基礎語彙・基本語彙などの違いを理解する。</li> <li>語彙(2)日本語の語の種類,漢字,表記について理解するとともに,語の意味概念にも触れる。その上で外国人日本語学習者が学ぶべき語彙を学ぶ。</li> <li>文法・文型(1)日本語教育で使用される文型や機能語について説明する。また,国語教育で使用されている文法ではなく,日本語教育文法にも学ぶ。</li> <li>文法・文型(2)日本語のテンス・アスペクト,ヴォイス,モダリティなどを扱い,日本語教育にどのように役立てるかを学ぶ。</li> <li>いろいろな教授法(1)伝統的な教授法を示すとともに,その利点と欠点を知る。</li> <li>いろいろな教授法(2)1980年代に開発された教授法を示すとともに,その利点と欠点を知る。また,現在日本語教育機関ではどのような教授法が使われているかを学ぶ。</li> <li>日本語教育の方法 日本語教育現場では何を中心に日本語を教えているかを学ぶ。実際に教室作業ではどのようなことが行われているかを知る。</li> <li>コースデザイン(1)コースデザインとは何かを理解する。コースデザインは日本語コース全体の計画を立てることであるが,その考え方を学ぶ。</li> <li>コースデザイン(2)コースデザインの考え方については前回学んだが,今回はコースデザインの事例を紹介しながらその実際を考える。</li> <li>カリキュラムデザイン 日本語コースではニーズに沿うように到達目標が設定された上でシラバスが決定され,教授法や教材が選択されることになるが,どのようにカリキュラムを作成するかを学ぶ。</li> <li>日本語教育参照枠 これから認定日本語教育機関では日本語教育参照枠という指標に基づいて日本語教育が行われるように文部科学省・文化庁国語課が規定しているが,日本語教育参照枠はCEFRをもとに作成されているため,CEFRの考え方を学ぶ。</li> </ol>				

**【テキスト】**

テキストは使用しない。

**【参考図書】**

- 1.鎌田修,川口義一,鈴木睦(1996)『日本語教授法ワークショップ』,凡人社
- 2.日本語教育学会(1995)『タスク 日本語教授法』,凡人社
- 3.国際交流基金(2007)『教師の役割/コースデザイン』,ひつじ書房

**【成績評価の方法】**下記の成績を基準に評価する。

- ・授業への取り組みの姿勢／態度(20%)  
講義に対する積極性によって評価する。
- ・小テスト(60%)  
教授法に関する理解度によって評価する。  
小テストはコメントを加え,返却した後に,全員で内容を再確認する。
- ・口頭発表(20%)  
口頭発表がテーマに沿った内容であったかどうか,質疑応答に対応できたかどうかで評価する。  
口頭発表終了後に,コメントを加え,再確認する。



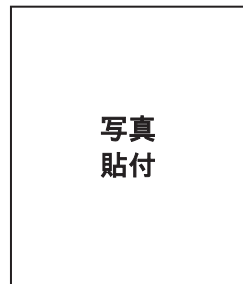
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな 氏 名				印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部 年				学科
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年 月 日
現住所	〒 - Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日：前期：4月3日(木)まで 後期：9月17日(水)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
14001	観光英語A	専門	佐々木 真帆美	2	前期	2~4	定員 10名	木 11:00~12:30		
14002	英語プレゼンテーション	専門	藤代 昇丈	2	前期	3~4	定員 10名	水 9:20~10:50		
14003	解剖生理学Ⅱ	専門	井之川 仁	2	後期	2~4	定員 10名	木 14:50~16:20		
14004	児童英語演習	専門	西田 寛子	1	後期	2~4	定員 10名	火 11:00~12:30		
14005	日本語教授法	専門	岡本 輝彦	2	後期	2~4	定員 10名	火 11:00~12:30		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚

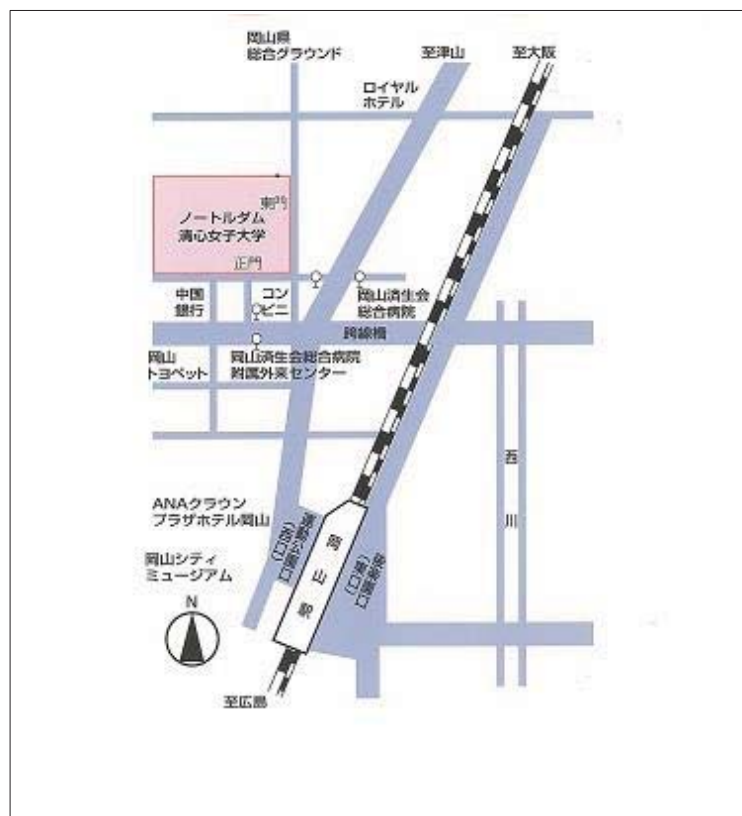
## (15) ノートルダム清心女子大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2025年4月9日	～	2025年8月6日
	2期	2025年9月22日	～	2026年1月29日
試験期間	1期	2025年7月23日	～	2025年8月6日
	2期	2026年1月15日	～	2026年1月29日
授業時間	1時限	9:00	～	10:30
	2時限	10:45	～	12:15
	3時限	13:00	～	14:30
	4時限	14:45	～	16:15
	5時限	16:30	～	18:00

### ② アクセス(案内図)

- JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分
- 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車
- 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



### ③ 担当窓口

学務部	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電 話:	086-255-5583

### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

#### ・ 履修申込期限

申込期限は、前期:4月3日(木)まで 後期:9月11日(木)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

#### ・ 履修手続

##### 履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部がご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

#### ・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

#### ・ 特記事項

### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業				15001
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies I				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b> 死にたいと想うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> 1. 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち(星野富弘等) 2. 『新約聖書』の構成・風土的背景 3. イエスの生誕、クリスマスの意味 4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム 5. 神の国の福音宣教、公生活の開始 6. 奇蹟物語と慰め物語 7. イエスの祈り 8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争 9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告 10. 死を覚悟したエルサレムへの旅 11. エルサレム入城と最後の晩餐 12. イエスの受難と十字架の死 13. イエスの復活顕現物語 14. 現代人とイエスの福音 15. まとめ・(期末レポートについて)</p>				
<p><b>【テキスト】</b> &lt;必携書&gt;遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)、『聖書』</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> ・リアクションレポート…45% ・期末レポート…55%</p>				

対面授業				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのかというよりも、歴史上に実在したナザレのイエスがどのような人物であったのかを、「史的イエス」研究を手がかりとして探究することにある。</p> <p>具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とかカテゴライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えた言葉と具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 聖書とは</li> <li>3. イエスが生きた時代</li> <li>4. イエスの幼年期</li> <li>5. 洗礼者ヨハネとの出会い</li> <li>6. イエスの自立</li> <li>7. イエスがかがみ込んだ先の人々</li> <li>8. イエスが起こした奇跡</li> <li>9. イエスが説いた神</li> <li>10. 律法学者たちとイエス</li> <li>11. イエスが説いた愛と交わり</li> <li>12. イエスの危機</li> <li>13. イエスの受難と死、復活</li> <li>14. わたしにとってのイエス:ある修道女の語り</li> <li>15. わたしにとってのイエス:ある司祭の語り</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年          本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み態度 20%</li> <li>・リアクションペーパー 40%</li> <li>・レポート 40%</li> </ul>				

対面授業				15003
授業科目名:キリスト教学X			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies X				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>キリスト教は社会のなかで生きてきた。しかし、その道のりは一定ではなかった。国家権力と緊密な関係を保っていた時代から、植民地・帝国主義時代や世界大戦をへた変革の時代のなかで、キリスト教が省察してきた人類社会に対する自らの態度、使命はいかなるもので、キリスト教は人類社会になにを訴えてきたのだろうか。</p> <p>本科目では、教皇の公文書である回勅、書簡、勸告のほか、公会議の憲章をはじめとするカトリック教会の諸文書を通じてキリスト教の価値観を学びながら、現代社会の社会、環境、生命をめぐる倫理的諸問題を考えていく。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. キリスト教の基本</li> <li>3. キリスト教が示す倫理</li> <li>4. 社会①教育と労働</li> <li>5. 社会②開発と格差、貧困</li> <li>6. 社会③戦争、暴力と平和</li> <li>7. 社会④差別と基本的人権</li> <li>8. 社会⑤他宗教との対話</li> <li>9. 環境①自然と生きる人間</li> <li>10. 環境②自然と科学技術</li> <li>11. 生命①家庭と生殖</li> <li>12. 生命②医療技術と人間の尊厳</li> <li>13. 生命③自死</li> <li>14. 生命④尊厳死と安楽死</li> <li>15. 生命⑤死刑制度</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ:ともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会、2016年 *その他は授業時に示す</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み態度 20%</li> <li>・リアクションペーパー 40%</li> <li>・レポート 40%</li> </ul>				

対面授業				15004
授業科目名:キリスト教学ⅩⅠ			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies ⅩⅠ				
履修年次 1～4	2 単位	2期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>          自分が生きている意味と価値とを見出せないで苦しむ現代日本人に、人類の叡智である宗教的智がどのように応えることができるか。遠藤周作と共に日本の文化風土に根づくキリスト教、さらに現代の科学的世界観のなかで生きる日本人に実感できるキリスト教を探究した井上洋治神父の『日本人のためのキリスト教入門』を参考にしながら、宗教とは、キリスト教とは、神とは、信仰とは、生きるとは、死とは、愛とは、祈りとは…といった宗教的智を、実感をもって受け取れるように学び、それを踏まえて、キリスト教と日本文化の響き合いについて、宗教的平和について、そして自分が生きている意味と価値について考える。さらに、関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識を学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1. 導入: 生き悩む現代日本人と宗教的智について          2. 宗教固有の世界          3. 「無」としての神          4. 絶えざる創造          5. 三位一体論とイエスの神アツバ          7. 日本におけるイエスの顔—母性的宗教と父性的宗教          8. キリスト教と文化          9. 救いの出来事としての復活          10. 日本文化の底を流れるものとキリストのからだ          11. 信仰とは何か          12. 愛とは何か          13. 祈りとは何か          14. 教皇フランシスコ「福音の喜び」「ラウダート・シ」との関連          15. まとめ</p>				
<b>【テキスト】</b> 聖書				
<b>【参考図書】</b> 井上洋治著作選集 10『日本人のためのキリスト教入門』(日本キリスト教団出版局)				
<b>【成績評価の方法】</b> リアクションペーパー45%、期末レポート55%				

対面授業				15005
授業科目名:キリスト教学XVI			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies X VI				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>  「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロ書簡の言葉である。そうしたパウロ書簡と共に新約聖書の中の使徒言行録およびそれと関連する遠藤周作『キリストの誕生』をテキストにして読み、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、迫害にも怯まない信念をもって宣教する使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることで、キリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして、弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、パウロ書簡の言葉から、生きることの意義を追求するための思想を学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 導入:現代人とパウロ書簡の言葉  2 新約聖書の使徒言行録と書簡の概説  3 原始キリスト教の出発  4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノ殉教  5 迫害者パウロの回心  6 原始キリスト教のエルサレムとアンティオキア  7 パウロ第一次伝道旅行  8 パウロ第二次伝道旅行  9 パウロ第三次伝道旅行とローマへの旅  10 ペトロの殉教、パウロの殉教  11 ユダヤ戦争と原始キリスト教  12 原始キリスト教の発展  13 原始キリスト教と福音宣教  14 パウロ書簡より、愛の讃歌、苦しみの連帯  15 まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>聖書、遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>リアクションレポート45%、期末レポート55%</p>				



対面授業				15006
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅣB			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics ⅣB				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、移動現象、省略現象を含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本語の語順</li> <li>2. 句構造規則と X' 理論</li> <li>3. 句構造の精密化 I: CP 仮説</li> <li>4. 句構造の精密化 II: DP 仮説</li> <li>5. 日本語の自由語順</li> <li>6. 比較構文と分裂文</li> <li>7. 受身文</li> <li>8. 省略現象に関する一般化</li> <li>9. 日本語における NP 省略</li> <li>10. VP 省略と TP 省略</li> <li>11. 項省略仮説</li> <li>12. VP 省略と TP 省略再考</li> <li>13. 一致現象と項省略</li> <li>14. 総復習 I</li> <li>15. 試験</li> <li>16. 試験解説</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b> 毎回、授業時にプリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  試験…80%、課題…20%</p>				

対面授業				15007
授業科目名: 英米文学研究 IIIA			担当教員氏名: 新野 緑	
Research in British and American Literature IIIA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          &lt;『不思議の国のアリス』を読む&gt;          オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しい&lt;教訓のない物語&gt;である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介</li> <li>2. Chapter 1: 地下の国とは</li> <li>3. Chapter 1: アリスとは何者か</li> <li>4. Chapter 2: パロディの意義</li> <li>5. Chapter 3: イギリスの歴史</li> <li>6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ</li> <li>7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か</li> <li>8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い</li> <li>9. Chapter 7: 儀礼と意味</li> <li>10. Chapter 7: 時間とは何か</li> <li>11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育</li> <li>12. Chapter 9: 言葉の変容</li> <li>13. Chapter 11&amp;12: 裁判の手順</li> <li>14. Chapter 12: 夢と現実</li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol> <p>(なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          教室で適宜紹介する</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30%          学期末試験 70%</p>				

対面授業				15008
授業科目名: 英米文学研究 IIIB			担当教員氏名: 新野 緑	
Research in British and American Literature IIIB				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          &lt;肖像画と文学&gt;          肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステイタスを表すものとして貴族やジェントリーの屋敷に飾られてきた。18世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好んで取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18世紀から19世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループディスカッションを通して考えたい。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史</li> <li>2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i></li> <li>3. クラスディスカッション</li> <li>4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i></li> <li>5. クラスディスカッション</li> <li>6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i></li> <li>7. クラスディスカッション</li> <li>8. George Eliot, <i>Middlemarch</i></li> <li>9. クラスディスカッション</li> <li>10. Robert Browning, "My Last Duchess"</li> <li>11. クラスディスカッション</li> <li>12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i></li> <li>13. クラスディスカッション</li> <li>14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i></li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol> <p>(なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          プリントを配布する</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          教室で適宜指示する</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 20%          クラスディスカッションの成果とレポート 30%          学期末試験 50%</p>				

対面授業			15009	
授業科目名: 古代文学特講 I			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b> 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかにより形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業ガイダンス「訓む」と「読む」と・額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け</li> <li>2 額田王の世界②: 難訓歌に挑む</li> <li>3 「穂積皇子・但馬皇女歌群」①: 配列から考える「歌物語」</li> <li>4 「穂積皇子・但馬皇女歌群」②: 但馬皇女の「朝川渡る」</li> <li>5 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活</li> <li>6 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎</li> <li>7 大和三山の歌①: 三首の疑問</li> <li>8 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌</li> <li>9 天平時代のサラリーマン事情: 生活の場と出世への遠い道のり</li> <li>10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景</li> <li>11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み</li> <li>12 「梅花の宴」①: 「令和」の出典歌を讀解する</li> <li>13 「梅花の宴」②: 大伴旅人と山上憶良の憶い</li> <li>14 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義</li> <li>15 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・総括</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  佐竹昭広・木下正俊・小島憲之『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房 1998年)ISBN:978-4827300819</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA 2021年)  その他、授業中に適宜紹介する。  なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レスポンスカード 60%  学期末レポート 40%</p>				

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業は、『古事記』神話の基礎的な知識を習得し、日本神話の特色を理解することを目的とする。特に上巻の神話部分を中心に読解し、世界の神話とも比較しながら、古代人のものの考え方や価値観について考えるとともに、日本文学史上における神話の位置付けについても考察する。また多くの注釈書や研究史を概観し、作品を多角的に捉える視点を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業ガイダンス</li> <li>2 創成神話:「天地初発之時」</li> <li>3 造化三神:タカミムスヒとカミムスヒ</li> <li>4 イザナキ・イザナミ神話①:二神の結婚・国生み</li> <li>5 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(1)</li> <li>6 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(2)</li> <li>7 三貴子の誕生:アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ</li> <li>8 アマテラス神話①:誓約</li> <li>9 アマテラス神話②:天の岩屋</li> <li>10 スサノヲ神話①:スサノヲの追放とオホゲツヒメ</li> <li>11 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(1)</li> <li>12 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(2)</li> <li>13 出雲神話①:「稲羽の素戔」とオホクニヌシ</li> <li>14 出雲神話②:根の堅洲国</li> <li>15 授業の総括</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  中村啓信訳注『新版 古事記』(角川ソフィア文庫 2009年)ISBN:978-4044001049</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  この史代『ぼおるぺん 古事記』天の巻・地の巻・海の巻(平凡社、2013-2014年)  その他、授業中に適宜紹介する。  なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レスポンスカード 60%  学期末レポート 40%</p>				

対面授業				15011
授業科目名: 古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5人
<p><b>【授業の目的】</b>          平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1 講義概要の説明—物語享受の諸相—          2 古筆切1—概説—          3 古筆切2—和歌切—          4 古筆切3—物語切—          5 源氏物語の写本1—概説—          6 源氏物語の写本2—青表紙本系—          7 源氏物語の写本3—その他—          8 中間まとめ          9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界—          10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集—          11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統—          12 源氏物語の古注釈2—その他—          13 文学と教育1          14 文学と教育2          15 1期まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          &lt;必携書&gt;          『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院          『古典文学研究の視角』 大学教育出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          &lt;参考書等&gt;          適宜指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。          (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業				15012
授業科目名: 古代文学特講IV			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5人
<p><b>【授業の目的】</b>          平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          1 講義概要の説明—物語享受の諸相—          2 無名草子1—概説—          3 無名草子2—源氏物語論—          4 無名草子3—その他—          5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語—          6 源氏物語と後期物語2—夜の寢覚—          7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他—          8 中間まとめ          9 源氏物語の続編・偽作 1—概説—          10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①—          11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②—          12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③—          13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①—          14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②—          15 2 期まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          &lt;必携書&gt;          特になし。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          &lt;参考書等&gt;          適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。          (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業			15013
授業科目名: 中世文学特講 I		担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では、『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、『新古今和歌集』の歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧的と評される新古今時代の和歌を楽しめる感性を養ってもらいたい。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  1. 勅撰和歌集について  2. 後鳥羽院について  3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命  4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ  5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』  6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院  7. 和歌の鑑賞② 藤原定家  8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆  9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経  10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親  11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具  12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女  13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王  14. 和歌の鑑賞⑨ 西行  15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>			



対面授業				15014
授業科目名: 中世文学特講Ⅱ				担当教員氏名: 江草 弥由起
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は、平維盛、平資盛、平重衡などの平家の公達らの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点が特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『平家公達草紙』の基礎知識</li> <li>2. 「内裏近き火」</li> <li>3. 「青海波」①</li> <li>4. 「青海波」②</li> <li>5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」</li> <li>6. 「公達の盗人」①</li> <li>7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。</li> <li>8. 「かたのみもり」</li> <li>9. 「秋のみやまのもみじ葉」</li> <li>10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」①</li> <li>11. 「建春門院の面影」②</li> <li>12. 「重衡とその想い人たち」①</li> <li>13. 「重衡とその想い人たち」②</li> <li>14. 「東北院の遊び」</li> <li>15. 「隠れ蓑の中將」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>&lt;必携書&gt;</p> <p>授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>&lt;参考書等&gt;</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>小テスト及び定期試験 (manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15015
授業科目名:近代文学特講 I			担当教員氏名:山根 知子	
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イン트로ダクション</li> <li>2 坪田譲治年譜による作家理解</li> <li>3 作品と同時代および風土について</li> <li>4 坪田譲治の作品理解</li> <li>5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表)</li> <li>6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」</li> <li>7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説</li> <li>8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」</li> <li>9 小説「風の中の子供」および 8 の解説</li> <li>10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」</li> <li>11 10 の解説および期末レポート課題の説明</li> <li>12 同時代資料を使った小説の読解</li> <li>13 同時代資料を使った童話の読解</li> <li>14 期末レポート仮提出とそのフィードバック</li> <li>15 作品分析と作家理解について</li> </ol> <p>期末レポート本提出</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業中の課題と発表:30%、レポート(仮提出・本提出):70%</p>				

対面授業				15016
授業科目名:近代文学特講Ⅱ				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インタロダクション</li> <li>2 宮沢賢治年譜による作家理解</li> <li>3 作品と同時代について</li> <li>4 作品と風土について</li> <li>5 宮沢トシ「自省録」</li> <li>6 童話「虔十公園林」</li> <li>7 童話「めくらぶだうと虹」</li> <li>8 童話「アラムハラドの見た着物」</li> <li>9 童話「ひかりの素足」</li> <li>10 童話「マグノリアの木」</li> <li>11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程</li> <li>12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造</li> <li>13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学</li> <li>14 期末レポート仮提出とそのフィードバック</li> <li>15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界</li> </ol> <p>期末レポート本提出</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p><b>【参考図書】</b> なし</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15017
授業科目名:近代文学特講Ⅲ			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 イン트로ダクション(導入と授業の進め方)  2 太宰治の生涯について  3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開)  4 前期文学の特徴  5 中期文学の特徴  6 後期文学の特徴  7 前期作品の読解①  8 前期作品の読解②  9 中期作品の読解①  10 中期作品の読解②  11 太宰治と戦争  12 後期作品の読解①  13 後期作品の読解②  14 太宰治とキリスト教  15 太宰治の死と戦後</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題プリントとコメント用紙の提出(40%)  期末レポート(60%)</p>				

対面授業				15018
授業科目名:近代文学特講IV			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 インTRODクシヨN(導入と授業の進め方)  2 文学研究の方法から探るマンガの世界①  3 文学研究の方法から探るマンガの世界②  4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について  5 文学とマンガ—太宰治・泉鏡花  6 作品読解①  7 作品読解②  8 文学とアニメ—堀辰雄・梶井基次郎  9 作品読解③  10 作品読解④  11 文学と映画—松本清張・太宰治  12 作品読解⑤  13 作品読解⑥  14 メディア拡大する教科書の中の作家達①  15 メディア拡大する教科書の中の作家達②</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題プリントとコメント用紙の提出(40%)  期末レポート(60%)</p>				

対面授業				15019
授業科目名: 日本語学特講Ⅲ			担当教員氏名: 星野 佳之	
Special Lecture on Japanese Linguistics Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1 コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。  今年度は、例示の「副助詞」類としてデモ、アタリ、ヤコ(一)、バシなどが、どのような体系を成しているかを考察する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 「法」という範疇  第2回 品詞について  第3回 述語について  第4回 副助詞と係助詞について  第5回 副助詞各論 1  第6回 副助詞各論 2  第7回 副助詞各論 3  第8回 副助詞各論 4  第9回 副助詞各論 5  第10回 副助詞各論 6  第11回 副助詞各論 7  第12回 副助詞各論 8  第13回 副助詞各論 9  第14回 副助詞各論 10  第15回 副助詞各論 11  定期試験</p>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  ●国立国語研究所のコーパスWebアプリ『中納言』の利用が必須。受講する場合は利用申請を行うこと。  <a href="https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec">https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec</a></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験として、期末レポートを課す。</p>				

対面授業				15020
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀	
Gender Studies				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識・社会現象や社会問題を取り上げ、検討を加える。ジェンダーに関する基本的な理解を深め、さらに、社会・文化的な性のありようを作り出している構造を解き明かし、現代的課題を提示する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. 授業の概要説明  2. 「ジェンダー」研究の誕生と発展  3. ジェンダー論の基礎① セックスとジェンダー・グループディスカッション  4. ジェンダー論の基礎②ジェンダーとは何か  5. ジェンダー論の基礎③第1波フェミニズム  6. ジェンダー論の基礎④第2波フェミニズム  7. ジェンダーの社会的構築  8. ジェンダー秩序とジェンダー体制・中間試験  9. ジェンダーの再生産  10. 子ども期のジェンダー  11. メディアとジェンダー  12. 青年期のジェンダー  13. 日常生活のなかのジェンダー  14. 男性学とジェンダー・中間試験  15. 現代社会とジェンダー</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しません</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  参考文献・資料等については講義中に指示する。  適宜資料を配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  課題レポート:10%  期末レポート:30%  中間試験2回実施:60%</p>				

対面授業				15021
授業科目名: 地域社会学 I			担当教員氏名: 二階堂 裕子	
Regional and Community Studies I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義の目的は、現代における地域社会の諸問題への関心と理解を深めること、そして、新たな社会システムの構築に向けて、今後、私たちが取り組むべき課題とは何かを考察することにある。まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちを学ぶ。そのうえで、戦後の高度経済成長期に日本の都市化がどのように進み、地域社会における人々の関係がどのように変容したのかを理解する。さらに、少子高齢化の進行、地方都市における衰退、安全・安心をめぐる危機の深刻化、グローバル化の進展などの社会変動が、今日の地域社会にどのような問題を生み出しているのかについて検討する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会とコミュニティ</li> <li>2. コミュニティ問題の登場</li> <li>3. 都市化と地域社会における変容</li> <li>4. 町内会とコミュニティ形成</li> <li>5. コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係</li> <li>6. コミュニティ・センター</li> <li>7. コミュニティ活動</li> <li>8. 子育てと地域社会</li> <li>9. 高齢化と地域社会</li> <li>10. 中山間地域における過疎化</li> <li>11. 地方都市の衰退と再生</li> <li>12. インナーシティ問題の発生</li> <li>13. 安全・安心な生活と地域社会</li> <li>14. グローバル化と地域社会</li> <li>15. 多民族・多文化化とコミュニティ形成</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  毎回の小課題(授業で学んだことや意見): 30%  期末レポート: 70%</p>				



対面授業				15022
授業科目名: 社会心理学			担当教員氏名: 中山 ちなみ	
Social Psychology				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p><b>【授業の目的】</b>  社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのかというメカニズムを理解し、自己および人間・社会への洞察を深める。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 インTRODダクシヨN  2 社会の中の「私」  3 自己の2 側面  4 行為と意識  5 意識の基本構造  6 行為の意図せざる帰結  7 欲求  8 態度とは  9 態度の一貫性の諸理論と事例  10 社会心理学における実験の位置づけ  11 対人魅力の決定要因  12 援助行動  13 リーダーシップ  14 社会的ジレンマ  15 まとめ  定期試験(筆記試験)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  テキストは特に指定しない。ほぼ毎回プリントを配付する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  授業中にその都度、紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  筆記試験: 70%  課題レポート: 10%  リアクションペーパー: 20%</p>				

対面授業			15023	
授業科目名: 社会集団・組織論			担当教員氏名: 濱西 栄司	
Social Groups and Organizations				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な社会組織（「会社」、協同組合、行政組織、国際機関、NPO・NGO など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織関係の現れとして分析していく基本的な視座・技法を修得していく。</p> <p>授業では主に Google Classroom を用いて各回の自学習やフィードバック、期末レポートの管理を行う。また自学習を前提として、隣席学生同士（2~3 名）で簡単に意見交換する時間を設けるようにしている。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>1. オリエンテーション: 社会学と社会集団・組織論  &lt;第 I 部 現代の代表的組織&gt;</p> <p>2. 類型とアソシエーション  ——経済: 会社とそれ以外——</p> <p>3. 「会社」の近現代史</p> <p>4. 企業倫理と企業の社会的責任 (CSR)、SDGs</p> <p>5. 同業組合/労働組合の近現代史</p> <p>6. 労働組合の現在とこれから</p> <p>7. オルタナティブとしての協同組合</p> <p>8. NPO、社会的企業、ソーシャル・ベンチャー  ——政治: 国家と運動——</p> <p>9. 近代国民国家の形成</p> <p>10. グローバル・ガヴァナンス</p> <p>11. 業界団体と社会運動  &lt;第 II 部 組織の研究&gt;</p> <p>12. 社会学的組織研究: フリーライダーと集合行為論</p> <p>13. 社会学的組織研究: 資源動員論</p> <p>14. 社会学的組織研究: 事例・問題からのアプローチ</p> <p>15. まとめとこれから</p>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>毎回、レジュメを配布する</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>授業への取り組み: 30%</p> <p>確認テスト: 30%</p> <p>期末レポート: 40%</p>				

対面授業			15024
授業科目名: 宗教社会学		担当教員氏名: 福田 雄	
Sociology of Religion			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  「宗教的な意味」を持つ行為は、何も特定の宗教的場面に限られるものではなく、私たちが日常生活の中であまり意識することなく繰り返し行っている習慣や、災害に襲われたときに夢中で行っている行為の中などに、数多く見られます。  本授業では、宗教と社会の関係について、できるだけ身近な振る舞いや具体的な事例を手掛かりにして掘り下げ、現代社会を理解するための技能を修得します。私たちにとって宗教はどのような意味を持つのかというテーマにかんする知識を、全 15 回の授業を通して学びます。  前半では、今日的なトピックに関連させながら宗教社会学の視点を理解してもらいます。後半では、苦難という観点に焦点を当てながら、事例研究や古典的研究を学びます。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 初詣は「宗教」か？</li> <li>3. 「宗教」とは何か？</li> <li>4. 宗教の定義とその目的</li> <li>5. 折り鶴を燃やすことはなぜ悪か？ 近代社会の聖なるもの</li> <li>6. 生きることを強いることはいかに可能か？ 諸外国の事例</li> <li>7. 生きることを強いることはいかに可能か？ 日本の事例</li> <li>8. なぜ災いをもたらされたのか？ 永井隆の燔祭説</li> <li>9. なぜ災いをもたらされたのか？ 燔祭説への批判とその社会的文脈</li> <li>10. 津波の意味づけ スマトラ島沖地震の津波記念式典</li> <li>11. 津波の意味づけ 東日本大震災の慰霊祭・追悼式</li> <li>12. 「無宗教」式の慰霊行事 長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈念式典</li> <li>13. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「天職」概念</li> <li>14. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「予定説」</li> <li>15. まとめと振り返り</li> </ol>			
<b>【テキスト】</b>			
<p><b>【参考図書】</b>  福田雄 2020 『われわれが災禍を悼むとき——慰霊祭・追悼式の社会学』慶應義塾大学出版会 (ISBN 978-4-7664-2654-0)</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  定期試験(90%)  リアクションペーパー(10%)</p>			

対面授業				15025
授業科目名: 社会学特講 B(災害社会学)			担当教員氏名: 福田 雄	
Special Topics in Sociology B				
履修年次 2~4	2 単位	2期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本講義は、災害というテーマのもとに、現代社会に関する知識を学びます。具体的には、関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災といった日本の災害を中心としてとりあげ、これらの災害を研究対象とした論文や文献を紹介します。授業では、多角的な視点をもって、これまでの災害研究を批判的に検討する姿勢、そして震災後の社会の成り立ちと仕組みを見通す視野を身につけます。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. イントロダクション  2. 「災害」とはなにか 出来事、災害因、社会現象  3. 新しい災害とその特徴  4. 近代日本の災害とその特徴  5. 災害後の流言とデマ  6. 災害とモニュメント  7. 災害と儀礼・祭・復興イベント  8. 災害と伝統知・伝統行事  9. 災害と復興事業  10. 災害とコミュニティ活動  11. 災害と外国人、ジェンダー  12. 災害とアート  13. 災害と向き合う行為  14. 災害とソーシャルキャピタル  15. 振り返りとまとめ  試験等</p>				
<b>【テキスト】</b>				
<p><b>【参考図書】</b>  植田今日子『存続の岐路に立つむら』昭和堂  ダニエル・アルドリッチ 『災害復興におけるソーシャル・キャピタルの役割 とは何か』ミネルヴァ書房など</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末レポート(80%)  リアクションペーパー(20%)</p>				

対面授業				15026
授業科目名: 日本社会史 II			担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的ありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1. はじめに  2. 徳川社会で生きる  3. 「徳川システム」のゆらぎ  4. 近世民衆の姿  5. 開国と幕末社会—地域の視点から—  6. 近代化と地方名望家  7. 近代化と地域の民衆  8. 明治社会を生きる  9. 「家」と農村の女性  10. 都市民衆騒擾の時代  11. 第一次世界大戦後の大衆社会化  12. 恐慌の時代  13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか  14. 総力戦体制下の矛盾  15. むすび</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・渡辺尚志『百姓のカー江戸時代から見える日本—』（柏書房、2008年／角川ソフィア文庫、2015年）  ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』（岩波ジュニア新書、2018年）  ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』（放送大学教育振興会、2015年）  ・大門正克『戦争と戦後を生きる』（小学館、2009年）  その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  期末試験ト 70%  リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p>				

対面授業				15027
授業科目名: アジア社会史 I			担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  かつて中国には、千四百年にわたって実施された科挙と呼ばれる制度が存在した。この制度は王朝を支える官僚候補生の代表的な選抜・任用制度であったが、前近代中国社会における人びとの思想や文化・習俗を色濃く反映していた。そのため、なぜこのような制度が必要とされたのか、その制度とはいかなるものであったのか、そして人びとにどのような影響を及ぼしたのかという問題の解明は、中国の歴史・社会そのものを知ることに繋がる。以上のような問題意識のもと、本授業では科挙を題材としてとりあげ、古代～近代における儒教や知識人の世界を中心に講義する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国社会における王朝と民衆とのかかわり</li> <li>2. 県と郷村</li> <li>3. 中国における官僚登用の歴史(1)——漢</li> <li>4. 中国における官僚登用の歴史(2)——魏晋</li> <li>5. 中国における官僚登用の歴史(3)——隋唐</li> <li>6. 中国における官僚登用の歴史(4)——宋</li> <li>7. 科挙合格と官僚任官による社会的成功</li> <li>8. 士大夫の理念</li> <li>9. 民衆と胥吏と官僚</li> <li>10. 科挙合格までの長い道のり</li> <li>11. 科挙の盛行と宗族の発展</li> <li>12. 宗祠・族譜・義荘</li> <li>13. 科挙と移住</li> <li>14. 科挙の廃止と近代中国</li> <li>15. 科挙は近現代の中国社会に何をもたらしたか</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p>				
<p><b>【参考図書】</b>  参考文献は講義中に適宜紹介する。また毎回資料プリントを配付する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小レポート: 10%  期末試験: 90%  (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>				

対面授業				15028
授業科目名:ヨーロッパ社会史 I			担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          古代から現代にかけて、ヨーロッパ社会史のさまざまなテーマを取り上げる。前半から中盤にかけては、古代から現代にいたるまで時代別に固有のテーマを設定するが、後半は、アナール学派の代表的歴史家のある研究を詳細に紹介するという形式で進める。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古代末期の社会史; 殉教者崇敬</li> <li>2. 中世の社会史; 聖遺物崇敬のはじまり</li> <li>3. 中世の社会史; 聖遺物崇敬の発展</li> <li>4. 中世の社会史; 修道生活</li> <li>5. 中世の社会史; 騎士と封建社会</li> <li>6. 中世の社会史; 騎士文化</li> <li>7. アンシャンレージュムの社会史; 近世における国王儀礼</li> <li>8. アンシャンレージュムの社会史; ガリカニズムのもとでのカトリック教会</li> <li>9. フランス革命の社会史; 非キリスト教化</li> <li>10. フランス革命の社会史; 習俗の革命</li> <li>11. フランス革命の社会史; 革命祭典</li> <li>12. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 中世</li> <li>13. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近世</li> <li>14. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近代</li> <li>15. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 現代</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          毎回の授業で資料教材を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          平常点(15%)          レポート(85%)</p>				

対面授業				15029
授業科目名: 考古学II			担当教員氏名: 紺谷 亮一	
Archeology II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  オリент考古学についての基礎的知識の習得を図る。農耕の開始、都市の出現、文字の発明、交易網の整備等、人類史の主な出来事が、オリエンの地でおこったことを学ぶ。オリエンでの発掘調査の方法論の独自性を理解する。その一方で、日本考古学との相違点について理解する。そして、流動的な現代中東世界を理解するうえで、オリエン考古学の果たす役割について学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  1 講義概要  2 古代オリエンの地理学的概念  3 新石器(農耕)革命  4 都市革命  5 文字の発明  6 交易の時代・青銅器の出現  7 帝国と鉄器の出現  8 オリエンの発掘史 1  9 オリエンの発掘史 2  10 オリエンの遺跡 1(ヒッタイト帝国の首都ハットウシャ)  11 オリエンの遺跡 2(ホメロスの伝説都市トロイ)  12 オリエンの遺跡 3(アッシリア王の都ニルムド)  13 トルコにおける考古学調査  14 オリエン考古学に携わった人々(アラビアのロレンス、アガサ・クリスティー等)  15 総括</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  『西アジア考古学講義ノート』, 西アジア考古学講義ノート編集委員会, 西アジア考古学会、2013 年</p>				
<b>【参考図書】</b>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  レポート(2 回) 50%  ノート提出 50%</p>				



対面授業				15030
授業科目名: 国際関係論			担当教員氏名: 土佐 弘之	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>本講義では、複雑な国際政治や国際関係を認識し働きかけるための道具として、これまで培われてきた理論的視座を提供するとともに、そのような視座と関連の深い現象について取り上げ検討する。国際関係に関する多様な視点や論理を学び、また我々の日々の生活にも大きな影響を及ぼしかねない現象について認識を深めることを通じて、国際情勢についての単に情勢認識を行うことができるようになるだけでなく、自分の頭で国際政治・国際関係について考察し、個人や市民の立場からグローバルに考え、かつ自分の活動する場(ローカル)から働きかけるための知識を身につける。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1部: 国際関係諸理論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 導入: 国際関係史の推移(歴史的文脈)</li> <li>2 国際関係理論① リアリズム</li> <li>3 国際関係理論② リベラリズム</li> <li>4 国際関係理論③ 社会構成主義</li> <li>5 国際関係理論④ マルクス主義</li> <li>6 国際関係理論⑤ フェミニズム</li> <li>7 国際関係理論⑥ ポストコロニアリズム</li> <li>8 国際関係理論⑦ ポスト構造主義</li> <li>9 国際関係理論⑧ 倫理的アプローチ</li> </ol> <p>第2部: 国際関係の諸問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10 地球環境問題① 気候変動</li> <li>11 地球環境問題② 生物多様性喪失</li> <li>12 地球環境問題③ 人新世と人間中心主義</li> <li>13 難民問題</li> <li>14 ナショナリズム、ポピュリズム、デモクラシー</li> <li>15 人権問題</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>&lt;必携書&gt;</p> <p>テキストは特に指定しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>&lt;参考書等&gt;</p> <p>参考文献として、J.Baylis, S.Smith and P. Owen (eds.) <i>The Globalization of World Politics</i>. 9th ed. Oxford University Press.</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>講義への参加の積極性と小テスト: 50%</p> <p>レポート: 50%</p>				

対面授業				15031
授業科目名: 平和学			担当教員氏名: 土佐 弘之	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>本講義においては、平和学がこれまでに積み重ねてきた知に触れ、これらの問題に対するアプローチを探ります。これによって国際社会に生じる問題に主体的に取り組む姿勢を身につけます。現代世界では、平和をめぐる問題の構造が大きく変化しつつある。冷戦期のように人類を一瞬にして絶滅させてしまうような大規模な戦争の危険は小さくなったが、従来の方法では対処しがたい種類の暴力が世界の多くの場所で発生している。ひと言でいえば、国家による軍事力の行使の独占を可能にしていた構造が徐々に崩れ、多様な主体に暴力手段が拡散するとともに、暴力が不合理な形で暴発する状況が生まれている。こうした状況で、米国をはじめとする先進国は、軍事力に過度に依存した対応を選択してきた。そのことが、暴力への対処を困難にしてきた。では、新しい形の暴力に対処するためにはどうすればよいのだろうか？ その答えを見いだすことは容易ではない。しかし、これまでの平和や安全に関する考え方を根本的に再検討し、世界全体の政治経済システムの歴史や構造を現代における暴力と関連づけつつ、幅広い視点から体系的に考察を進めなければならないことは明らかである。本講では、上記のような問題関心から、現代世界の多様な暴力の原因を理解し、それらに対処する方法を模索するための素材を提供することを目的としている。まずは問題の現状を知るところから始め、原因の分析、様々な対処方法とそれに携わる人々の思想や運動を知るという順序で講義を進める。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 導入: 平和研究の誕生・特徴・基本課題とその推移</li> <li>2 国家間戦争の原因と平和のための制度</li> <li>3 核時代の意味と冷戦下の世界的対立の構造</li> <li>4 現代の紛争(1)核をめぐる現代の政治経済構造</li> <li>5 現代の紛争(2)国家の崩壊と内戦の政治経済学</li> <li>6 現代の紛争(3)暴力の民営化とテロリズム</li> <li>7 テロリズムに対する戦争と構造化された暴力</li> <li>8 国際政治経済体制と構造的暴力</li> <li>9 開発と人権——平和への新しいアプローチ</li> <li>10 平和を作る運動(1)人権と平和</li> <li>11 平和を作る運動(2)非暴力抵抗の思想と実践</li> <li>12 平和を作る運動(3)開発 NGO とエンパワメント</li> <li>13 グローバルなアパルトヘイトと平和</li> <li>14 理論的考察——国家・暴力・平和・民主主義・人権</li> <li>15 総括</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>&lt;必携書&gt; 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>&lt;参考書等&gt; 主たる参考文献として Oliver Richmond, <i>Peace in International Relations</i>. Routledge, 2008. その他の参考文献・資料については適宜紹介、配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b></p> <p>講義への参加の積極性と小テスト: 50% レポート: 50%</p>				

対面授業				15032
授業科目名: 華僑華人論			担当教員氏名: 陳 來幸	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  華僑華人社会の形成は古くは 10 世紀に始まる宋時代に遡るとされるが、東アジア経済が銀を通じて互いにリンクされはじめた近世に入り、アジア各地に広く形成された。19 世紀に入り再び海外移民のピークが訪れ、アメリカ大陸や大洋州にも向かうようになった。中国の改革開放後の昨今、再び多くの新華僑が先進国に向かっている。華僑華人問題は古くて新しい問題である。本講義では、近代以降現在にいたる日本、朝鮮半島、東南アジア各地、大洋州、アメリカ大陸など異なる地域や国家毎にマイノリティーとして存在する華僑華人社会の変容過程を紹介し、華僑華人ネットワークの実態を知るとともに、各地に根を生やした華僑華人がその国の制度や風土によってどのように変化したのかについて比較分析の視点を獲得し、その社会的役割を理解する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序論: 問題の所在</li> <li>2. 会館・公所の発生と変容: 商会システムの導入と浸透</li> <li>3. 華僑華人のディアスポラ: 世界華商大会と現在</li> <li>4. 日本の華僑華人(1): 伝統祭祀</li> <li>5. 日本の華僑華人(2): 社会変容と特色</li> <li>6. 朝鮮半島の華僑華人: 錯綜する帰属意識</li> <li>7. 戦後北東アジアの華僑華人</li> <li>8. ディスカッション</li> <li>9. アメリカ・オーストラリアの華僑華人</li> <li>10. 東南アジアの華僑華人(1): 島嶼部</li> <li>11. 東南アジアの華僑華人(2): 大陸部</li> <li>12. 中国の華僑・華人政策</li> <li>13. 金門ネットワークを考える</li> <li>14. 客家ネットワークを考える</li> <li>15. 新華僑の時代</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  特にテキストは指定しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  講義へ積極的な安価およびパフォーマンス: 30%  課題レポート: 70%</p>				

対面授業				15033
授業科目名:グローバル化と人の移動			担当教員氏名:八尾 祥平	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  人やモノ、そして、通貨や情報が国境を越えて移動するグローバル化の時代とは何かを、ミクロレベルでの人の移動に焦点を当てて解説します。講義では、まず、移民という現象を理解するための枠組みを主に社会学の知見を用いて解説した上で、グローバルな人の移動が実は近代という比較的長い時代のスパンの中で過去にも見られた現象であるという歴史的な視座も養います。こうした人の移動に関する理論と歴史を概観したうえで、移民の目には社会がどのように映っているのかを解説し、多文化共生論を、理想論としてではなく、地に足の着いた議論をするために最も大切な視座を養います。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバル化と移民についての現状と展望</li> <li>2. 理論Ⅰ 近代社会とは何か</li> <li>3. 理論Ⅱ 移民をめぐる社会学</li> <li>4. 理論Ⅲ ポストコロナリズムの潮流</li> <li>5. 理論Ⅳ 植民地からの近代化</li> <li>6. 移民の歴史Ⅰ アメリカ大陸とプランテーション農業</li> <li>7. 移民の歴史Ⅱ アジアからアメリカへ</li> <li>8. 移民の歴史Ⅲ 黄禍論の時代</li> <li>9. 沖縄Ⅰ 沖縄の近現代史</li> <li>10. 沖縄Ⅱ 沖縄をめぐる移民と文学</li> <li>11. 台湾Ⅰ 台湾をめぐる近現代史</li> <li>12. 台湾Ⅱ 台湾をめぐる移民と文学</li> <li>13. 朝鮮Ⅰ 朝鮮の近現代史</li> <li>14. 朝鮮Ⅱ 朝鮮をめぐる移民と文学</li> <li>15. 移民から日本社会を展望する</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業への取り組み姿勢(質疑応答の積極性・リアクションペーパーの提出): 20%  中間レポート: 40%  期末試験: 40%</p>				

対面授業				15034
授業科目名: 身体表象論			担当教員氏名: 松平 勇二	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  20 万年に及ぶ人類の歴史の中で、文字が使われるようになってからわずか数千年しかたっていない。絵画や彫像などの表象文化を除けば、情報伝達に関するコミュニケーションの大部分は身体的な表現によって担われてきたととらえられる。本講義では主にアフリカの音に関連する身体やパフォーマンスによるコミュニケーション(音文化:おんぶんか)、すなわち、音楽、舞踊、儀礼、口頭伝承などを事例に表象文化について議論する。そのうえで、現代日本社会における身体表象の事例と比較し、日本における特に音を用いたコミュニケーションについて再考する。デジタル化、非接触などが進展する現代社会における身体性のあり方について各自が考察し、議論できることを目指す。なお、本講義では文字によらない(音による)コミュニケーション、パフォーマンスについて学ぶため、成績評価は文字を用いないプレゼンテーション(パフォーマンス)で評価する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第 1 回 音楽を起点に身体表象を考える—音文化の一部としての音楽  &lt;音楽の構造&gt;  第 2 回 アフリカの歴史・自然環境と音楽  第 3 回 ラメラフォンの楽器構造—音階と調律  第 4 回 ラメラフォンの楽曲構造—クロスリズムと和音  第 5 回 ラメラフォンの合奏様式—コールアンドレスポンス  &lt;音としての言葉の特性&gt;  第 6 回 口頭伝承分析—話し言葉と書き言葉  第 7 回 ディスカッション—パフォーマンスとしての語り  &lt;表象文化としての宗教儀礼&gt;  第 8 回 マンデ社会における音のコミュニケーションの位置づけ  第 9 回 全体的音楽環境としてのシヨナの憑依儀礼  第 10 回 儀礼の基層、シヨナのコスモロジー  第 11 回 音楽と政治—ジンバブエ解放闘争の音楽  第 12 回 身体表象とナシヨナリズム—ジンバブエにおける小学生の伝統舞踊全国大会を事例に  &lt;日本の音文化&gt;  第 13 回 音文化としての日本の音楽、祭礼、日常の言葉を再考する  第 14 回 プレゼンテーションと総合討論1  第 15 回 プレゼンテーションと総合討論2</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  &lt;必携書&gt;  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  &lt;参考書等&gt;  参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  ディスカッション、質疑応答の積極性: 50%  プレゼンテーション: 50%</p>				

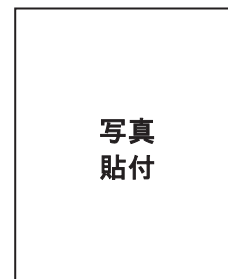
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心  
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科			年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年			
		女		元号( )	年	月	日
現住所	〒 - Tel( ) -						
メールアドレス	@						

\* 履修受付締切日:前期:4月3日(木)まで 後期:9月11日(木)まで

\* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15003	キリスト教学Ⅹ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15004	キリスト教学ⅩⅠ	教養	山根 道公	2	1期	1~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15005	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15006	英語学・言語学研究ⅣB	専門	齋藤 衛	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15007	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15008	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	2期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15009	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15010	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
15011	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	2期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15012	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	1期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15013	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		
15014	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15015	近代文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15016	近代文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15017	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15018	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15019	日本語学特講Ⅲ	専門	星野 佳之	2	2期	2~4	女子のみ	月 9:00~10:30		
15020	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	月 13:00~14:30		
15021	地域社会学Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00		
15022	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1期	2~4	女子のみ	火 9:00~10:30		
15023	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 10:45~12:15		
15024	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15025	社会学特講B	専門	福田 雄	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15026	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	月 10:45~12:15		
15027	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15028	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15029	考古学Ⅱ	専門	紺谷 亮一	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15030	国際関係論	専門	土佐 弘之	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15031	平和学	専門	土佐 弘之	2	2期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15032	華僑華人論	専門	陳 來幸	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15033	グローバル化と人の移動	専門	八尾 祥平	2	1期	2~4	女子のみ	月 14:45~16:15		
15034	身体表象論	専門	松平 勇二	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		

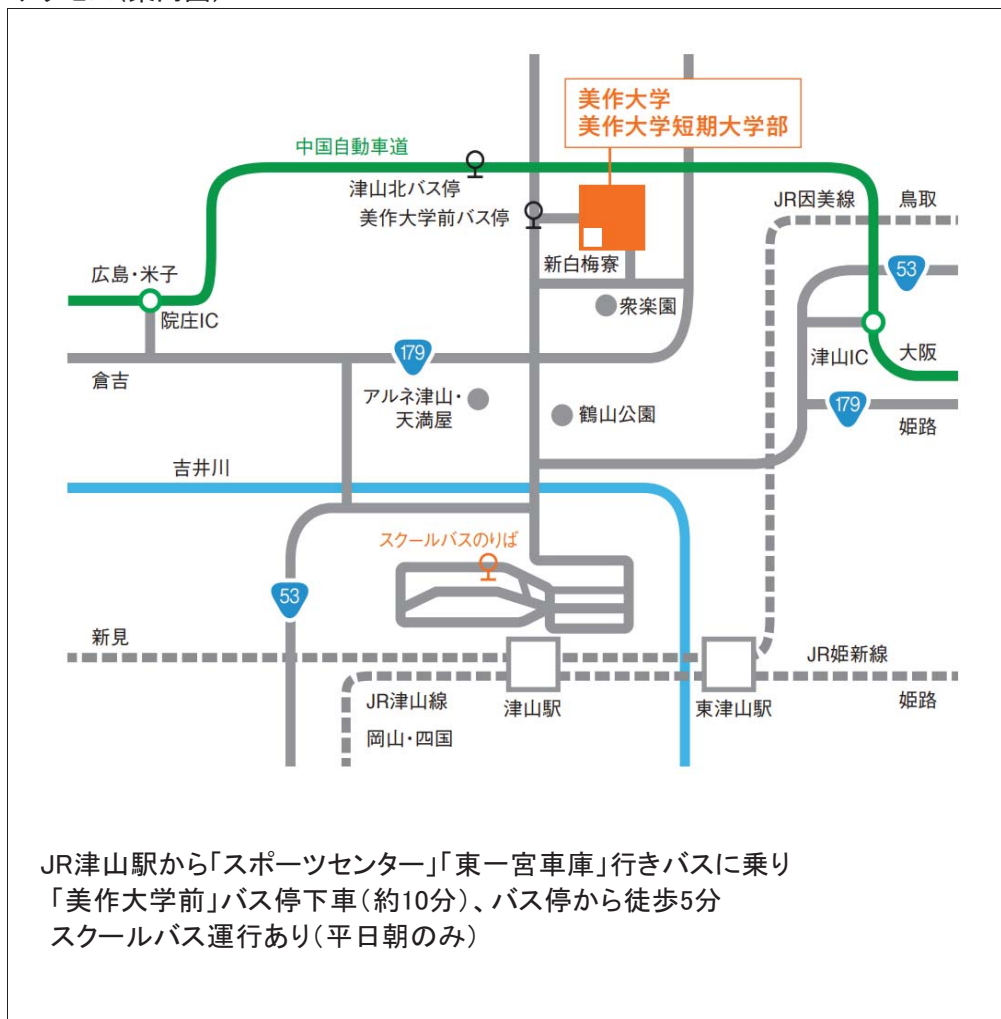
写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚

## (16) 美作大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月10日	～	2025年7月31日
	後期	2025年9月24日	～	2026年1月29日
試験期間	前期	2025年8月1日	～	2025年8月8日
	後期	2026年2月3日	～	2026年2月10日
授業時間	1限	8:40	～	10:10
	2限	10:20	～	11:50
	3限	12:40	～	14:10
	4限	14:20	～	15:50
	5限	16:00	～	17:30

### ② アクセス(案内図)





③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山県津山市北園町 50
電話	0868-22-7310 (教務課直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期 4月4日(金)  
後期 9月19日(金)  
※所属大学によって提出期間が別に定められている場合はその指示に従ってください

・ 履修手続

所属大学の窓口上記の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください

・ 施設利用

1. 美作大学在学の学生と同じ扱いとします
2. 以下の印刷物等を配付します
  - ①履修要項 (教務課)
  - ②シラバス(該当科目) (教務課)
  - ③授業時間割表 (教務課)
  - ④行事予定表 (教務課)
  - ⑤学生証 (総務課)
  - ⑥キャンパスガイド (学生課)
  - ⑦駐車許可証(該当者のみ) (総務課)
  - ⑧図書館利用案内 (図書館)

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mimasaka.cloud-syllabus.com/>

・遠隔授業科目

オンライン授業				16101
韓国語 I			朴 貞淑	
Korean I				
履修年次 1~4	1単位	前期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>            アンニョンハセヨ！ 基礎から学ぶ韓国語である。韓国語は、語順及び語彙が日本語と最も近い言語であり、文字と発音さえしっかり身につければ、楽しく話せる外国語である。本授業では、「聞く・話す・読む・書く」に関する基礎的な能力を養成することを目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>            本授業では、韓国語の文字・発音・文法などの基礎を理解し、基本表現を身に付け、簡単なコミュニケーションができる能力を学ぶ。ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会への理解を深める。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>            (1)オリエンテーション 「韓国語 I」授業におけるガイダンス            (2)基本母音字 ハングルの構成            (3)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (4)基本子音字 ハングルの構成、ハングル表            (5)合成母音字 母音と子音の構成、合成母音字の組み合わせ            (6)パッチム 初音・中音・終声、発音のルール、発音の変化            (7)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (8)あいさつ、自己紹介 挨拶、自己紹介の表現            (9)趣味は何ですか？ 「何」を表す疑問詞            (10)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (11)訪問 場所・位置・方向を表す指示詞            (12)空港で 固有数詞・時刻・時間の表現            (13)基本形・丁寧形・会話形 基本形・丁寧形・会話形の活用            (14)平叙文・肯定文と否定文・疑問文 平叙文・肯定文と否定文・疑問文の活用            (15)まとめ 1 課～8 課まで前期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            『実践韓国語』改訂 2 版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・遠隔授業科目

オンライン授業				16102
韓国語Ⅱ			朴 貞淑	
Korean Ⅱ				
履修年次 1～4	1単位	後期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、「韓国語Ⅰ」に引き続き、文字と発音に重点を置きながら、使用頻度の高い語彙また、基本的な文法や実践的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力を高める。また、ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          本授業では、韓国語の文字・発音・文法などを理解し、基本表現を身に付け、コミュニケーションができる能力を学ぶ。視聴覚教材を用いて、韓国の文化の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>          (1)オリエンテーション 「韓国語Ⅱ」授業におけるガイダンス、前期内容の復習          (2)レストランで 会話、尊敬語の表現          (3)意志・推測・依頼 意志・推測・依頼の表現          (4)地下鉄で 希望・願望の表現          (5)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (6)何月何日ですか？ 漢数詞、数詞、年・月・日の表現          (7)今日は何曜日ですか？ 否定形、曜日の表現          (8)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (9)家族 家族・親族の名称          (10)ソウル旅行 現在進行形、誘い・推量の表現          (11)お正月 過去形、お正月の風習紹介          (12)書店で 助数詞、通貨の表現          (13)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (14)規則活用、不規則活用 規則活用、不規則活用、事例表現          (15)まとめ 9課～16課まで後期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          『実践韓国語』改訂2版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16001
情報のユニバーサルデザイン論			関根 千佳	
Theory of Universal Design for Information				
履修年次 2~4	2単位	前期	集中	5,6月の土曜日・日曜日
<p><b>【授業の目標】</b>  この授業では、学生が世界最高齢国家の日本で、福祉職や行政職など全ての仕事で必要不可欠なユニバーサルデザイン(誰もが使いやすいまちやもの、ICT、情報サービスのありかた)と、ジェロントロジー(高齢学)について学ぶ。この概念に基づく多様な人々を幸せにする ICT について説明し、自分の仕事と人生において活かせるようになることを目標とする。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>  基本的に講義形式であるが、ICT を用いた障害者や高齢者の社会参加や情報受発信に関する多くの事例を映像等を見て、課題や解決策をグループで話し合ったり、その結果を発表するといったアクティブ・ラーニング形式での講義となる。世界各国や日本の障害者支援技術やユニバーサルデザインの現状や、企業や行政の優れた取組を知る中で、障害や加齢を自分事として捉える視点を持ち、これから人生で出会う人々を少しでも幸せにしていく方法について考える。  ただ座って講義を聴くだけでなく、授業内でのグループディスカッションや発表、フィールドワークなども行う可能性がある。</p> <p><b>【授業内容】</b>  (1)自己紹介とアイスブレイク「私の考えるユニバーサルデザイン」  (2)ユニバーサルデザインの考え方はなぜ必要か  (3)まちのユニバーサルデザイン  (4)もののユニバーサルデザイン  (5)サービスやスポーツのユニバーサルデザイン  (6)情報や ICT のユニバーサルデザイン  (7)テレワークとワークライフバランス  (8)カッコいい社会起業家を探す  (9)ジェロントロジーって何？  (10)アクティブシニアのライフスタイル  (11)高齢者の社会参加、就労、学び  (12)ヤングケアラーの問題をどう考える？  (13)高齢者と社会のコミュニケーション  (14)よく生きて、よく死ぬための死生学入門  (15)人生を完成させるためのデザイン</p> <p><b>【テキスト】</b>  『ユニバーサルデザインのちから』関根千佳著 生産性出版 2010年  『東大が作った高齢社会の教科書』東京大学出版会 2017年</p> <p><b>【参考図書】</b>  『情報社会のユニバーサルデザイン』放送大学テキスト 2019年</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  出席点 40% 授業中の議論への参加と発表 30% 最終レポート 30%</p>				

・対面授業科目

対面授業				16002
災害を知る			オムニバス	
Disaster Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月18日～22日(予定)
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、近年多発している自然災害のしくみと、災害に関わる情報を理解でき、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          授業はオムニバス講義形式で行う。最初に近年発生した自然災害と防災士の役割を概説した後、教科書に沿って防災士に必要な知識を具体的に説明する。各講義終了時に質問を受け付け、最終回で回答する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>          (1)ガイダンス、近年の主な自然災害          (2)地震・津波による災害(Ⅰ)          (3)地震・津波による災害(Ⅱ)          (4)地震・津波による災害(Ⅲ)          (5)火山災害          (6)震災火災・住宅火災          (7)気象災害・風水害・土砂災害          (8)災害関連情報と予報・警報          (9)被害想定・ハザードマップと避難情報          (10)災害情報の活用と発信          (11)災害医療とこころのケア          (12)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)          (13)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ)          (14)企業・団体の事業継続          (15)まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          提出課題(60%)、配布課題の取り組み(40%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16003
災害に備える			オムニバス	
Disaster Prevention Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月25日～29日(予定)
<p><b>【授業の目標】</b>            本授業では、災害発生後の行政の対応や、避難所設置、ボランティア活動など、発生後の復旧、復興の流れを理解し、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>            授業はオムニバス講義形式で行う。地域の防災活動、減災や危機管理の概念を具体的事例を取り上げながら説明する。防災訓練では、グループワークによる実技演習を行う。この授業では、実際に防災や災害支援等に関わっている専門職等も担当し、現場理解を促す事例を紹介する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)</li> <li>(2)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ)</li> <li>(3)災害と保険、都市防災</li> <li>(4)防災士に期待される活動</li> <li>(5)耐震診断と補強</li> <li>(6)地震・津波の備え</li> <li>(7)風水害・土砂災害等への備え</li> <li>(8)避難所の設置と運営協力</li> <li>(9)地域防災と多様性への配慮</li> <li>(10)災害ボランティア活動</li> <li>(11)災害ボランティア活動</li> <li>(12)防災訓練① 実技訓練</li> <li>(13)防災訓練② 図上演習</li> <li>(14)専門職と防災活動</li> <li>(15)企業・団体の事業継続</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>            防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業で指示された課題の実施状況により単位を認定する</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

美作大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 - Tel ( ) -						

\* 履修受付締切日: 前期: 4月4日(金)まで 後期: 9月19日(金)まで

\* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
16101	韓国語Ⅰ	教養	朴 貞淑	1	前期	1~4	オンライン授業 定員5名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
16102	韓国語Ⅱ	教養	朴 貞淑	1	後期	1~4	オンライン授業 定員5名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
16001	情報のユニバーサルデザイン論	専門	関根 千佳	2	前期集中	2~4	定員20名	5,6月の 土曜日・日曜日	<input type="checkbox"/>	
16002	災害を知る	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員20名	8月18日~22日 (予定)	<input type="checkbox"/>	
16003	災害に備える	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員20名	8月25日~29日 (予定)	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚